

令和7年8月 25 日

道路局国道・技術課

橋梁等の 2024 年度(令和6年度)点検結果をとりまとめ ～道路メンテナンス年報(3巡目1年目)の公表～

2013 年度の道路法改正等を受け、2014 年度より道路管理者は全ての橋梁、トンネル、道路附属物等について、5年に1度の点検が義務付けられています。2018 年度に1巡目点検、2023 年度に2巡目点検が完了し、2024 年度から3巡目点検が実施されています。

今般、2024 年度までの点検や診断結果、措置状況等を「道路メンテナンス年報」としてとりまとめましたのでお知らせいたします。

○主なポイント

1. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検は平準化が図られつつある(p1)

- 3巡目1年目(2024 年度)の点検実施状況は、橋梁:18%、トンネル:17%、道路附属物等:18%と、2巡目1年目を上回っており、着実に平準化が図られつつあります。

2. 措置が必要な橋梁数は着実に減少し、予防保全への移行に向け進捗(p3)

- 2024 年度末時点で、建設後 50 年以上経過した橋梁数は、2018 年度末時点と比較して増加(約 13 万橋⇒約 23 万橋)している一方、判定区分Ⅲ、Ⅳの橋梁数は着実に減少(約 6.9 万橋⇒約 5.3 万橋)しており、予防保全への移行に向け修繕等措置は着実に進捗しています。

※判定区分Ⅲ: 早期に措置を講ずべき状態 判定区分Ⅳ: 緊急に措置を講ずべき状態

3. 地方公共団体の修繕等措置の着手状況に遅れ(p6)

- 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずるべきとしていますが、2019 年度点検で判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された橋梁のうち、地方公共団体の修繕等の措置の着手率は 76%にとどまっております。

4. 集約・撤去・機能縮小等を検討する地方公共団体は着実に増加(p8)

- 地方公共団体における施設の集約・撤去・機能縮小等の検討状況は、2019 年度末より毎年着実に増加しており、2024 年度末時点では 92%となっています。
- なお、道路橋等の集約・撤去事例集については、地方公共団体の取組の一助になるよう、以下の Web ページにてご覧いただけます。

<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/pdf/tekkyo-jirei.pdf>

5. 路面下空洞調査の実施状況【新規】(p9)

- 国土交通省が 2024 年度に実施した路面下空洞調査の調査延長は 3,079km であり、調査対象延長の約 15%となっております。
- 発見された空洞のうち路面陥没の可能性が高いと判定された空洞は 119 箇所、すべての箇所で修繕等に着手しております。

6. 地下占用物の調査結果とりまとめ【新規】(p10)

- 新たに設置した「地下占用物連絡会議」の場を通じて、占用事業者が実施した調査結果を道路管理者と共有を開始しました。
- メンテナンス年報では、主な地下占用物(電力、通信、ガス、上下水道)の調査・修繕の実施状況をとりまとめました。

道路メンテナンス年報は、以下の Web ページにてご覧いただけます。

https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_index.html

<問い合わせ先>

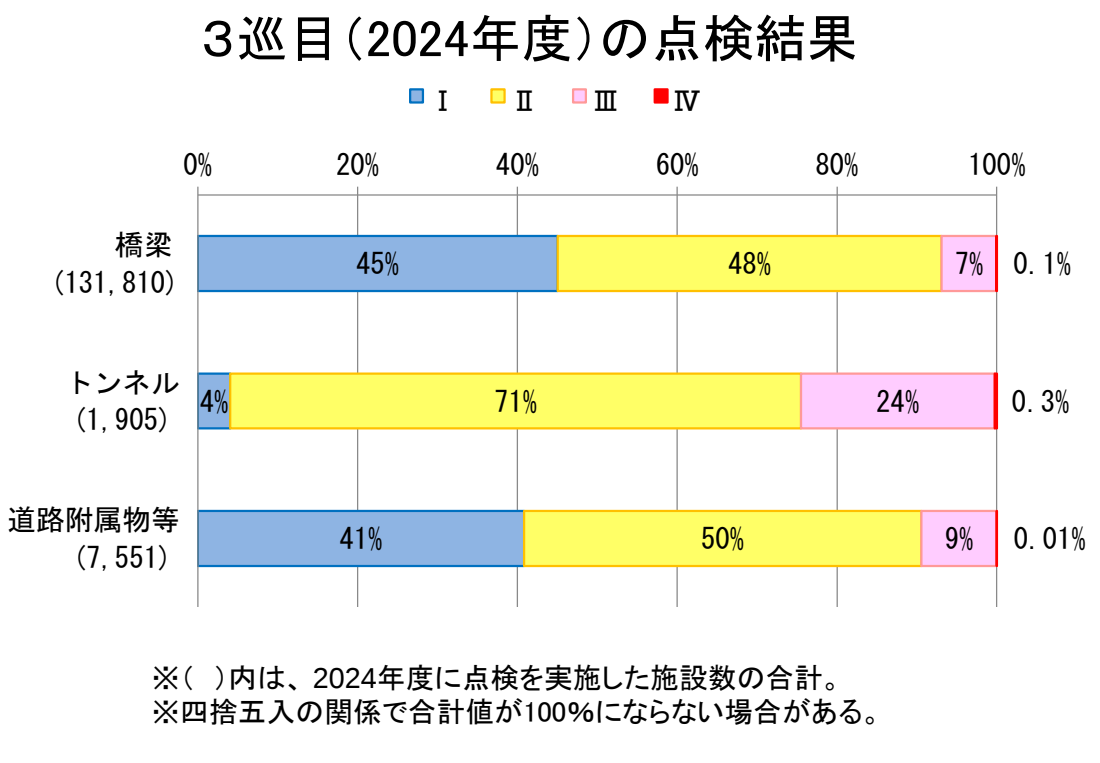
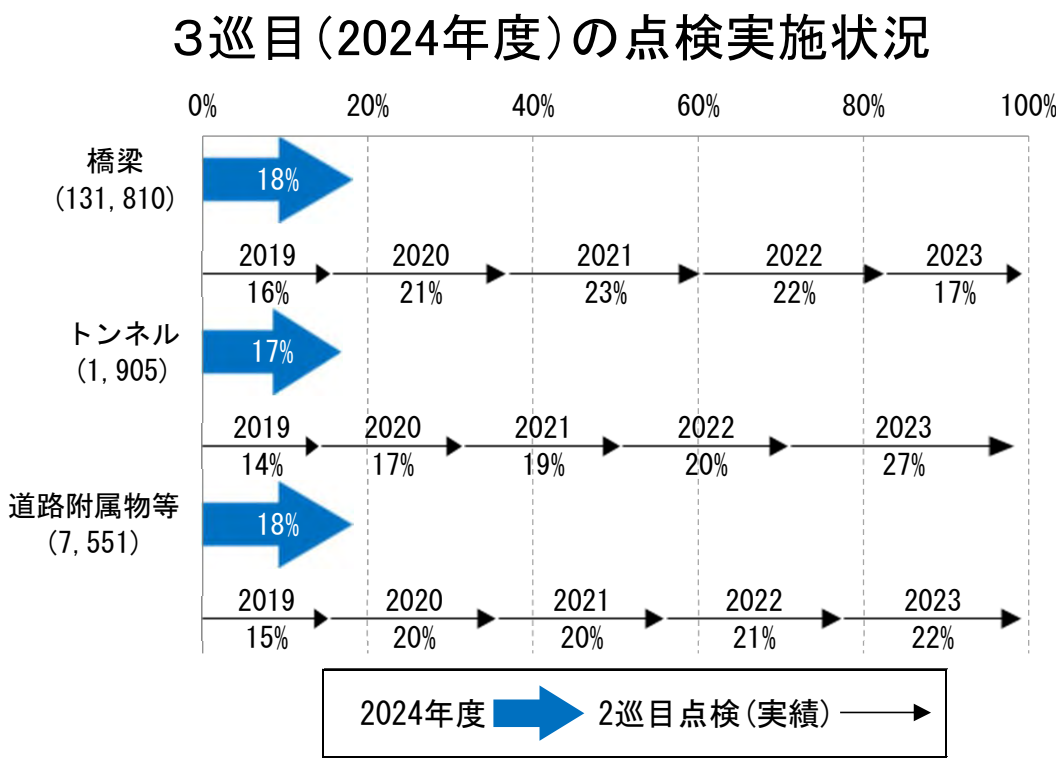
道路局 国道・技術課 道路メンテナンス企画室 課長補佐 三好、中村(内線 37892、37863)

電話:(代表) 03-5253-8111、(直通) 03-5253-8494



- 全道路管理者の3巡目(2024年度)の点検実施状況は、橋梁:18%、トンネル:17%、道路附属物等※:18%となっており、2巡目1年目を上回り着実に進捗している。

○ 全道路管理者の3巡目(2024年度)の点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態(判定区分Ⅲ・Ⅳ)の割合は、橋梁:7%、トンネル:24%、道路附属物等:9%
- ※道路附属物等:シェッド、大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等



※()内は、2024年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

判定区分	状態
Ⅰ 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

橋梁の損傷事例

判定区分Ⅲ

早期措置段階「構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態」



国管理 床版鉄筋露出
※床版：橋の裏側



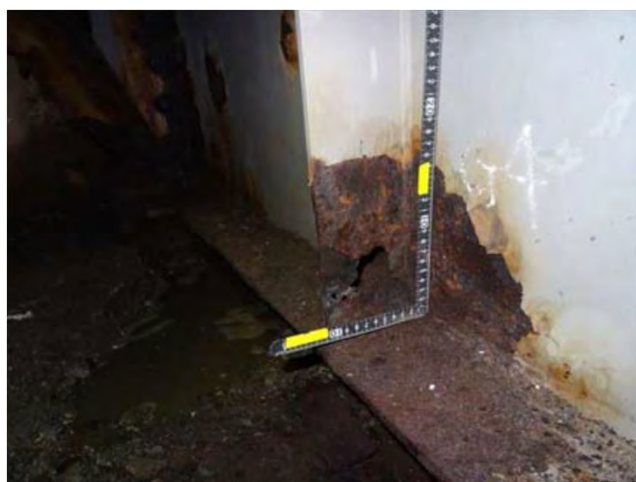
地方自治体管理 主桁腐食



地方自治体管理 支承腐食

判定区分Ⅳ

緊急措置段階「構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態」



国管理 主桁腐食・欠損



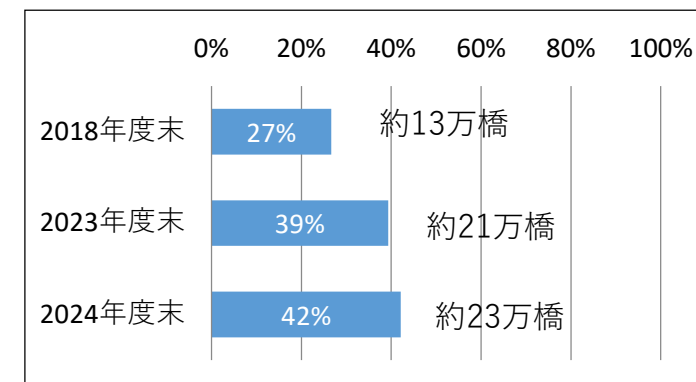
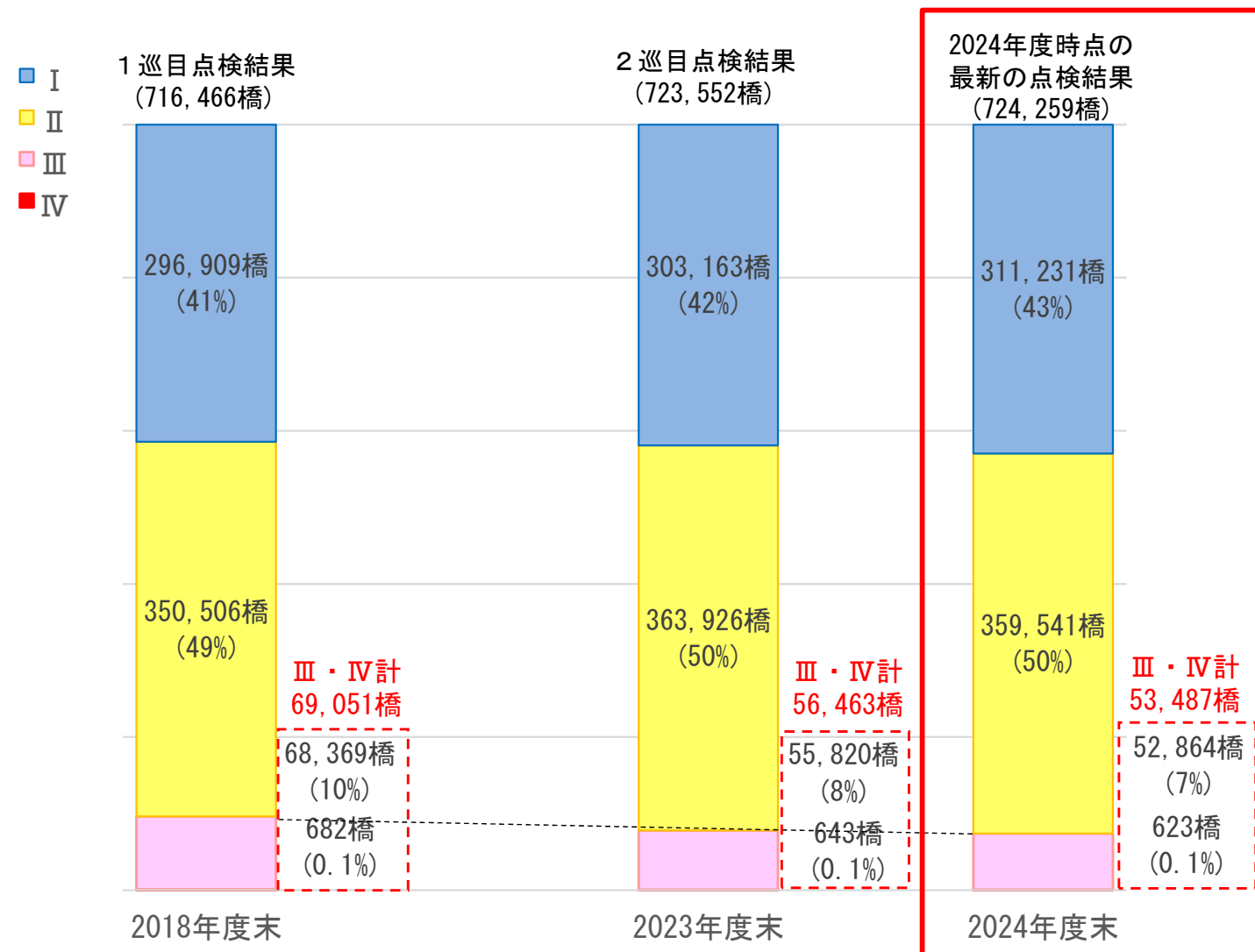
地方自治体管理 床版鉄筋露出



地方自治体管理 橋脚洗掘

2024年度末時点での橋梁の判定区分毎の施設数と割合

- 2024年度末時点での点検結果では判定区分の割合は、Ⅰ：43%、Ⅱ：50%、Ⅲ：7%、Ⅳ：0.1%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁は53,487橋であった。
- 1巡目点検終了時点と比較すると建設後50年以上経過した橋梁数は増加している一方で、年々判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁数は着実に減少している。

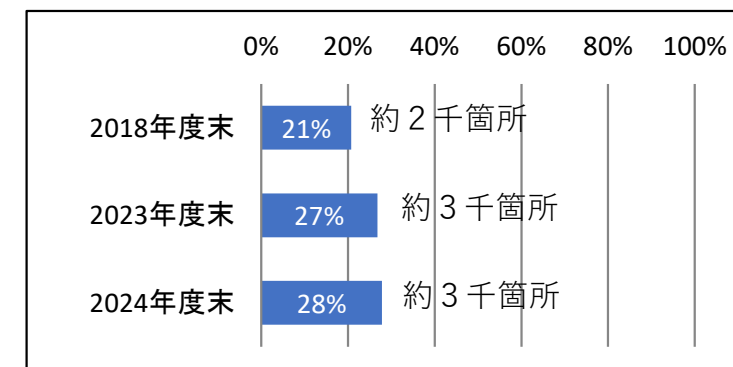
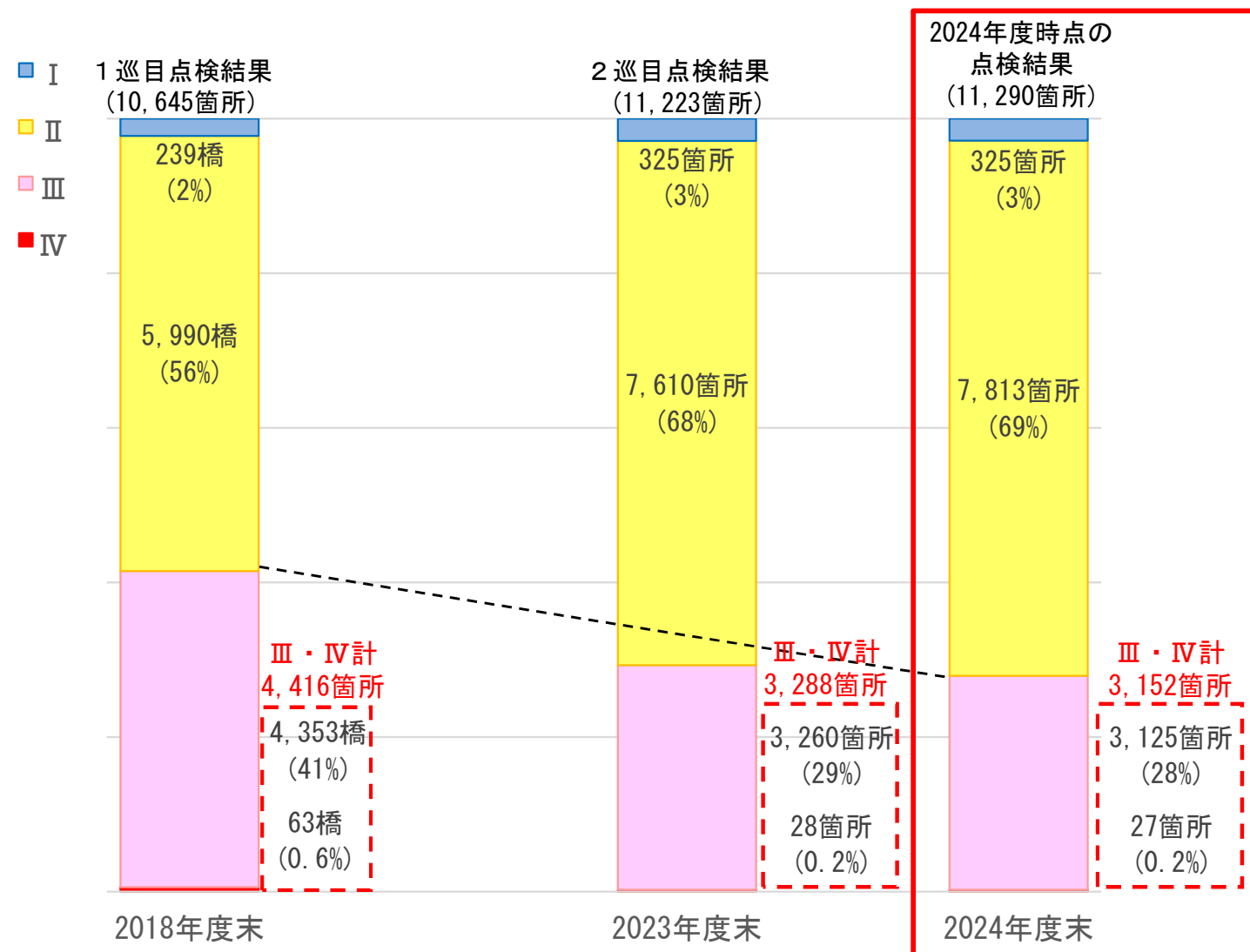


(参考) 建設後50年を経過した橋梁の割合

※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁がある。

2024年度末時点でのトンネルの判定区分毎の施設数と割合

- 2024年度末時点での点検結果では判定区分の割合は、Ⅰ：3%、Ⅱ：69%、Ⅲ：28%、Ⅳ：0.2%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネルは3,152箇所であった。
- 1巡目点検終了時点と比較すると建設後50年以上経過したトンネルは増加している一方で、年々判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネルは着実に減少している。



(参考) 建設後50年を経過したトンネルの割合

※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルがある。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。※判定Ⅳの施設については、早急に通行止めや通行規制等の緊急措置を行っている。

(参考)2024年度末時点の点検にて判定区分Ⅲ、Ⅳの橋梁・トンネルの修繕等措置実施状況

○ 2024年度末時点の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁およびトンネルの修繕等措置実施状況は以下の通り。

<橋梁>

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)		未着手 施設数	
			うち完了(C)		
国土交通省	3,636	2,200 (61%)	754 (21%)	1,436 (39%)	
高速道路会社	2,720	1,245 (46%)	571 (21%)	1,475 (54%)	
地方公共団体	47,131	22,343 (47%)	10,604 (22%)	24,788 (53%)	
	都道府県 政令市等	16,608	9,563 (58%)	4,044 (24%)	7,045 (42%)
	市区町村	30,523	12,780 (42%)	6,560 (21%)	17,743 (58%)
合計	53,487	25,788(48%)	11,929(22%)	27,699(52%)	

<トンネル>

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)		未着手 施設数	
			うち完了(C)		
国土交通省	410	241 (59%)	86 (21%)	169 (41%)	
高速道路会社	416	186 (45%)	120 (29%)	230 (55%)	
地方公共団体	2,326	1,368 (59%)	779 (33%)	958 (41%)	
	都道府県 政令市等	1,729	1,132 (65%)	666 (39%)	597 (35%)
	市区町村	597	236 (40%)	113 (19%)	361 (60%)
合計	3,152	1,795(57%)	985(31%)	1,357(43%)	

2巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳの橋梁の修繕等措置の実施状況

- 2巡目(2019年度～2023年度)の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2024年度末時点で国土交通省:78%、高速道路会社:61%、地方公共団体:58%、完了した割合は、国土交通省:36%、高速道路会社:34%、地方公共団体:32%
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとしているが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていない橋梁は約2割ある。

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)	うち完了(C)	未着手 施設数	2024年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)						(参考)2023年度末時点		
					点検年度	0%	20%	40%	60%	80%	100%	措置に着手済 の施設数	うち完了
国土交通省	3,707	2,891 (78%)	1,328 (36%)	816 (22%)	2019							2,380 (64%)	713 (19%)
					2020								
					2021								
					2022								
					2023								
高速道路会社	2,716	1,662 (61%)	937 (34%)	1,054 (39%)	2019							1,223 (45%)	530 (20%)
					2020								
					2021								
					2022								
					2023								
地方公共団体	49,011	28,537 (58%)	15,574 (32%)	20,474 (42%)	2019							23,342 (42%)	10,367 (21%)
					2020								
					2021								
					2022								
					2023								
都道府県 政令市等	17,037	11,988 (70%)	5,945 (35%)	5,049 (30%)	2019							9,797 (57%)	3,920 (23%)
					2020								
					2021								
					2022								
					2023								
市区町村	31,974	16,549 (52%)	9,629 (30%)	15,425 (48%)	2019							13,545 (42%)	6,447 (20%)
					2020								
					2021								
					2022								
					2023								
合計	55,434	33,090(60%)	17,839(32%)	22,344(40%)								26,945(48%)	11,610(21%)

 : 2024年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース

完了済

着手済

2019年度点検実施(5年経過):100%、2020年度点検実施(4年経過):80%、2021年度点検実施(3年経過):60%、2022年度点検実施(2年経過):40%、2023年度点検実施(1年経過):20%

2巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳのトンネルの修繕等措置の実施状況

国土交通省

- 2巡目(2019年度～2023年度)の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2024年度末時点で国土交通省:77%、高速道路会社:63%、地方公共団体:71%、完了した割合は、国土交通省:43%、高速道路会社:47%、地方公共団体:44%
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとしているが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていないトンネルは約1割ある。

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)	未着手 施設数	2024年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)						(参考)2023年度末時点	
				点検年度	0%	20%	40%	60%	80%	措置に着手済 の施設数	うち完了
国土交通省	422	325 (77%)	184 (43%)	97 (23%)	2019			97%	100%	269 (64%)	116 (28%)
					2020			62%	98%		
					2021	30%			77%		
					2022	13%			65%		
					2023	8%		40%			
高速道路会社	424	266 (63%)	198 (47%)	158 (37%)	2019			93%	100%	219 (52%)	128 (30%)
					2020			58%	85%		
					2021	46%			64%		
					2022	38%			55%		
					2023	14%		28%			
地方公共団体	2,371	1,677 (71%)	1,044 (44%)	694 (29%)	2019			76%	91%	1,360 (57%)	692 (29%)
					2020			66%	90%		
					2021	51%			80%		
					2022	32%			70%		
					2023	13%		39%			
都道府県 政令市等	1,808	1,417 (78%)	918 (51%)	391 (22%)	2019			82%	96%	1,179 (65%)	629 (35%)
					2020			69%	91%		
					2021	55%			84%		
					2022	36%			76%		
					2023	13%		44%			
市区町村	563	260 (46%)	126 (22%)	303 (54%)	2019			45%	69%	181 (32%)	63 (11%)
					2020			43%	76%		
					2021	29%			57%		
					2022	21%			51%		
					2023	13%		32%			
合計	3,217	2,268(71%)	1,426(44%)	949(29%)				44%	71%	1,848(57%)	936(29%)

↑: 2024年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース

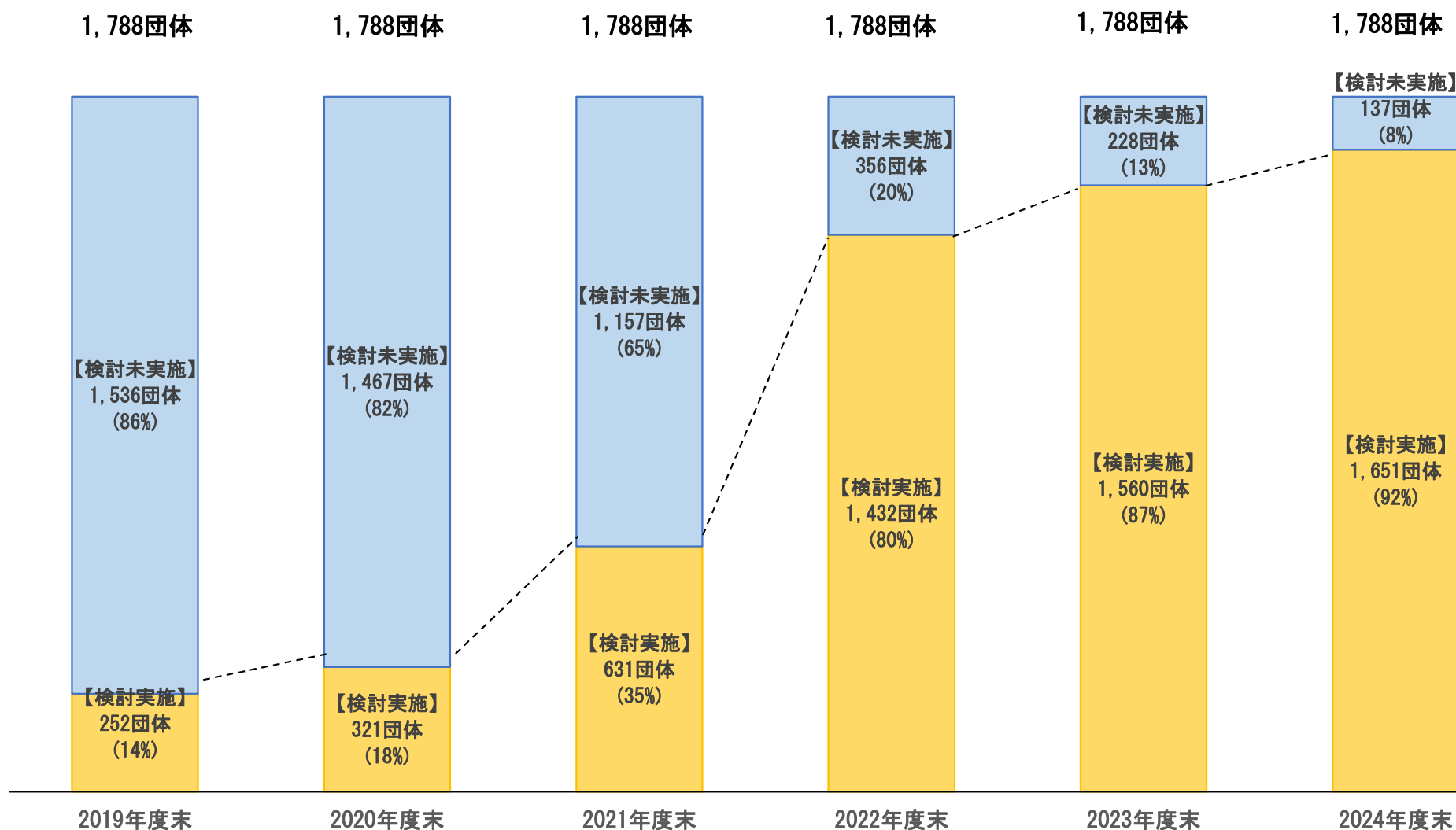
完了済 着手済

2019年度点検実施(5年経過):100%、2020年度点検実施(4年経過):80%、2021年度点検実施(3年経過):60%、2022年度点検実施(2年経過):40%、2023年度点検実施(1年経過):20%

7

地方公共団体における集約・撤去・機能縮小等の検討状況

- 市区地方公共団体における施設の集約・撤去・機能縮小等の検討状況は、2019年度末より毎年着実に増加しており、2024年度末時点では92%となっている。
- また、地方公共団体の取組の一助になるよう、道路橋等の集約・撤去の事例集を公開している。



路面下空洞調査の実施状況(2024年度・国土交通省)

- 直轄国道における2024年度の路面下空洞調査の調査延長は3,079km(調査対象延長の約15%)
- 調査の結果、路面下空洞が4,739箇所確認され、そのうち路面陥没の可能性が高いと考えられる区分Aが119箇所(2%)
- 区分Aの119箇所については、全ての箇所で修繕等に着手済み

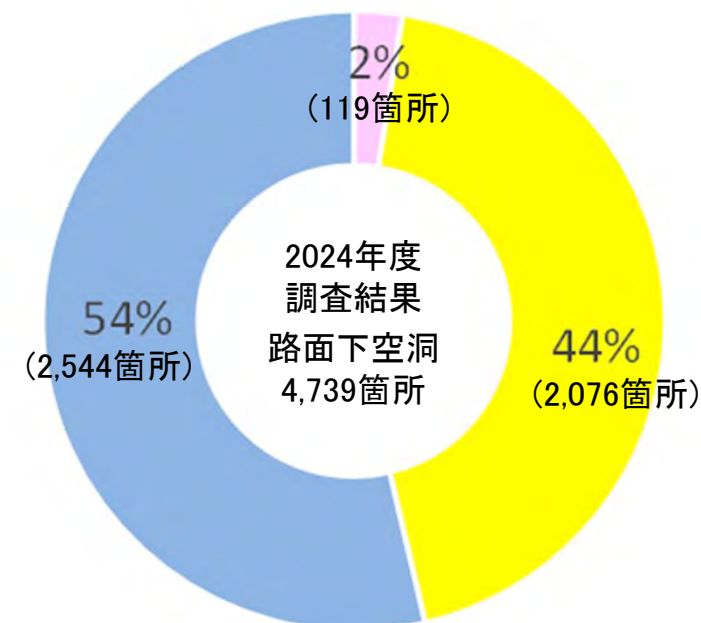
■路面下空洞調査の調査結果

道路 管理者	調査対象 延長 (道路延長)	調査延長 (道路延長)	空洞確認 箇所	路面陥没の可能性		
				A(高い)	B(中程度)	C(低い)
国土 交通省	20,810km	3,079km	4,739箇所	119箇所 (119)※	2,076箇所 (207)※	2,544箇所 (25)※

※ うち修繕等の優先度が高い箇所
(埋設物の設置状況や沿道状況などを踏まえて優先度を判断)

2025.3末時点

■路面陥没の可能性判定区分の割合



- A: 陥没の可能性が高い空洞
- B: 陥没の可能性が中程度の空洞
- C: 陥没の可能性が低い空洞

■修繕等の優先度が高い箇所の修繕実施状況

路面陥没の可能性	修繕等の優先度が高い箇所※	修繕等に 着手済み箇所	うち完了
A(高い)	119箇所	119箇所(100%)	118箇所(99%)
B(中程度)	207箇所	61箇所(29%)	45箇所(22%)
C(低い)	25箇所	19箇所(76%)	11箇所(44%)

※ うち修繕等の優先度が高い箇所
(埋設物の設置状況や沿道状況などを踏まえて優先度を判断)

2025.8.25時点

地下占用物の調査・修繕状況(2024年度)

- 占用物の健全性などの確認は、関係法令や施設特性等に応じた管理者毎の考え方に基づき実施
- 新たに設置した「地下占用物連絡会議」の場などを通じて、占用事業者が実施した調査結果を道路管理者と共有

■主な地下占用物の調査・修繕状況

占用物	対象施設		調査・修繕状況		
			調査数	不具合箇所	措置済箇所
電力	洞道	3,903区間	745区間	—	—
	マンホール	114,619箇所	18,700箇所	224箇所	7箇所
通信	洞道	618km	239km	—	—
	マンホール	790,450箇所	78,748箇所	81箇所	8箇所
ガス	管路	258,382km	54,737km	2,928箇所	2,815箇所
水道	管路	約79万km ^{※1}	約35万km	14,113箇所	12,521箇所
下水道	管路	約50万km	約2.5万km	86km ^{※2}	17km ^{※3}

※1 水道統計及び簡易水道統計の延長計

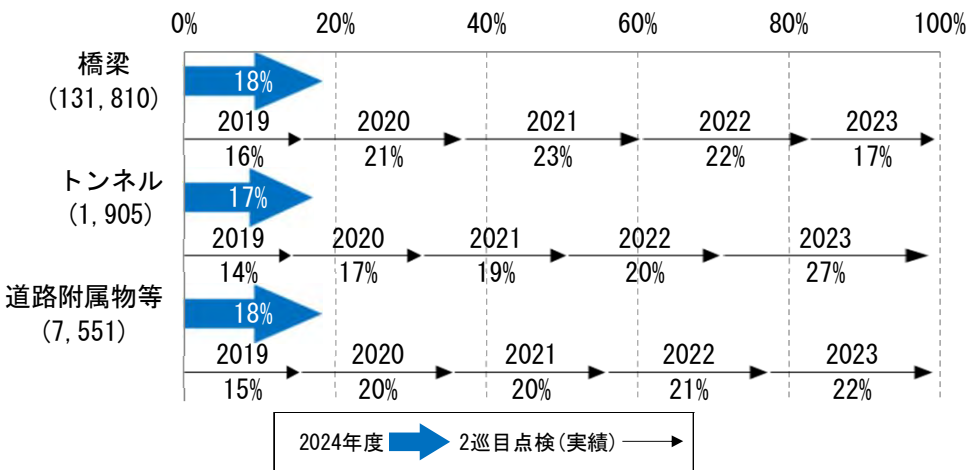
※2 緊急度Ⅰと判定された延長

※3 措置未了の箇所については、速やかな措置の実施を要請中

道路メンテナンス年報(2024年度)の概要

○橋梁・トンネル・道路附属物等について、3巡目の点検は2巡目と比べて着実に進捗。
橋梁について、地方公共団体の修繕が必要な橋梁の措置着手・完了率が低水準。
○建設後50年を経過した橋梁数は増加している一方、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁数は着実に減少。

■ 橋梁・トンネル・道路附属物等の3巡目点検実施状況



3巡目の点検は2巡目に比べ着実に進捗

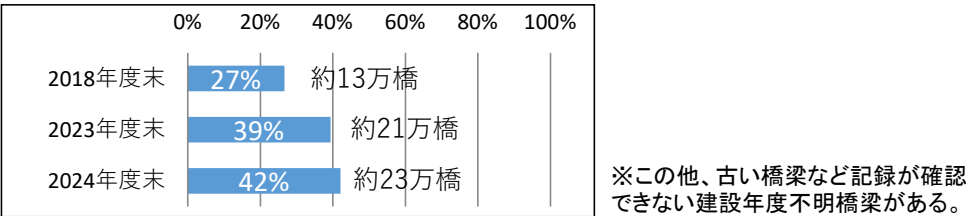
■ 2巡目点検で修繕が必要とされた橋梁の修繕等措置状況

管理者	措置が必要な施設数 ※1	措置に着手済み の施設数 ※2	うち完了
国土交通省	3,707	2,891 (78%)	1,328 (36%)
高速道路会社	2,716	1,662 (61%)	937 (34%)
地方公共団体	49,011	28,537 (58%)	15,574 (32%)

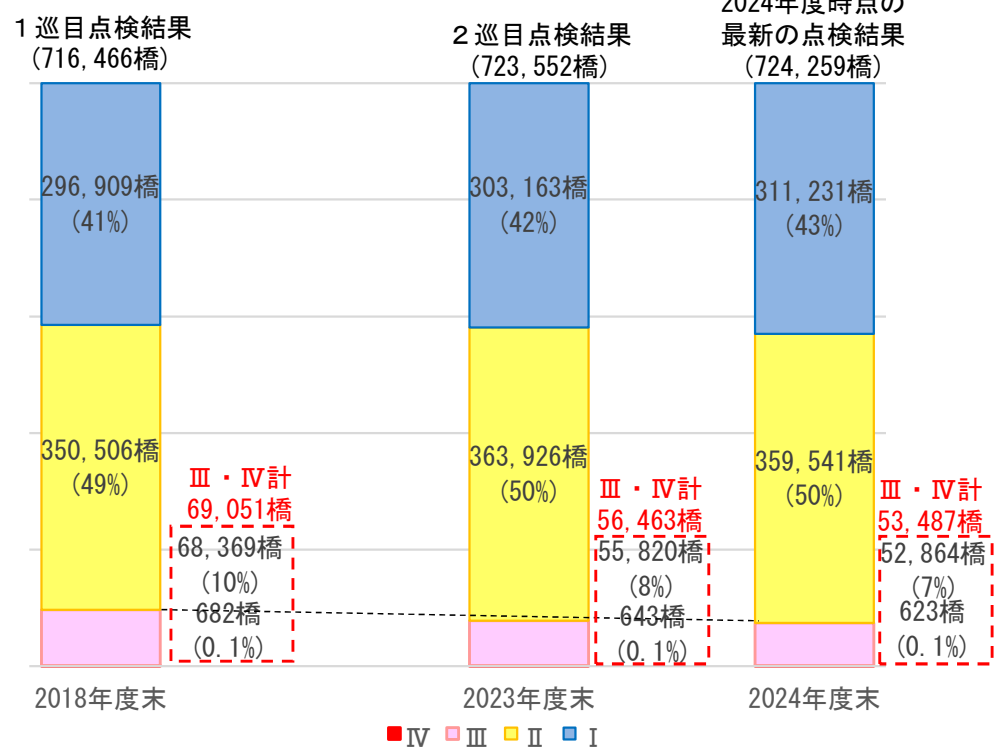
地方公共団体の修繕が必要な橋梁の措置着手・完了率が低水準

※1: 判定区分Ⅰ～Ⅳのうち、判定区分Ⅲ(早期措置段階)及び判定区分Ⅳ(緊急措置段階)の橋梁数
※2: 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとされている

■ 建設後50年を経過した橋梁の割合



■ 橋梁の判定区分毎の施設数と割合



2024年度末時点では、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁は53,487橋であり、年々着実に減少している

○国土交通省では、国民・道路利用者の皆様に道路インフラや老朽化対策の現状をご理解いただくため、点検の実施状況や結果等を調査し、「道路メンテナンス年報」としてとりまとめて公表。

■ 道路メンテナンス年報公表に関する経緯

○ 笹子トンネル天井板落下事故[2012.12]

○ 道路法の改正[2013.6]：点検基準の法定化(橋梁・トンネル・道路附属物等)

○ 定期点検に関する省令・告示 施行[2014.7]：5年に1回、近接目視による点検開始

○ 道路メンテナンス年報公表[2015.11～(毎年)]

【主な掲載内容】・橋梁、トンネル、道路附属物等の点検結果及び修繕等措置の実施状況

・舗装・小規模附属物・土工構造物の点検結果及び修繕等措置の実施状況 等

道路メンテナンス年報

国土交通省 道路局

2025 年 8 月

目次

1. 道路メンテナンス年報について.....	1
(1) 概要	1
(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について	1
2. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果.....	2
(1) 3巡目（2024年度）の点検結果.....	2
(2) 判定区分Ⅰ・Ⅱの施設の5年後の判定区分Ⅲ・Ⅳへの遷移状況	14
(3) 過年度の点検（2014～2024年度）の実施施設の判定区分毎の施設数と割合	17
(4) 過年度の点検（2014～2024年度）の点検結果	20
3. 判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況.....	32
(1) 2巡目点検（2019～2023年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況	32
(2) 3巡目点検（2024年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況	35
(3) 過年度の点検（2014～2024年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況	38
(4) 各都道府県における道路管理者毎の老朽化対策状況	41
(5) 全国道路施設点検データベース（損傷マップ）	41
(6) 判定区分Ⅳの施設の措置状況	42
4. 地方公共団体の修繕等措置状況.....	43
(1) 2巡目点検（2019～2023年度）の実施施設における地方公共団体の修繕等措置の着手状況	43
(2) 2024年度末時点での修繕等措置が完了した地方公共団体数	44
5. 舗装の点検結果及び修繕等措置の実施状況.....	45
(1) 概要	45
(2) 2巡目（2022～2024年度）の点検結果（国土交通省、都道府県・政令市）	47
(3) 過年度の点検（2017～2024年度）の点検結果	49
(4) 過年度の点検（2017～2024年度）の実施箇所における修繕等措置の実施状況	50
6. 小規模附属物・土工構造物の点検結果及び修繕等措置の実施状況	51
(1) 小規模附属物.....	51
(2) 土工構造物	55
7. 橋梁・トンネルの現状.....	59
(1) 橋梁の現状	59
(2) トンネルの現状	71
8. 路面下空洞・地下占用物の調査結果等及び修繕等措置の実施状況	83
(1) 路面下空洞	83
(2) 地下占用物	85
9. 地方公共団体におけるメンテナンスに向けた取り組み	87
(1) 道路メンテナンス会議の開催	87

（２）地域一括発注の状況.....	87
（３）直轄診断・修繕代行.....	88
（４）研修の実施状況.....	89
（５）橋梁管理に携わる土木技術者数.....	90
（６）個別施設計画の策定状況（2024 年度末時点）.....	91
（７）道路メンテナンス事業補助の活用状況.....	94
（８）点検実施者の保有資格等.....	95
（９）点検・修繕における新技術の活用検討・活用の状況.....	96
（１０）集約・撤去・機能縮小等の検討状況.....	102
（１１）新技術活用事例及び集約・撤去事例集.....	103
※巻末資料	104
（１）道路附属物等の点検実施状況と点検結果の内訳.....	104
（２）緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果の内訳.....	111
（３）橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分Ⅳの施設リスト（2014～2024 年度）.....	116
（４）橋梁・トンネルの建設年度別施設数.....	146

1. 道路メンテナンス年報について

(1)概要

- 国土交通省では、国民・道路利用者の皆様に道路インフラの現状及び老朽化対策についてご理解頂くため、点検の実施状況や結果等を「道路メンテナンス年報」としてとりまとめています。
- 橋梁・トンネル・道路附属物等^{※1}については、2014～2018 年度における1巡目点検、2019～2023 年度における2巡目点検が完了し、2024 年度より3巡目点検に着手したところです。
- 今回は、下記についてとりまとめました。
 - 国土交通省及び地方公共団体が管理する橋梁・トンネル・道路附属物等の
 - ・ 3巡目（2024 年度）及び過年度（2014～2024 年度）の点検結果^{※2}
 - ・ 2巡目点検（2019～2023 年度）、3巡目点検（2024 年度）、過年度の点検（2014～2024 年度）における修繕等措置状況
 - 国土交通省が管理する道路及び47 都道府県と20 政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路における舗装の点検結果
 - 国土交通省及び地方公共団体が管理する小規模附属物の2017～2024 年度の点検結果、土工構造物の2巡目（2023～2024 年度）の点検結果
 - 国土交通省が実施する路面下空洞調査結果（2024 年度）及び修繕等措置状況
 - 地下占用物事業者が実施する点検・調査（2024 年度）及び修繕状況
- 結果の詳細は、以下のホームページにてご覧いただけます。
https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_index.html
- また、道路インフラの老朽化対策状況の更なる見える化を図るため、
 - ・ 橋梁・トンネル・道路附属物等の諸元や点検結果、措置状況等を地図上で閲覧できる「全国道路施設点検データベース（損傷マップ）」を以下に公開しています。
URL：<https://road-structures-map.mlit.go.jp/>
 - ・ より詳細な点検データ等については、「全国道路施設点検データベース」において有料で公開しております。
URL：<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>
- この調査結果は、点検結果を踏まえた今後の措置方針の立案等に活用します。

道路の老朽化の現状はどうなっているのだろうか。

→ 地域毎のデータ、経年的な変化等、様々な観点から我が国の道路施設の老朽化の実態を把握することができます。

今後どのように措置していくのか。

→ 各道路管理者は、自らの管理施設の老朽化の実態を踏まえ、今後の措置方針を立案していくことになります。

※1 道路附属物等：シェッド・大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等

※2 複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計

(2)橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について

全ての道路管理者は、2013 年の道路法改正等を受け、2014 年7 月より5 年に1 回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

健全性の診断は、以下の4 段階に区分します。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

2. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果

(1) 3巡目(2024年度)の点検結果

1) 全道路管理者

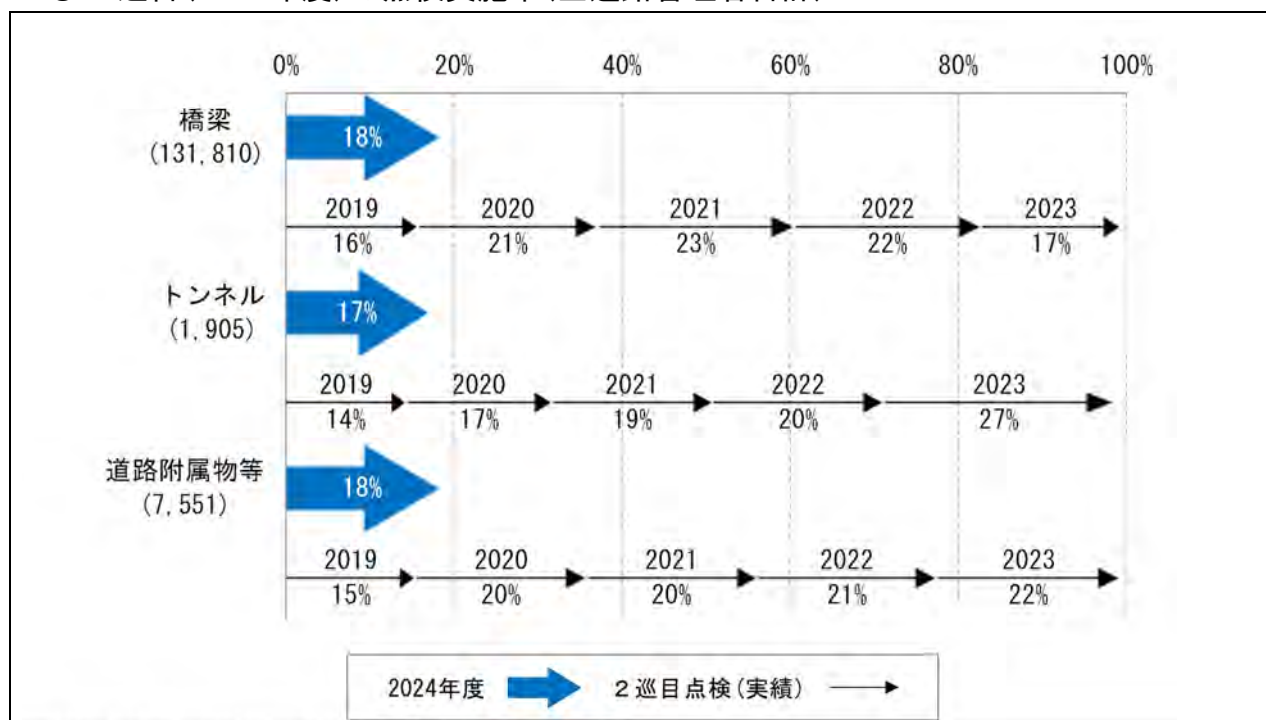
- 3巡目(2024年度)の点検実施率は、橋梁 18%、トンネル 17%、道路附属物等 18%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 45%、Ⅱ 48%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 4%、Ⅱ 71%、Ⅲ 24%、Ⅳ 0.3%、道路附属物等：Ⅰ 41%、Ⅱ 50%、Ⅲ 9%、Ⅳ 0.01%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある(次頁以降も同様)。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 3巡目(2024年度)の点検実施率(全道路管理者合計)



※()内は、2024年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

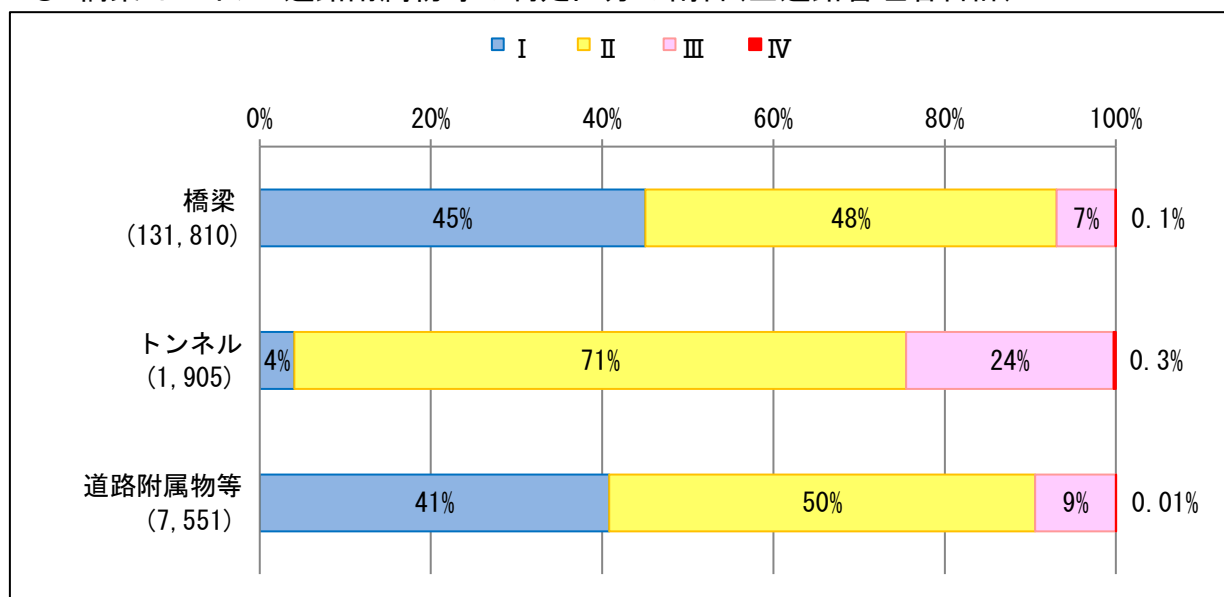
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	729,548	724,924	131,810	18% (16%)
トンネル	11,597	11,315	1,905	17% (14%)
道路附属物等	42,278	41,660	7,551	18% (15%)

2025.3 末時点

※1: 2025年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2巡目(2019年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（全道路管理者合計）



※()内は、2024 年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	131,810	59,347	63,341	9,044	78
		45%	48%	7%	0.1%
トンネル	1,905	77	1,361	462	5
		4%	71%	24%	0.3%
道路附属物等	7,551	3,083	3,756	711	1
		41%	50%	9%	0.01%

2025.3 末時点

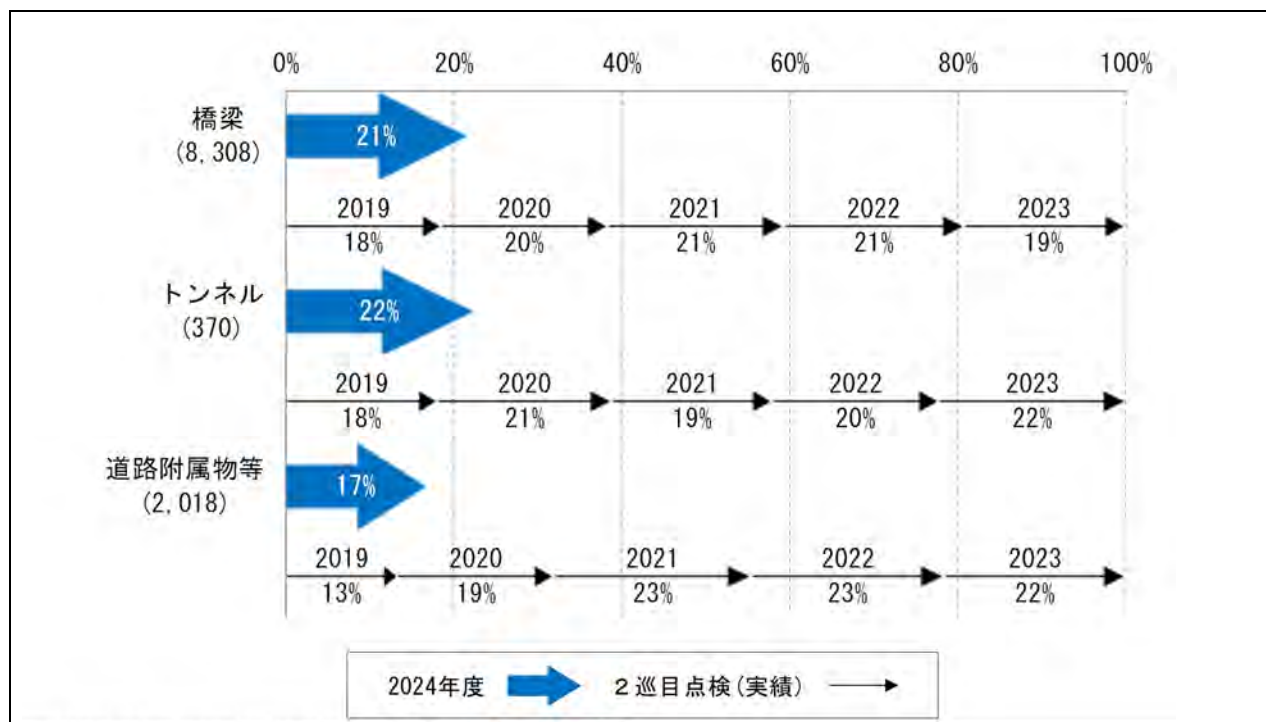
2)国土交通省

- 3巡目(2024年度)の点検実施率は、橋梁 21%、トンネル 22%、道路附属物等 17%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 58%、Ⅱ 33%、Ⅲ 9%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 72%、Ⅲ 25%、道路附属物等：Ⅰ 28%、Ⅱ 57%、Ⅲ 15%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 3巡目(2024年度)の点検実施率(国土交通省)



※()内は、2024年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

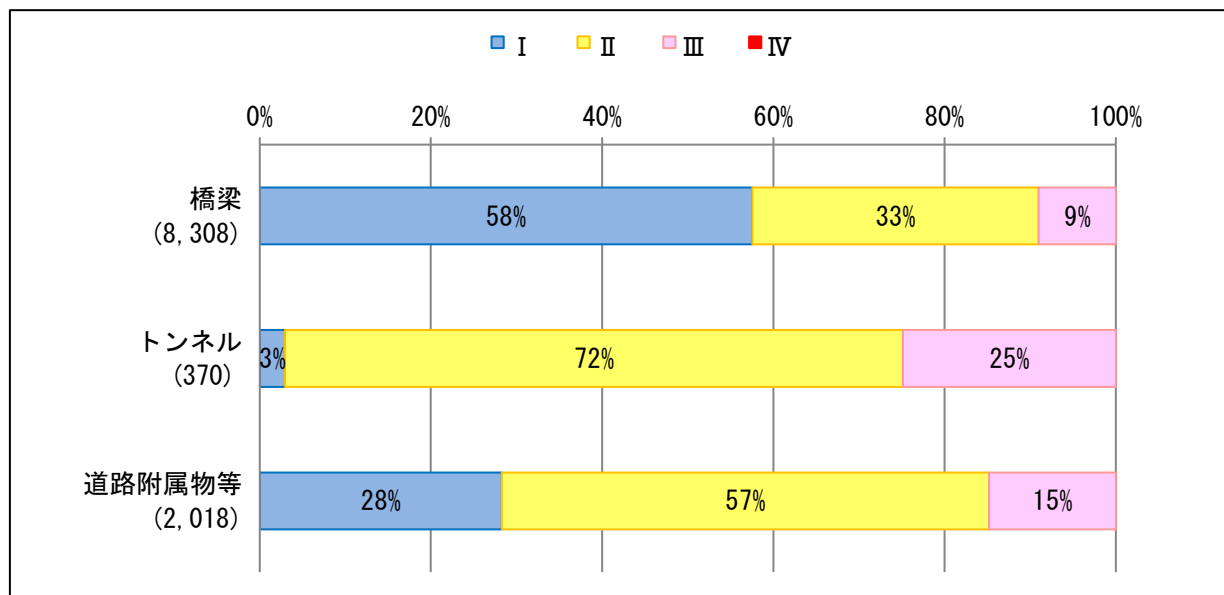
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	39,350	38,675	8,308	21% (18%)
トンネル	1,792	1,662	370	22% (18%)
道路附属物等	12,318	12,130	2,018	17% (13%)

2025.3末時点

※1:2025年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

※2:点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2巡目(2019年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（国土交通省）



※()内は、2024 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	8,308	4,779	2,781	748	0
		58%	33%	9%	0%
トンネル	370	11	267	92	0
		3%	72%	25%	0%
道路附属物等	2,018	571	1,148	299	0
		28%	57%	15%	0%

2025. 3 末時点

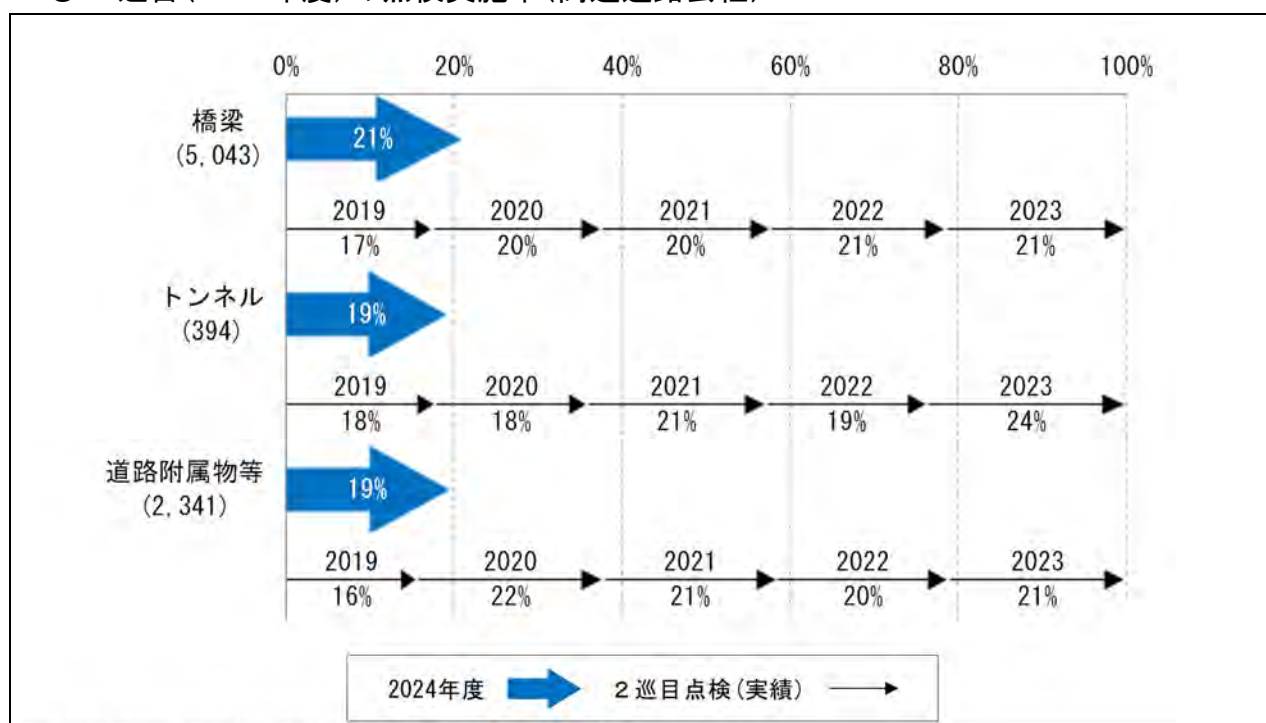
3) 高速道路会社

- 3 巡目（2024 年度）の点検実施率は、橋梁 21%、トンネル 19%、道路附属物等 19%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 25%、Ⅱ 65%、Ⅲ 10%、トンネル：Ⅰ 9%、Ⅱ 72%、Ⅲ 19%、道路附属物等：Ⅰ 67%、Ⅱ 30%、Ⅲ 3%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 3 巡目（2024 年度）の点検実施率（高速道路会社）



※()内は、2024 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

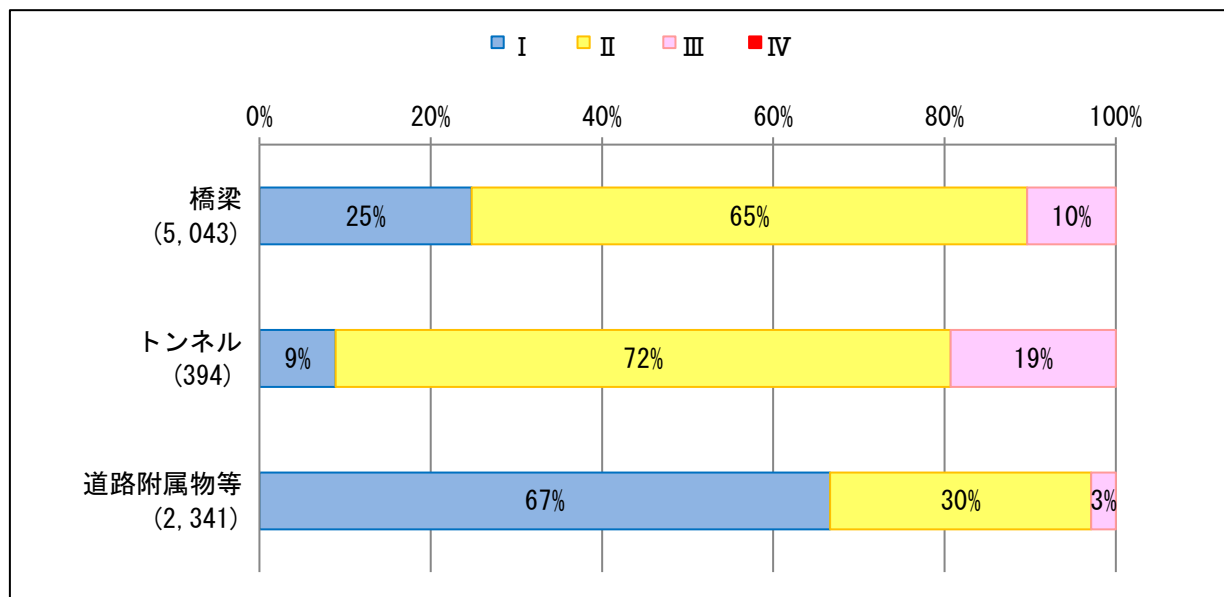
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	24, 510	24, 303	5, 043	21% (17%)
トンネル	2, 085	2, 073	394	19% (18%)
道路附属物等	12, 382	12, 111	2, 341	19% (16%)

2025. 3 末時点

※1: 2025 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2 巡目（2019 年度）における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（高速道路会社）



※()内は、2024 年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	5,043	1,250	3,271	522	0
		25%	65%	10%	0%
トンネル	394	35	283	76	0
		9%	72%	19%	0%
道路附属物等	2,341	1,560	714	67	0
		67%	30%	3%	0%

2025. 3 末時点

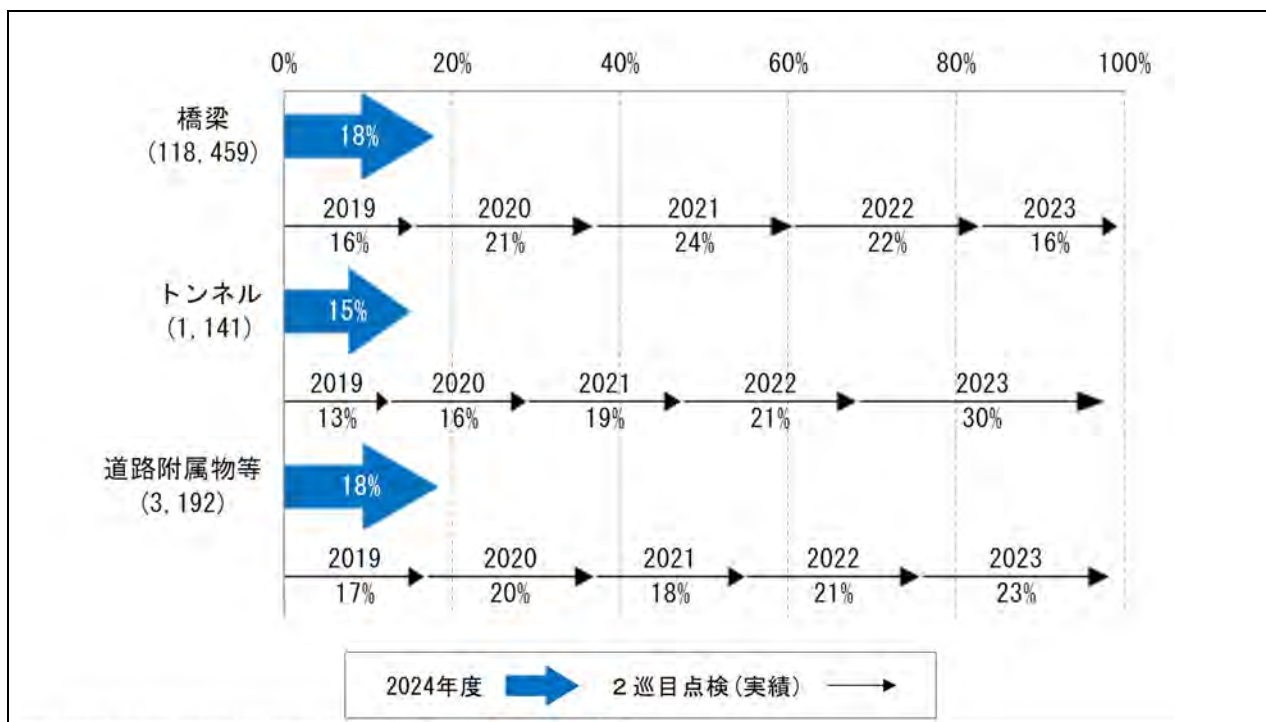
4) 地方公共団体

- 3 巡目（2024 年度）の点検実施率は、橋梁 18%、トンネル 15%、道路附属物等 18% です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 45%、Ⅱ 48%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 71%、Ⅲ 26%、Ⅳ 0.4%、道路附属物等：Ⅰ 30%、Ⅱ 59%、Ⅲ 11%、Ⅳ 0.03%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 3 巡目（2024 年度）の点検実施率（地方公共団体）



※()内は、2024 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

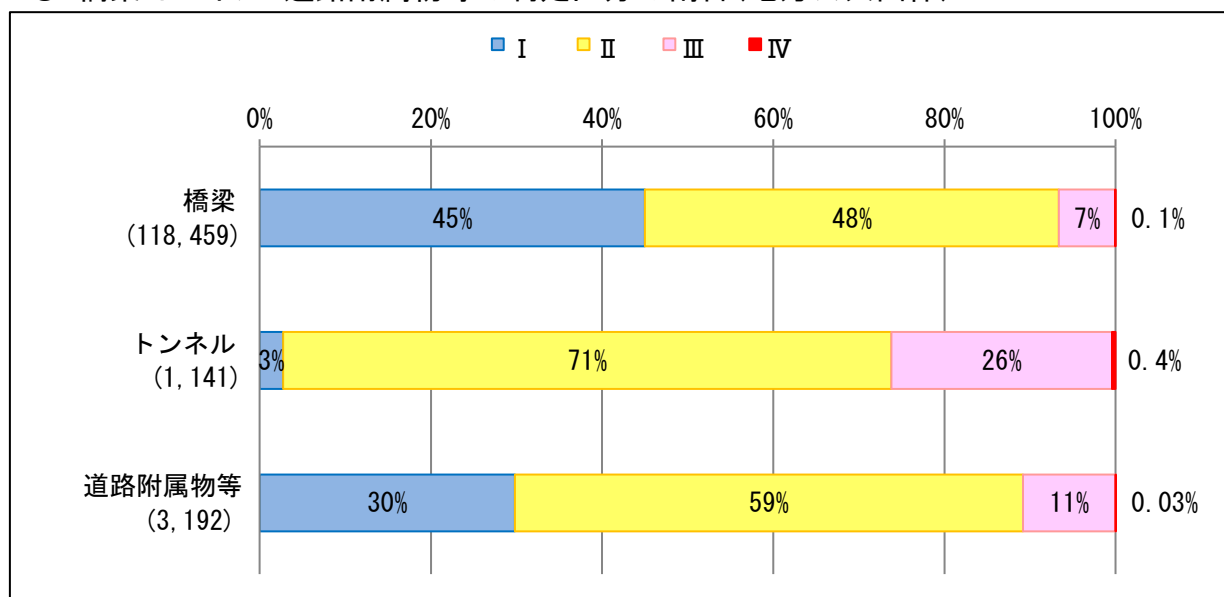
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	665,688	661,946	118,459	18% (16%)
トンネル	7,720	7,580	1,141	15% (13%)
道路附属物等	17,578	17,419	3,192	18% (17%)

2025.3 末時点

※1: 2025 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2 巡目(2019 年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（地方公共団体）



※()内は、2024 年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	118,459	53,318	57,289	7,774	78
		45%	48%	7%	0.1%
トンネル	1,141	31	811	294	5
		3%	71%	26%	0.4%
道路附属物等	3,192	952	1,894	345	1
		30%	59%	11%	0.03%

2025.3 末時点

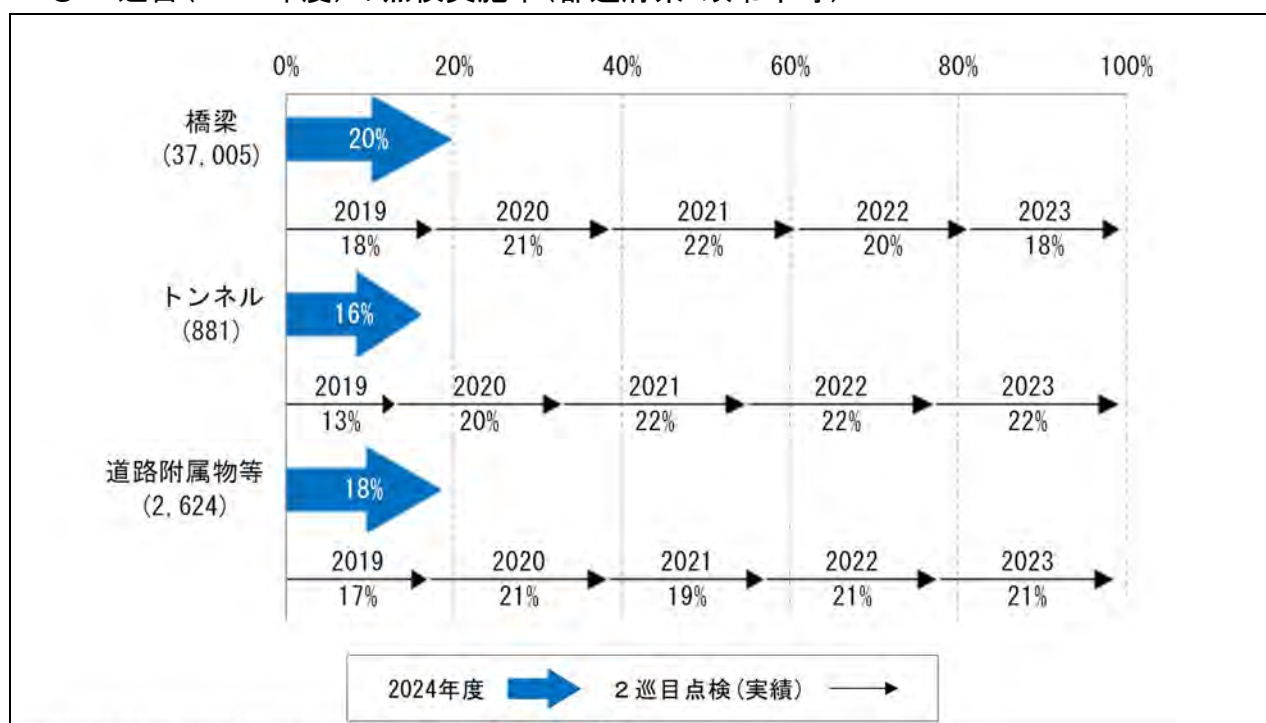
5) 都道府県・政令市等

- 3 巡目（2024 年度）の点検実施率は、橋梁 20%、トンネル 16%、道路附属物等 18%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 39%、Ⅱ 53%、Ⅲ 8%、Ⅳ 0.01%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 71%、Ⅲ 27%、道路附属物等：Ⅰ 29%、Ⅱ 60%、Ⅲ 11%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 3 巡目（2024 年度）の点検実施率（都道府県・政令市等）



※()内は、2024 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

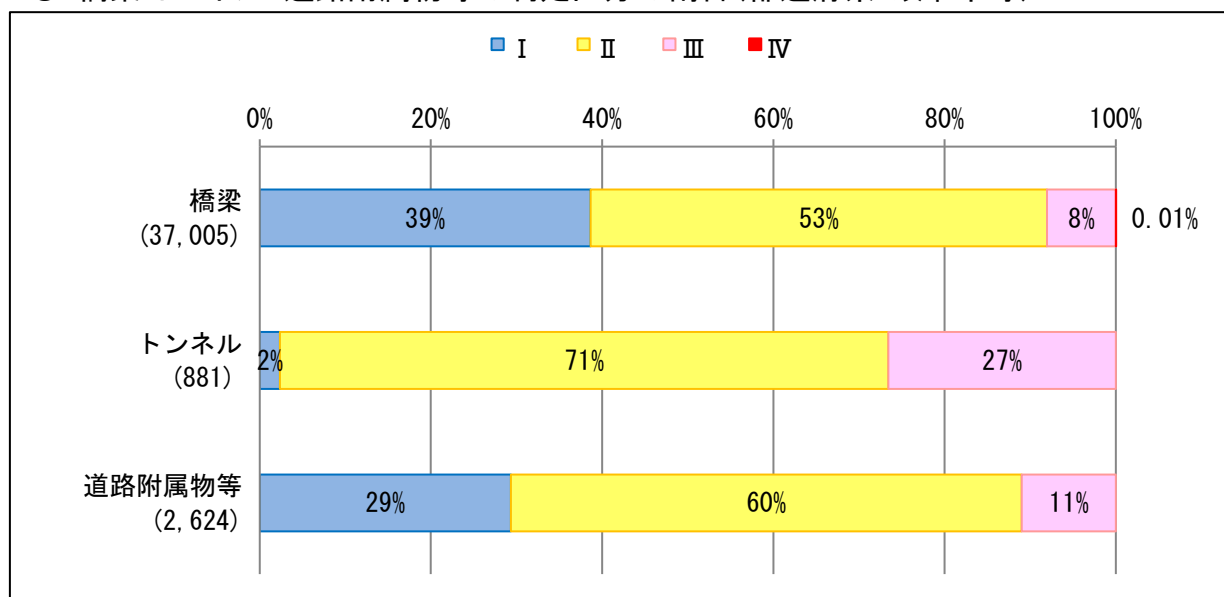
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	188,908	187,455	37,005	20% (18%)
トンネル	5,568	5,444	881	16% (13%)
道路附属物等	14,303	14,194	2,624	18% (17%)

2025.3 末時点

※1: 2025 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2 巡目（2019 年度）における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（都道府県・政令市等）



※()内は、2024 年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分 上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	37,005	14,305	19,727	2,968	5
		39%	53%	8%	0.01%
トンネル	881	21	626	234	0
		2%	71%	27%	0%
道路附属物等	2,624	770	1,565	289	0
		29%	60%	11%	0%

2025.3 末時点

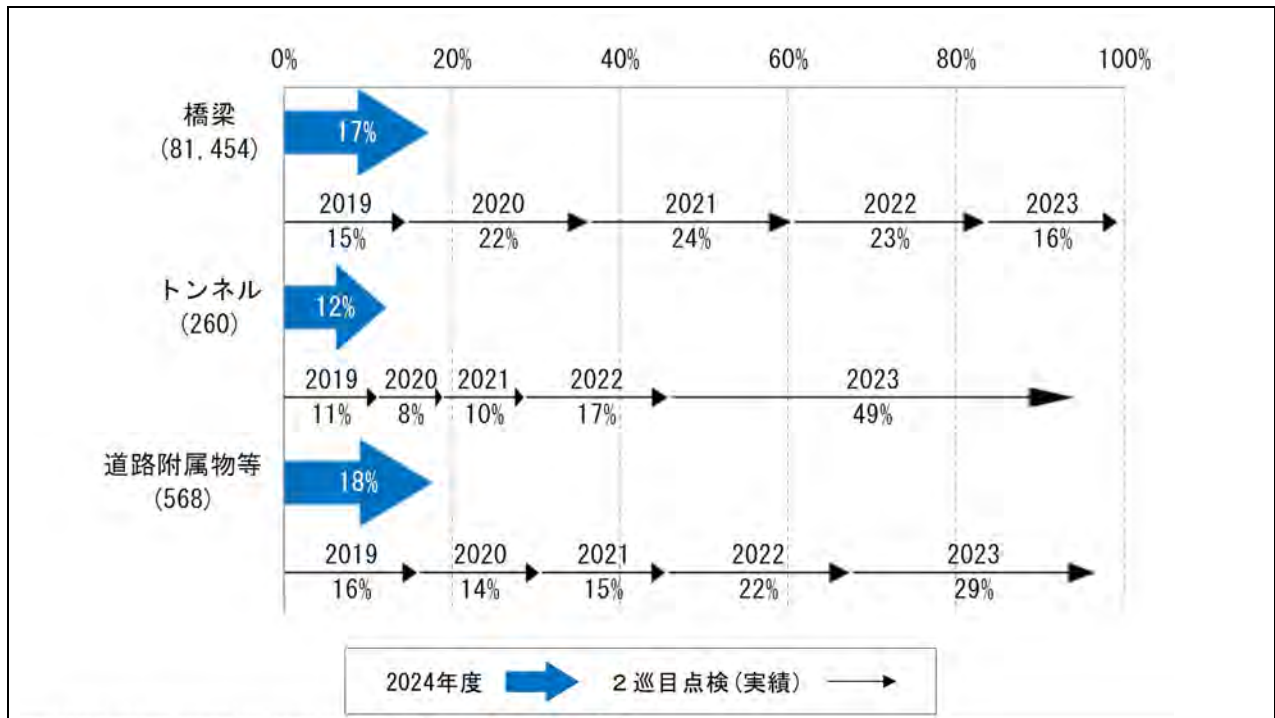
6)市区町村

- 3巡目（2024年度）の点検実施率は、橋梁 17%、トンネル 12%、道路附属物等 18%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 48%、Ⅱ 46%、Ⅲ 6%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 4%、Ⅱ 71%、Ⅲ 23%、Ⅳ 2%、道路附属物等：Ⅰ 32%、Ⅱ 58%、Ⅲ 10%、Ⅳ 0.2%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 3巡目（2024年度）の点検実施率（市区町村）



※()内は、2024年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

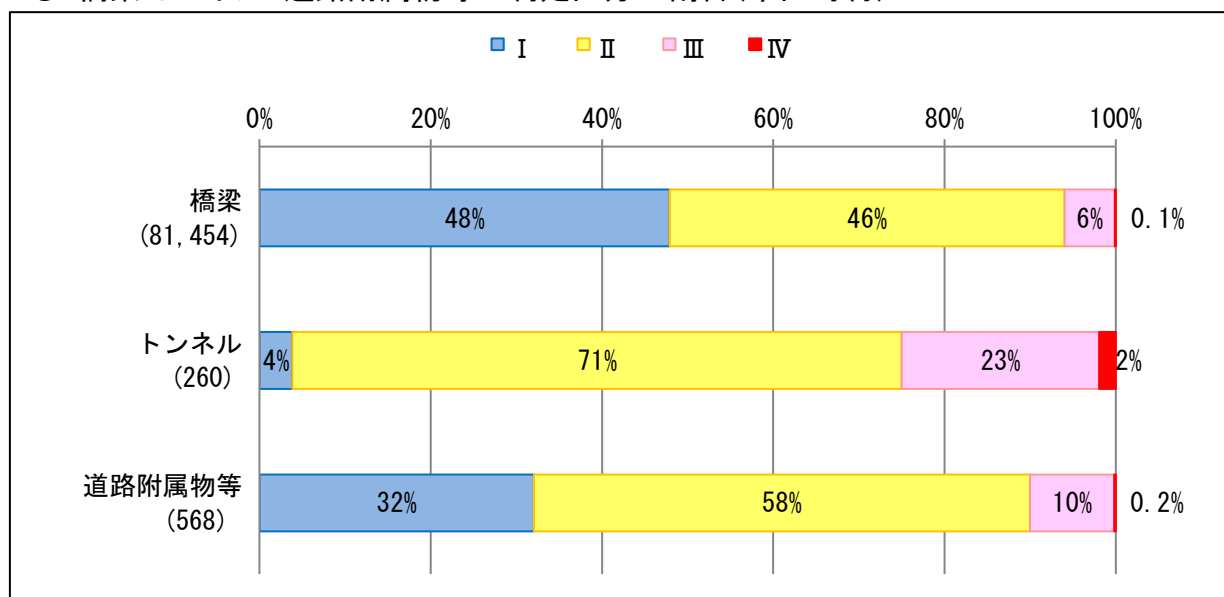
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	476,780	474,491	81,454	17% (15%)
トンネル	2,152	2,136	260	12% (11%)
道路附属物等	3,275	3,225	568	18% (16%)

2025.3 末時点

※1:2025年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

※2:点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2巡目(2019年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（市区町村）



※()内は、2024 年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	81,454	39,013	37,562	4,806	73
		48%	46%	6%	0.1%
トンネル	260	10	185	60	5
		4%	71%	23%	2%
道路附属物等	568	182	329	56	1
		32%	58%	10%	0.2%

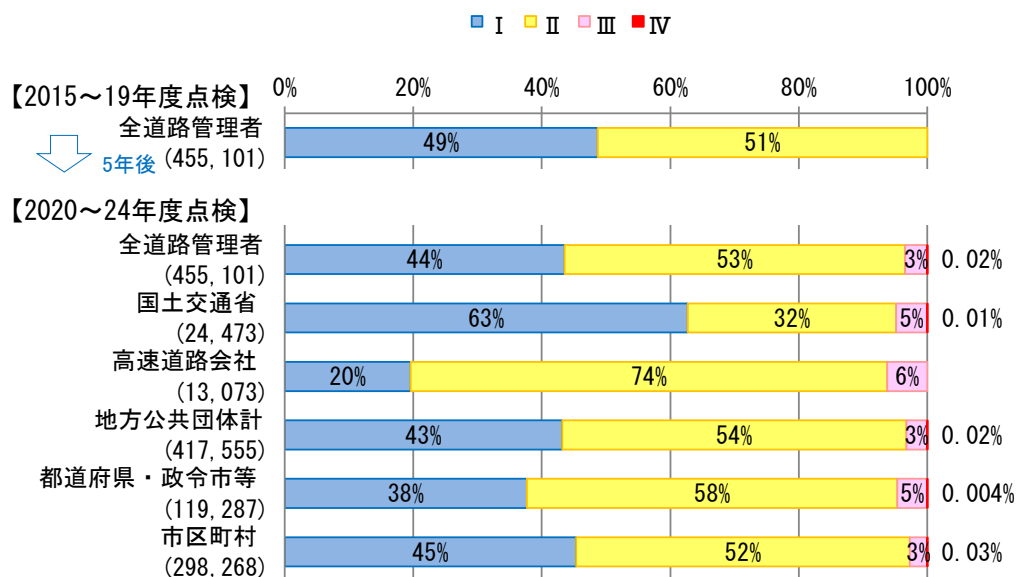
2025.3 末時点

(2) 判定区分Ⅰ・Ⅱの施設の5年後の判定区分Ⅲ・Ⅳへの遷移状況

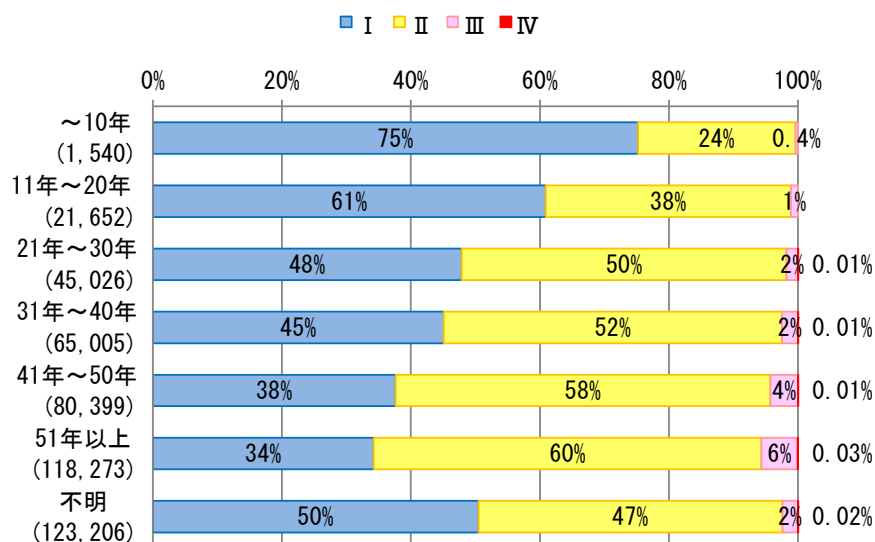
1) 橋梁

- 2015～2019年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（区分Ⅰ・Ⅱ）と判定された橋梁のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2020～2024年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した橋梁の割合は全道路管理者合計で3%です。
- 建設後経過年数に比例して、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

○ 管理者別の判定区分の遷移状況



○ 建設後経過年数別の遷移状況(全道路管理者合計)



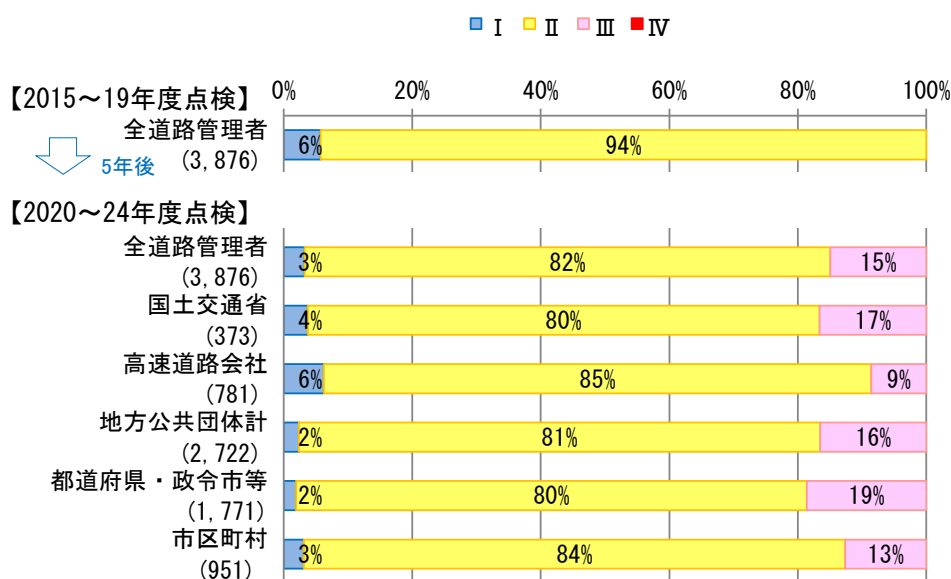
※()内は、直近5年間(2020～2024年度)に点検を実施した橋梁のうち、前回点検を5年前(2015～2019年度)に実施しており、判定区分がⅠまたはⅡで修繕等の措置を講じていない施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

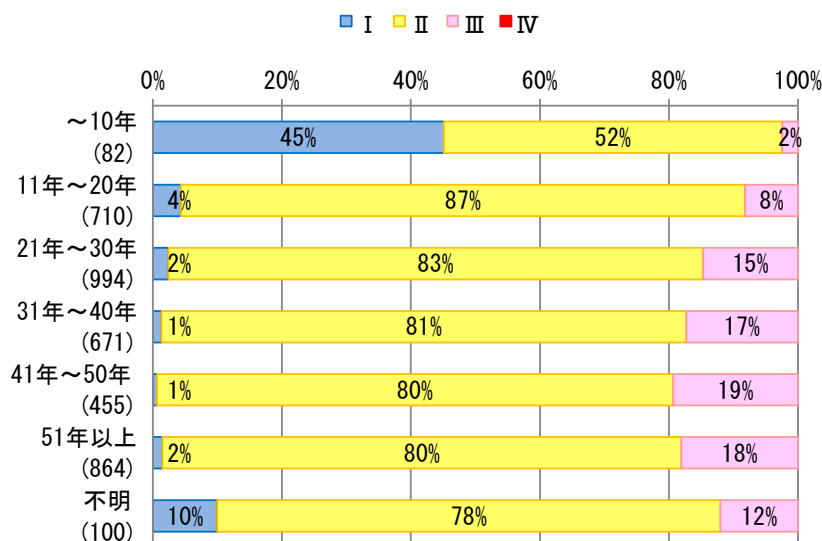
2)トンネル

- 2015～2019年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（区分Ⅰ・Ⅱ）に判定されたトンネルのうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2020～2024年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移したトンネルの割合は全道路管理者合計で15%です。
- 建設後経過年数が21年以上となるトンネルでは、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

○ 管理者別の判定区分の遷移状況



○ 建設後経過年数別の遷移状況(全道路管理者合計)



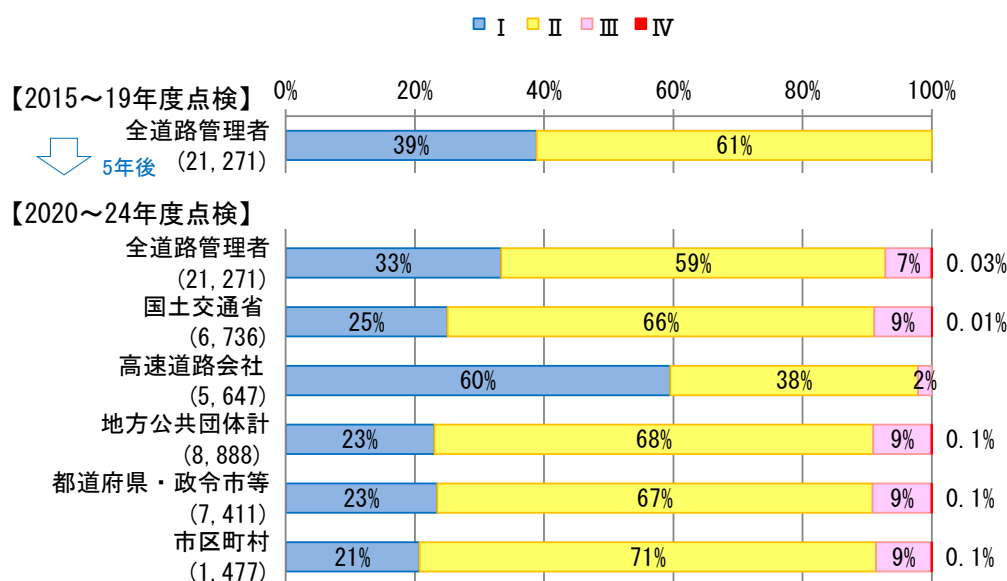
※()内は、直近5年間(2020～2024年度)に点検を実施した橋梁のうち、前回点検を5年前(2015～2019年度)に実施しており、判定区分がⅠまたはⅡで修繕等の措置を講じていない施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

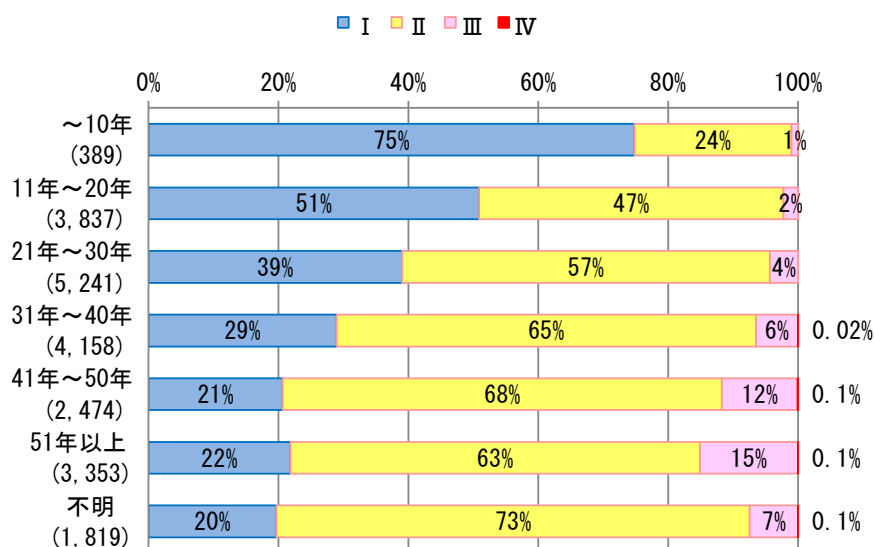
3)道路附属物等

- 2015～2019年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（区分Ⅰ・Ⅱ）に判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2020～2024年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した道路附属物等の割合は全道路管理者合計で7%です。
- 建設後経過年数に比例して、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

○ 管理者別の判定区分の遷移状況



○ 建設後経過年数別の遷移状況(全道路管理者合計)



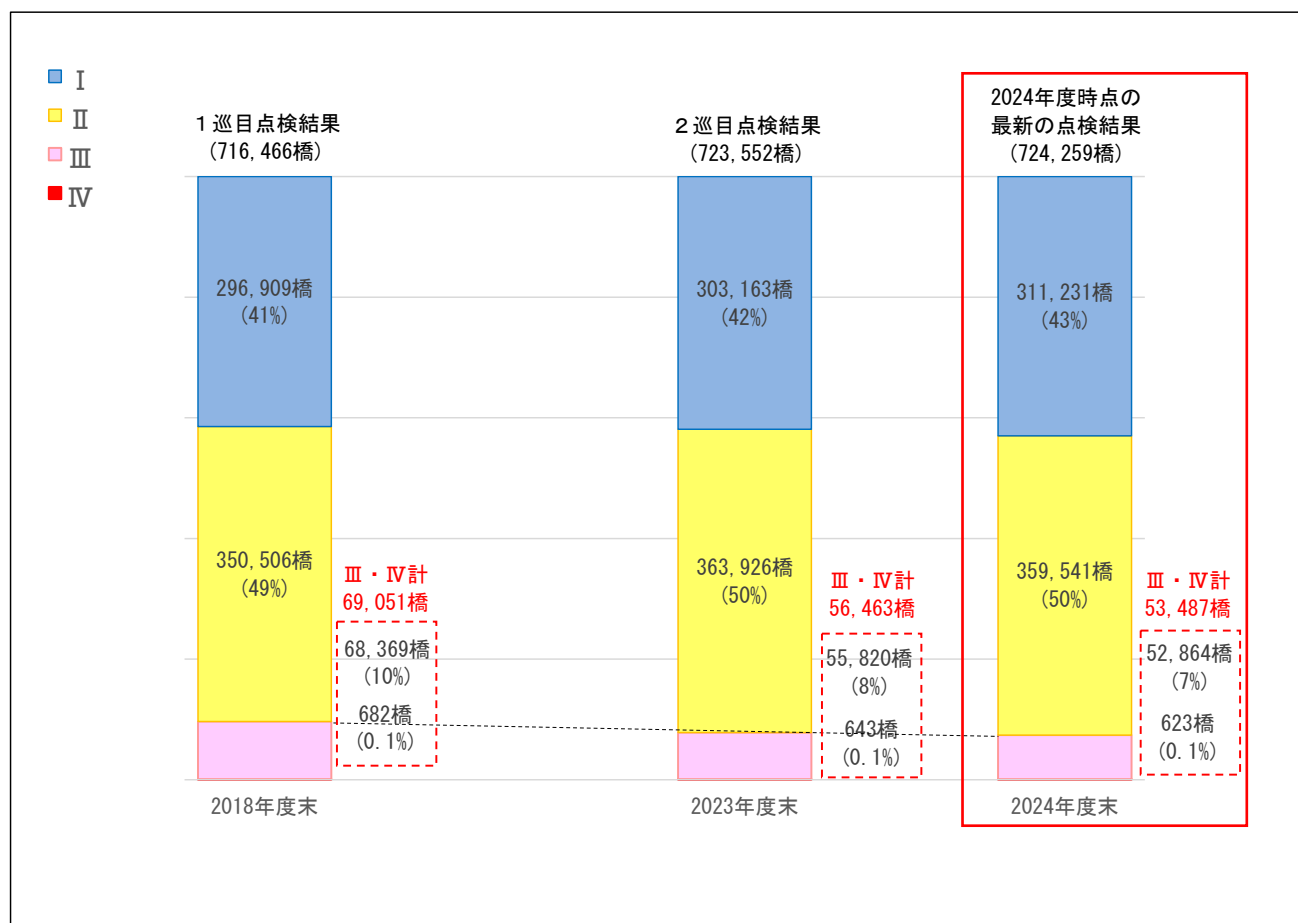
※()内は、直近5年間(2020～2024年度)に点検を実施した橋梁のうち、前回点検を5年前(2015～2019年度)に実施しており、判定区分がⅠまたはⅡで修繕等の措置を講じていない施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

(3) 過年度の点検(2014～2024 年度)の実施施設の判定区分毎の施設数と割合

1) 橋梁

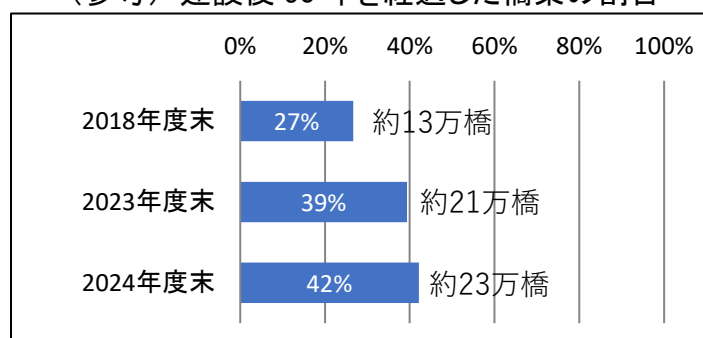
- 過年度の点検(2014～2024 年度)における判定区分の割合は、Ⅰ 43%、Ⅱ 50%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁は53,487橋であった。
- 1巡目点検終了時点と比較すると建設後50年以上経過した橋梁数は増加している一方で、年々判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁数は着実に減少している。



※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

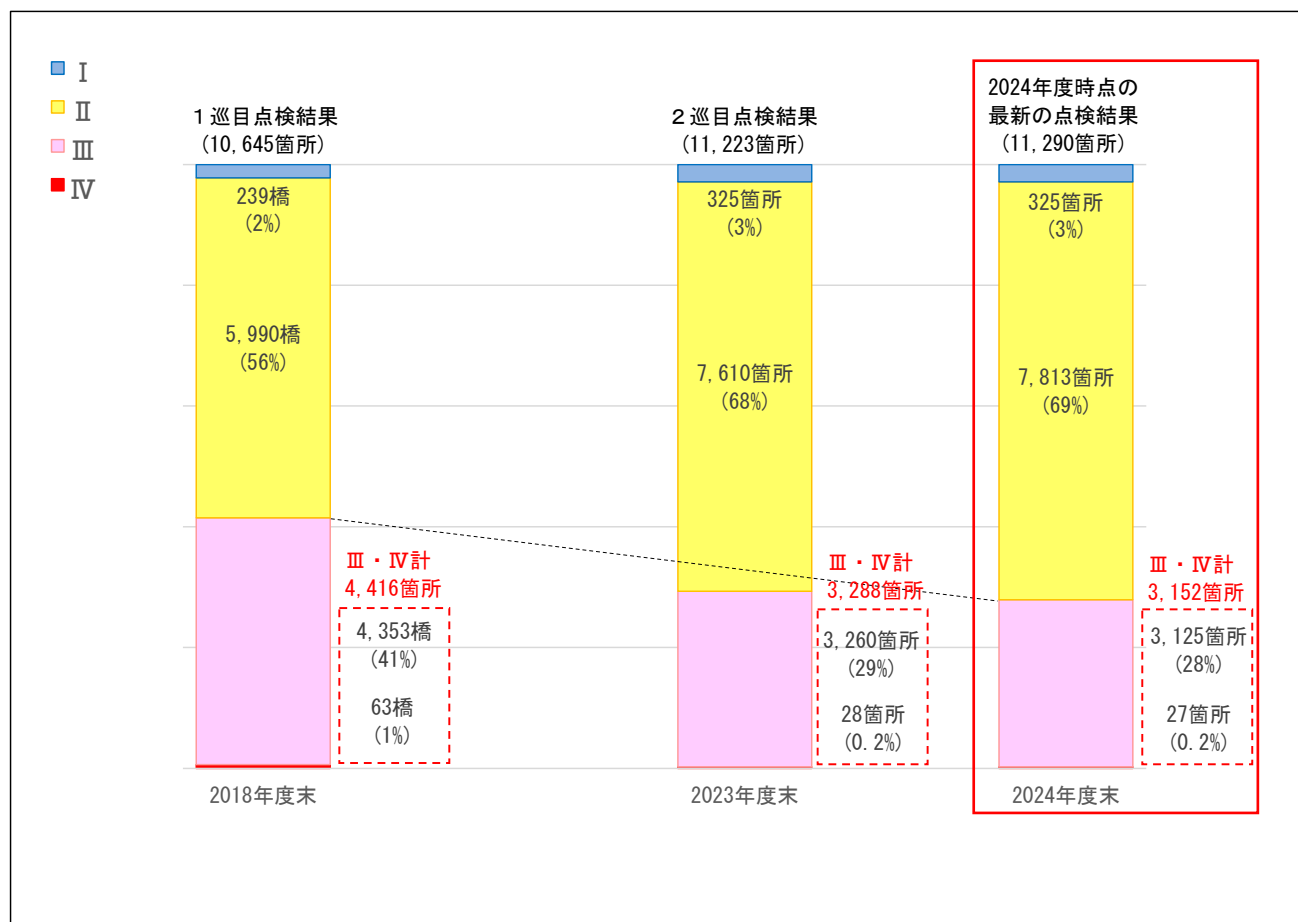
(参考) 建設後50年を経過した橋梁の割合



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁がある。

2)トンネル

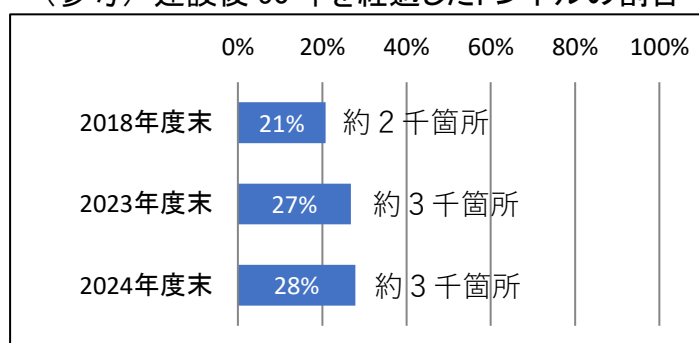
- 過年度の点検（2014～2024 年度）における判定区分の割合は、Ⅰ 3%、Ⅱ 69%、Ⅲ 28%、Ⅳ 0.2%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネルは3,152箇所であった。
- 1巡目点検終了時点と比較すると建設後50年以上経過したトンネル数は増加している一方で、年々判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネル数は着実に減少している。



※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

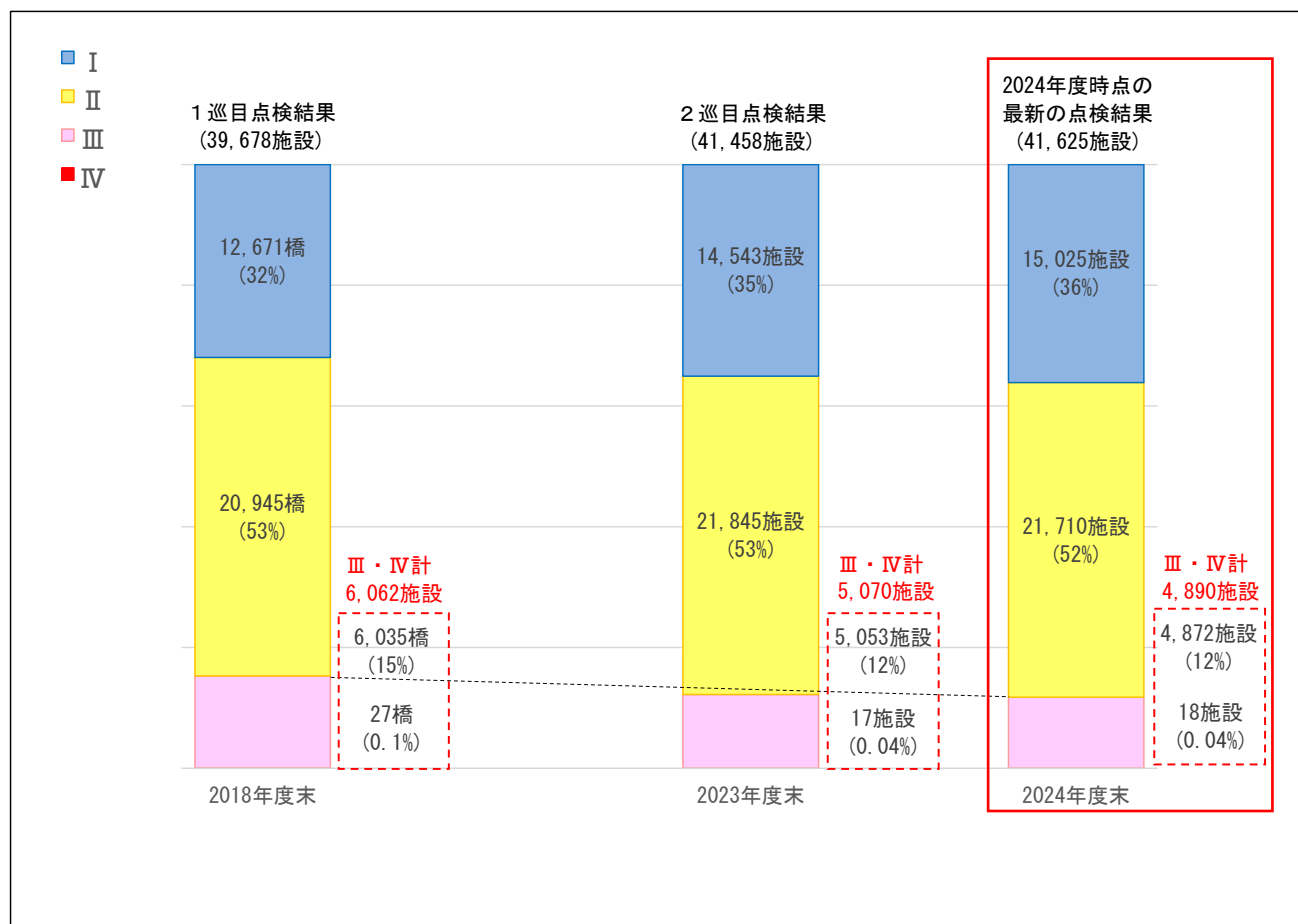
(参考) 建設後50年を経過したトンネルの割合



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルがある。

3) 道路附属物等

- 過年度の点検（2014～2024 年度）における判定区分の割合は、Ⅰ 36%、Ⅱ 52%、Ⅲ 12%、Ⅳ 0.04%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの道路附属物等は 4,890 施設であった。
- 1 巡目点検結果から推移をみると、年々判定区分Ⅲ・Ⅳの道路附属物等数は着実に減少している。



※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

(4) 過年度の点検(2014～2024 年度)の点検結果

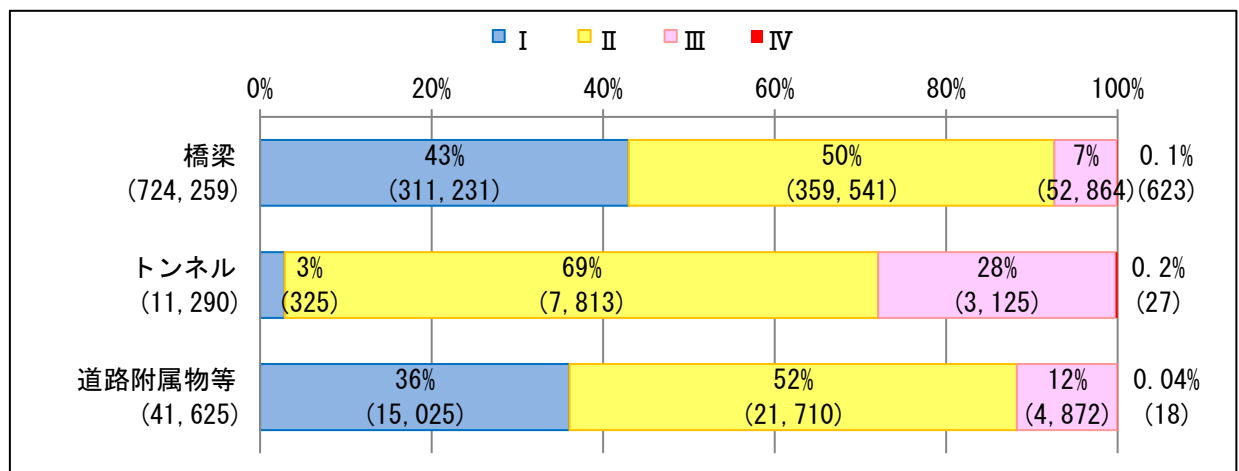
1) 全道路管理者

- 過年度の点検(2014～2024 年度)における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 43%、Ⅱ 50%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 69%、Ⅲ 28%、Ⅳ 0.2%、道路附属物等：Ⅰ 36%、Ⅱ 52%、Ⅲ 12%、Ⅳ 0.04%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(全道路管理者合計)



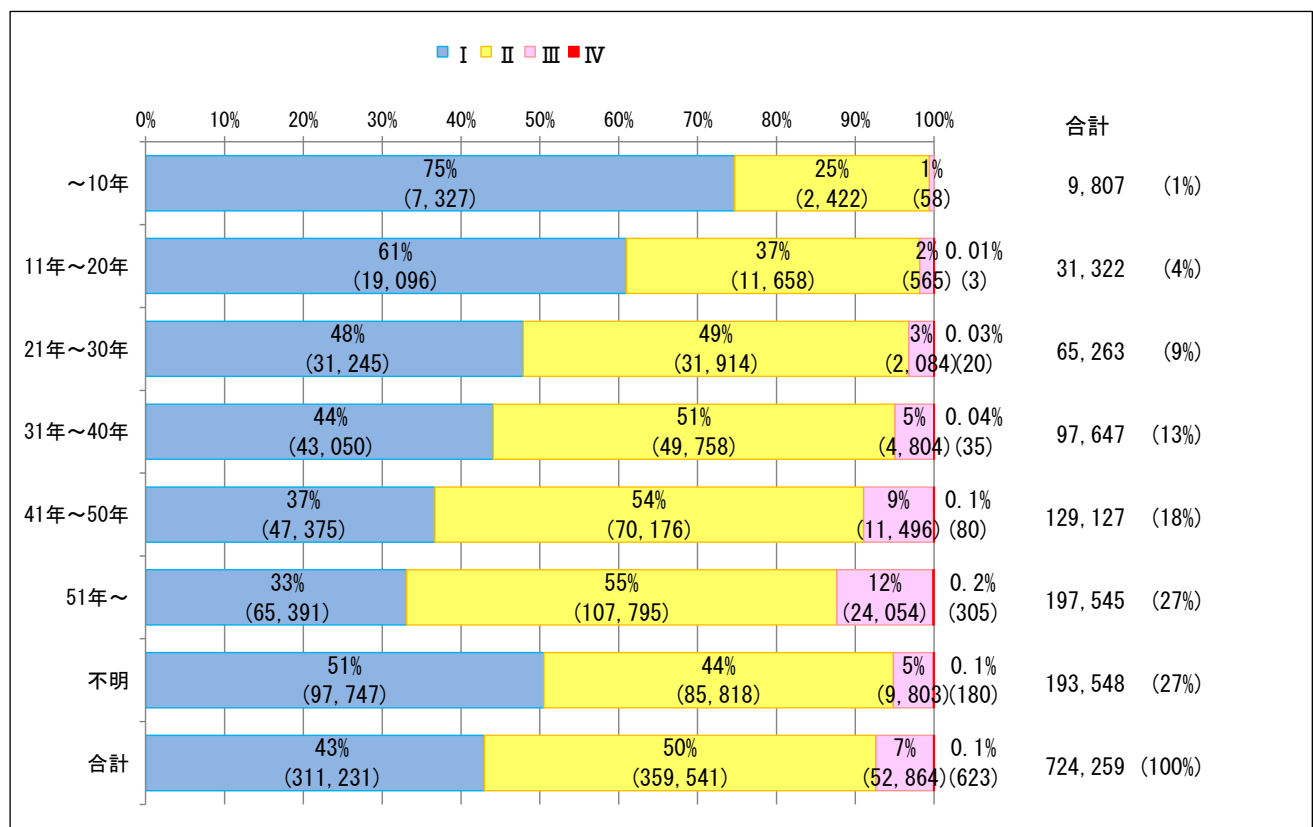
2025.3 末時点

※()内は、2025 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2024 年度に点検を実施した施設数の合計。

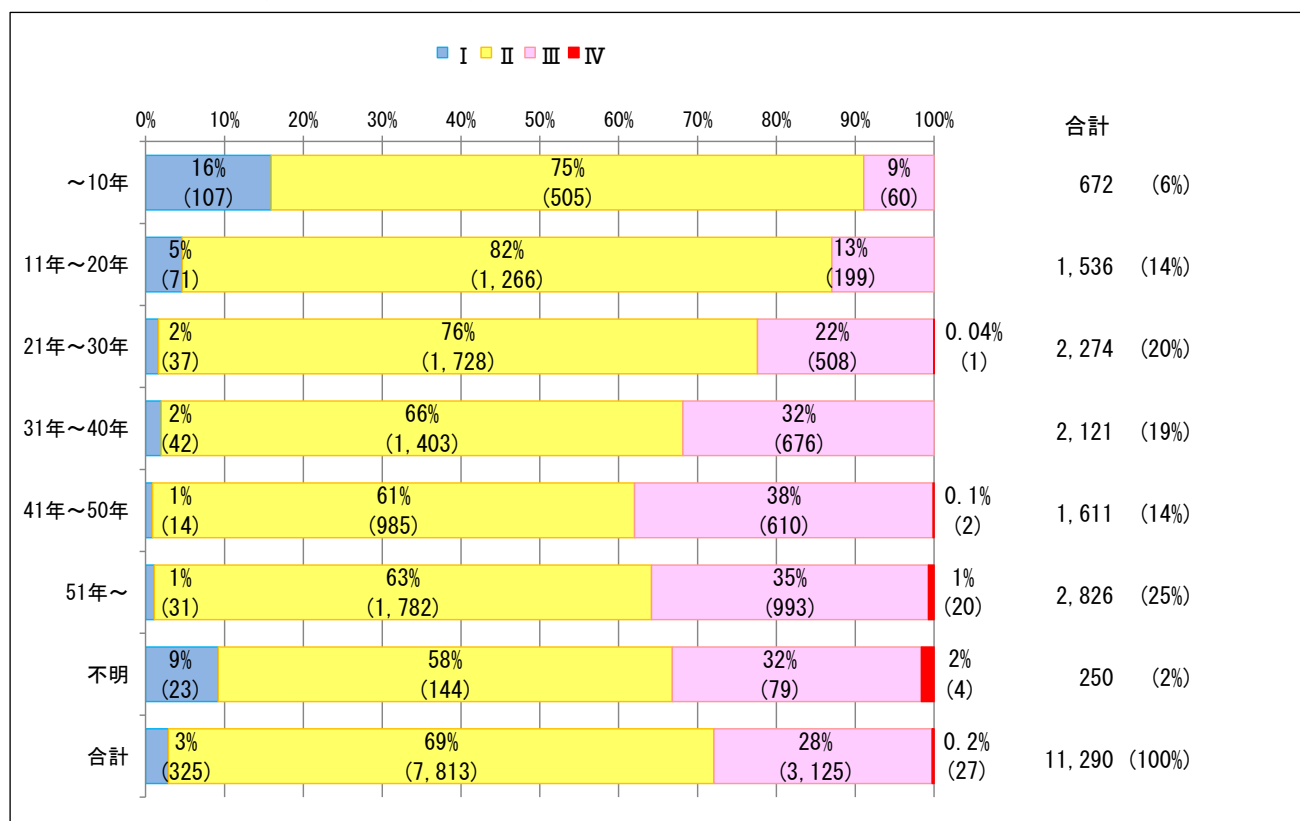
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

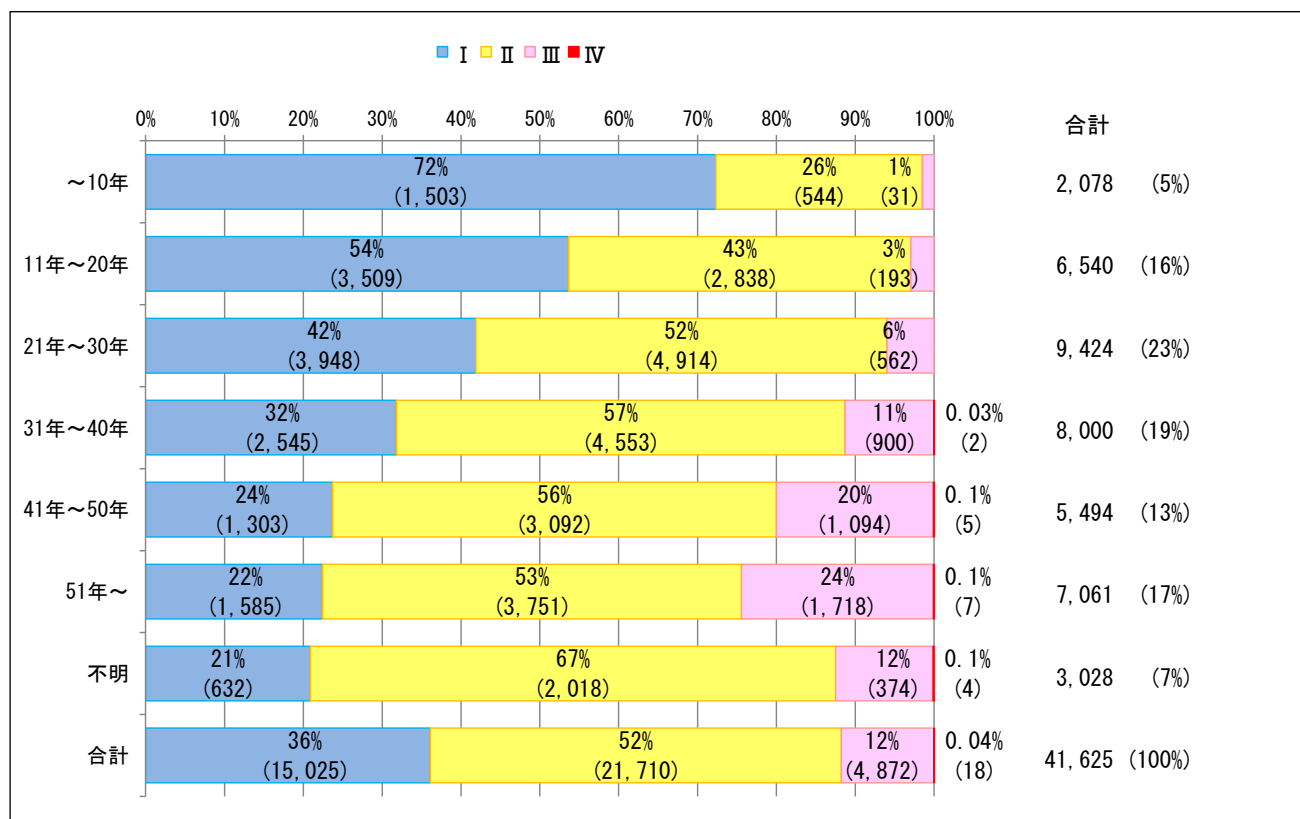
○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



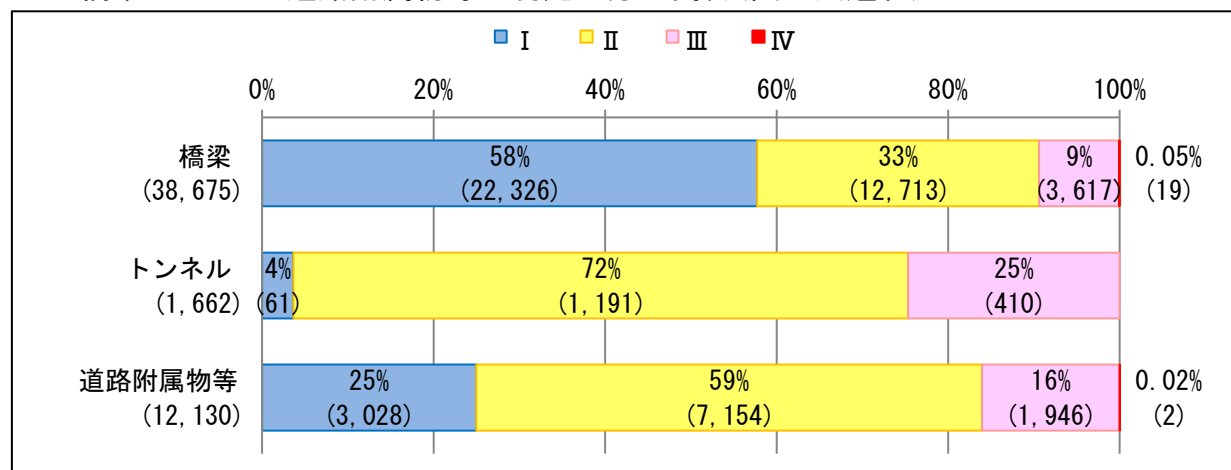
2) 国土交通省

- 過年度の点検（2014～2024 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 58%、Ⅱ 33%、Ⅲ 9%、Ⅳ 0.05%、トンネル：Ⅰ 4%、Ⅱ 72%、Ⅲ 25%、道路附属物等：Ⅰ 25%、Ⅱ 59%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.02%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（国土交通省）



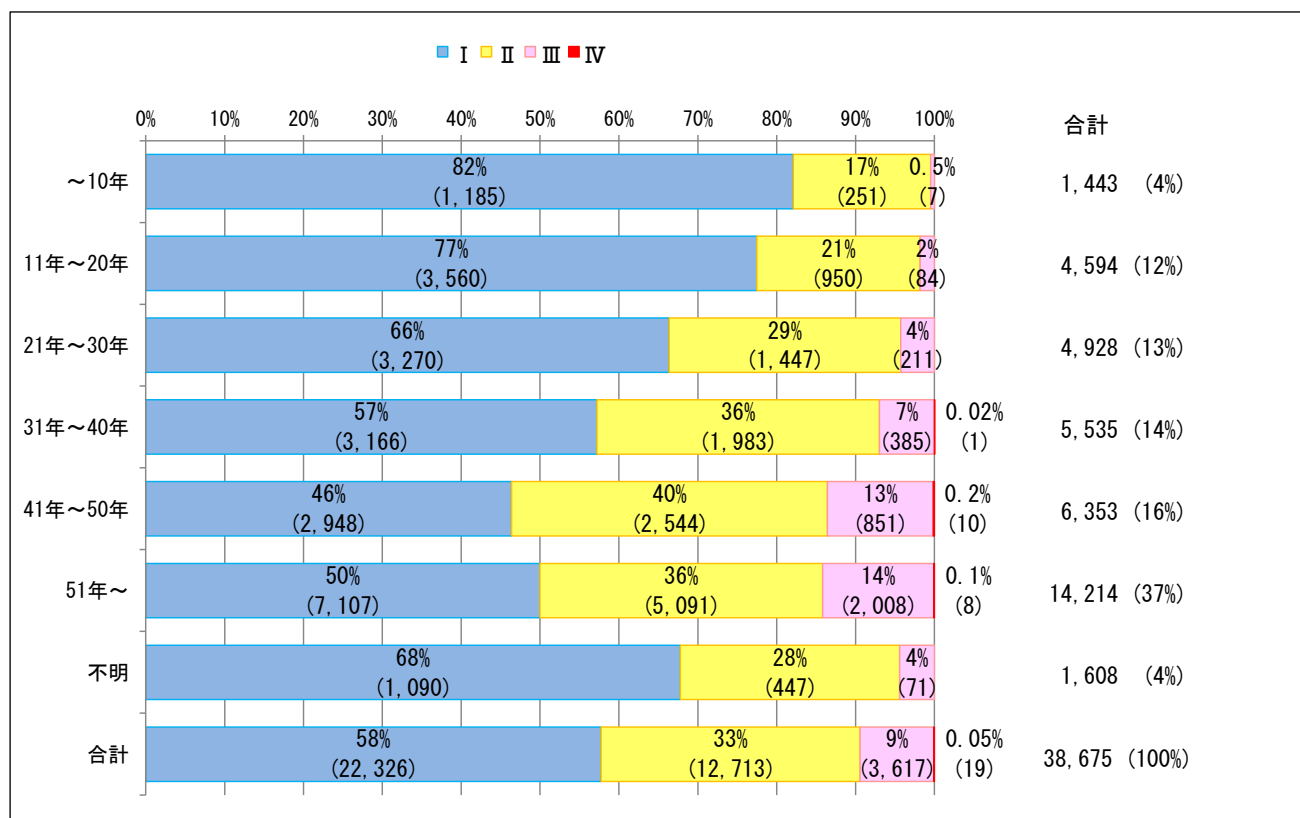
2025.3 末時点

※()内は、2025 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2024 年度に点検を実施した施設数の合計。

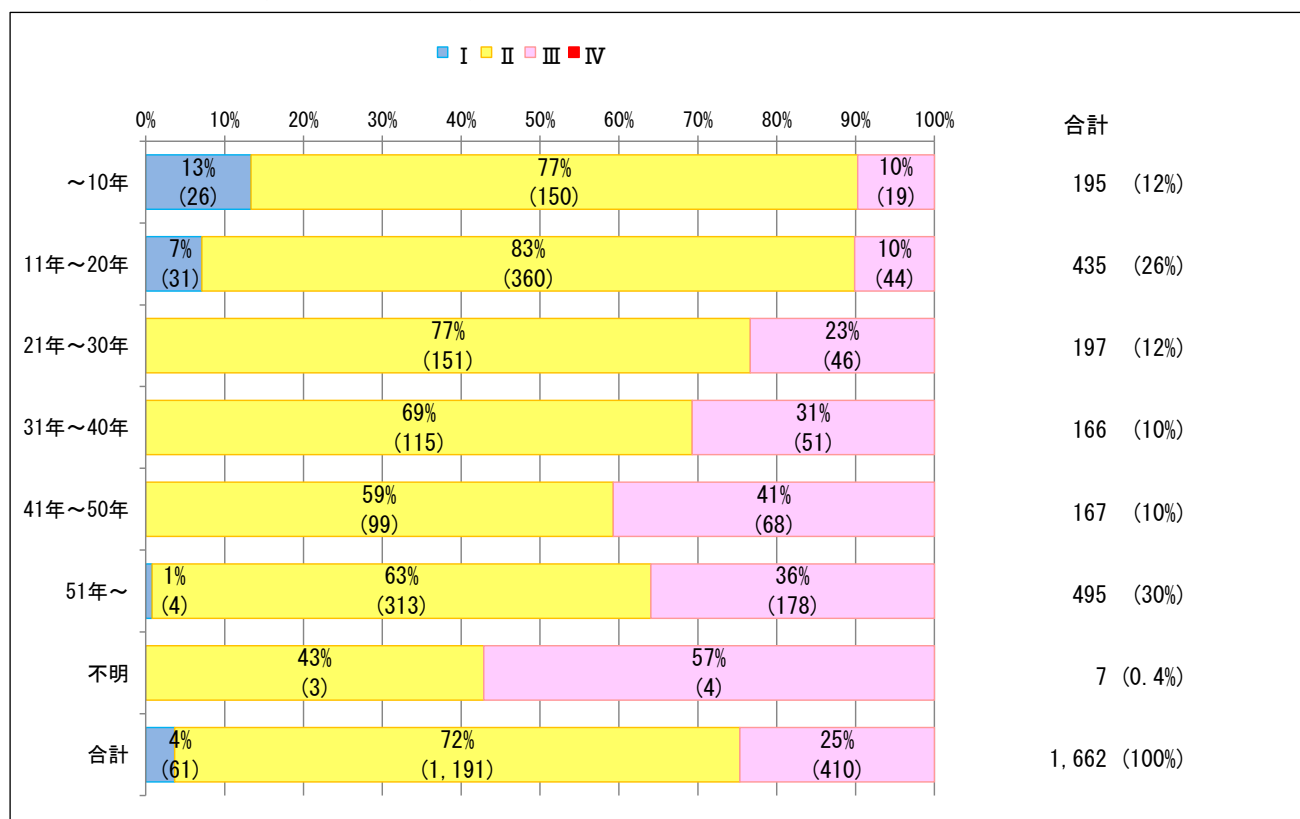
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

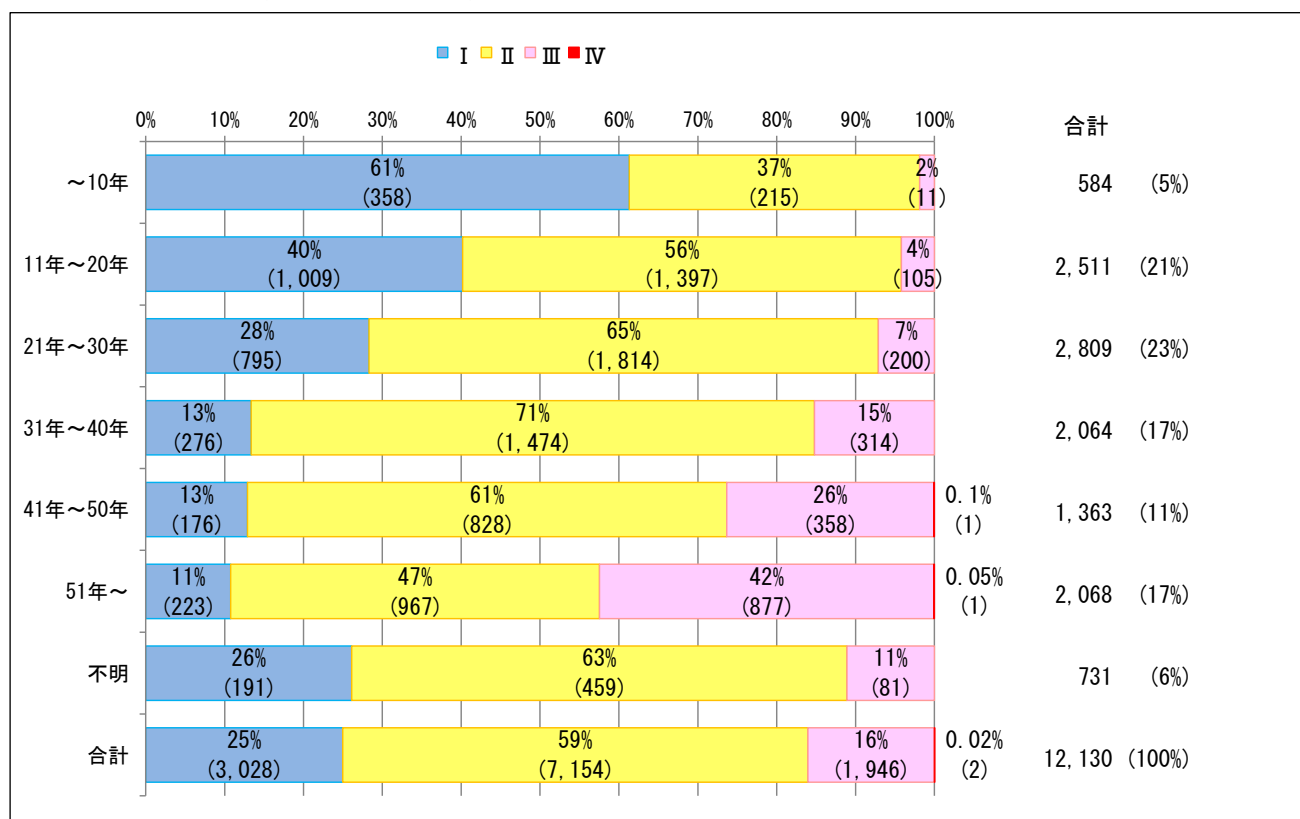
○ 判定区分と建設後経過年数（橋梁）



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



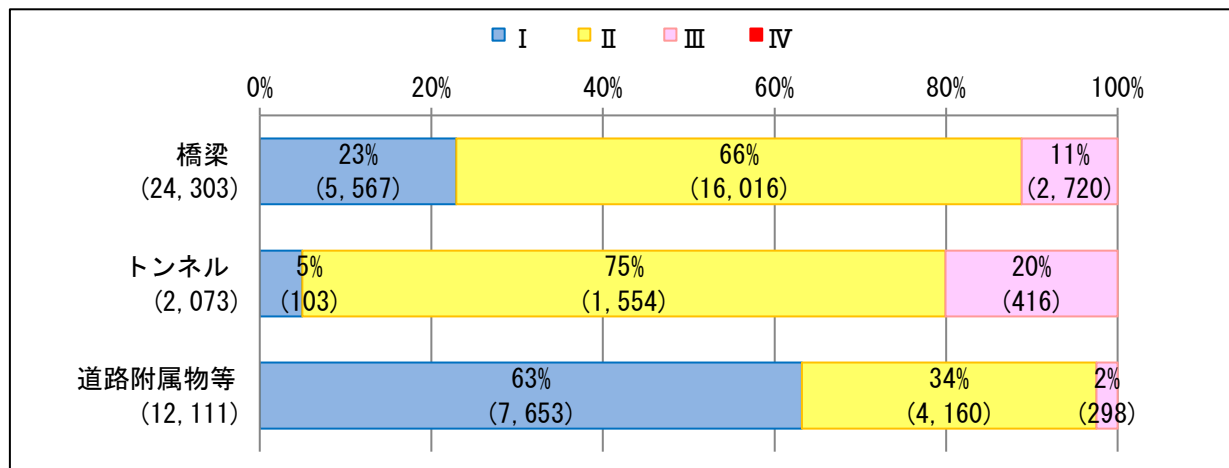
3) 高速道路会社

- 過年度の点検（2014～2024 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 23%、Ⅱ 66%、Ⅲ 11%、トンネル：Ⅰ 5%、Ⅱ 75%、Ⅲ 20%、道路附属物等：Ⅰ 63%、Ⅱ 34%、Ⅲ 2%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（高速道路会社）



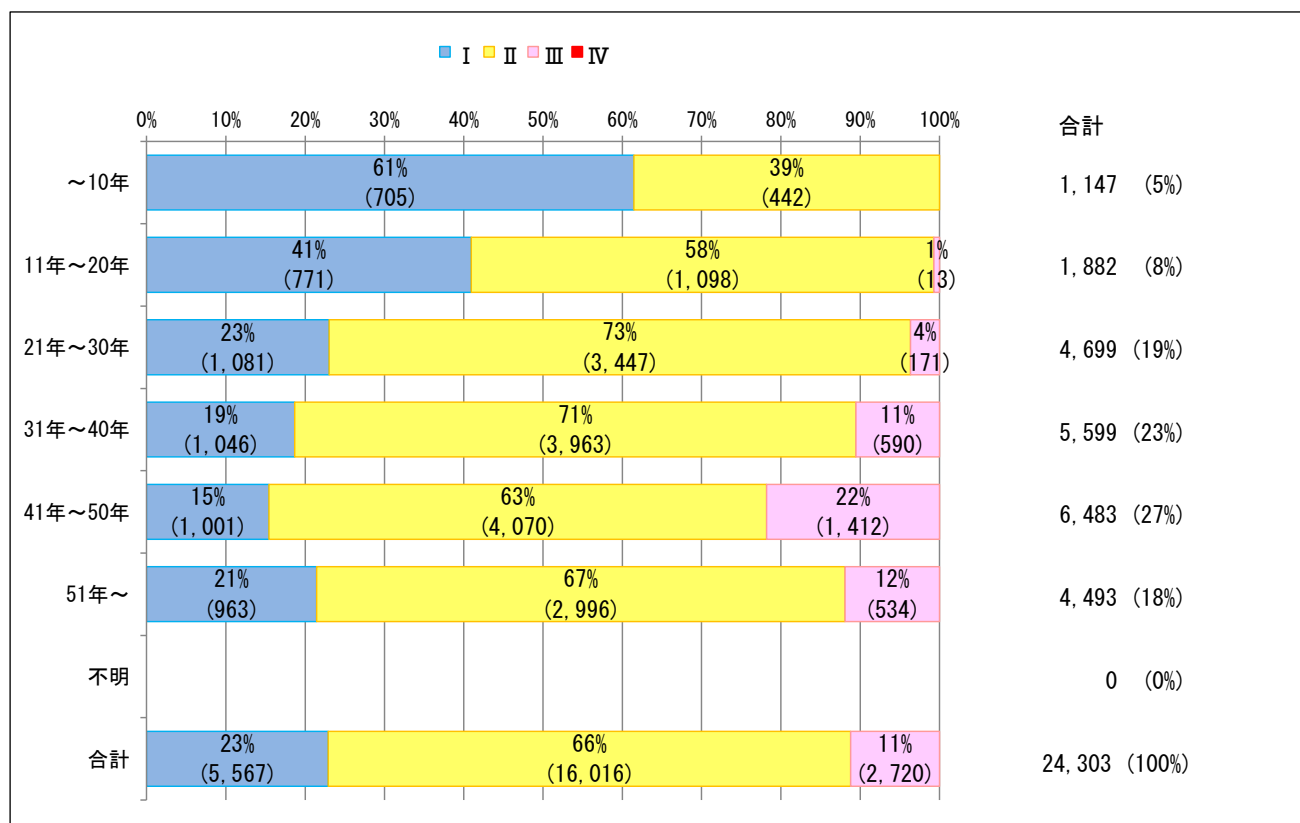
2025.3 末時点

※()内は、2025 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2024 年度に点検を実施した施設数の合計。

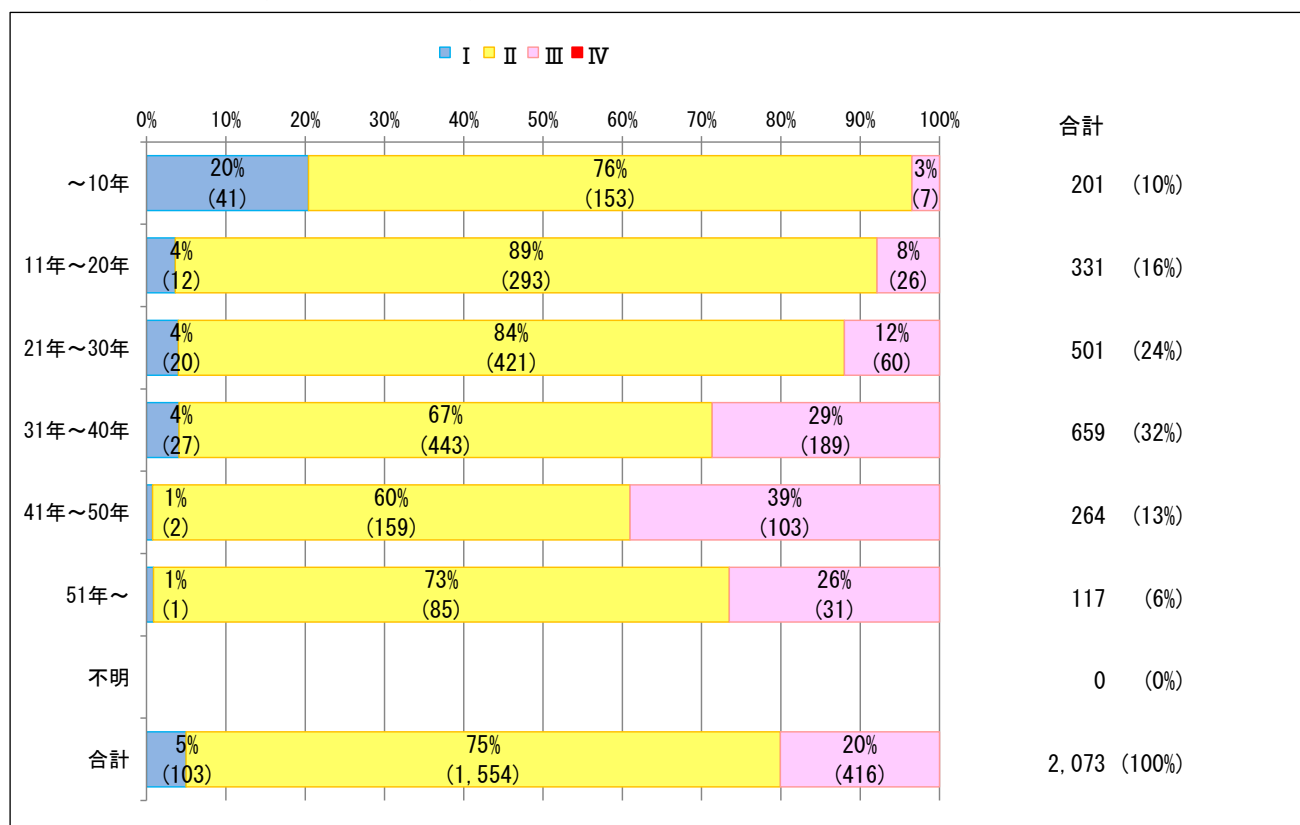
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

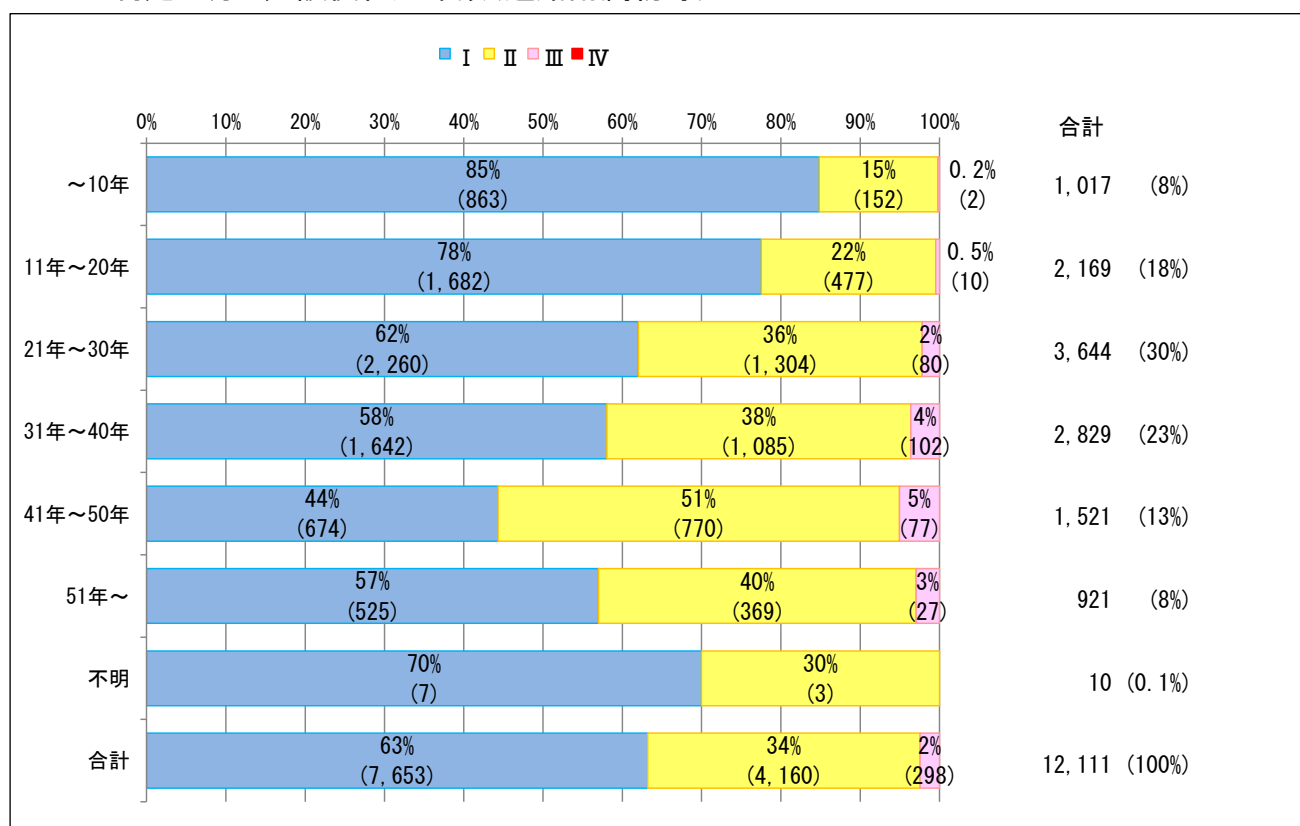
○ 判定区分と建設後経過年数（橋梁）



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



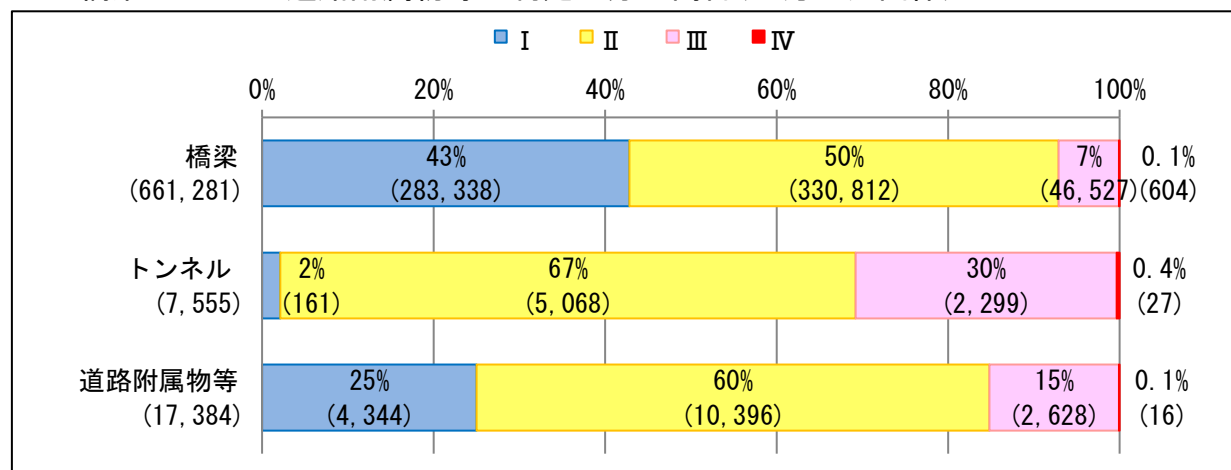
4) 地方公共団体

- 過年度の点検（2014～2024 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 43%、Ⅱ 50%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 67%、Ⅲ 30%、Ⅳ 0.4%、道路附属物等：Ⅰ 25%、Ⅱ 60%、Ⅲ 15%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（地方公共団体）



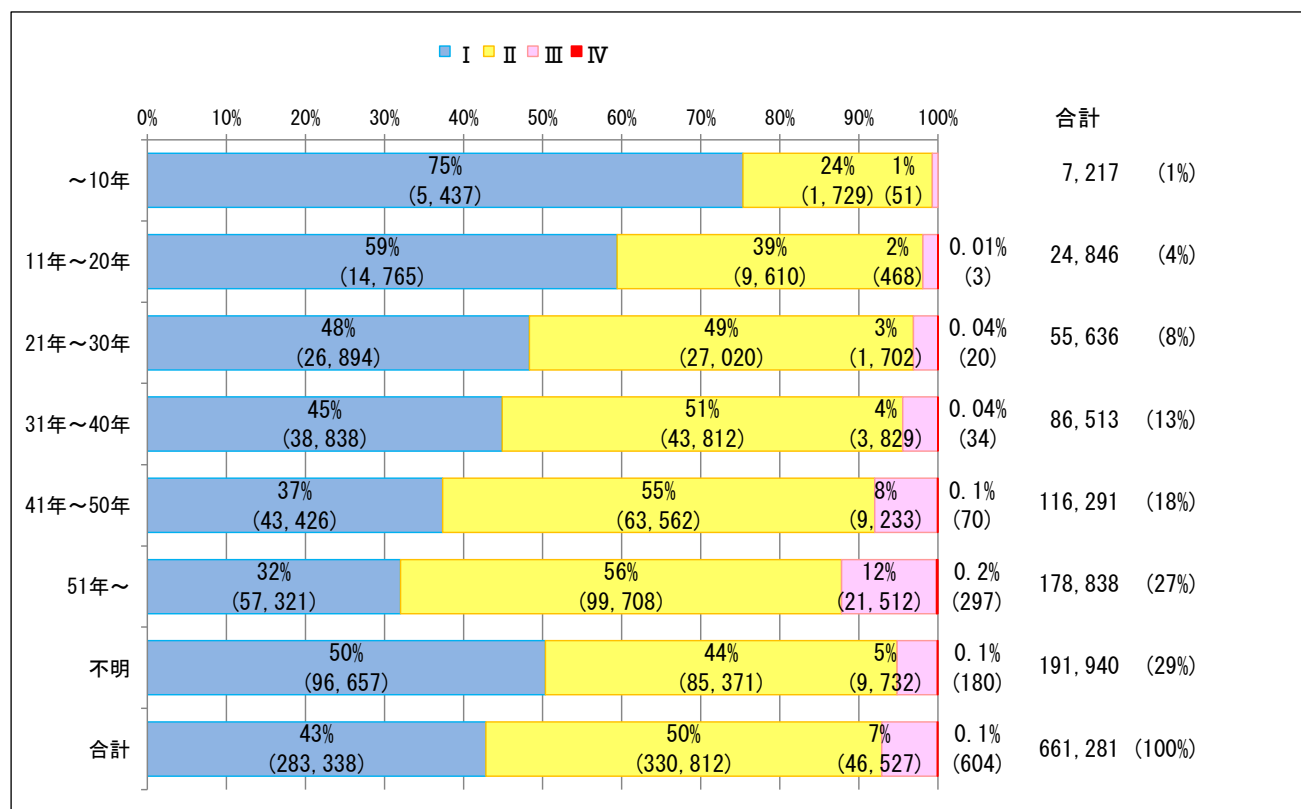
2025.3 末時点

※()内は、2025 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2024 年度に点検を実施した施設数の合計。

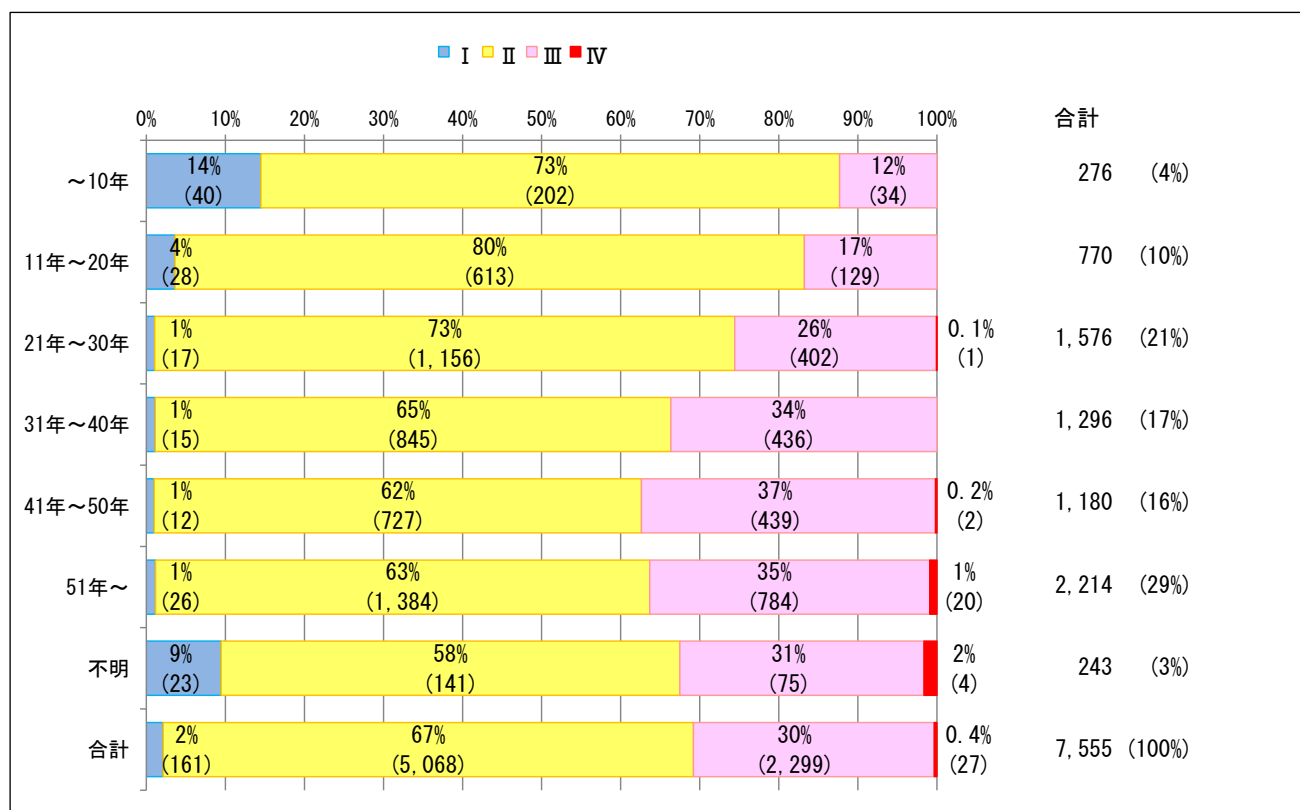
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

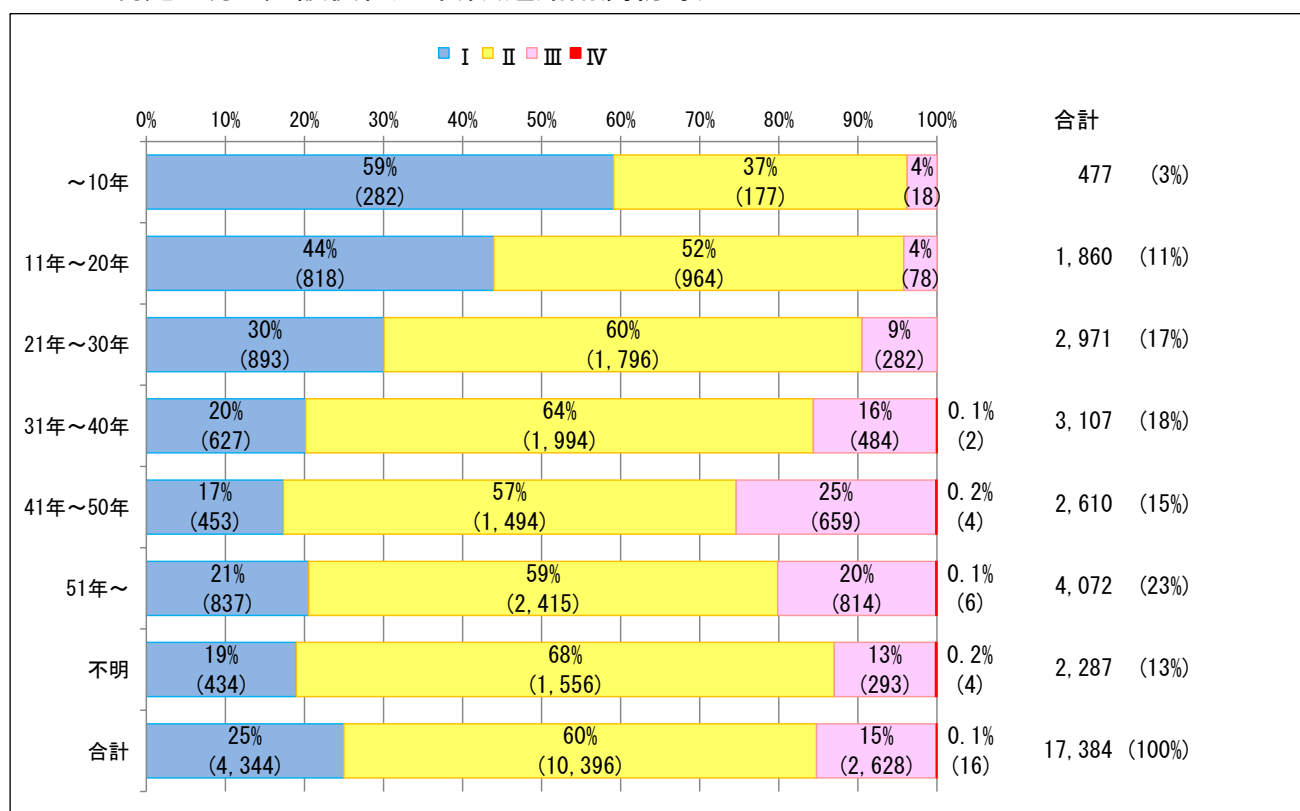
○ 判定区分と建設後経過年数（橋梁）



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



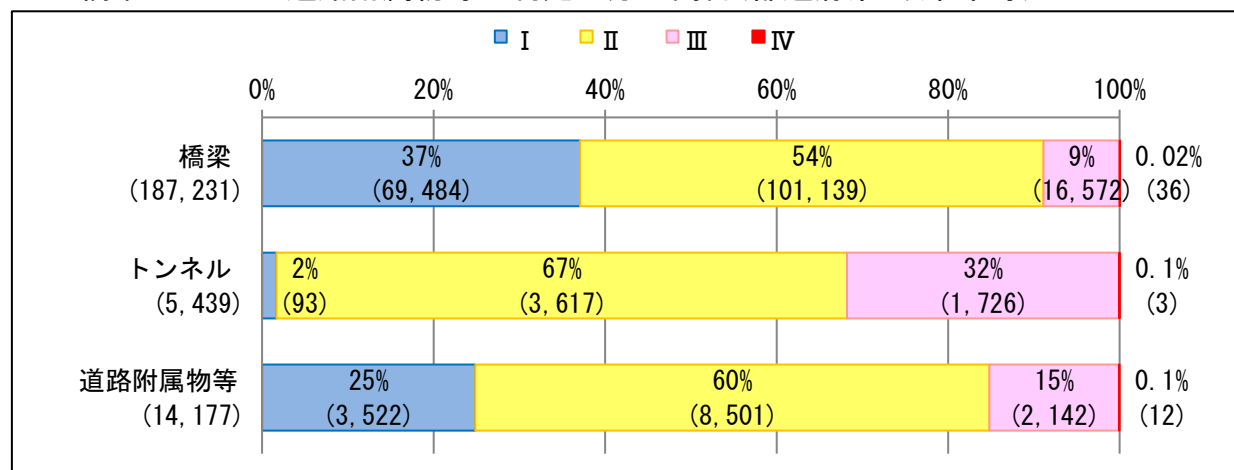
5) 都道府県・政令市等

- 過年度の点検（2014～2024 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 37%、Ⅱ 54%、Ⅲ 9%、Ⅳ 0.02%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 67%、Ⅲ 32%、Ⅳ 0.1%、道路附属物等：Ⅰ 25%、Ⅱ 60%、Ⅲ 15%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（都道府県・政令市等）



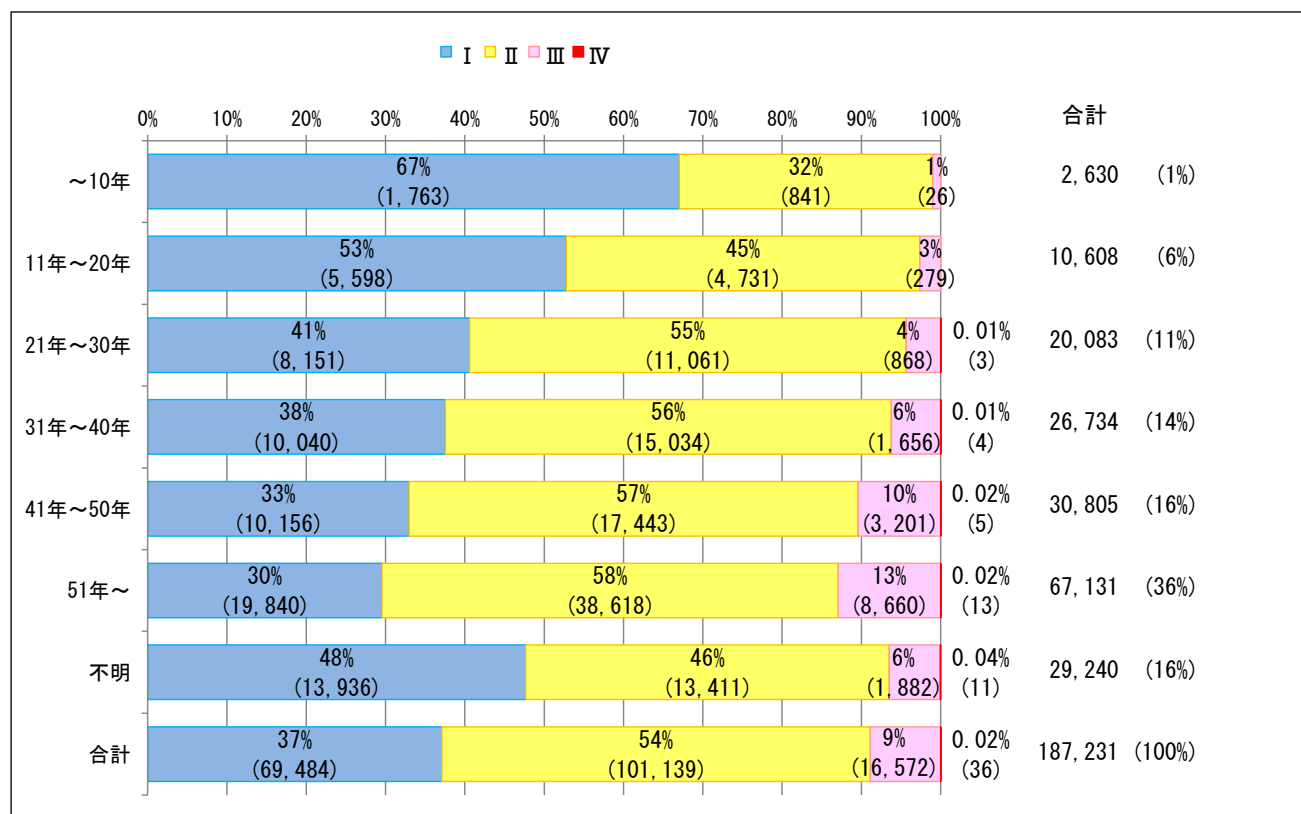
2025.3 末時点

※()内は、2025 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2024 年度に点検を実施した施設数の合計。

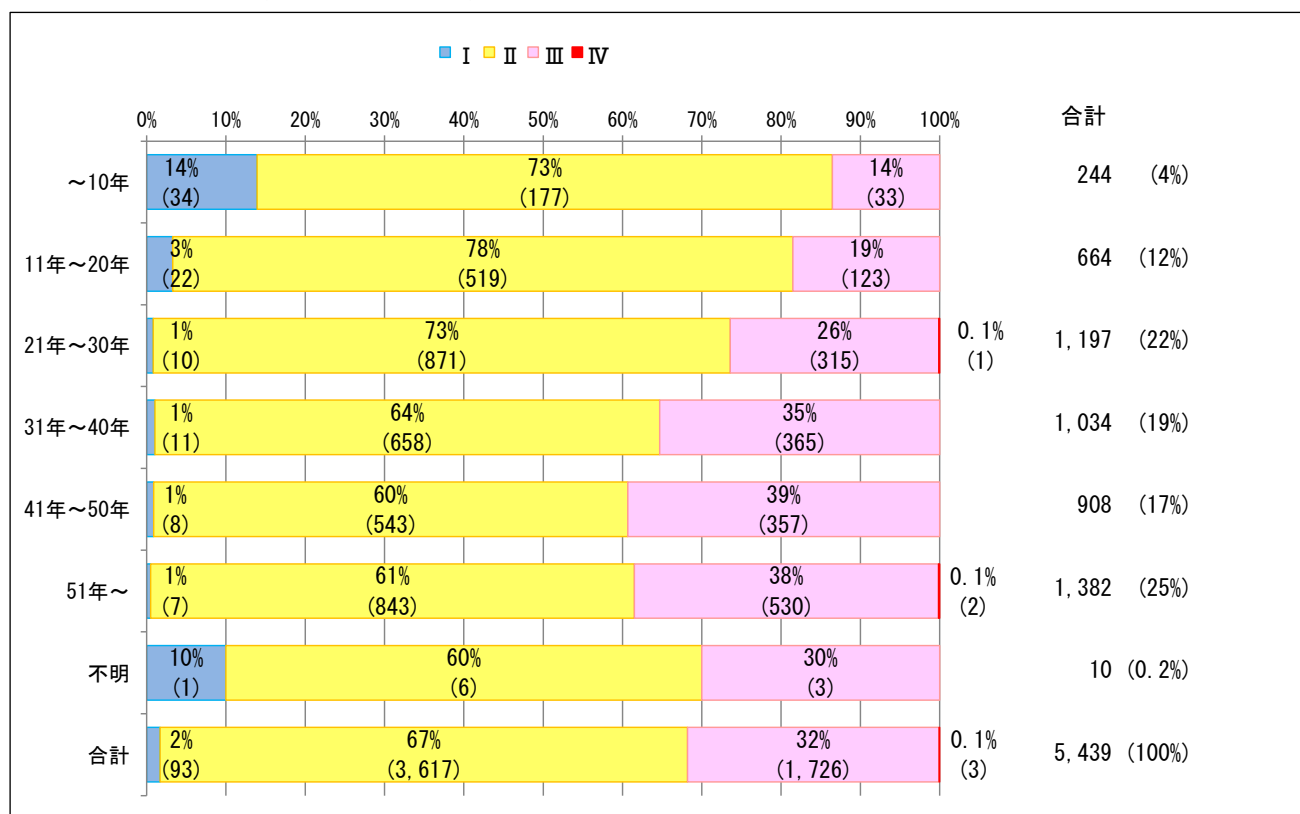
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

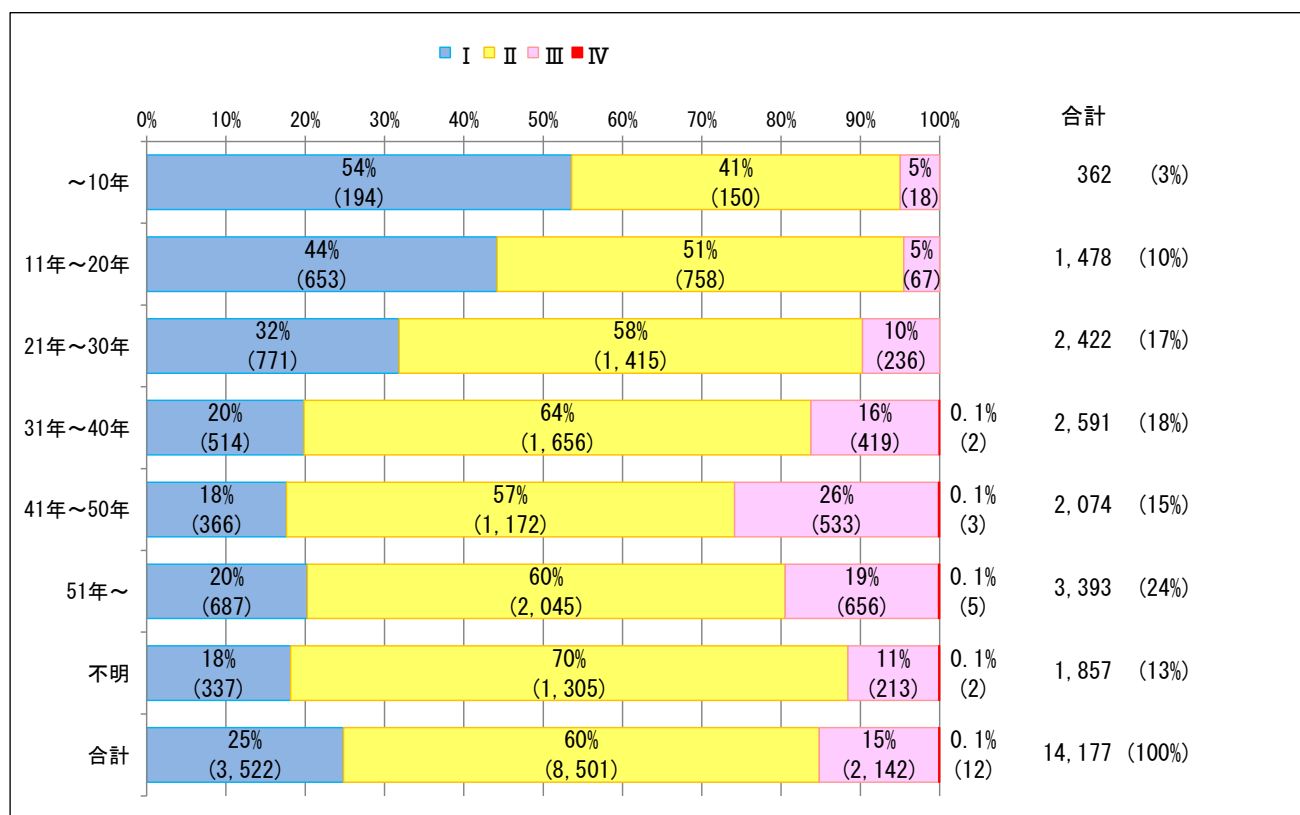
○ 判定区分と建設後経過年数（橋梁）



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



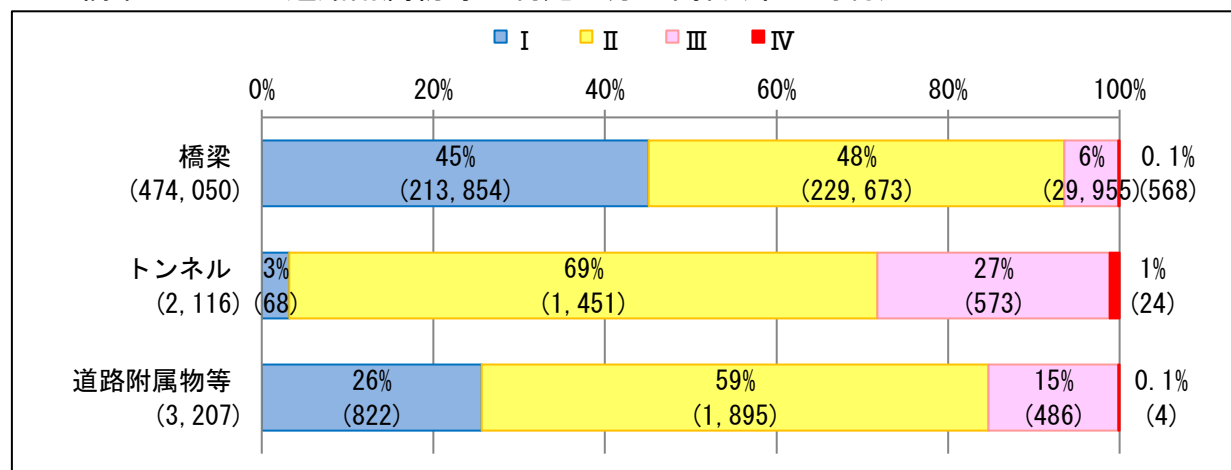
6) 市区町村

- 過年度の点検（2014～2024 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 45%、Ⅱ 48%、Ⅲ 6%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 69%、Ⅲ 27%、Ⅳ 1%、道路附属物等：Ⅰ 26%、Ⅱ 59%、Ⅲ 15%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（市区町村）



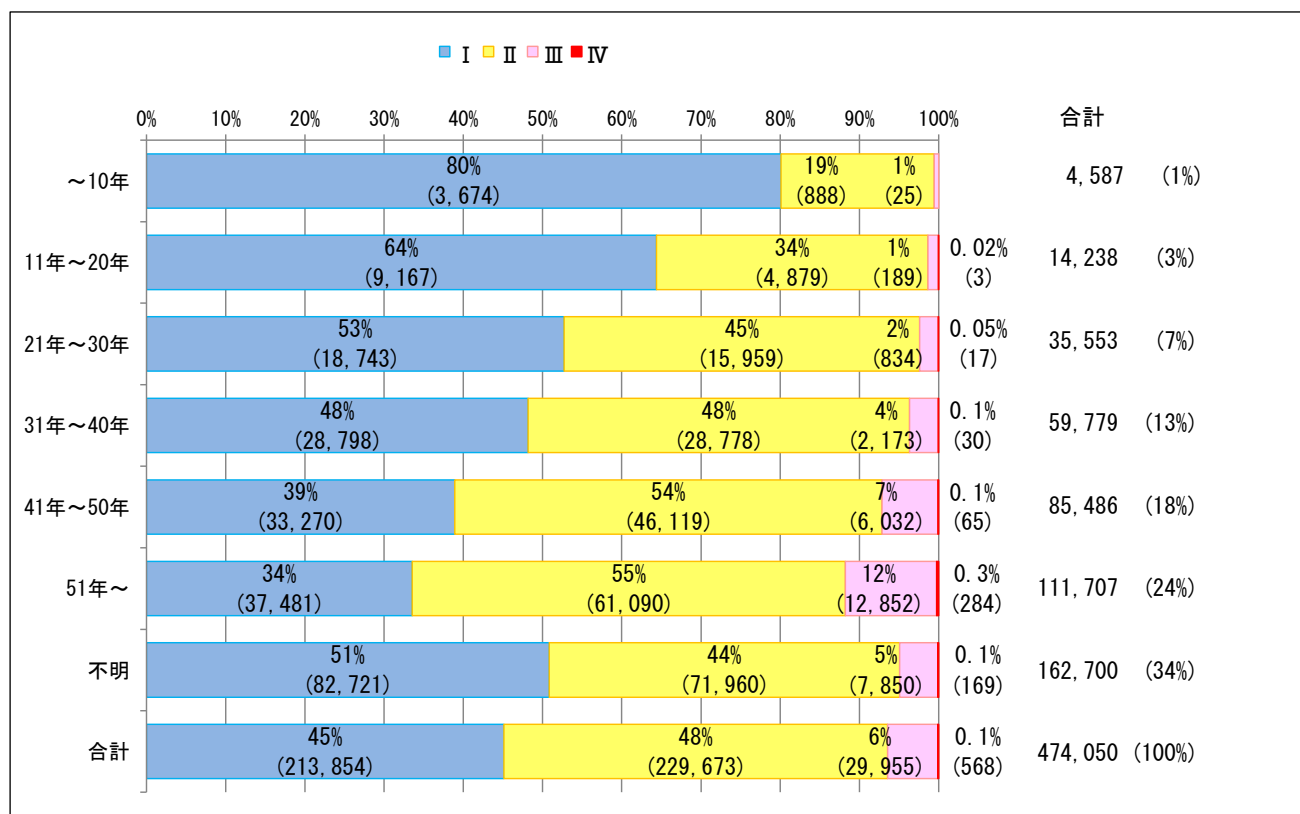
2025.3 末時点

※()内は、2025 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2023 年度に点検を実施した施設数の合計。

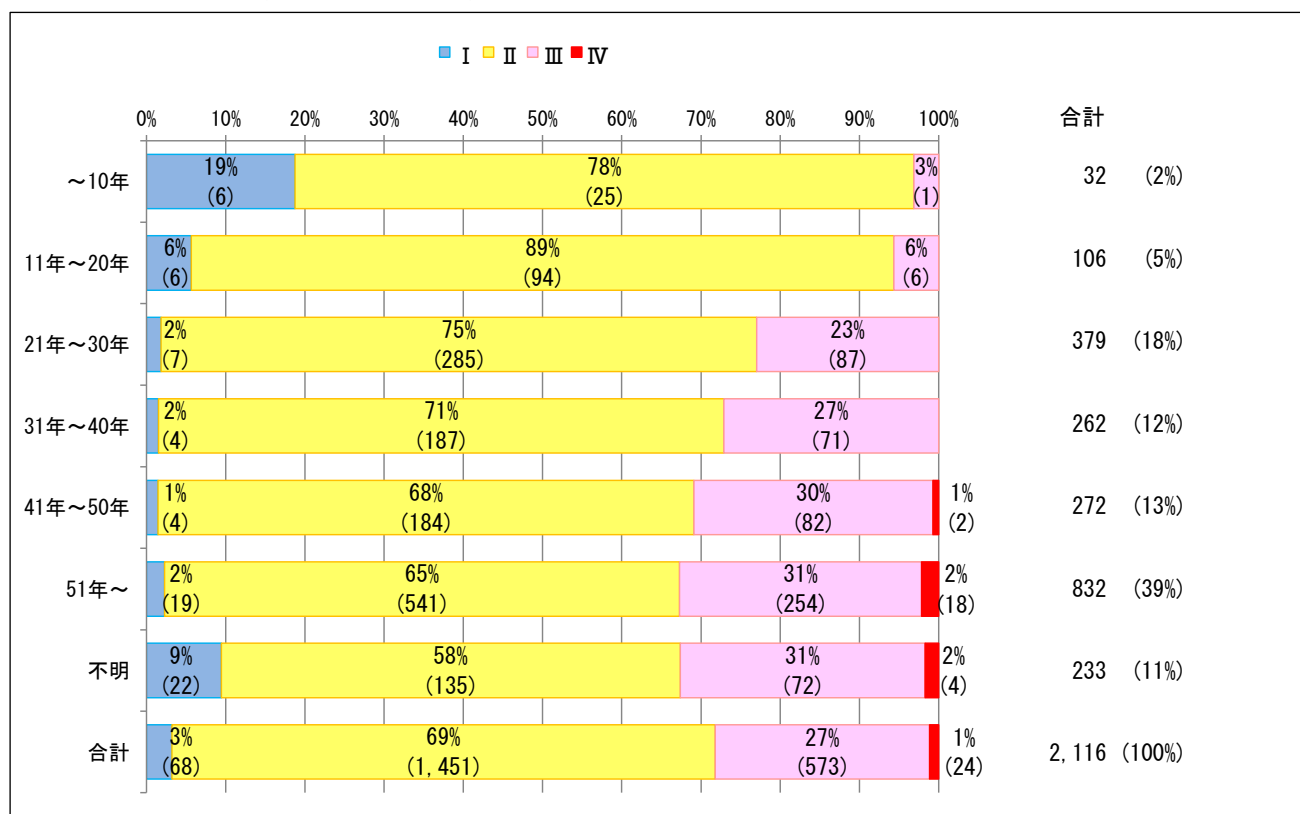
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

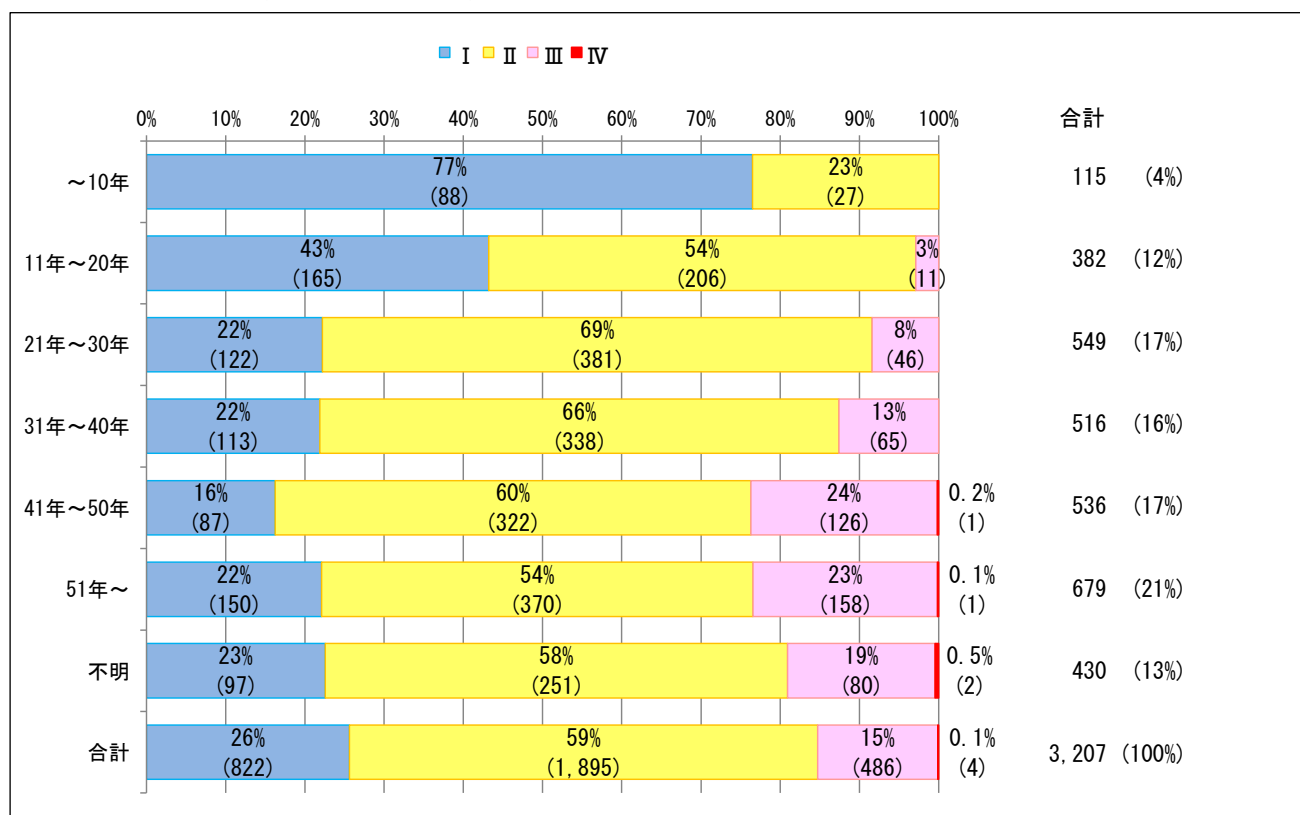
○ 判定区分と建設後経過年数（橋梁）



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



3. 判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況

(1) 2巡目点検(2019～2023 年度)の実施施設における修繕等措置の実施状況

① 橋梁

- 2巡目点検(2019～2023 年度)で早期に措置を講ずるべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2024 年度末時点で、国土交通省 78%、高速道路会社 61%、地方公共団体 58%です。
- 完了した割合は、国土交通省 36%、高速道路会社 34%、地方公共団体 32%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C※2 (C/A)	点検実施年度	: 措置着手率 (B/A) : 措置完了率 (C/A) ↓ : 想定されるペース※3 0% 20% 40% 60% 80% 100%					
国土交通省	3,707	2,891 (78%)	1,328 (36%)	2019		73%				100%
				2020		43%				94%
				2021		26%				79%
				2022		22%				64%
				2023		13%				48%
高速道路会社	2,716	1,662 (61%)	937 (34%)	2019		74%				92%
				2020		47%				84%
				2021		29%				56%
				2022		19%				48%
				2023		13%				35%
地方公共団体計	49,011	28,537 (58%)	15,574 (32%)	2019		52%				76%
				2020		43%				69%
				2021		30%				60%
				2022		19%				47%
				2023		10%				33%
	17,037	11,988 (70%)	5,945 (35%)	2019		58%				86%
				2020		49%				81%
				2021		33%				74%
				2022		22%				65%
				2023		11%				42%
市区町村	31,974	16,549 (52%)	9,629 (30%)	2019		50%				71%
				2020		40%				63%
				2021		29%				54%
				2022		18%				37%
				2023		10%				26%
合計	55,434	33,090 (60%)	17,839 (32%)			32%				60%

2025.3 末時点

※1: 2巡目(2019～2023 年度)の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2: 3巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、2巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

※3: 2024 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

②トンネル

- 2巡目点検（2019～2023 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルの修繕等の措置に着手した割合は、2024 年度末時点で、国土交通省 77%、高速道路会社 63%、地方公共団体 71%です。
- 完了した割合は、国土交通省 44%、高速道路会社 47%、地方公共団体 44%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が 必要な 施設数 A※1	措置に 着手済の 施設数 B (B／A)	うち 完了済の 施設数 C※2 (C／A)	点検 実施 年度	: 措置着手率 (B／A) : 措置完了率 (C／A) : 想定されるペース※3					
					0%	20%	40%	60%	80%	100%
国土 交通省	422	325 (77%)	184 (44%)	2019		97%100%				
				2020		62%98%				
				2021		30%77%				
				2022		13%65%				
				2023		8%40%				
高速道路 会社	424	266 (63%)	198 (47%)	2019		93%100%				
				2020		58%85%				
				2021		46%64%				
				2022		38%55%				
				2023		14%28%				
地方公共 団体計	2, 371	1, 677 (71%)	1, 044 (44%)	2019		76%91%				
				2020		66%90%				
				2021		51%80%				
				2022		32%70%				
				2023		13%39%				
都道府県・ 政令市等	1, 808	1, 417 (78%)	918 (51%)	2019		82%96%				
				2020		69%91%				
				2021		55%84%				
				2022		36%76%				
				2023		13%44%				
市区町村	563	260 (46%)	126 (22%)	2019		45%69%				
				2020		43%76%				
				2021		29%57%				
				2022		21%51%				
				2023		13%32%				
合計	3, 217	2, 268 (71%)	1, 426 (44%)			44%71%				

2025.3 末時点

※1:2巡目（2019～2023 年度）の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:3巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、2巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

※3:2024 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

③道路附属物等

- 2巡目点検（2019～2023 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等の修繕等の措置に着手した割合は、2024 年度末時点で、国土交通省 75%、高速道路会社 64%、地方公共団体 64%です。
- 完了した割合は、国土交通省 34%、高速道路会社 52%、地方公共団体 36%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が 必要な 施設数 A※1	措置に 着手済の 施設数 B (B／A)	うち 完了済の 施設数 C※2 (C／A)	点検 実施 年度	：措置着手率(B／A) ：措置完了率(C／A) ：想定されるペース※3 0%20%40%60%80%100%						
国土 交通省	1, 935	1, 460 (75%)	655 (34%)	2019			62%				100%
				2020			45%				94%
				2021			33%				78%
				2022			24%				61%
				2023			17%				55%
高速道路 会社	274	174 (64%)	143 (52%)	2019			94%				97%
				2020			61%				78%
				2021			60%				70%
				2022			39%				53%
				2023			24%				33%
地方公共 団体計	2, 743	1, 766 (64%)	998 (36%)	2019			78%				93%
				2020			49%				79%
				2021			35%				73%
				2022			22%				56%
				2023			11%				34%
都道府県・ 政令市等	2, 254	1, 492 (66%)	845 (37%)	2019			79%				94%
				2020			48%				80%
				2021			39%				77%
				2022			22%				59%
				2023			11%				34%
市区町村	489	274 (56%)	153 (31%)	2019			67%				92%
				2020			52%				71%
				2021			22%				57%
				2022			22%				44%
				2023			13%				35%
合計	4, 952	3, 400 (69%)	1, 796 (36%)				36%				69%

2025. 3 末時点

※1:2巡目（2019～2023 年度）の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:3巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、2巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

※3:2024 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

(2)3巡目点検(2024 年度)の実施施設における修繕等措置の実施状況

①橋梁

- 3巡目点検(2024 年度)で早期に措置を講ずるべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2024 年度末時点で、国土交通省 17%、高速道路会社 11%、地方公共団体 14%です。
- 完了した割合は、国土交通省 2%、高速道路会社 1%、地方公共団体 2%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	: 措置着手率(B/A) : 措置完了率(C/A) : 想定されるペース※2 0% 20% 40% 60% 80% 100%					
国土交通省	748	124 (17%)	13 (2%)	2024		2%	17%			
				2025						
				2026						
				2027						
				2028						
高速道路会社	522	58 (11%)	3 (1%)	2024		1%	11%			
				2025						
				2026						
				2027						
				2028						
地方公共団体計	7,852	1,107 (14%)	141 (2%)	2024		2%	14%			
				2025						
				2026						
				2027						
				2028						
都道府県・政令市等	2,973	451 (15%)	63 (2%)	2024		2%	15%			
				2025						
				2026						
				2027						
				2028						
市区町村	4,879	656 (13%)	78 (2%)	2024		2%	13%			
				2025						
				2026						
				2027						
				2028						
合計	9,122	1,289 (14%)	157 (2%)			2%	14%			

2025.3 末時点

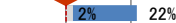
※1:3巡目(2024 年度)の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:2024 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

②トンネル

- 3巡目点検（2024年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルの修繕等の措置に着手した割合は、2024年度末時点で、国土交通省 22%、高速道路会社 5%、地方公共団体 6%です。
- 完了した割合は、国土交通省 2%、高速道路会社 0%、地方公共団体 1%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	: 措置着手率(B/A) : 措置完了率(C/A)  : 想定されるペース※2 0% 20% 40% 60% 80% 100%					
国土交通省	92	20 (22%)	2 (2%)	2024						
				2025						
				2026						
				2027						
				2028						
高速道路会社	76	4 (5%)	0 (0%)	2024						
				2025						
				2026						
				2027						
				2028						
地方公共団体計	299	19 (6%)	4 (1%)	2024						
				2025						
				2026						
				2027						
				2028						
都道府県・政令市等	234	17 (7%)	4 (2%)	2024						
				2025						
				2026						
				2027						
				2028						
市区町村	65	2 (3%)	0 (0%)	2024						
				2025						
				2026						
				2027						
				2028						
合計	467	43 (9%)	6 (1%)							

2025.3 末時点

※1:3巡目(2024年度)の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:2024年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

③道路附属物等

- 3巡目点検（2024年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等の修繕等の措置に着手した割合は、2024年度末時点で、国土交通省 29%、高速道路会社 4%、地方公共団体 10%です。
- 完了した割合は、国土交通省 5%、高速道路会社 3%、地方公共団体 0%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	: 措置着手率(B/A) : 措置完了率(C/A)  : 想定されるペース※2 0% 20% 40% 60% 80% 100%					
国土交通省	299	88 (29%)	14 (5%)	2024						
				2025						
				2026						
				2027						
				2028						
高速道路会社	67	3 (4%)	2 (3%)	2024						
				2025						
				2026						
				2027						
				2028						
地方公共団体計	346	34 (10%)	0 (0%)	2024						
				2025						
				2026						
				2027						
				2028						
都道府県・政令市等	289	28 (10%)	0 (0%)	2024						
				2025						
				2026						
				2027						
				2028						
市区町村	57	6 (11%)	0 (0%)	2024						
				2025						
				2026						
				2027						
				2028						
合計	712	125 (18%)	16 (2%)							

2025. 3 末時点

※1: 3巡目（2024年度）の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2: 2024年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

(3) 過年度の点検(2014～2024 年度)の実施施設における修繕等措置の実施状況

① 橋梁

- 過年度の点検(2014～2024 年度)で早期に措置を講ずるべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2024 年度末時点で、国土交通省 61%、高速道路会社 46%、地方公共団体 47%です。
- 完了した割合は、国土交通省 21%、高速道路会社 21%、地方公共団体 22%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数		未着手 施設数 (A－B)
		B (B／A)	うち完了 C (C／A)	
国土交通省	3, 636	2, 200 (61%)	754 (21%)	1, 436 (39%)
高速道路会社	2, 720	1, 245 (46%)	571 (21%)	1, 475 (54%)
地方公共団体	47, 131	22, 343 (47%)	10, 604 (22%)	24, 788 (53%)
都道府県・ 政令市等	16, 608	9, 563 (58%)	4, 044 (24%)	7, 045 (42%)
市区町村	30, 523	12, 780 (42%)	6, 560 (21%)	17, 743 (58%)
合計	53, 487	25, 788 (48%)	11, 929 (22%)	27, 699 (52%)

2025. 3 末時点

※1: 2024 年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

②トンネル

- 過年度の点検（2014～2024 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2024 年度末時点で、国土交通省 59%、高速道路会社 45%、地方公共団体 59%です。
- 完了した割合は、国土交通省 21%、高速道路会社 29%、地方公共団体 33%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数 B		未着手 施設数 (A－B)
		(B／A)	うち完了 C (C／A)	
国土交通省	410	241 (59%)	86 (21%)	169 (41%)
高速道路会社	416	186 (45%)	120 (29%)	230 (55%)
地方公共団体	2, 326	1, 368 (59%)	779 (33%)	958 (41%)
都道府県・ 政令市等	1, 729	1, 132 (65%)	666 (39%)	597 (35%)
市区町村	597	236 (40%)	113 (19%)	361 (60%)
合計	3, 152	1, 795 (57%)	985 (31%)	1, 357 (43%)

2025. 3 末時点

※1: 2024 年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

③道路附属物等

- 過年度の点検（2014～2024 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2024 年度末時点で、国土交通省 65%、高速道路会社 46%、地方公共団体 52%です。
- 完了した割合は、国土交通省 26%、高速道路会社 37%、地方公共団体 24%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数		未着手 施設数 (A－B)
		B (B／A)	うち完了 C (C／A)	
国土交通省	1, 948	1, 268 (65%)	503 (26%)	680 (35%)
高速道路会社	298	137 (46%)	109 (37%)	161 (54%)
地方公共団体	2, 644	1, 373 (52%)	647 (24%)	1, 271 (48%)
都道府県・ 政令市等	2, 154	1, 148 (53%)	534 (25%)	1, 006 (47%)
市区町村	490	225 (46%)	113 (23%)	265 (54%)
合計	4, 890	2, 778 (57%)	1, 259 (26%)	2, 112 (43%)

2025. 3 末時点

※1: 2024 年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

(4) 各都道府県における道路管理者毎の老朽化対策状況

- 各都道府県における道路管理者毎（国土交通省、高速道路会社、都道府県、市区町村）の老朽化対策状況（橋梁、トンネル、道路附属物等の判定区分や措置状況等）を視覚化した情報を公開。

(5) 全国道路施設点検データベース（損傷マップ）

- 老朽化対策のさらなる見える化を図るため、「全国道路施設点検データベース～損傷マップ～」にて橋梁、トンネル、道路附属物等の諸元や点検結果、措置状況等を地図上で公開中。

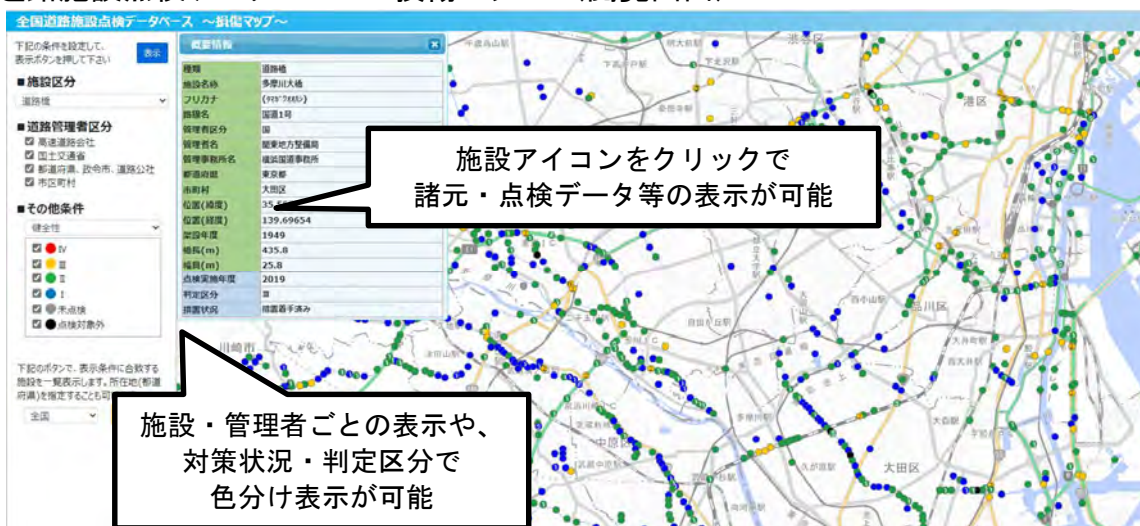
<https://road-structures-map.mlit.go.jp/>

- データについては順次更新を行い 2024 年度末時点のデータも今後公開予定。
- より詳細な点検データ等については、「全国道路施設点検データベース」により有料公開を行っており、研究機関や民間企業等による技術開発の促進による維持管理の効率化・高度化を目指しています。

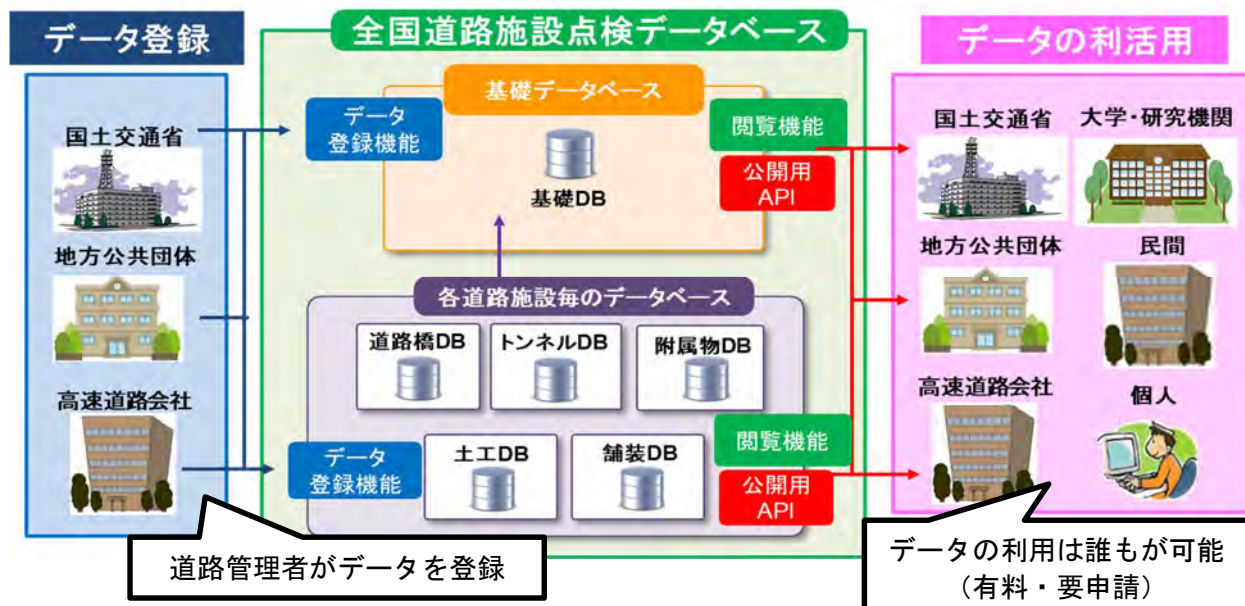
<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>



○ 全国道路施設点検データベース～損傷マップ～（閲覧画面）



○ 全国道路施設点検データベース（イメージ）

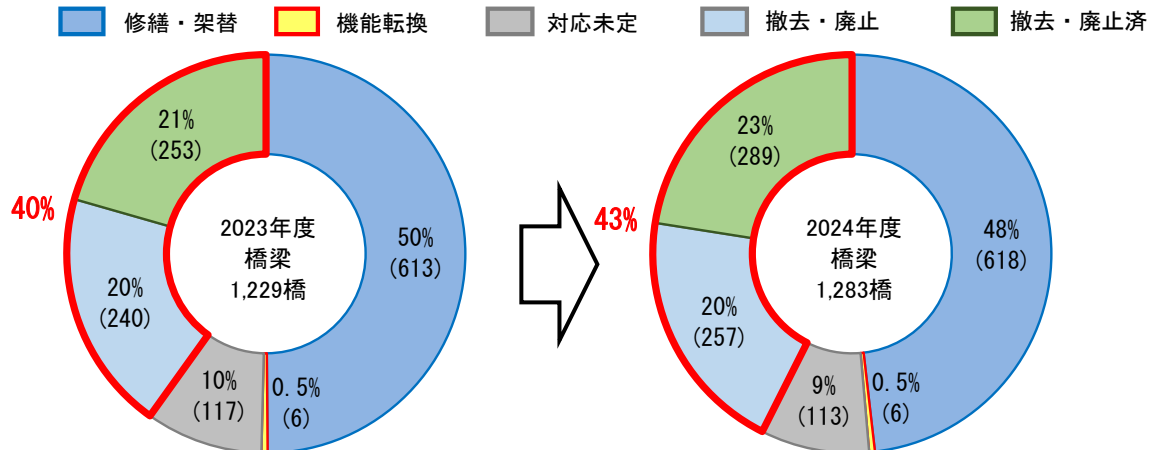


(6) 判定区分Ⅳの施設の措置状況

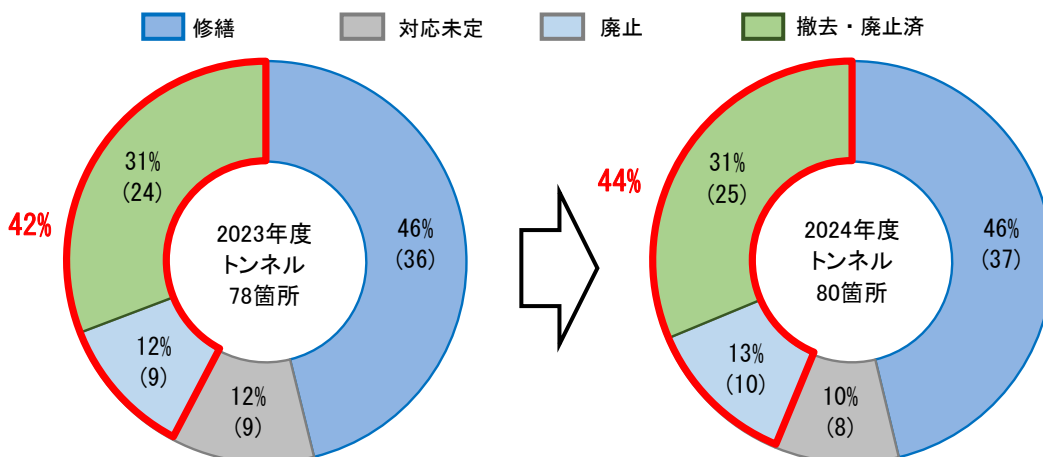
- 2024 年度末までに緊急に措置を講ずべき状態（区分Ⅳ）と判定された施設の措置状況のうち、撤去・廃止の割合は、2024 年度末時点で、橋梁：43%、トンネル：44%、道路附属物等：32%です。

※道路管理者毎の内訳及びⅣ判定の施設リストは巻末資料(3)を参照。

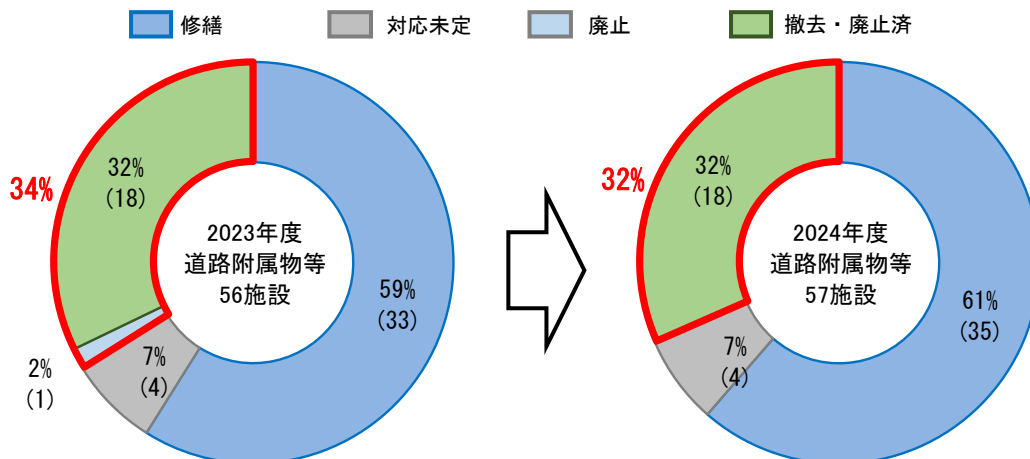
○ 判定区分Ⅳの橋梁の措置状況（完了済・予定のものを含む）



○ 判定区分Ⅳのトンネルの措置状況（完了済・予定のものを含む）



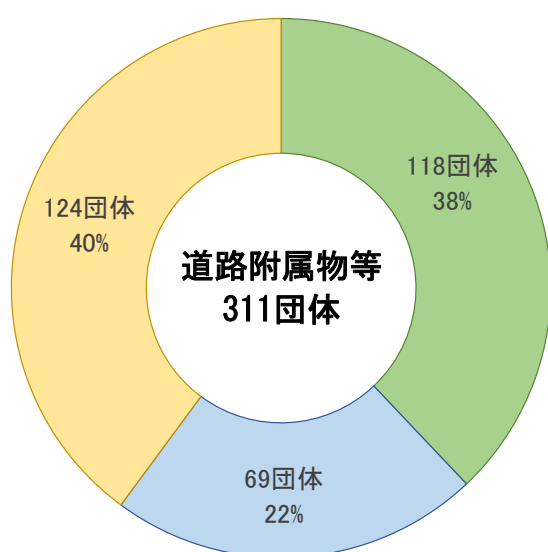
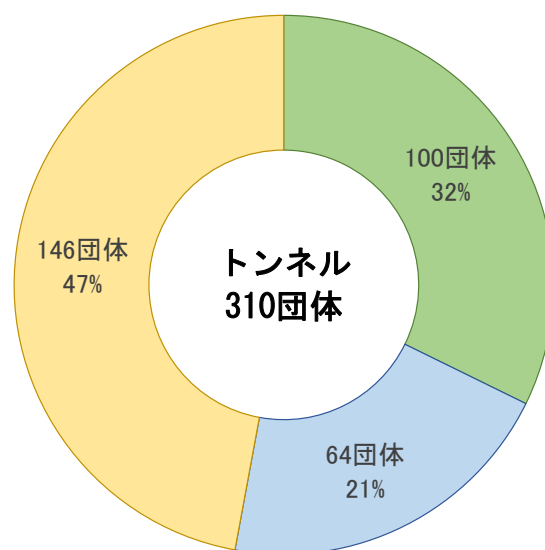
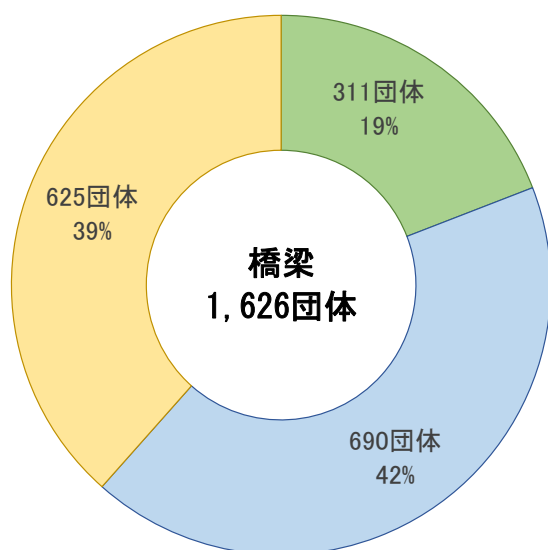
○ 判定区分Ⅳの道路附属物等の措置状況（完了済・予定のものを含む）



4. 地方公共団体の修繕等措置状況

(1) 2巡目点検(2019～2023 年度)の実施施設における地方公共団体の修繕等措置の着手状況

- 2巡目点検(2019～2023 年度)において早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁に着手した割合は、地方公共団体によって差があり、2巡目点検で区分Ⅲ又はⅣと判定された施設を管理している1,626団体のうち、
- ・ 着手率100%の地方公共団体が311団体(19%)ある一方で、
 - ・ 着手率50%以上100%未満が690団体(42%)
 - ・ 着手率50%未満が625団体(39%)
- であり、地方公共団体によって差がでてきている。



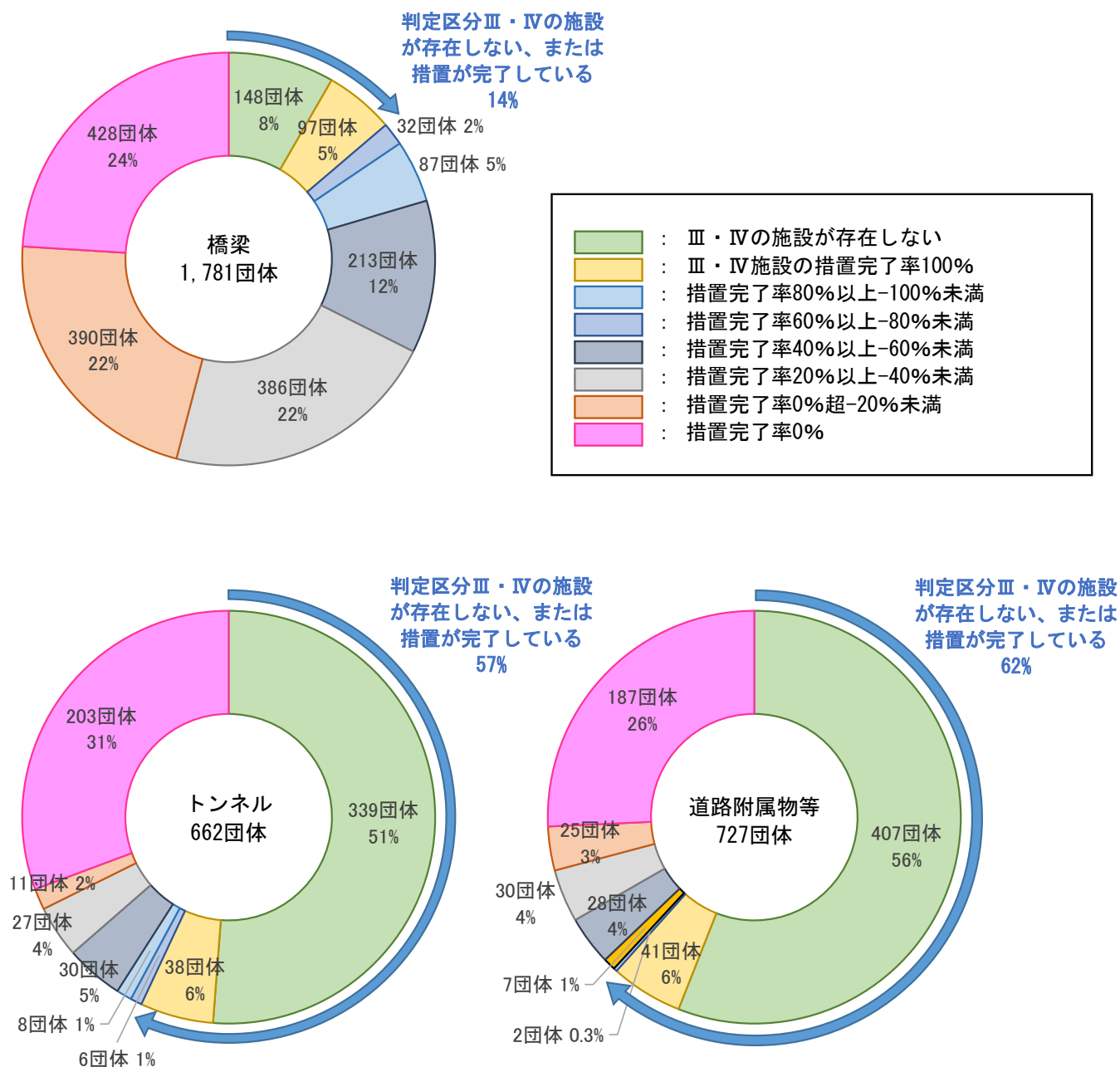
- | | |
|--|-------------------|
| | Ⅲ・Ⅳ施設の措置着手率100% |
| | 措置着手率50%以上-100%未満 |
| | 措置着手率50%未満 |

※点検対象外等となり、現在、2巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設を管理していない団体を除く。

(2)2024 年度末時点での修繕等措置が完了した地方公共団体数

- 橋梁の修繕等の措置が進み、早期に措置を講ずべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずべき状態（区分Ⅳ）の施設が存在しない、または修繕等の措置が完了している団体は、2024 年度末時点で 14%に留まっており、措置完了率が 20%未満の団体が約 46%を占めています。

○ 地方公共団体の予防保全への移行状況



※団体数は、2024 年度末時点の点検対象施設（管理施設のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設）を管理する都道府県、政令市、市区町村の合計。

5. 舗装の点検結果及び修繕等措置の実施状況

(1) 概要

舗装については、各道路管理者により、道路の役割や性格、修繕実施の効率性、ストック量、管理体制の視点から管内の道路を分類し、その分類に基づき点検などを行っています。今年度より、地方公共団体の管理する重要物流道路などの重交通を担う道路である分類A・Bに焦点をあてて集計しています。

<道路の分類のイメージ>

特性	分類	主な道路 (イメージ)	管理基準※1 ()内は直轄の基準	点検頻度	健全性の診断※2	車線延長※3
・高速道路等 (高速走行など 求められるサー ビス水準が高 い道路)	A	高速道路※4	ひび割れ率: 15～20% (20%以上) わだち掘れ量: 20～25mm (25mm 以上) IRI: 3.5mm/m (3.5mm/m以上)	道路管理者が5 年に1回以上適 切に実施	I (健全): 損傷レベルが小	計: 約 41,000km ・高速管理: 約 33,600km ・直轄管理: 約 5,000km ・地方管理: 約 2,700km
					II (表層機能保持段階): 損傷レベルが中	
・損傷の進行が 早い道路等 (例えば大型車交 通量が多い道路)	B	直轄国道	ひび割れ率: 20～40% (40%以上) わだち掘れ量: 20～40mm (40mm 以上) IRI: 8mm/m (8mm/m以上)		III (修繕段階): 損傷レベルが大	計: 約 151,000km ・直轄管理 約 55,000km ・地方管理 約 96,000km
重要物流道路又は 大型車 1,000 台・方 向以上/日(目安)		補助国道・県道			III-1 表層等修繕 (路盤以下の層が健全) III-2 路盤打換等 (路盤以下の層も損傷)	
・損傷の進行が 緩やかな道路等 (例えば大型車交 通量が少ない道 路)	C	政令市一般市道		更新時期や地 域特性等に応じ て道路管理者 が適切に点検 計画を作成	I (健全): 損傷レベルが小	計: 約 360,000km
					II (表層機能保持段階): 損傷レベルが中	
・生活道路等 (損傷の進行が 極めて遅く占用 工事等の影響 がなければ長 寿命) 幅員 5.5m 未満 の道路	D	市町村道			III (修繕段階): 損傷レベルが大	計: 約 750,000km
合計						計: 約 1,300,000km

※1 一部の地方管理道路については、独自の管理基準を設定している場合がある。

※2 コンクリート舗装の健全性の診断は、分類A～D共通して、判定区分Ⅰ～Ⅲで判定

※3 車線延長は一部センサデータ等による推計値を含む。

※4 高速道路会社についてはサービス水準を高く設定しており、独自の厳しい基準で点検を実施していることから、国の舗装点検要領にあてはめることができないため集計していない。

国土交通省の管理する道路の舗装は、2017 年度より舗装点検要領(2017 年 3 月 国土交通省 道路局 国道・防災課)に基づき、5 年に 1 回の頻度で目視を基本とする点検を実施しています。

舗装の健全性の診断は、以下の通り区分します。

<アスファルト舗装>

区分		状態
I	健全	損傷レベル小: 管理基準に照らし、劣化の程度が小さく、舗装表面が健全な状態
II	表層機能保持段階	損傷レベル中: 管理基準に照らし、劣化の程度が中程度
III	修繕段階	損傷レベル大: 管理基準に照らし、それを超過している又は早期の超過が予見される状態
	III-1 表層等修繕	表層の供用年数が使用目標年数を超える場合(路盤以下の層が健全であると想定される場合)
	III-2 路盤打換等	表層の供用年数が使用目標年数未満である場合(路盤以下の層が損傷していると想定される場合)

<コンクリート舗装>

区分		状態
I	健全	損傷レベル小: 目地部に目地材が充填されている状態を保持し、路盤以下への雨水の浸入や目地溝に土砂や異物が詰まることができないと想定される状態であり、ひび割れも認められない状態
II	補修段階	損傷レベル中: 目地部の目地材が飛散等しており、路盤以下への雨水の浸入や目地溝に土砂や異物が詰まる恐れがあると想定される状態、目地部で角欠けが生じている状態
III	修繕段階	損傷レベル大: コンクリート版において、版央付近又はその前後に横断ひび割れが全幅員にわたっていて、一枚の版として輪荷重を支える機能が失われている可能性が高いと考えられる状態、または、目地部に段差が生じたりコンクリート版の隅角部に角欠けへの進展が想定されるひび割れが生じているなど、コンクリート版と路盤の間に隙間が存在する可能性が高いと考えられる状態

国土交通省以外の道路管理者は、舗装点検要領(2016 年 10 月 国土交通省 道路局)(技術的助言の解説・運用標準)等を参考に、適切に管理を行っています。

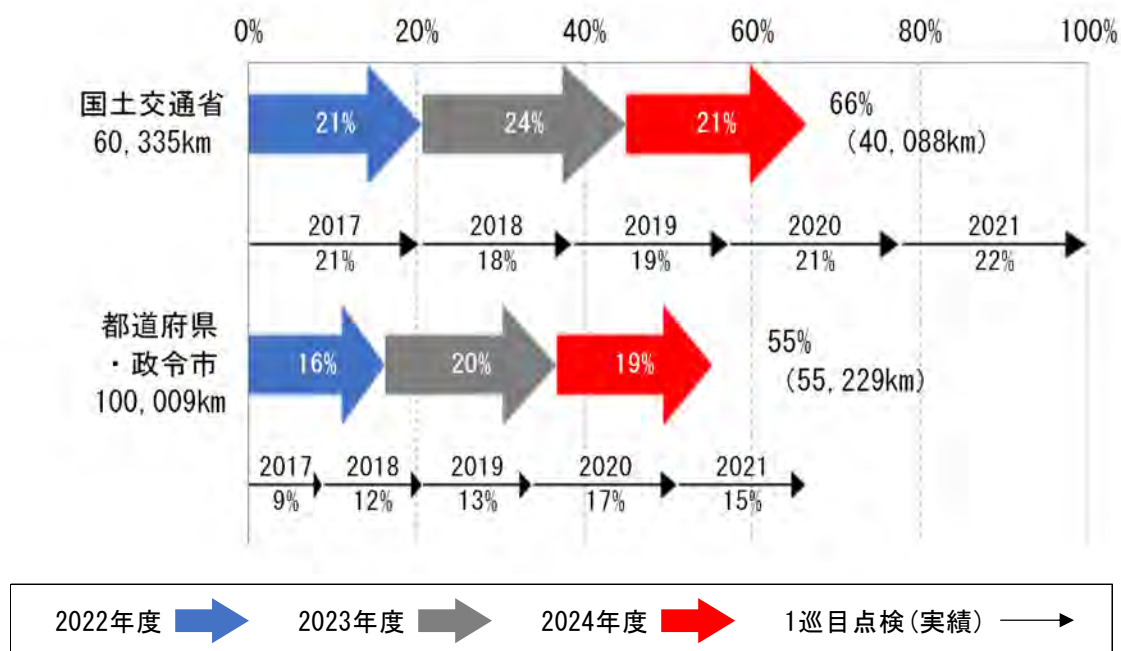
(2) 2巡目(2022～2024 年度)の点検結果(国土交通省、都道府県・政令市)

- 舗装点検については 2022 年度より 2 巡目点検が始まり、国土交通省が管理する道路では約 66%、都道府県・政令市が管理する道路^{※1}では約 55%で点検を実施済みです。
- 判定区分Ⅲ（修繕段階）の割合（延べ車線延長^{※2}ベース）は、アスファルト舗装では国土交通省が 11%、都道府県・政令市が 14%、コンクリート舗装では国土交通省が 3%、都道府県・政令市が 5%となっています。

※1 都道府県・政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路が対象。

※2 延べ車線延長：点検対象となる車線延長の合計。2025 年 3 月末時点の延長のうち、供用後5年以内を除く。
また一部の自治体では管理延長等をもとに算出。

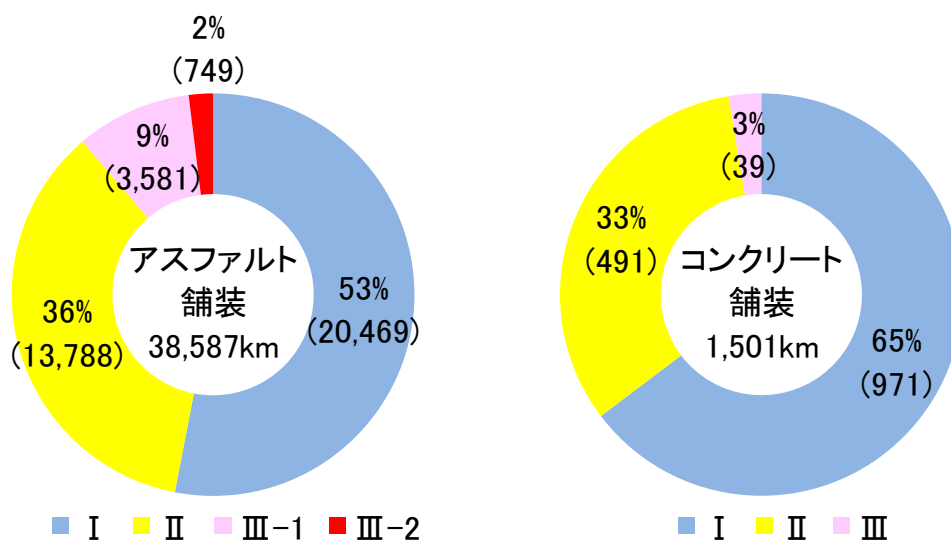
○ 点検実施率(延べ車線延長ベース)



2025. 3 末時点

※()内は、2022～2024 年度に点検を実施した車線延長の合計。

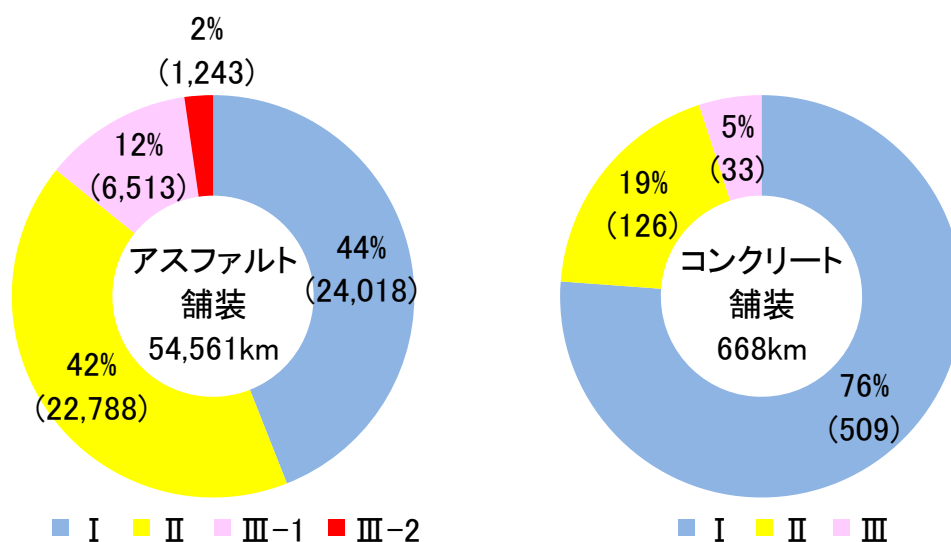
○ 国土交通省の2巡目(2022～2024 年度)点検の判定区分の割合



2025.3 末時点

※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。

○ 都道府県・政令市の2巡目(2022～2024 年度)点検の判定区分の割合



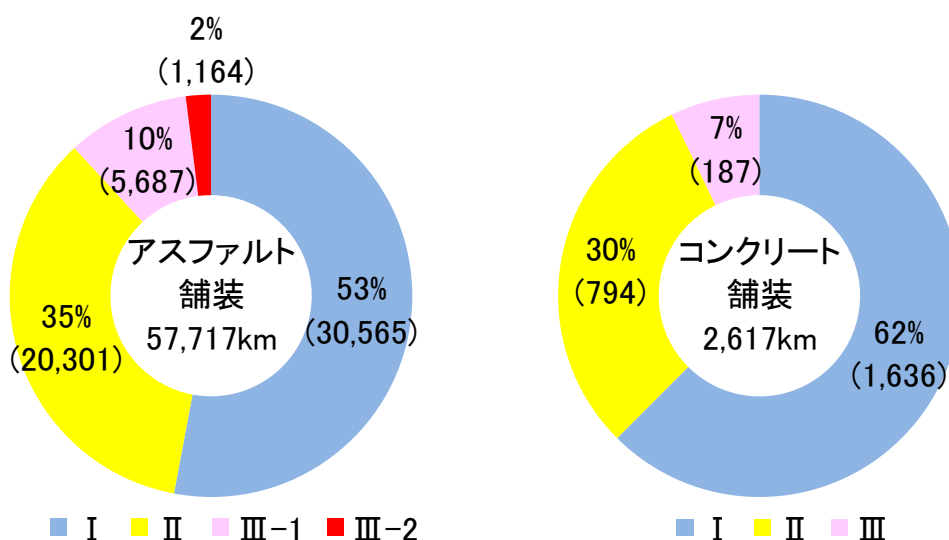
2025.3 末時点

※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。

(3) 過年度の点検(2017～2024 年度)の点検結果

- 2024 年度末時点で判定区分Ⅲ（修繕段階）の割合（延べ車線延長ベース）は、アスファルト舗装では、国土交通省が 12%、都道府県・政令市が 13%、コンクリート舗装では国土交通省が 7%、都道府県・政令市が 6%となっています。

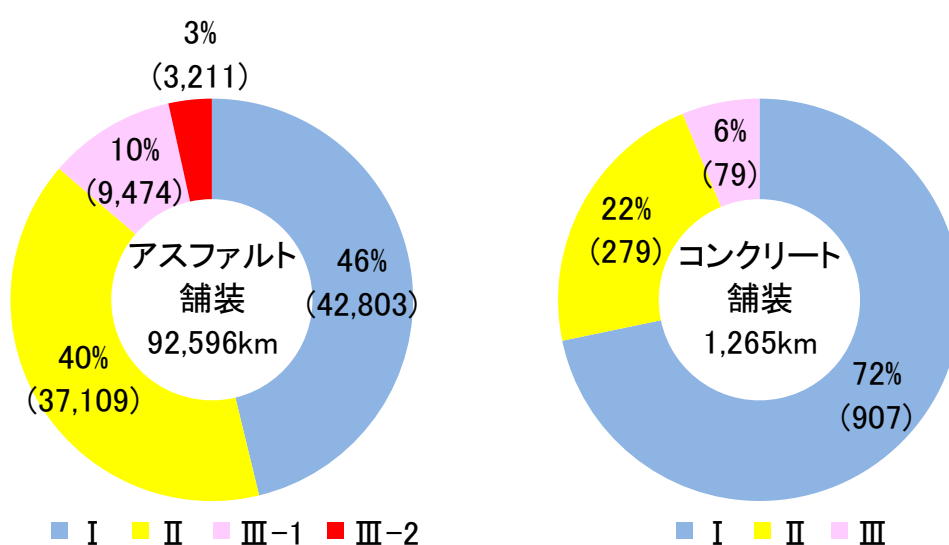
○ 国土交通省の判定区分の割合



2025. 3 末時点

※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。
 ※複数回点検している区間は最新の点検結果を基に集計を行っている。

○ 都道府県・政令市の判定区分の割合



2025. 3 末時点

※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。
 ※複数回点検している区間は最新の点検結果を基に集計を行っている。

(4) 過年度の点検(2017～2024 年度)の実施箇所における修繕等措置の実施状況

- 2024 年度末の時点で修繕段階(区分Ⅲ)にあると判定されたアスファルト舗装のうち、修繕等措置に着手した割合は国土交通省が 29%、都道府県・政令市が 7%、コンクリート舗装では国土交通省が 17%、都道府県・政令市が 2%です。

○ 国土交通省の修繕等措置状況

	措置が必要な 延長(km) (A)	措置完了の 延長(km) (B) (B/A)
As 舗装	6,851	2,010 (29%)
As 舗装(Ⅲ-1)	5,687	1,597 (28%)
As 舗装(Ⅲ-2)	1,164	413 (35%)
Co 舗装	187	31 (17%)
合計	7,039	2,042 (29%)

2025. 3 末時点

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

○ 都道府県・政令市の修繕等措置状況

	措置が必要な 延長(km) (A)	措置完了の 延長(km) (B) (B/A)
As 舗装	12,685	931 (7%)
As 舗装(Ⅲ-1)	9,474	617 (7%)
As 舗装(Ⅲ-2)	3,211	314 (10%)
Co 舗装	79	2 (2%)
合計	12,764	933 (7%)

2025. 3 末時点

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

6. 小規模附属物・土工構造物の点検結果及び修繕等措置の実施状況

(1) 小規模附属物

1) 概要

小規模附属物については、門型標識を除く道路標識及び照明施設等の支柱や支柱取付部等について点検を行っています。

国土交通省では、附属物(標識、照明施設等)点検要領(2024 年 9 月 国土交通省 道路局 国道・防災課)に基づき、概ね 10 年に 1 回を目安として近接目視による詳細点検及び、5 年に 1 回を目安として外観目視を基本とする中間点検を実施しています。

小規模附属物の損傷度の診断は、以下の通り区分します。

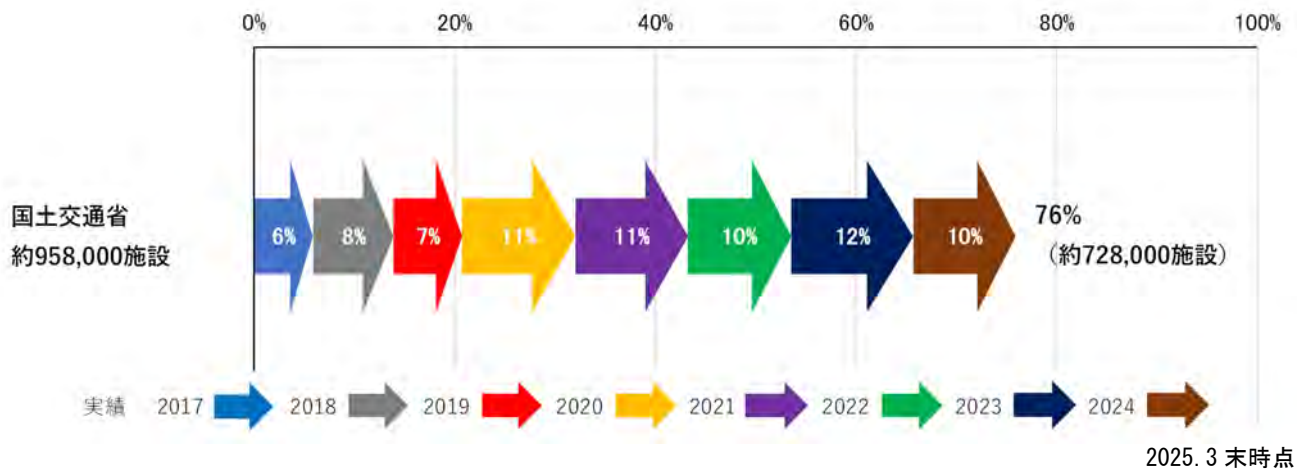
区分	状態
a	損傷が認められない
c	損傷が認められる
e	損傷が大きい

国土交通省以外の道路管理者は、小規模附属物点検要領(2017 年 3 月 国土交通省 道路局)(技術的助言の解説・運用標準)等を参考に、適切に管理を行っています。

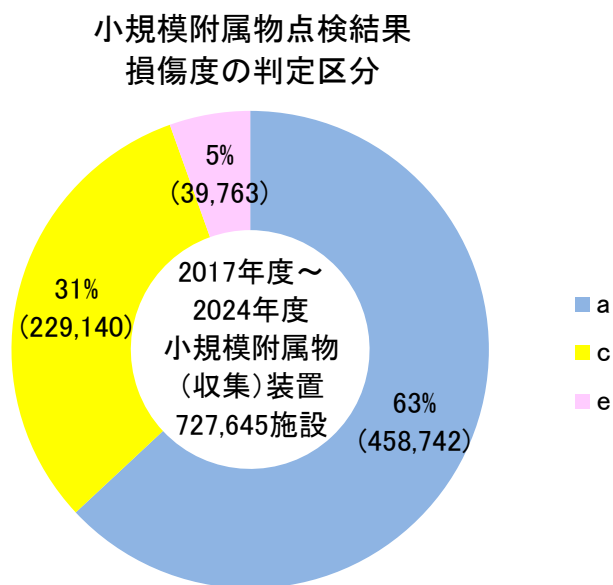
2) 点検結果(国土交通省)

- 国土交通省では、2017 年度より小規模附属物点検を行っており、2024 年度末時点の近接目視による詳細点検の実施率は約 76%となっています。
- 国土交通省の損傷度の判定区分の割合は、a 63%、c 31%、e 5%です。

○ 国土交通省の点検実施率(詳細点検)



○ 国土交通省の判定区分の割合



3)修繕の実施状況(国土交通省)

- 国土交通省が管理する小規模附属物で、損傷度の判定区分 e の修繕着手率は 15%、完了率は 13%です。

判定区分c、e の修繕の実施状況(国土交通省)

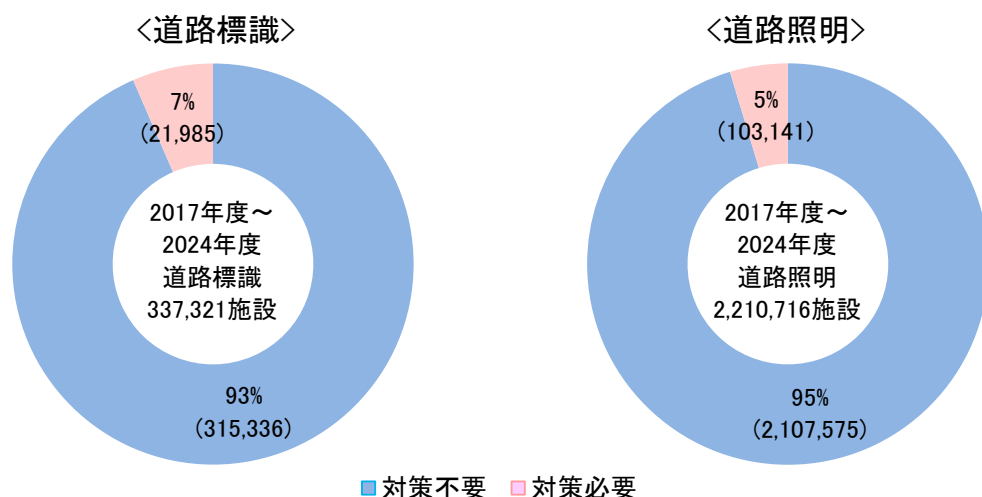
小規模 附属物	修繕が 必要な 施設数 (A)	修繕に 着手済の 施設数 (B) (B/A)	修繕 完了の 施設数 (C) (C/A)	点検 実施 年度	: 着手率(B/A) : 完了率(C/A) 0% 20% 40% 60% 80% 100%					
c	229,140	1,842 (1%)	1,788 (1%)	2017	0.5%	0.5%				
				2018	1%	1%				
				2019	1%	1%				
				2020	2%	2%				
				2021	1%	1%				
				2022	1%	1%				
				2023	0.4%	0.4%				
				2024	0.3%	0.3%				
e	39,763	5,839 (15%)	5,152 (13%)	2017	21%	27%				
				2018	33%	36%				
				2019	23%	27%				
				2020	23%	23%				
				2021	15%	18%				
				2022	11%	14%				
				2023	6%	7%				
				2024	1%	1%				
合計	268,903	7,681 (3%)	6,940 (3%)							

2025. 3 末時点

4) 地方公共団体の点検・修繕の実施状況

- 国土交通省では、地方公共団体に対する技術的助言として 2016 年度に小規模附属物点検要領を示しています。
- 2017～2024 年度に地方公共団体が点検を実施した施設数は、道路標識：337,321 施設、道路照明：2,210,716 施設となっています。
- 要対策の施設数は、道路標識で 21,985 施設、道路照明で 103,141 施設です。
- このうち、修繕等措置に着手した施設の割合は、道路標識で 38%、道路照明で 54%です。

○ 地方公共団体の点検結果



2025.3 末時点

○ 地方公共団体管理道路の小規模附属物における修繕等措置の実施状況

種別	対策が 必要な施設数 (A)	修繕に着手済 の施設数 (B) (B/A)	修繕完了の 施設数 (C) (C/A)
道路標識	21,985	8,256 (38%)	6,530 (30%)
道路照明	103,141	56,192 (54%)	53,688 (52%)
合計	125,126	64,448 (52%)	60,218 (48%)

2025.3 末時点

※2017～2024 年度の 8 年間の点検により対策が必要と判定された施設。

(2) 土工構造物

1) 概要

土工構造物については、重要度が高い法面等について点検を行うこととしています。

国土交通省では、道路土工構造物点検要領(2023 年 3 月 国土交通省 道路局 国道・技術課)に基づき、長大切土又は高盛土の区域(特定道路土工構造物)について 5 年に 1 回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

特定道路土工構造物の健全性の診断は、以下の通り区分します。

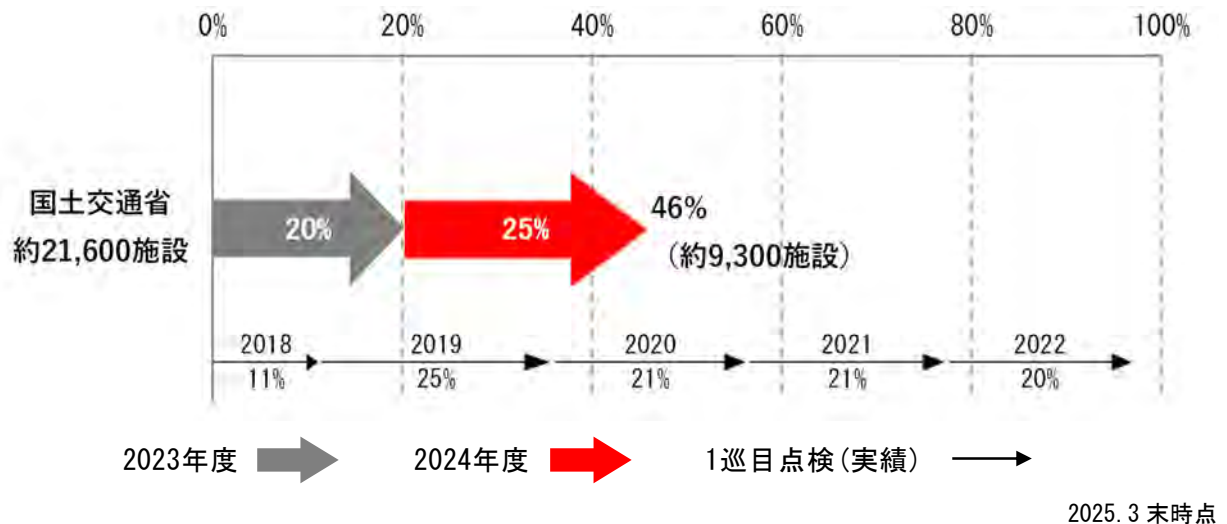
区分		状態
I	健全	変状はない、もしくは変状があっても対策が必要ない場合(道路の機能に支障が生じていない状態)
II	経過観察段階	変状が確認され、変状の進行度合いの観察が一定期間必要な場合(道路の機能に支障が生じていないが、別途、詳細な調査の実施や定期的な観察などの措置が望ましい状態)
III	早期措置段階	変状が確認され、かつ次回点検までにさらに進行すると想定されることから構造物の崩壊が予想されるため、できるだけ速やかに措置を講ずることが望ましい場合(道路の機能に支障は生じていないが、次回点検までに支障が生じる可能性があり、できるだけ速やかに措置を講ずることが望ましい状態)
IV	緊急措置段階	変状が著しく、大規模な崩壊に繋がるおそれがあると判断され、緊急的な措置が必要な場合(道路の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態)

国土交通省以外の道路管理者は、道路土工構造物点検要領(2017 年 8 月 国土交通省 道路局)(技術的助言の解説・運用標準)等を参考に、適切に管理を行っています。

2) 2巡目(2023～2024 年度)の点検結果(国土交通省)

- 特定道路土工構造物点検については 2023 年度より2巡目点検が始まり、国土交通省では約 46%で点検を実施済みです。
- 国土交通省管理の土工構造物の健全性の判定区分の割合は、Ⅰ 40%、Ⅱ 53%、Ⅲ 7%です。

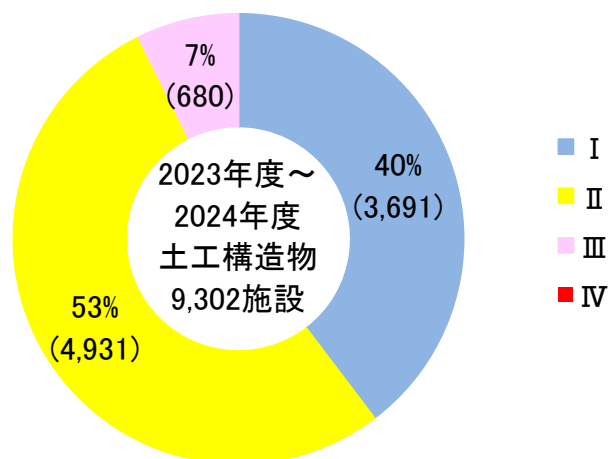
○ 国土交通省の点検実施率



※()内は、2023～2024 年度に点検を実施した施設数の合計。

※災害などにより点検を実施できないなど、一部点検できてない箇所がある。

○ 国土交通省の判定区分の割合



2025.3 末時点

3) 修繕の実施状況(国土交通省)

- 国土交通省が管理する特定道路土工構造物で、健全性の判定区分Ⅲの施設の修繕着手率は 15%、判定区分Ⅳの施設の修繕着手率は 33%です。

判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕の実施状況(国土交通省)

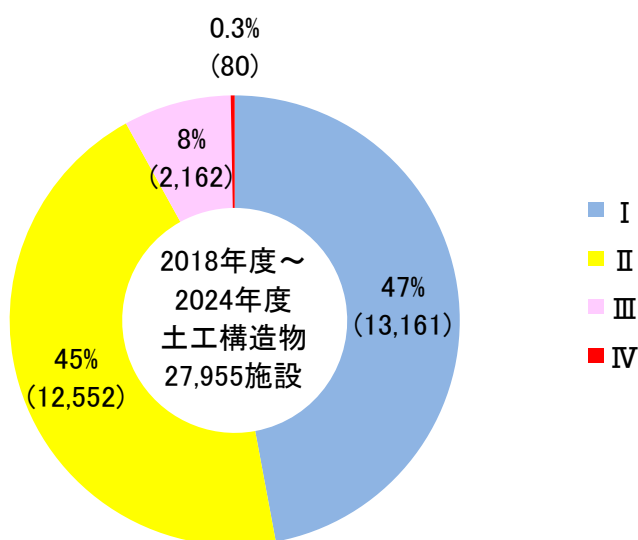
土工 構造物	修繕が 必要な 施設数 (A)	修繕に 着手済の 施設数 (B) (B/A)	修繕 完了の 施設数 (C) (C/A)	点検 実施 年度	: 着手率(B/A) : 完了率(C/A) 0% 20% 40% 60% 80% 100%						
Ⅲ	1,256	188 (15%)	53 (4%)	2018	9%	18%					
				2019	14%	28%					
				2020	14%	19%					
				2021	6%	23%					
				2022	4%	16%					
				2023	1%	16%					
				2024	1%	5%					
Ⅳ	3	1 (33%)	1 (33%)	2018	対象施設なし						
				2019	対象施設なし						
				2020	50%	50%					
				2021	0%						
				2022	対象施設なし						
				2023	対象施設なし						
				2024	対象施設なし						
合計	1,259	189 (15%)	54 (4%)								

2025.3 末時点

4) 地方公共団体の点検・修繕の実施状況

- 国土交通省では、地方公共団体に対する技術的助言として 2017 年度に道路土工構造物点検要領を示しています。
- 2018～2024 年度に地方公共団体が点検を実施した施設数は 27,955 施設となっています。
- 判定区分Ⅲ（早期措置段階）の施設数は 2,162 施設、判定区分Ⅳ（緊急措置段階）の施設数は 80 施設です。
- このうち、修繕等措置に着手した施設の割合は、判定区分Ⅲの施設で 16%、判定区分Ⅳの施設で 68%です。

○ 地方公共団体の判定区分の割合



2025.3 末時点

○ 地方公共団体管理道路の特定土工構造物における修繕等措置の実施状況

判定区分	修繕が 必要な施設数 (A)	修繕に着手済 の施設数 (B) (B/A)	修繕完了の 施設数 (C) (C/A)
Ⅲ	2,162	344 (16%)	225 (10%)
Ⅳ	80	54 (68%)	43 (54%)
合計	2,242	398 (18%)	268 (12%)

2025.3 末時点

※2018～2024 年度の 7 年間の点検により判定区分Ⅲ又はⅣと判定された施設。

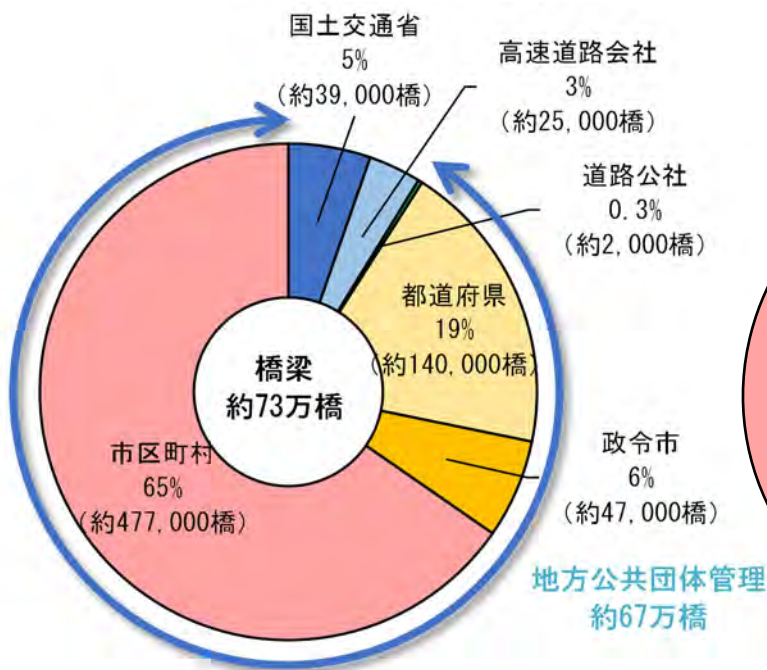
7. 橋梁・トンネルの現状

(1) 橋梁の現状

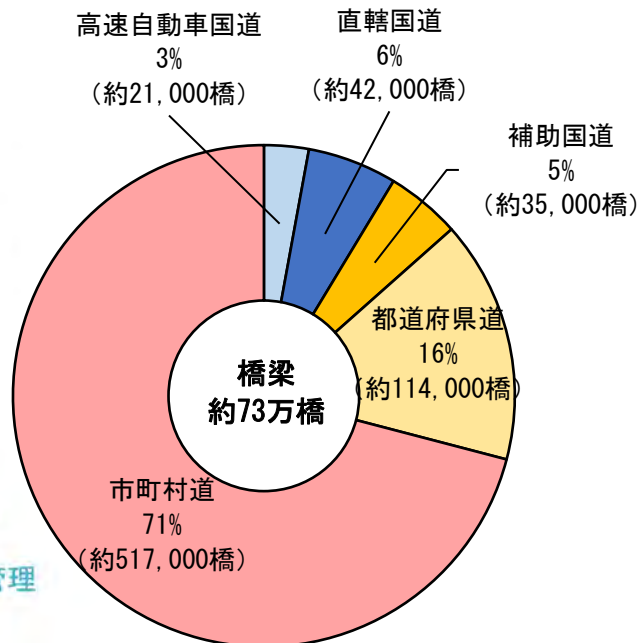
1) 管理者別の橋梁数、橋面積

- 我が国には橋梁が約 73 万橋あり、このうち、地方公共団体が管理する橋梁は約 67 万橋と、9 割以上を占めています。

○ 道路管理者別橋梁数

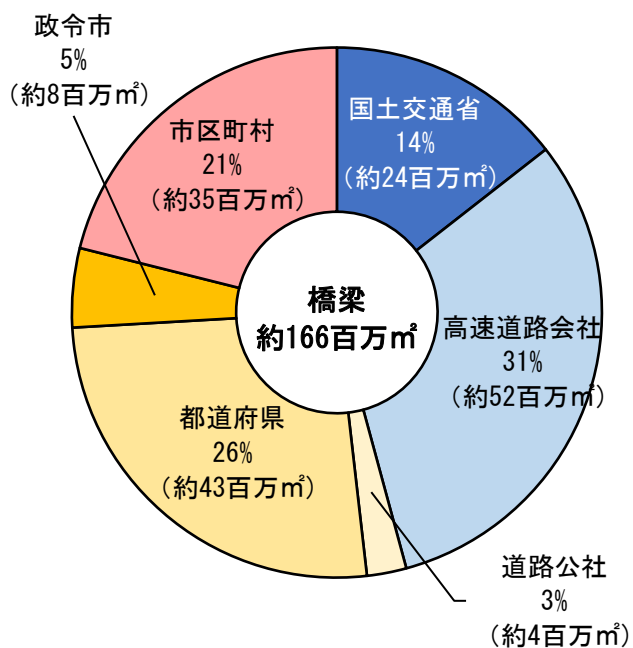


○ 道路種別橋梁数

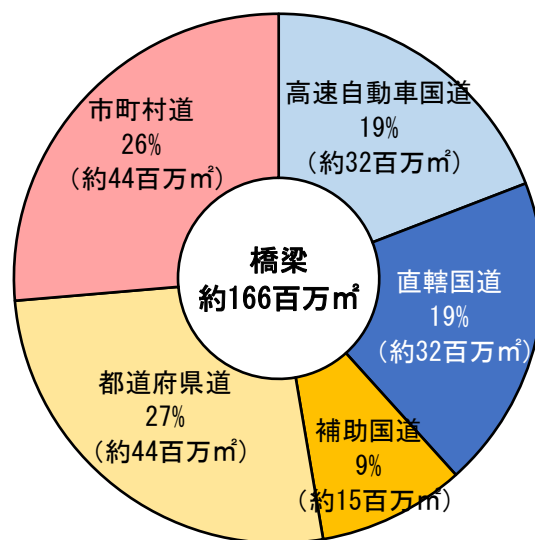


(出典)道路局調べ(2025.3 末時点)

○ 道路管理者別橋面積



○ 道路種別橋面積

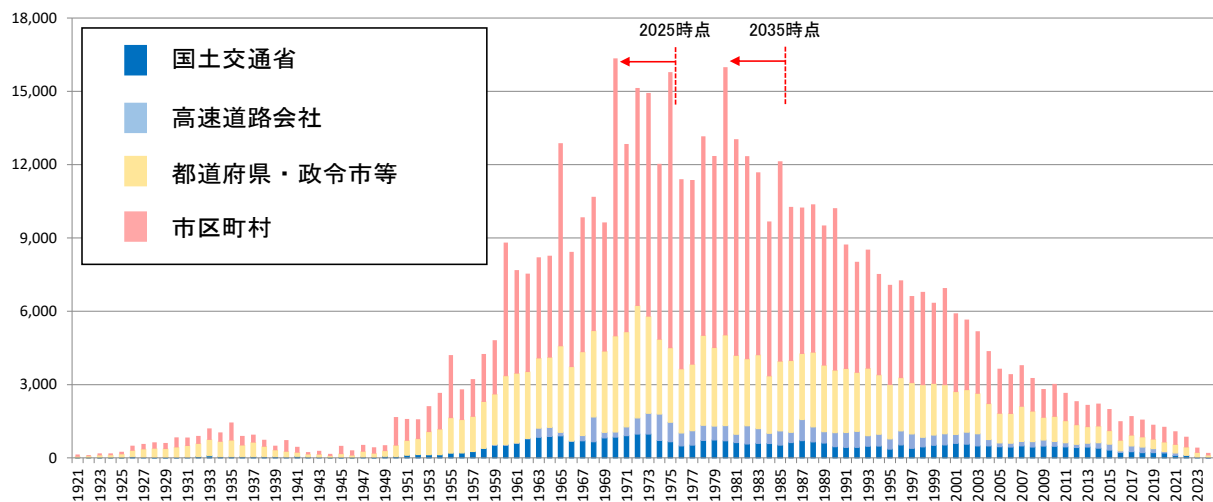


(出典)道路局調べ(2025.3 末時点)

2)建設年度別の橋梁数

- 建設後 50 年を経過した橋梁の割合は、現在は約 42%であるのに対し、10 年後には約 65%となります。建設後 50 年を経過し橋長 15m 未満の橋梁の割合は、10 年後に約 72%となります。橋長 15m 以上の橋梁の割合は、10 年後に 53%となります。
- この他に建設年度が不明の道路橋が全国で約 16.3 万橋あり、これらのお大半が市区町村管理の橋長 15m 未満の橋梁です。

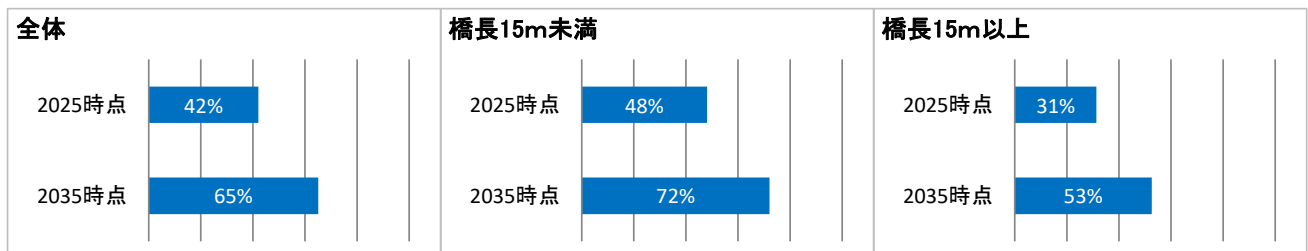
○ 建設年度別橋梁数



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約 16.3 万橋ある。

(出典)道路局調べ(2025.3 末時点)

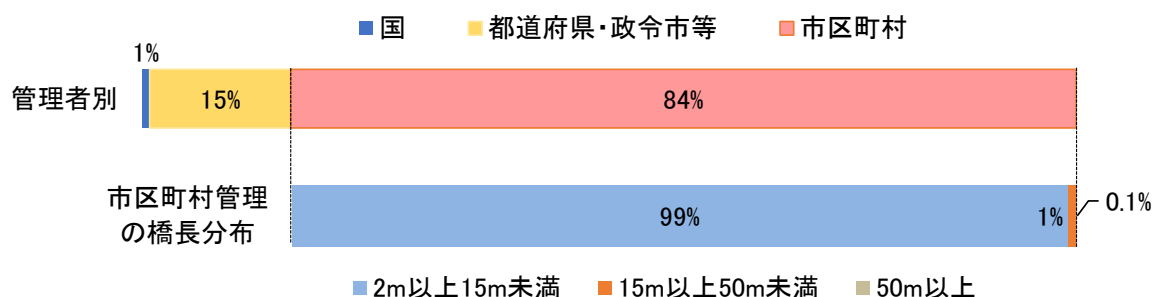
○ 建設後 50 年を経過した橋梁の割合



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約 16.3 万橋ある。

(出典)道路局調べ(2025.3 末時点)

○ 建設年度不明橋梁(約 16.3 万橋)の内訳

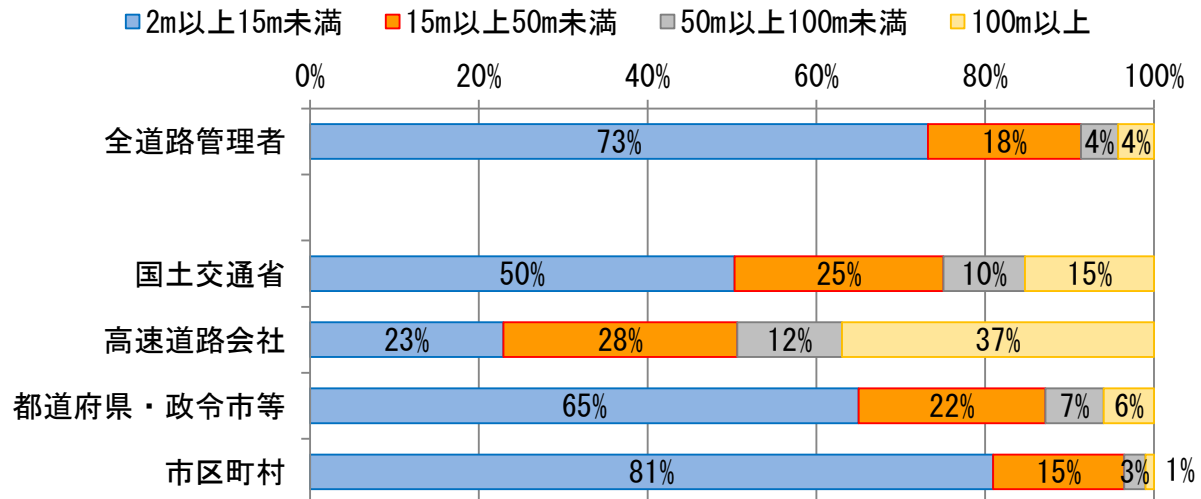


(出典)道路局調べ(2025.3 末時点)

3) 管理者別の橋長分布

- 橋長 50m 以上の橋梁は国土交通省、高速道路会社に多くなっています。
- 市区町村は管理する橋梁の 80%以上が橋長 15m 未満です。

○ 管理者別の橋長分布



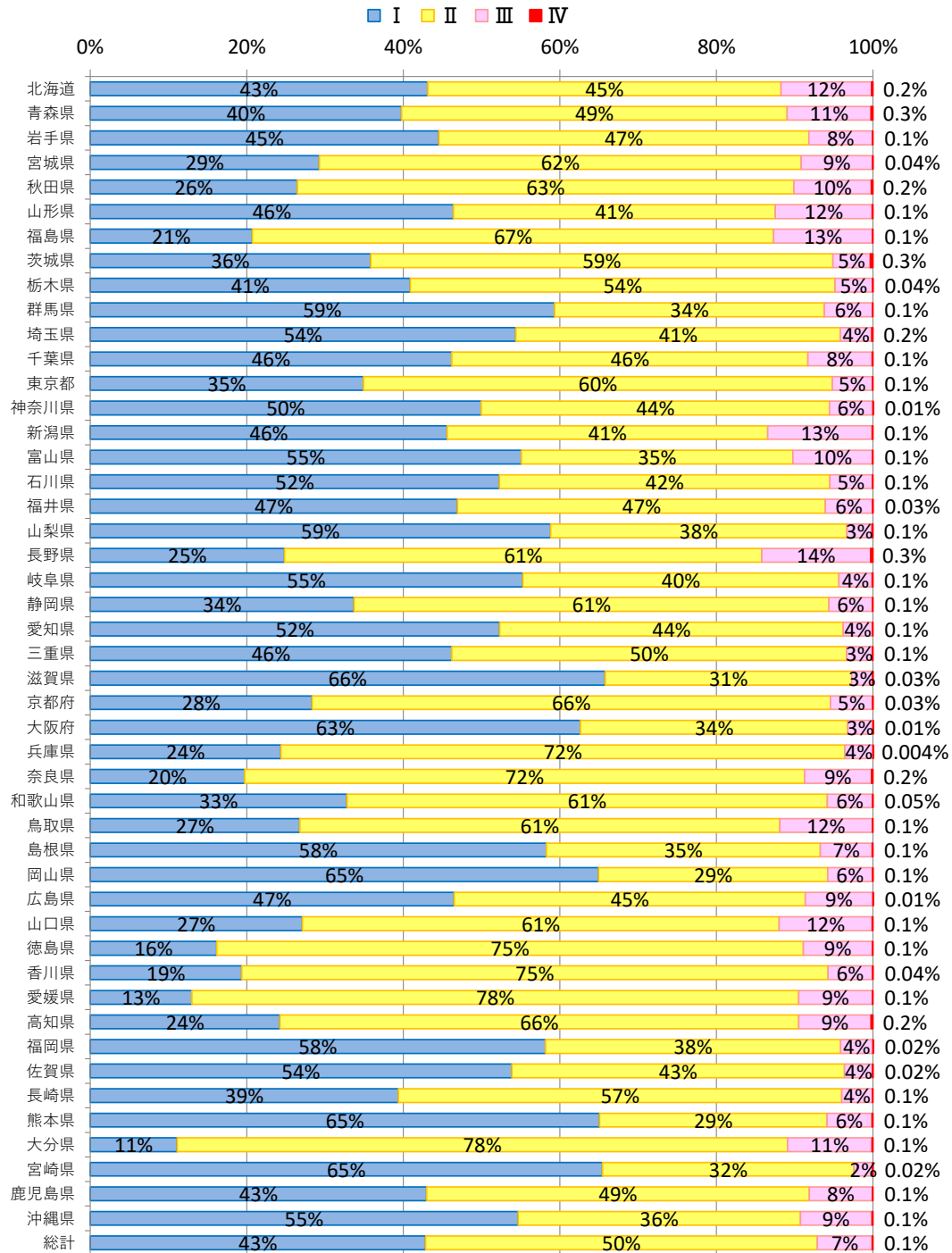
(出典)道路局調べ(2025.3 末時点)

※橋長に関して情報がなかった橋梁を除く

4) 地方公共団体の過年度の点検(2014～2024 年度)の点検結果の分布

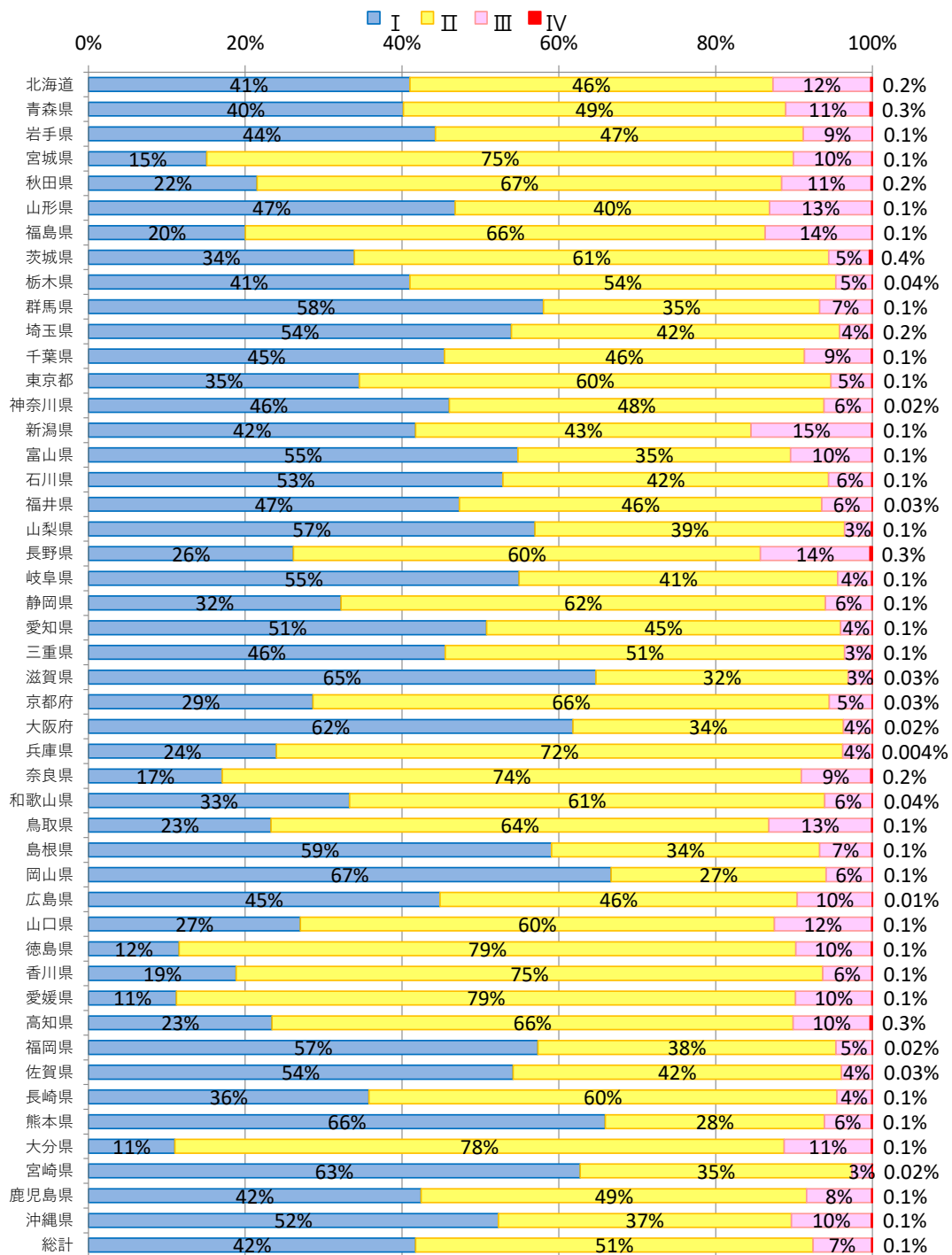
- 過年度の点検(2014～2024 年度)で地方公共団体(都道府県・政令市等及び市区町村)が管理する橋梁の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 地方公共団体全体の判定区分の割合は、Ⅰ 43%、Ⅱ 50%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(地方公共団体管理橋梁)



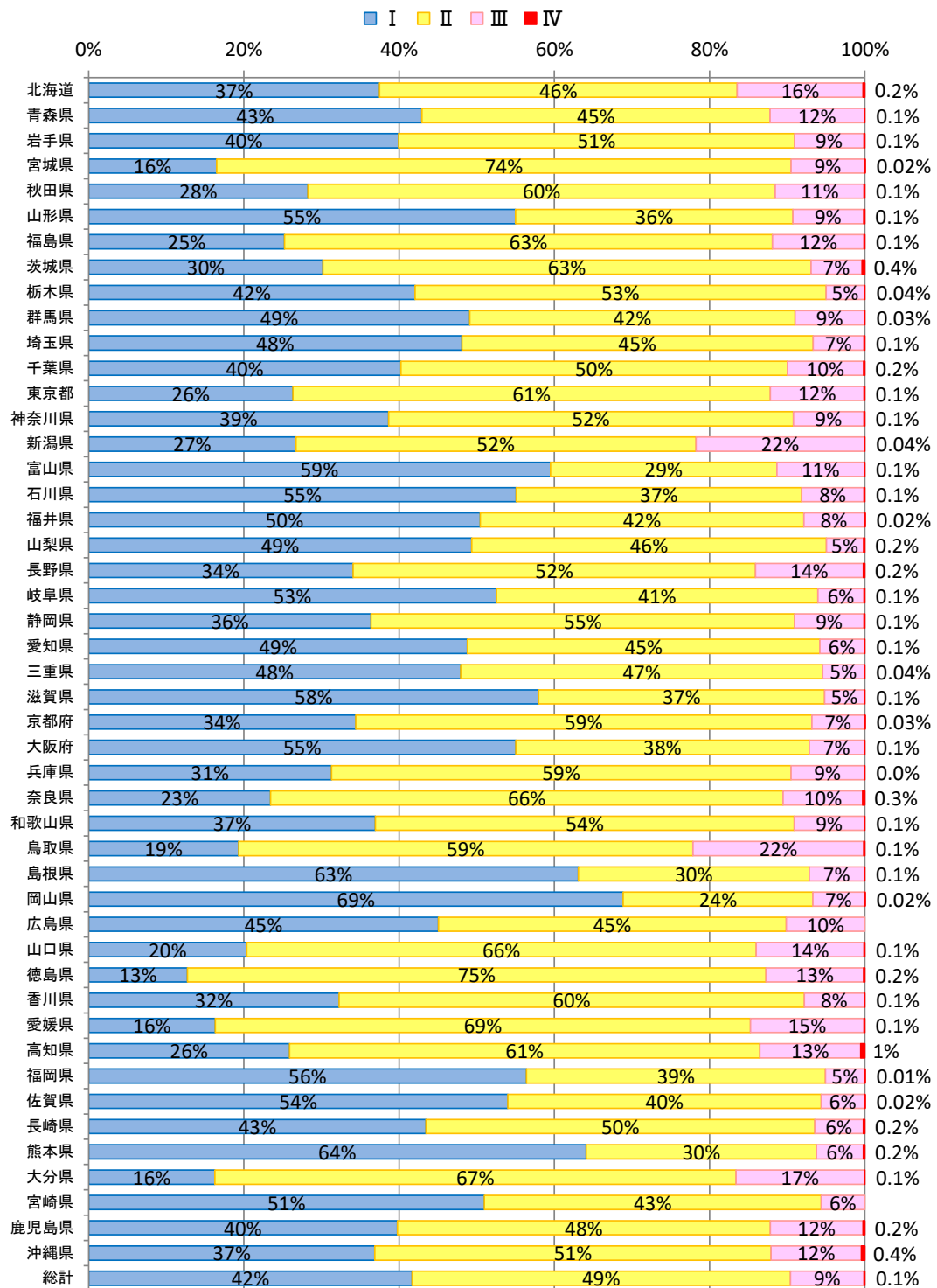
※2025 年 3 月末時点の 2014～2024 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 2巡目点検(2019～2023 年度)における都道府県別判定区分の割合
(地方公共団体管理橋梁)



※2024 年 3 月末時点の 2 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100% とならない場合がある。

(参考) 1巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(地方公共団体管理橋梁)

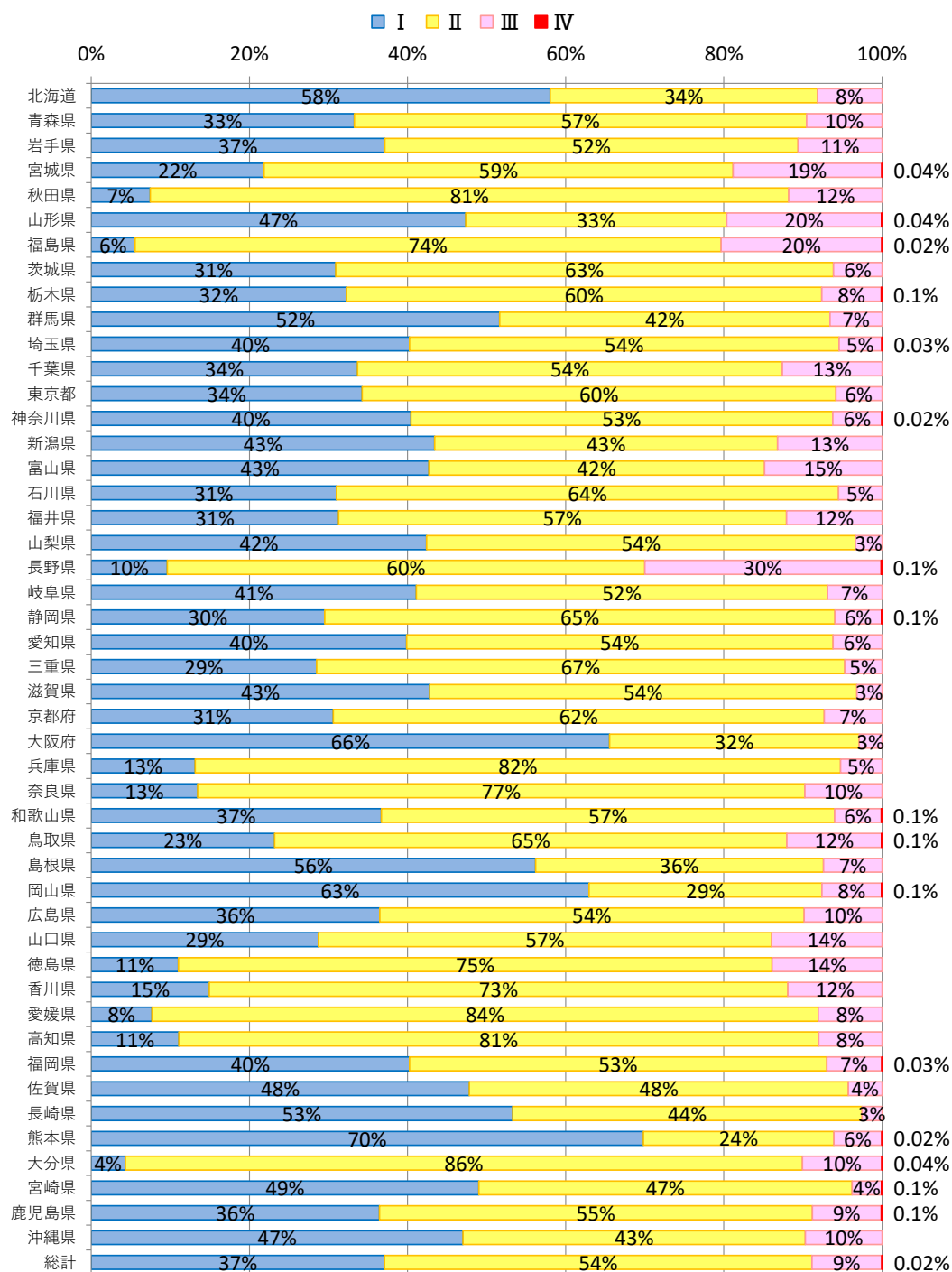


※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100% とならない場合がある。

5) 都道府県・政令市等の過年度の点検(2014～2024 年度)の判定区分の分布

- 過年度の点検(2014～2024 年度)で都道府県・政令市等が管理する橋梁の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 都道府県・政令市等全体の判定区分の割合は、Ⅰ 37%、Ⅱ 54%、Ⅲ 9%、Ⅳ 0.02%です。

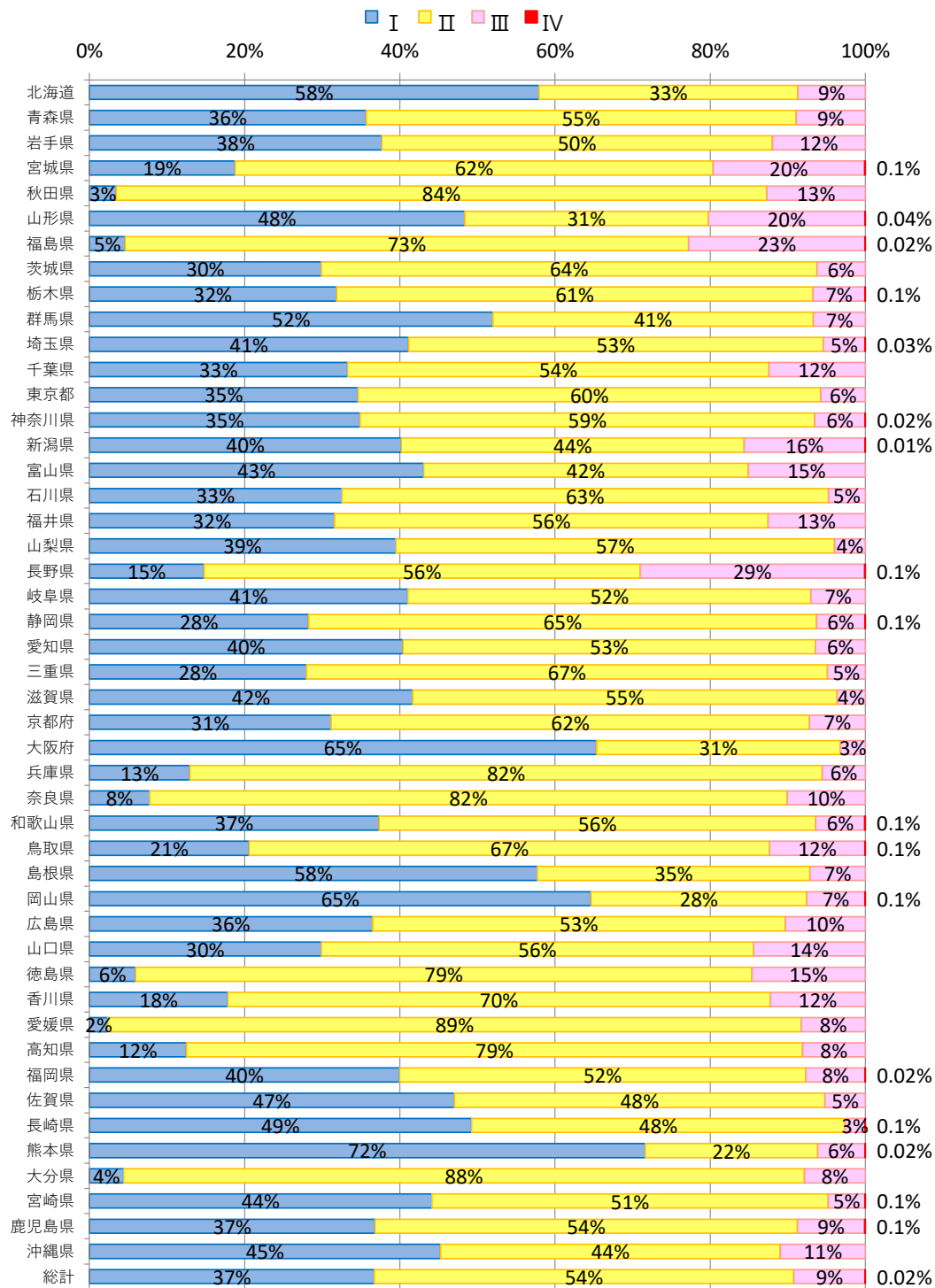
○ 都道府県別判定区分の割合(都道府県・政令市等管理橋梁)



※2025 年 3 月末時点の 2014～2024 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。

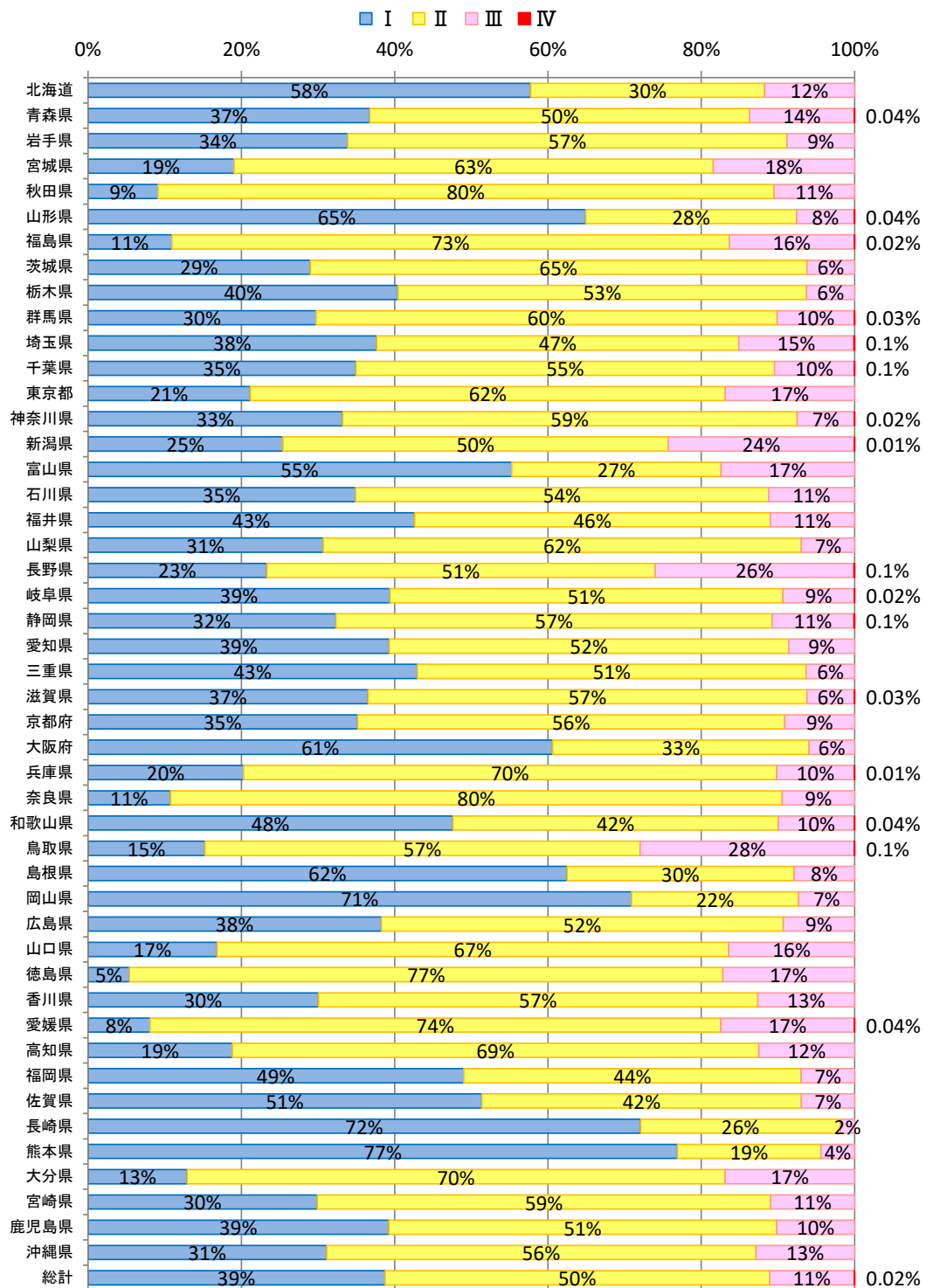
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 2巡目点検(2019～2023 年度)における都道府県別判定区分の割合
(都道府県・政令市等管理橋梁)



※2024 年 3 月末時点の 2 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 1巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(都道府県・政令市等管理橋梁)

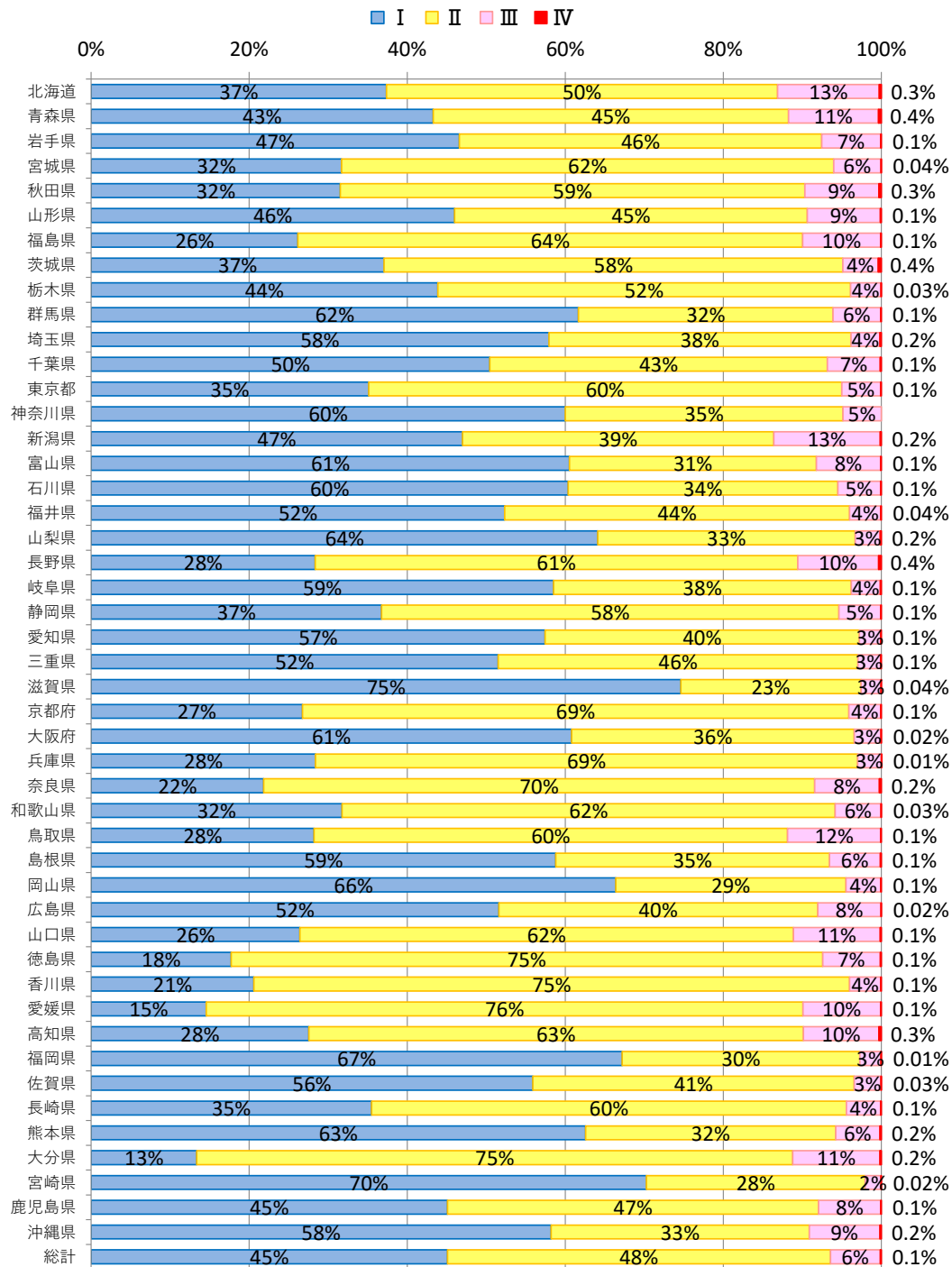


※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

6) 市区町村の過年度の点検(2014～2024 年度)の判定区分の分布

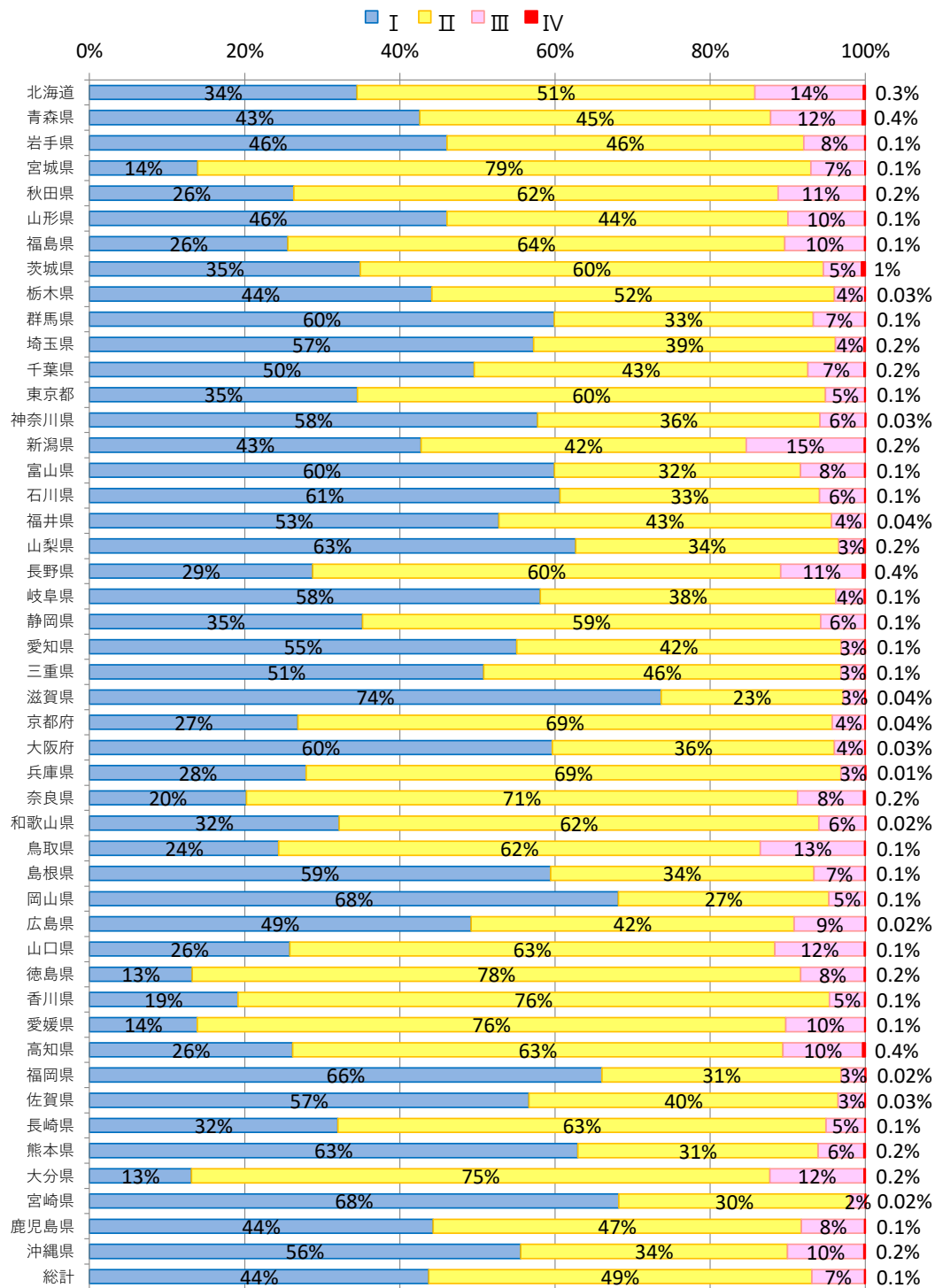
- 過年度の点検(2014～2024 年度)で市区町村が管理する橋梁の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 市区町村全体の判定区分の割合は、Ⅰ 45%、Ⅱ 48%、Ⅲ 6%、Ⅳ 0.1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(市区町村管理橋梁)



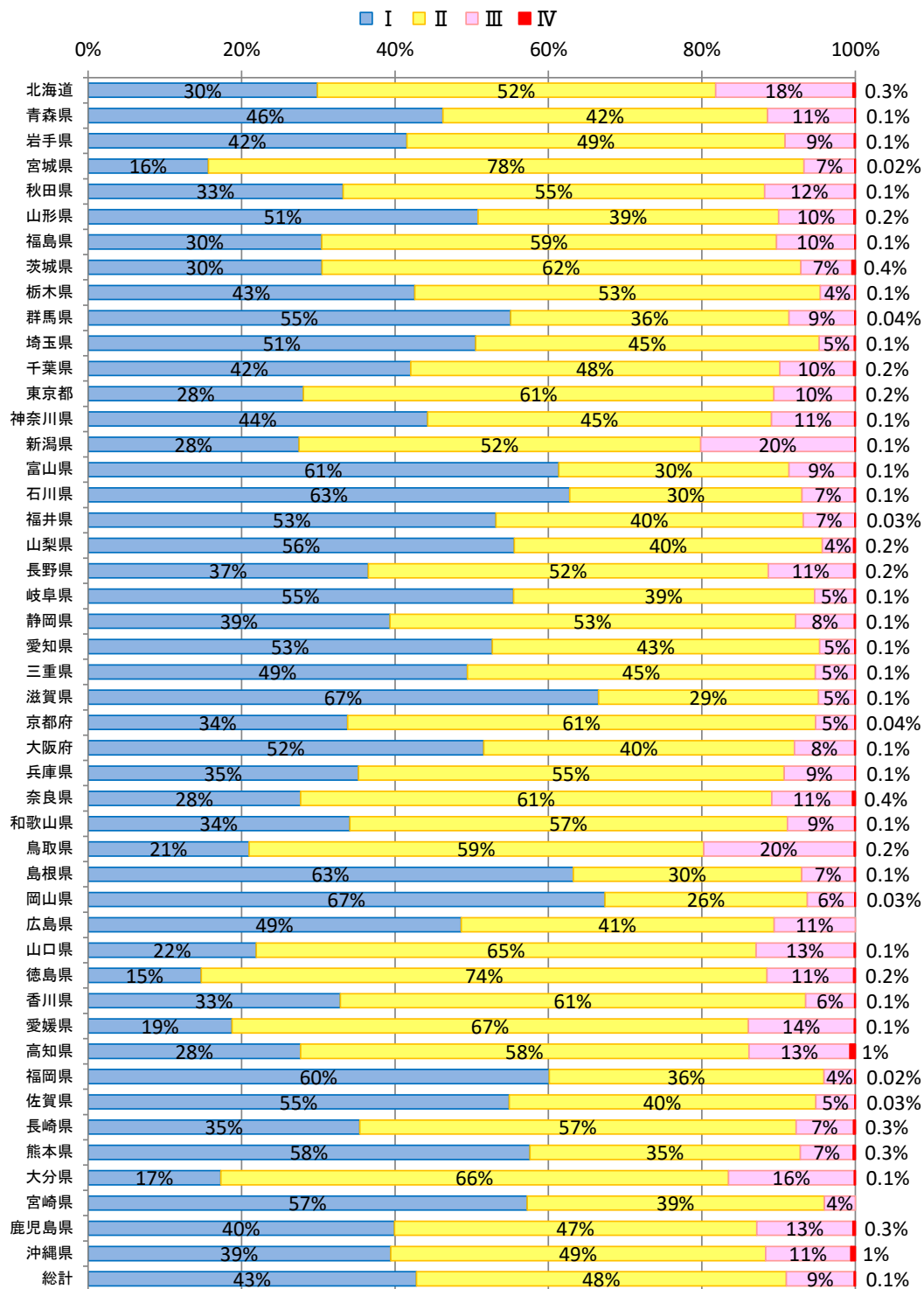
※2025 年 3 月末時点の 2014～2024 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 2巡目点検(2019～2023 年度)における都道府県別判定区分の割合
(市区町村管理橋梁)



※2024 年 3 月末時点の 2 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 1巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(市区町村管理橋梁)



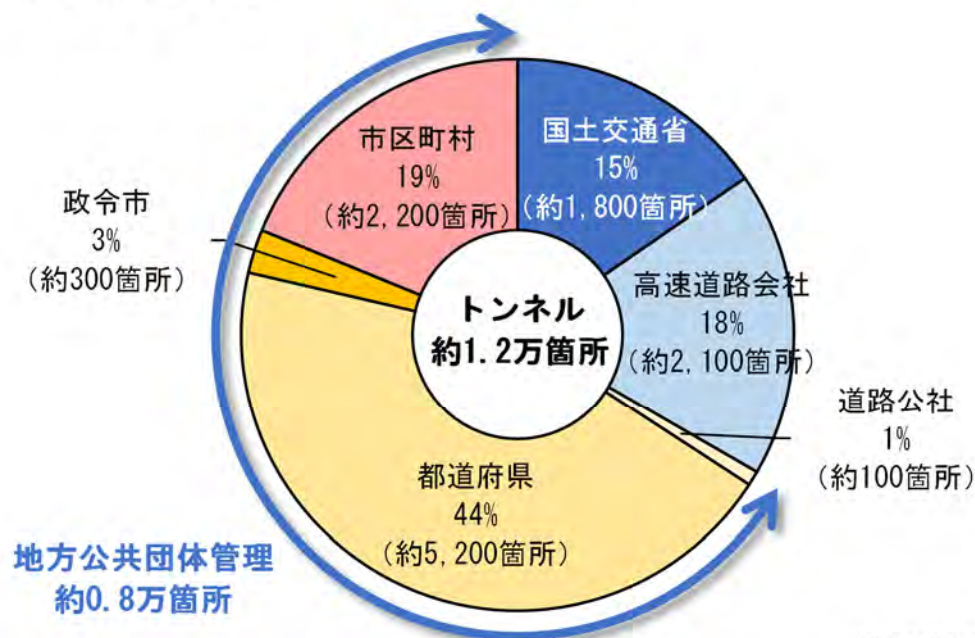
※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(2)トンネルの現状

1) 管理者別の箇所数

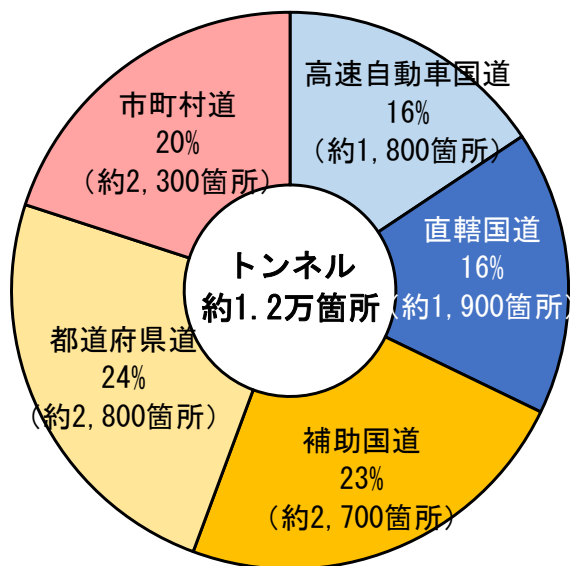
- 我が国にはトンネルが約 1.2 万箇所あり、このうち、地方公共団体が管理するトンネルは約 0.8 万箇所と、約 7 割を占めています。

○ 道路管理者別



(出典)道路局調べ(2025.3 末時点)

○ 道路種別



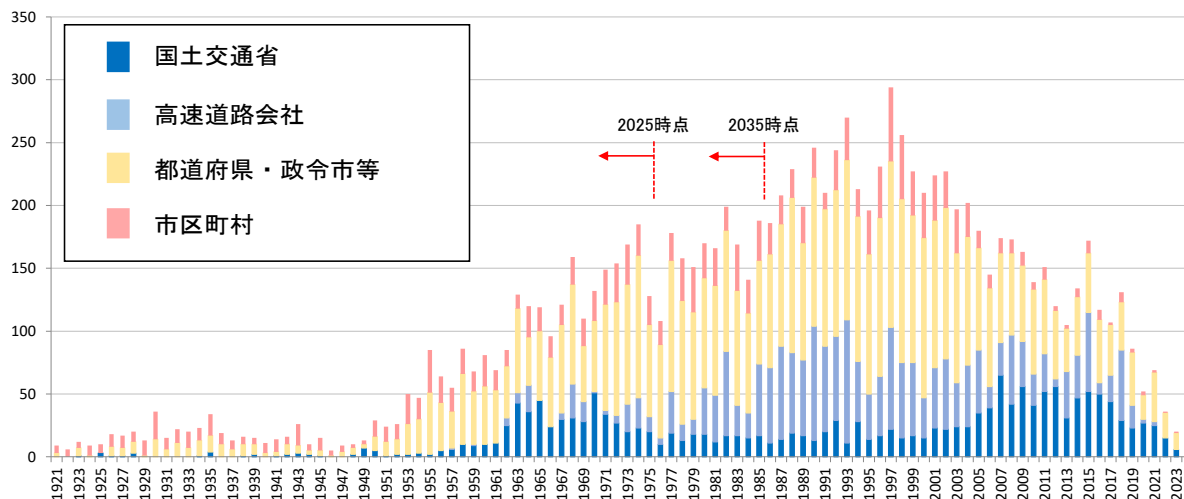
(出典)道路局調べ(2025.3 末時点)

2)建設年度別のトンネル数

- 建設後 50 年を経過したトンネルの割合は、現在は約 28%であるのに対し、10 年後には約 42%に増加します。建設後 50 年を経過し延長 100m 未満のトンネルの割合は、10 年後に約 78%となります。

※橋梁・トンネルの建設年度別施設数は巻末資料(4)を参照。

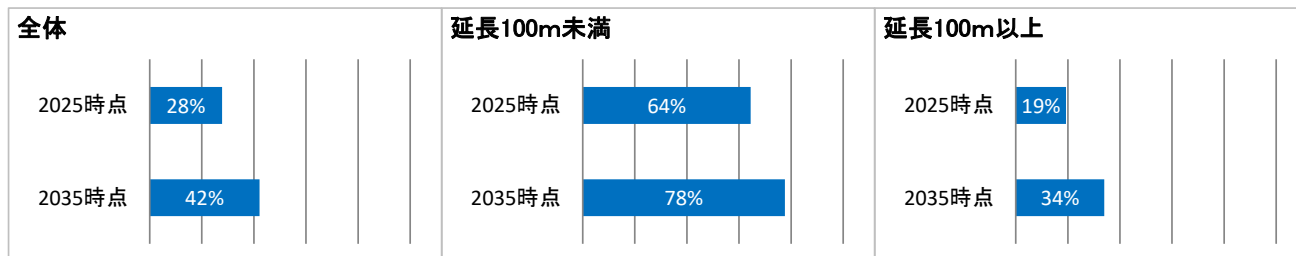
○ 建設年度別トンネル数



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが約 240 箇所ある。

(出典)道路局調べ(2025.3 末時点)

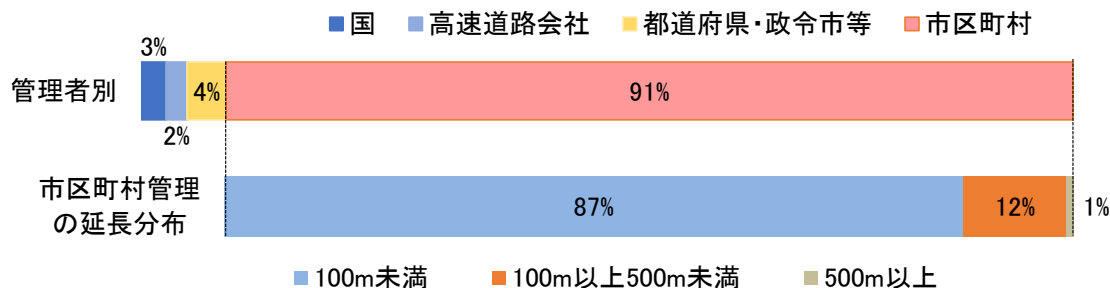
○ 建設後 50 年を経過したトンネルの割合



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが約 240 箇所ある。

(出典)道路局調べ(2025.3 末時点)

○ 建設年度不明トンネル(約 240 箇所)の内訳

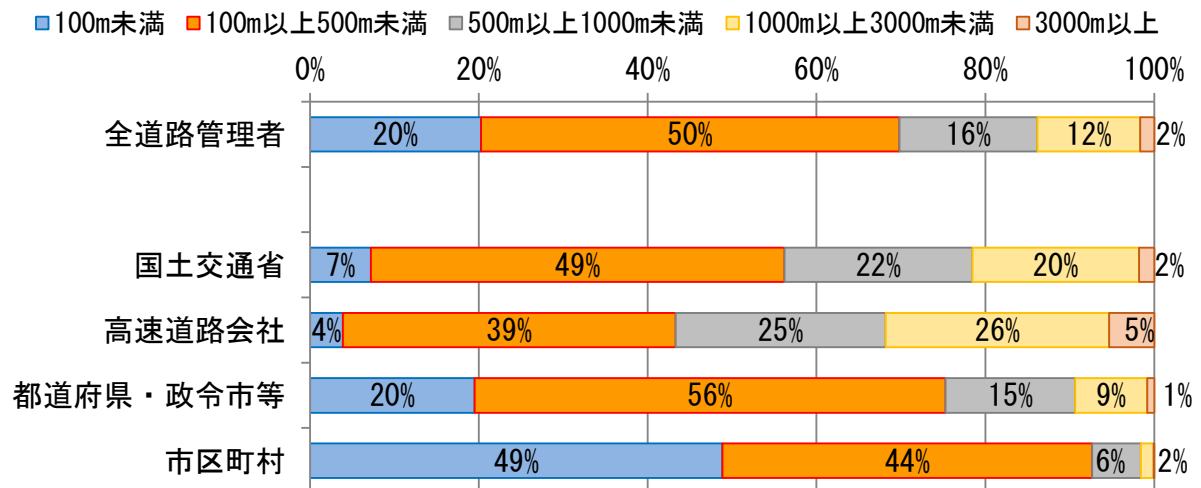


(出典)道路局調べ(2025.3 末時点)

3) 管理者別の延長分布

- 延長 1000m 以上のトンネルは国土交通省、高速道路会社に多くなっています。
- 市区町村は管理するトンネルの約 50%が延長 100m 未満です。

○ 管理者別の延長分布



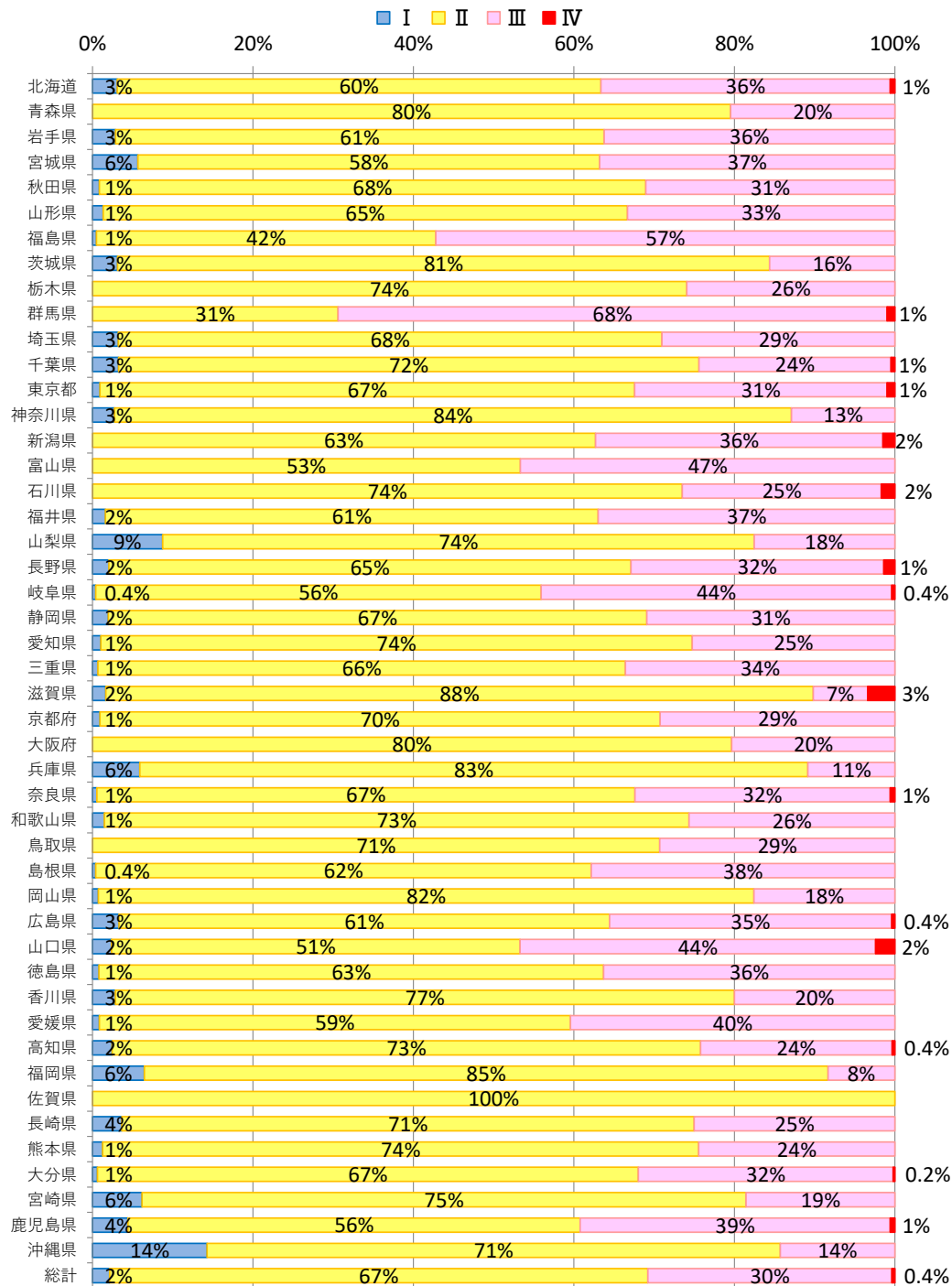
(出典)道路局調べ(2025.3 末時点)

※延長に関して情報がなかった施設を除く

4) 地方公共団体の過年度の点検(2014～2024 年度)の判定区分の分布

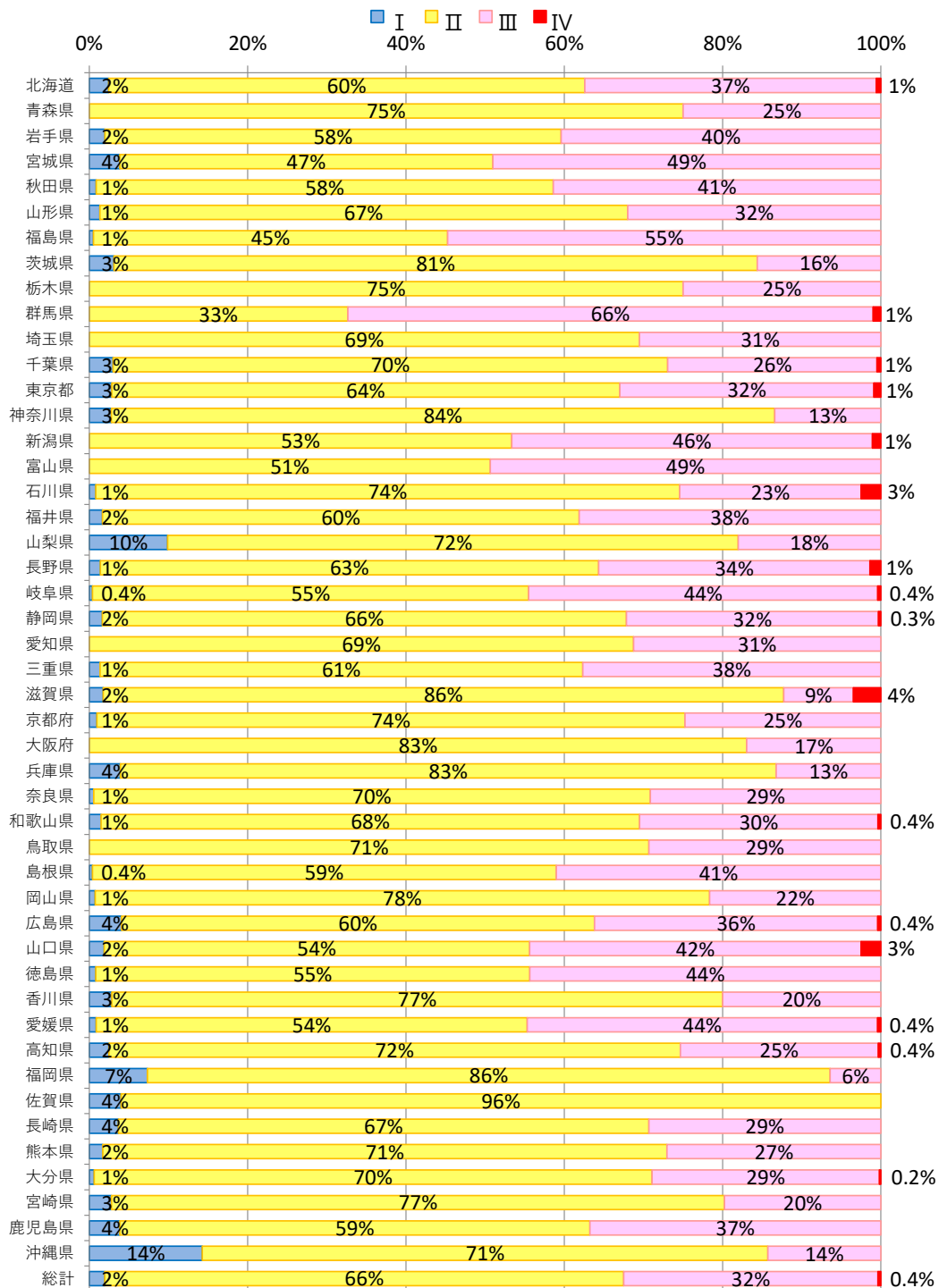
- 過年度の点検(2014～2024 年度)で地方公共団体(都道府県・政令市等及び市区町村)が管理するトンネルの判定区分の割合は地域によって異なります。
- 地方公共団体全体の判定区分の割合は、Ⅰ 2%、Ⅱ 67%、Ⅲ 30%、Ⅳ 0.4%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(地方公共団体管理トンネル)



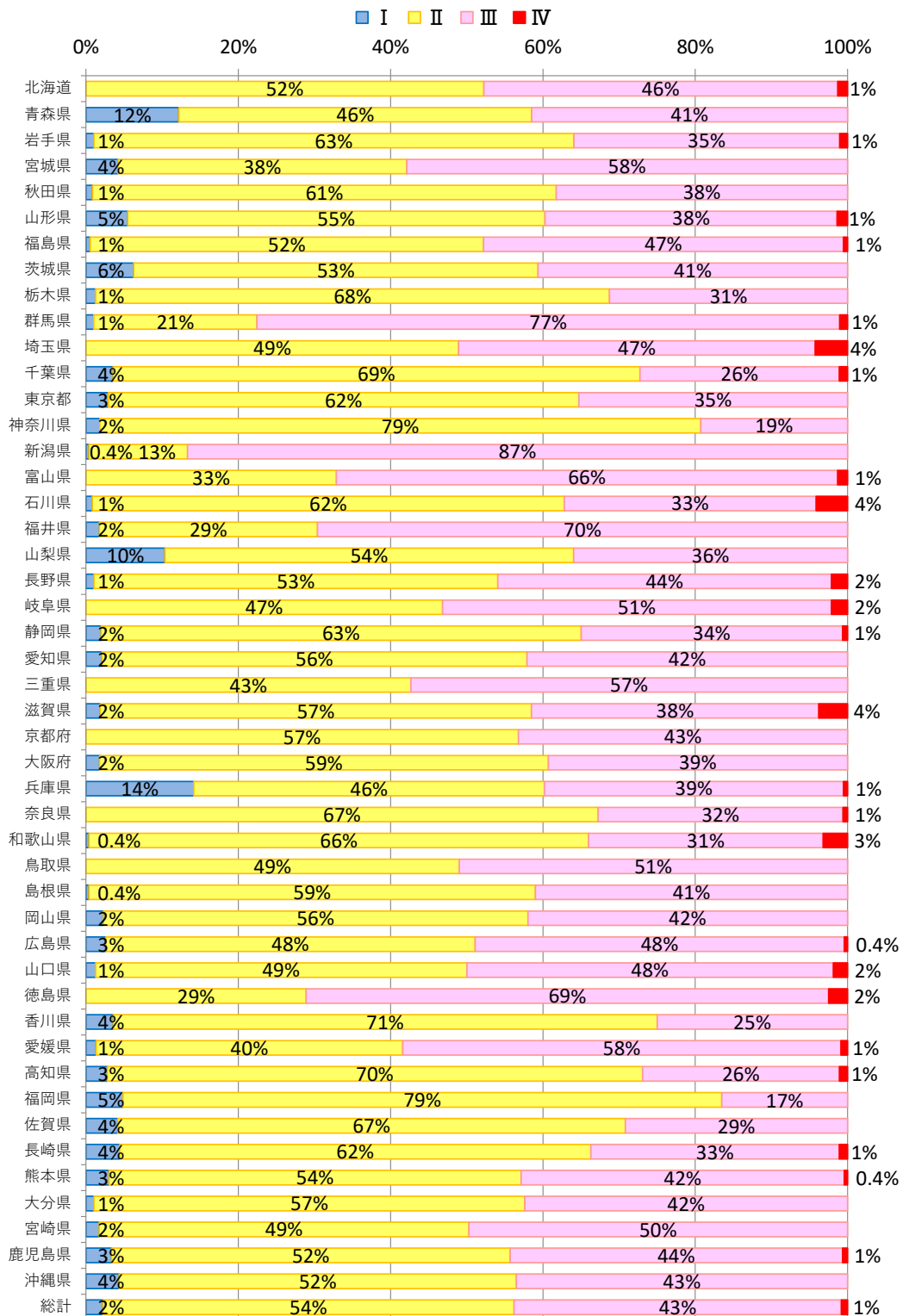
※2025 年 3 月末時点の 2014～2024 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 2巡目点検(2019～2023 年度)における都道府県別判定区分の割合
(地方公共団体管理トンネル)



※2024 年 3 月末時点の 2 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100% とならない場合がある。

(参考) 1巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(地方公共団体管理トンネル)



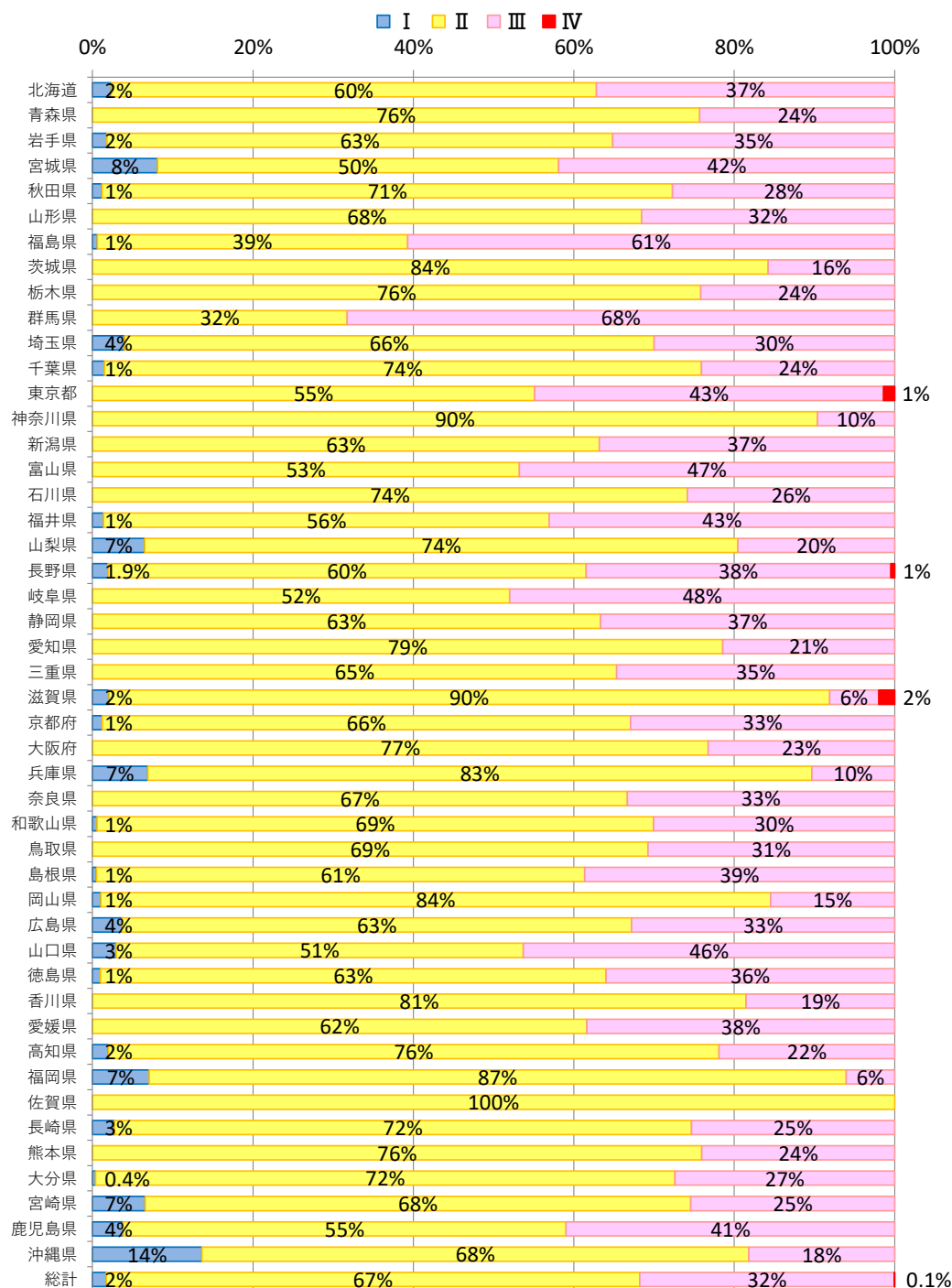
※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。

また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

5) 都道府県・政令市等の過年度の点検(2014～2024 年度)の判定区分の分布

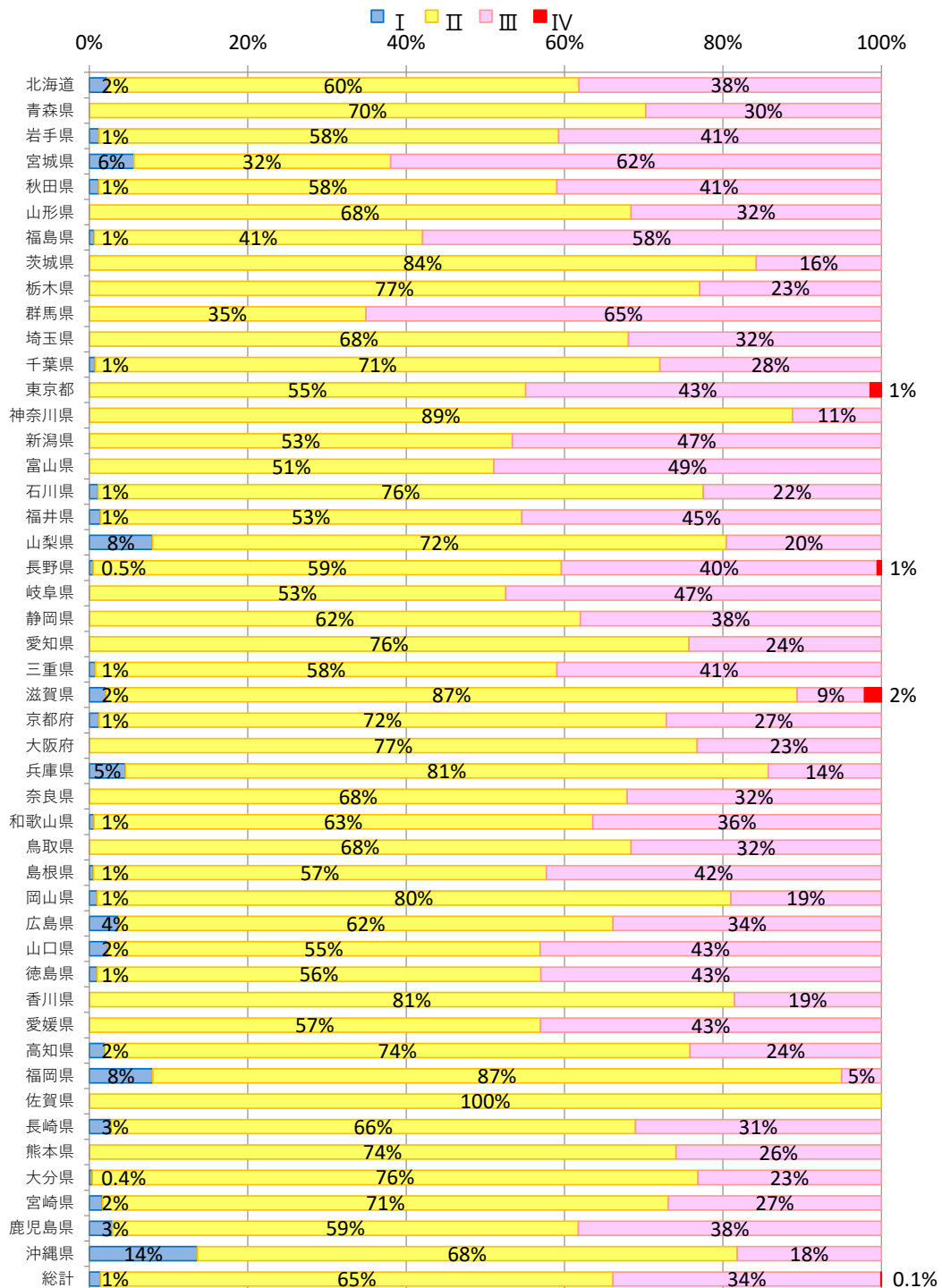
- 過年度の点検(2014～2024 年度)で都道府県・政令市等が管理するトンネルの判定区分の割合は地域によって異なります。
- 都道府県・政令市等の全体の判定区分の割合は、Ⅰ 2%、Ⅱ 67%、Ⅲ 32%、Ⅳ 0.1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(都道府県・政令市等管理トンネル)



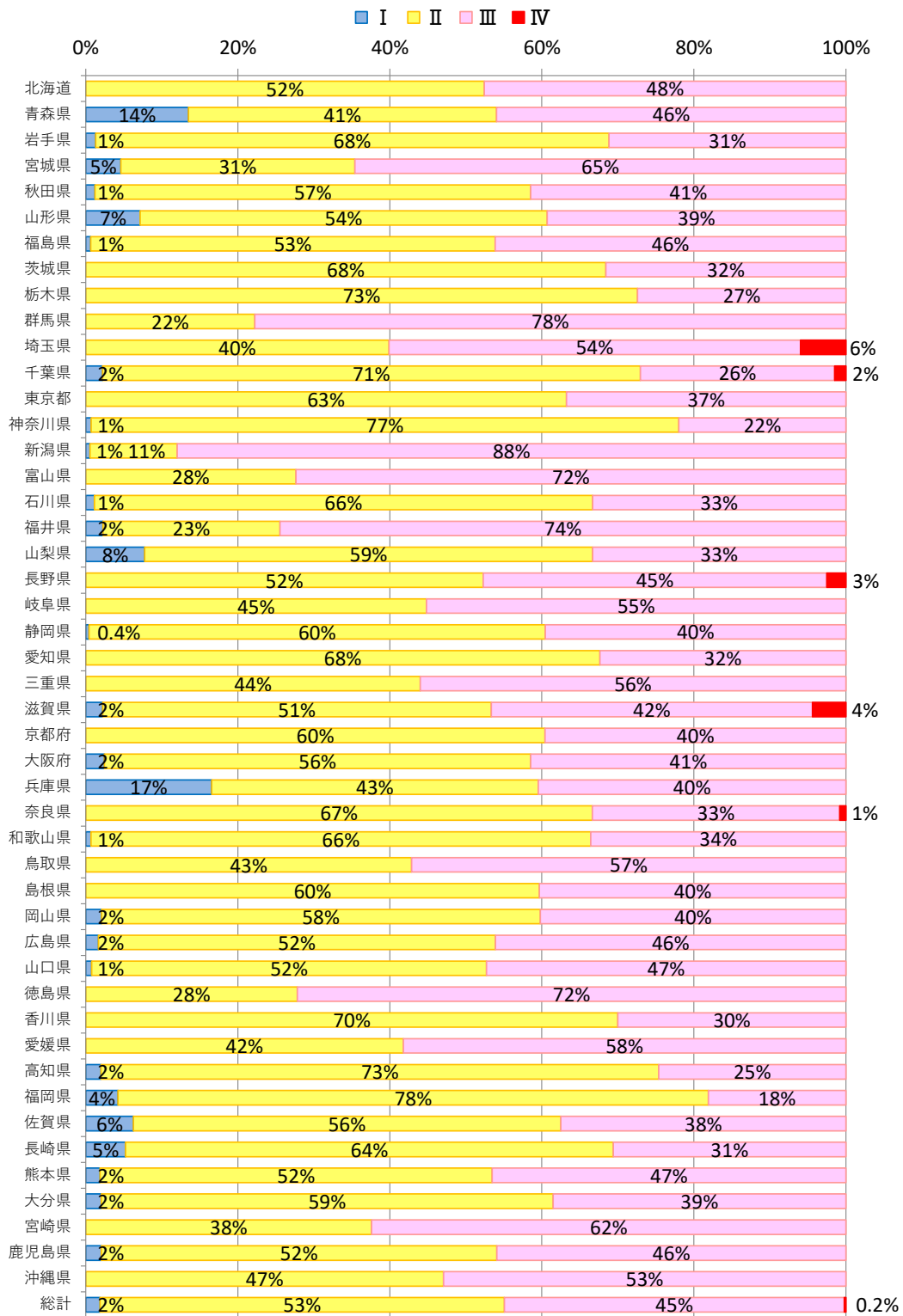
※2025 年 3 月末時点の 2014～2024 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 2巡目点検(2019～2023 年度)における都道府県別判定区分の割合
(都道府県・政令市等管理トンネル)



※2024 年 3 月末時点の 2 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 1巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(都道府県・政令市等管理トンネル)



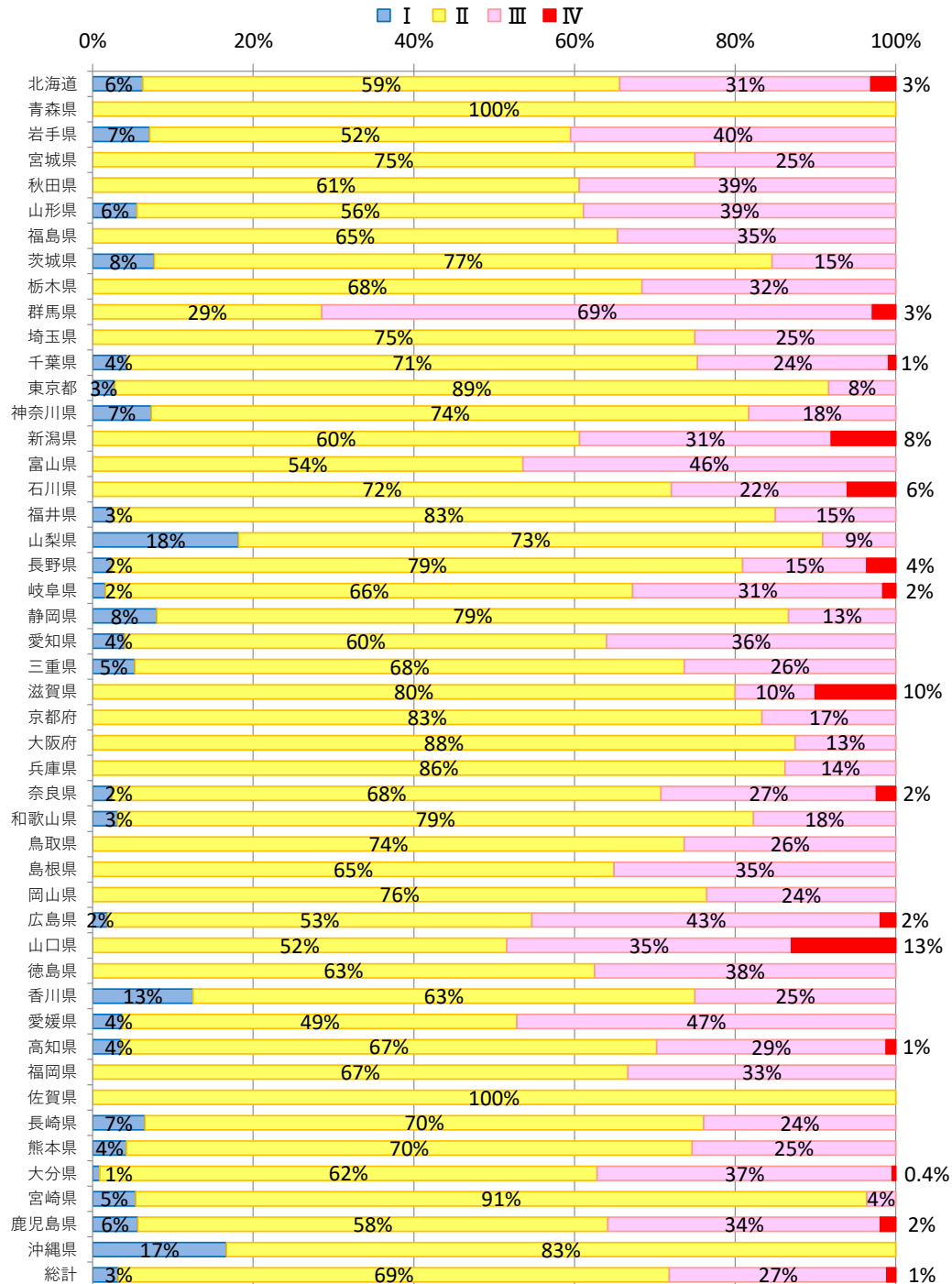
※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。

また、四捨五入の関係で合計が 100% とならない場合がある。

6) 市区町村の過年度の点検(2014～2024 年度)の判定区分の分布

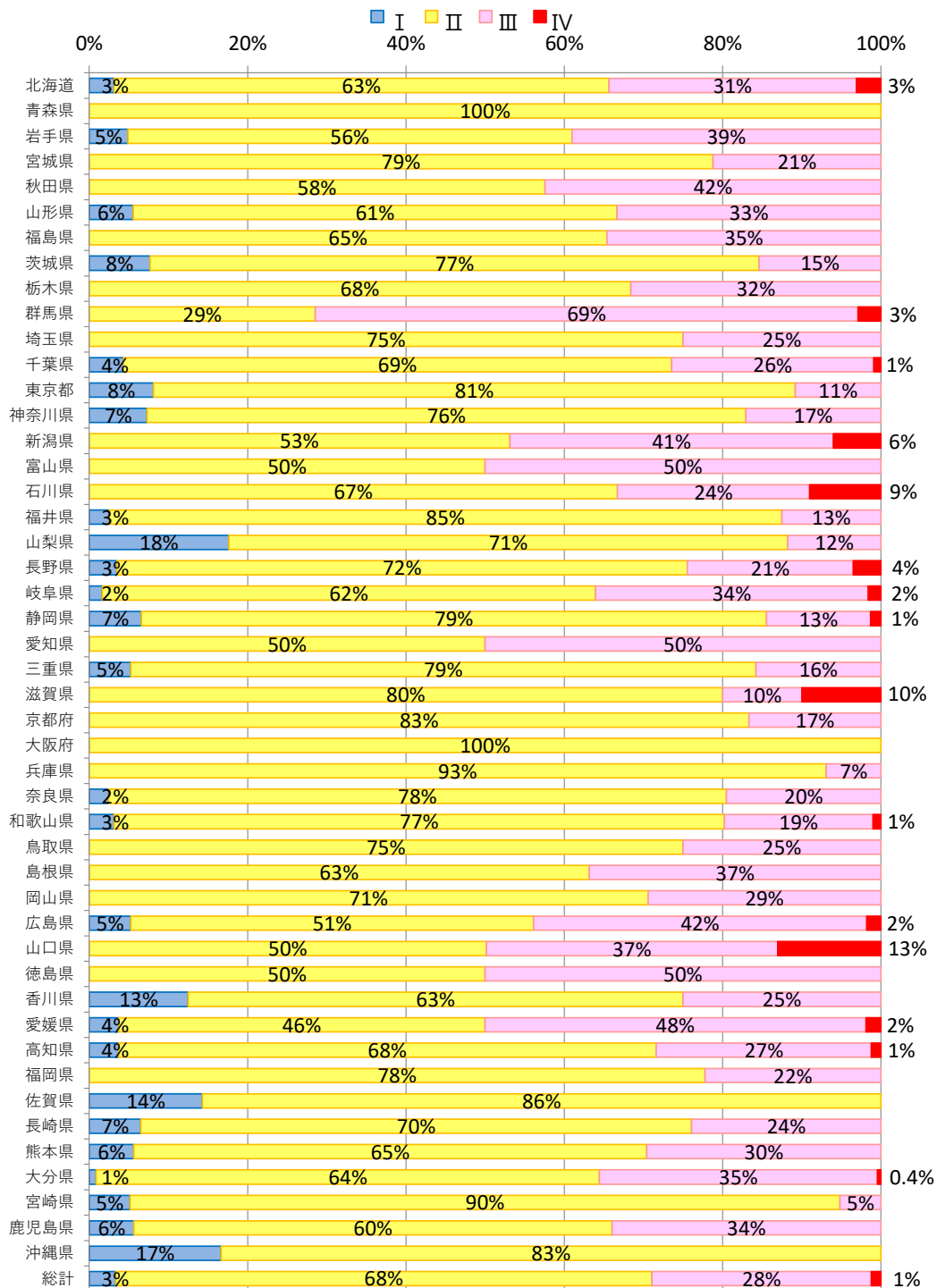
- 過年度の点検(2014～2024 年度)で市区町村が管理するトンネルの判定区分の割合は地域によって異なります。
- 市区町村の全体の判定区分の割合は、Ⅰ 3%、Ⅱ 69%、Ⅲ 27%、Ⅳ 1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(市区町村管理トンネル)



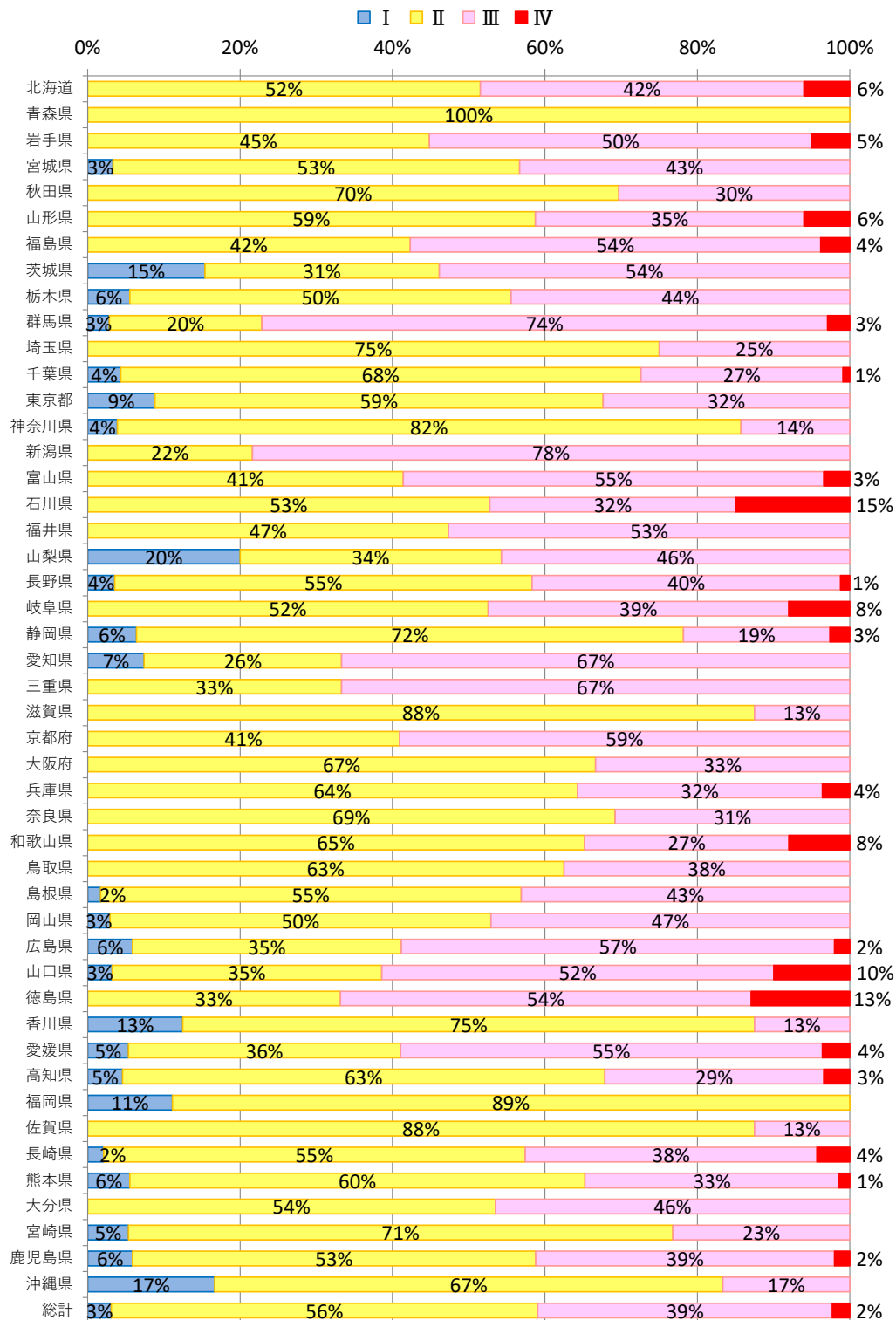
※2025 年 3 月末時点の 2014～2024 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 2巡目点検(2019～2023 年度)における都道府県別判定区分の割合
(市区町村管理トンネル)



※2024年3月末時点の2巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

(参考) 1巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(市区町村管理トンネル)



※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100% とならない場合がある。

8. 路面下空洞・地下占用物の調査結果等及び修繕等措置の実施状況

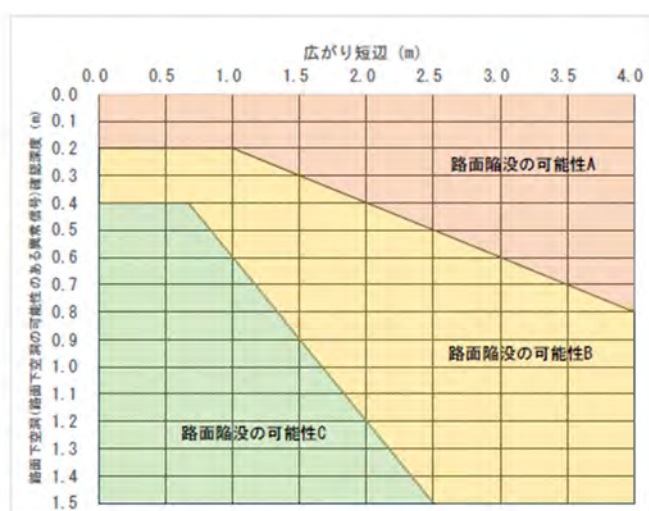
(1) 路面下空洞

1) 概要

道路陥没に繋がる路面の異常については、各道路管理者が道路巡視や路面下空洞調査などにより把握を行っています。

国土交通省の管理する道路については、道路巡視による路面異常の把握の他、路面下空洞調査要領(2025 年 3 月 国土交通省道路局国道・技術課)に基づき、5年に1回は調査を実施する事を基本(周辺施設や地下構造物の種類等に応じて調査頻度を短縮)として、空洞探査車両等により調査を実施しています。

確認された空洞による路面陥没の可能性の高さを以下により判定した上で、埋設物の設置状況や沿道状況などを踏まえて修繕等の措置の優先度を判断しています。



※路面下空洞(路面下空洞の可能性のある異常信号)確認深度の0.0mは路面の位置とする。

図 4.3 路面陥没の可能性判定表(例)

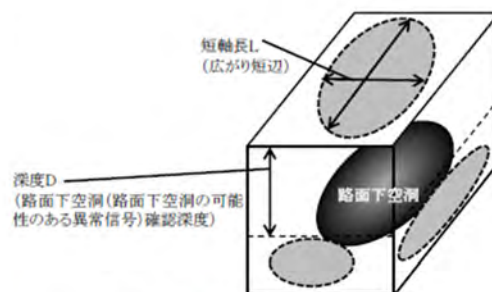


図 4.4 路面下空洞の広がりイメージ図

国土交通省以外の道路管理者は、道路巡視による路面異常の把握の他、路面下空洞調査要領(2025 年 3 月 国土交通省道路局国道・技術課)等を参考に、適切に管理を行っています。

2) 調査・修繕の実施状況(国土交通省)

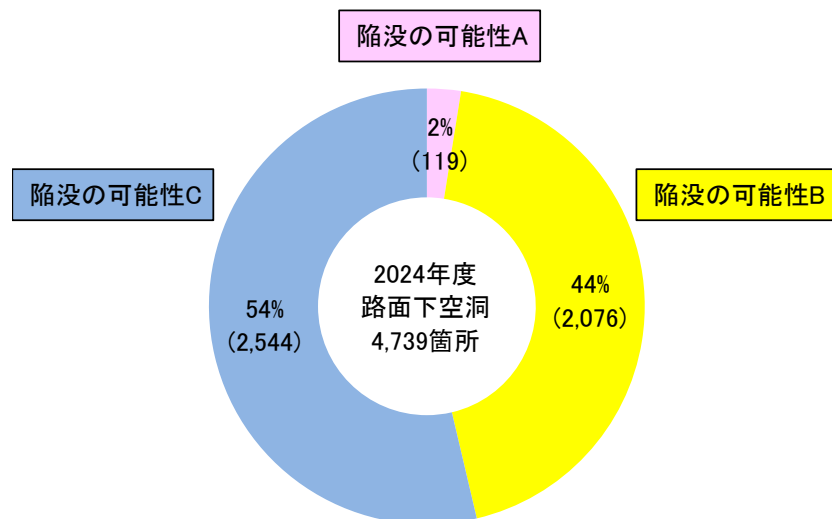
- 国土交通省が 2024 年度に実施した路面下空洞調査の調査延長は 3,079km で、路面陥没の可能性の判定区分の割合は、A 2%、B 44%、C 54%です。
- 路面陥没の可能性が高いと判定 (A) された全ての箇所で修繕等に着手済みです。

○ 路面下空洞調査による路面陥没の可能性判定区分の割合

道路管理者	調査対象 延長 (道路延長)	2024 年度				
		調査延長 (道路延長)	空洞確認 箇所数	路面陥没の可能性		
				A(高い)	B(中程度)	C(低い)
国土交通省	20,810km	3,079km	4,739 箇所	119 箇所 (119 箇所)※	2,076 箇所 (207 箇所)※	2,544 箇所 (25 箇所)※

※ うち、修繕等の優先度(交通量や迂回路有無等社会的影響により判断)が高い箇所

2025.3 末時点



○ 修繕等の優先度が高い箇所の修繕実施の割合

路面陥没の 可能性	修繕等の 優先度が高い箇所	修繕等に 着手済みの箇所	うち、完了
A(高い)	119 箇所	119 箇所 (100%)	118 箇所 (99%)
B(中程度)	207 箇所	61 箇所 (29%)	45 箇所 (22%)
C(低い)	25 箇所	19 箇所 (76%)	11 箇所 (44%)

2025.8.25 時点

(2) 地下占用物

1) 概要

道路下に埋設されている占用物は、関係法令や施設特性等に応じた管理者毎の考え方に基づき点検・調査を実施しています。

2) 主な地下占用物の調査・修繕の実施状況(電力事業者※)

- 道路下に埋設されている電力関係施設について、電力事業者が 2024 年度に調査した施設数は洞道 745 区間、マンホール 18,700 箇所です。このうち、不具合が確認された箇所はマンホール 224 箇所、修繕等措置を実施した箇所は 7 箇所です。

※(一社)送配電網協議会参画企業

道路管理者	対象施設数		2024 年度					
	洞道	マンホール	洞道			マンホール		
			実施区間	不具合箇所	措置済箇所	実施箇所	不具合箇所	措置済箇所
全管理者	3,903 区間	114,619 箇所	745 区間	0 箇所	0 箇所	18,700 箇所	224 箇所	7 箇所

2025.3 末時点

3) 主な地下占用物の調査・修繕の実施状況(通信事業者※)

- 道路下に埋設されている通信関係施設について、通信事業者が 2024 年度に調査した施設数は洞道 239km、マンホール 78,748 箇所です。このうち、不具合が確認された箇所はマンホール 81 箇所、修繕等措置を実施した箇所は 8 箇所です。

※NTT 東日本(株)、NTT 西日本(株)、NTT インフラネット(株)

道路管理者	対象施設数		2024 年度					
	洞道	マンホール	洞道			マンホール		
			実施延長	不具合箇所	措置済箇所	実施箇所	不具合箇所	措置済箇所
全管理者	618km	790,450 箇所	239km	0 箇所	0 箇所	78,748 箇所	81 箇所	8 箇所

2025.3 末時点

4) 主な地下占用物の調査・修繕の実施状況(ガス事業者※)

- 道路下に埋設されているガス関係施設について、ガス事業者が 2024 年度に調査した施設数は 54,737km です。このうち、不具合が確認された箇所は 2,928 箇所、修繕等措置を実施した箇所は 2,815 箇所です。

※(一社)日本ガス協会参画企業

道路管理者	対象施設延長	2024 年度		
		実施延長	不具合箇所	措置済箇所
全管理者	258,382km	54,737km	2,928 箇所	2,815 箇所

2025.3 末時点

5) 主な地下占用物の調査・修繕の実施状況(水道事業者)

- 道路下に埋設されている水道関係施設について、水道事業者が 2024 年度に調査した延長は約 35 万 km です。このうち、不具合が確認された箇所は 14,113 箇所、修繕等措置を実施した箇所は 12,521 箇所です。

道路管理者	対象管路延長※	2024 年度		
		調査実施延長	不具合箇所	措置済箇所
全管理者	約 79 万 km	約 35 万 km	14,113 箇所	12,521 箇所

※水道統計及び簡易水道統計の延長計
2025.3 末時点

6) 主な地下占用物の調査・修繕の実施状況(下水道事業者)

- 道路下に埋設されている下水道関係施設について、下水道事業者が 2024 年度に調査した延長は約 2.5 万 km です。このうち、不具合が確認された箇所は 86km で、修繕等措置を実施した箇所は 17km です。

道路管理者	対象管路延長	2024 年度		
		調査実施延長	不具合箇所※ ¹	措置済箇所※ ²
全管理者	約 50 万 km	約 2.5 万 km	86km	17km

※ 1 緊急度 I と判定された延長

※ 2 措置未了の箇所については、速やかな措置の実施を要請中
2025.3 末時点

9. 地方公共団体におけるメンテナンスに向けた取り組み

(1) 道路メンテナンス会議の開催

- 関係機関の連携による検討体制を整え、課題の状況を継続的に把握・共有し、効果的な老朽化対策の推進を図ることを目的に、「道路メンテナンス会議」を設置しました。（2014年7月7日に全都道府県で設置済）

体制

- ・ 地方整備局（直轄事務所）
- ・ 地方公共団体（都道府県、市町村）
- ・ 高速道路会社（NEXCO・首都高速道路・阪神高速道路・本州四国連絡高速道路）
- ・ 道路公社

役割

1. 維持管理等に関する情報共有
 2. 点検、修繕等の状況把握及び対策の推進
 3. 点検業務の発注支援（地域一括発注等）
 4. 技術的な相談対応
- 等

地方公共団体の取り組み事例の共有

- 道路メンテナンス会議を通じて、地方公共団体における老朽化対策の取り組み事例を共有

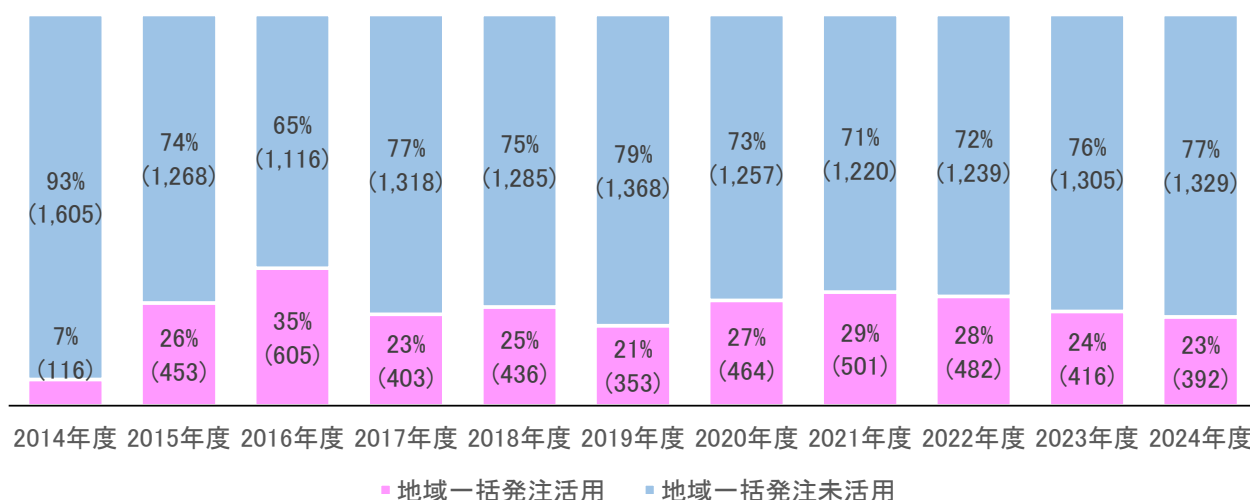
<取り組み事例>

- ・ 点検・診断の高度化・効率化、補修計画の適正化等のため、産学官の連携により、点検・診断・措置情報を効率的に記録することが出来るデータベースシステムの開発・導入
- ・ 技術力の向上、点検費用の削減のため、道路メンテナンス会議と市による合同点検（直営点検）の実施
- ・ 県による市町村への橋梁補修工法等に関する技術的助言を行う相談窓口の設置

(2) 地域一括発注の状況

- 市区町村の人不足・技術力不足を補うため、市区町村の点検・診断の発注事務を都道府県が一括して実施しています。
- 2024年度は392市区町村（29道府県）が地域一括発注を活用しています。

市区町村における地域一括発注の活用状況



※点検対象となる橋梁やトンネル等がない自治体については、未活用として整理している。

(3)直轄診断・修繕代行

- 地方公共団体への支援策の一つとして、緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い橋梁について、「直轄診断※」を実施しました。
- 直轄診断を実施した橋梁については、各道路管理者からの要請を踏まえ、修繕代行事業や補助事業に着手しています。

○ 直轄診断実施箇所と診断結果概要

実施年度	施設名	道路管理者名	延長(m)
2014	みしまおおはし 三島大橋	三島町(福島県)	131
2014	おおまえはし 大前橋	孺恋村(群馬県)	73
2014	おおど おおはし 大渡ダム大橋	仁淀川町(高知県)	444
2015	ぬまお 沼尾シェッド	下郷町(福島県)	189
2015	さるかいはし 猿飼橋	十津川村(奈良県)	139
2015	よぶこおおはし 呼子大橋	唐津市(佐賀県)	728
2016	まんこくはし 万石橋	湯沢市(秋田県)	171
2016	みほこはし 御鉾橋	神流町(群馬県)	46
2017	おとざわはし 音沢橋	黒部市(富山県)	110
2017	おとひめおおはし 乙姫大橋	中津川市(岐阜県)	317
2018	にがたずいどう 仁方隧道	呉市(広島県)	260
2018	てんたいはし 天大橋	薩摩川内市(鹿児島県)	329
2019	ちちぶはし 秩父橋	秩父市(埼玉県)	135
2019	ふるかわはし 古川橋	吉田町(静岡県)	54
2020	しらおいはし 白老橋	白老町(北海道)	148
2020～2021	つるまいはし 鶴舞橋	奈良市(奈良県)	97
2022	だんざきはし 伊達崎橋	福島県(福島県)	288
2024	ひのしまおおはし 樋島大橋	上天草市(熊本県)	291

緊急性・難易度を踏まえて対応

○ 直轄修繕代行等実施状況

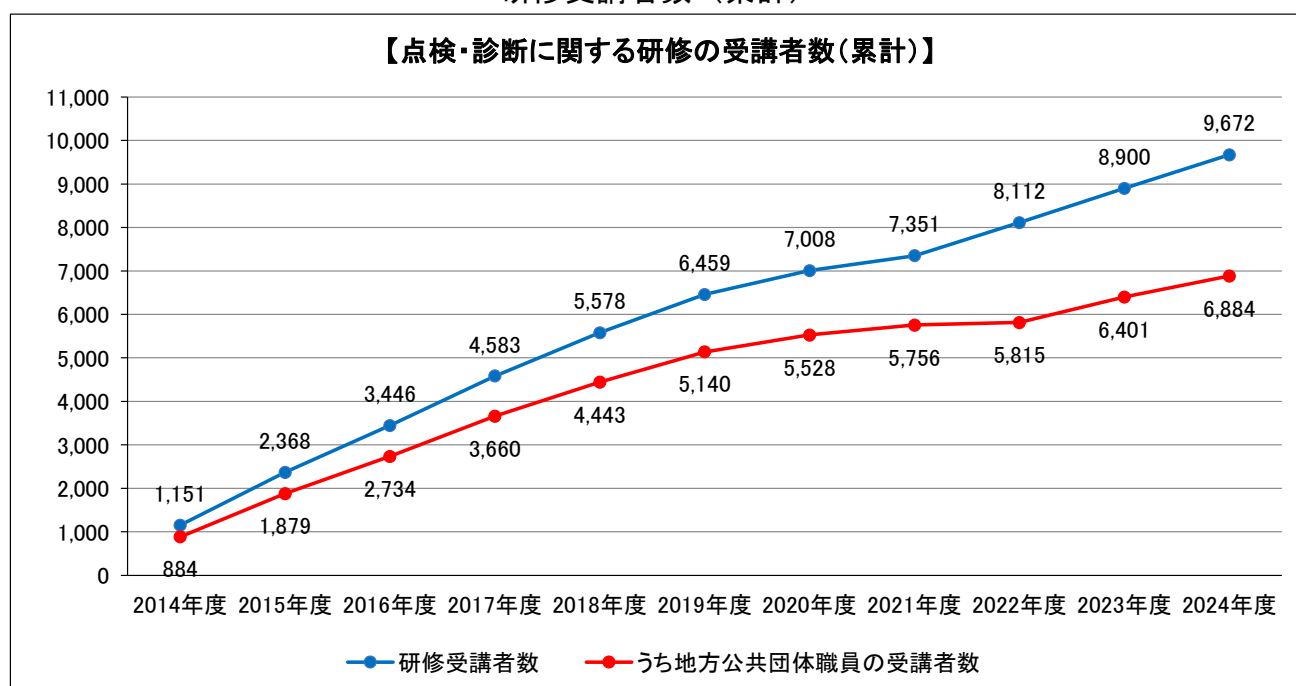
2015 年度	○ 三島大橋、大渡ダム大橋	<u>修繕代行事業に着手</u>
	○ 大前橋	<u>大規模修繕・更新補助事業に着手</u>
2016 年度	○ 沼尾シェッド、猿飼橋、呼子大橋	<u>修繕代行事業に着手</u>
2017 年度	○ 万石橋、御鉾橋	<u>修繕代行事業に着手</u>
2018 年度	○ 音沢橋、乙姫大橋	<u>修繕代行事業に着手</u>
2019 年度	○ 仁方隧道、天大橋	<u>修繕代行事業に着手</u>
2020 年度	○ 秩父橋、古川橋	<u>修繕代行事業に着手</u>
2021 年度	○ 白老橋	<u>修繕代行事業に着手</u>
2022 年度	○ 鶴舞橋	<u>修繕代行事業に着手</u>
2023 年度	○ 伊達崎橋	<u>修繕代行事業に着手</u>
2024 年度	○ 樋島大橋	<u>修繕代行事業に着手</u>

※直轄診断:「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの(複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等)に限り、国が地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立開発研究法人土木研究所の職員で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うもの。

(4) 研修の実施状況

- 2014 年度より、国土交通省、地方公共団体の職員等を対象に、橋梁、トンネル等の点検に関する研修を実施しています。
- 2024 年度までの受講者数は 9,672 人（地方公共団体：6,884 人）です。

研修受講者数（累計）

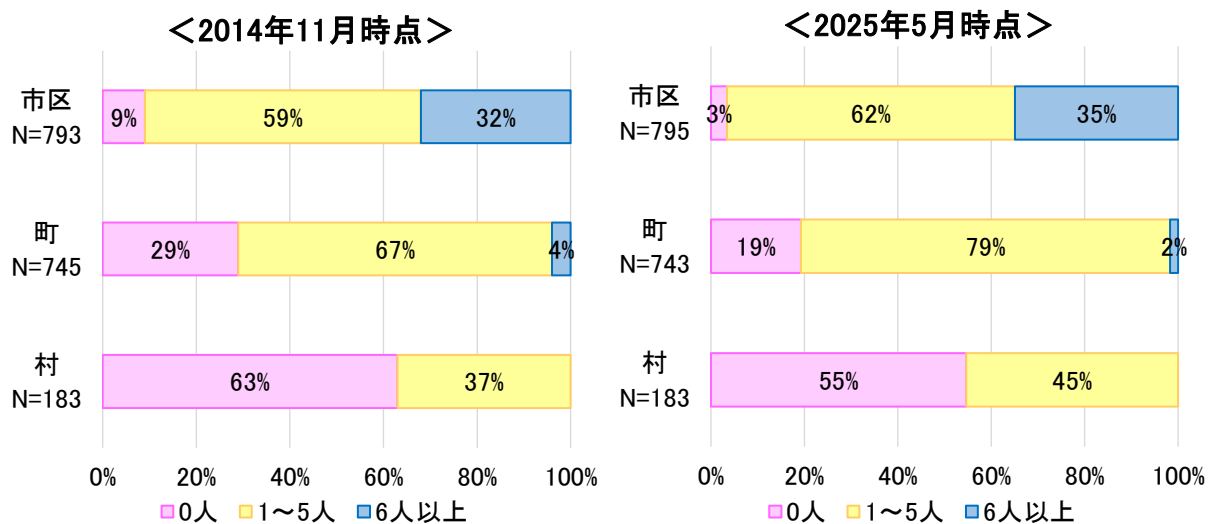


※2025 年 3 月末時点

(5) 橋梁管理に携わる土木技術者数

○ 橋梁管理に携わる土木技術者が存在しない市区町村の割合は、2014 年度と 2025 年度を比較するといずれも減少しています。

市区町村における橋梁管理に携わる土木技術者の人数

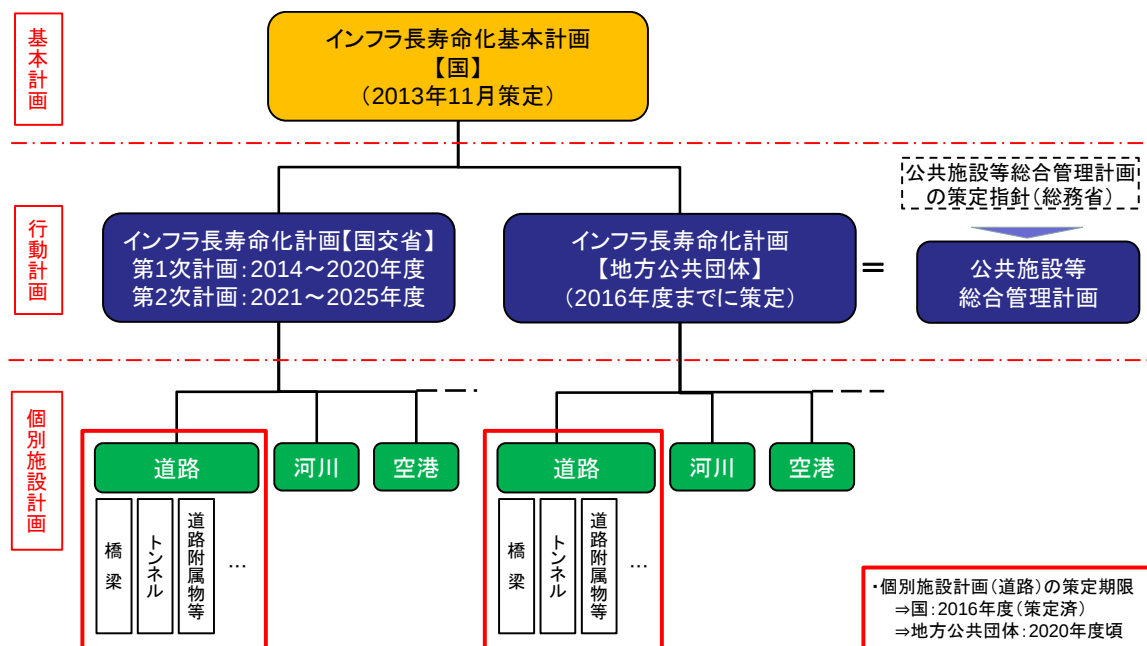


(6) 個別施設計画の策定状況(2024 年度末時点)

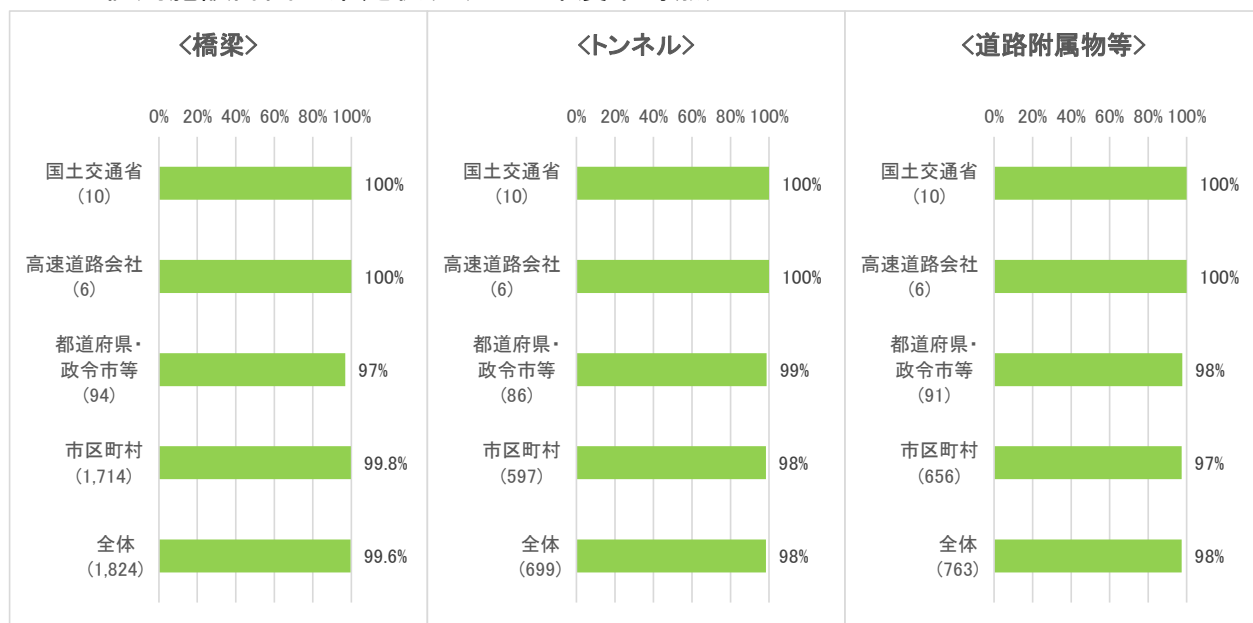
- 各道路管理者は、橋梁・トンネル・道路附属物等の定期点検の結果に基づき個別施設計画※を策定しています。
- 2024 年度末時点における橋梁の個別施設計画策定率は、橋梁で 99.6%、管理者別では、都道府県・政令市等 97%、市区町村 99.8%となっています。
- トンネル及び道路附属物等の計画策定率は、それぞれ 98%となっています。

※維持管理・更新等にかかるトータルコストの縮減・平準化を図る上で点検・診断等の結果を踏まえた個別施設毎の具体的な対応方針を定めた計画

○ インフラ長寿命化計画の体系



○ 個別施設計画の策定状況(2024 年度末時点)



※()は団体数

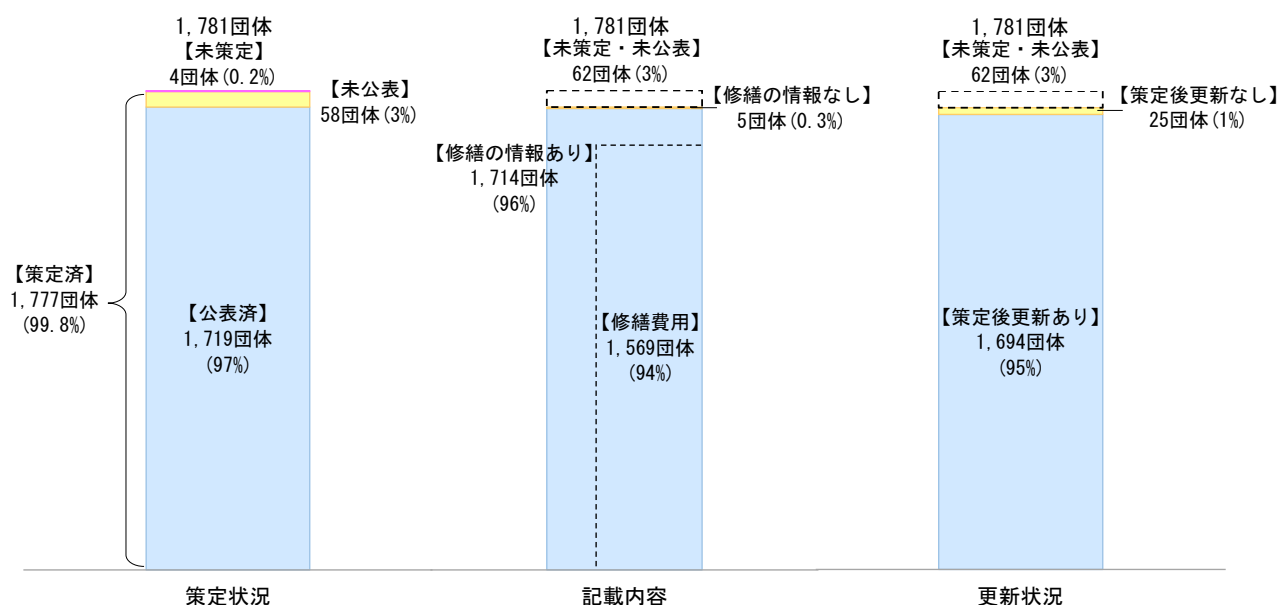
※割合は個別施設計画策定対象の施設を管理する団体数により算出

※道路附属物等は横断歩道橋、門型標識等、シェッド、大型カルバートであり、いずれかの施設の個別施設計画が策定されていれば策定済みとしている

○個別施設計画の策定状況(2024 年度末時点)

- 国のインフラ長寿命化基本計画（2013 年）では 2020 年頃までの長寿命化修繕計画（個別施設計画）の策定を目標としていますが、2024 年度末時点で計画を策定していない地方公共団体が 4 団体あり、策定済みで公表していない地方公共団体は 58 団体あります。
- 修繕の時期や内容を橋梁毎に示していない計画となっている地方公共団体は 5 団体。
- また、計画の策定後に点検結果を反映するなど計画の更新を行っていない地方公共団体は 25 団体。
- 橋梁等の老朽化対策を計画的・効率的に進めるためにも、長寿命化修繕計画を策定するとともに、点検結果を踏まえ、更新を行うことが重要です。

【橋梁(2m以上)の長寿命化修繕計画(個別施設計画)の策定、記載内容、更新の状況(地方公共団体)】



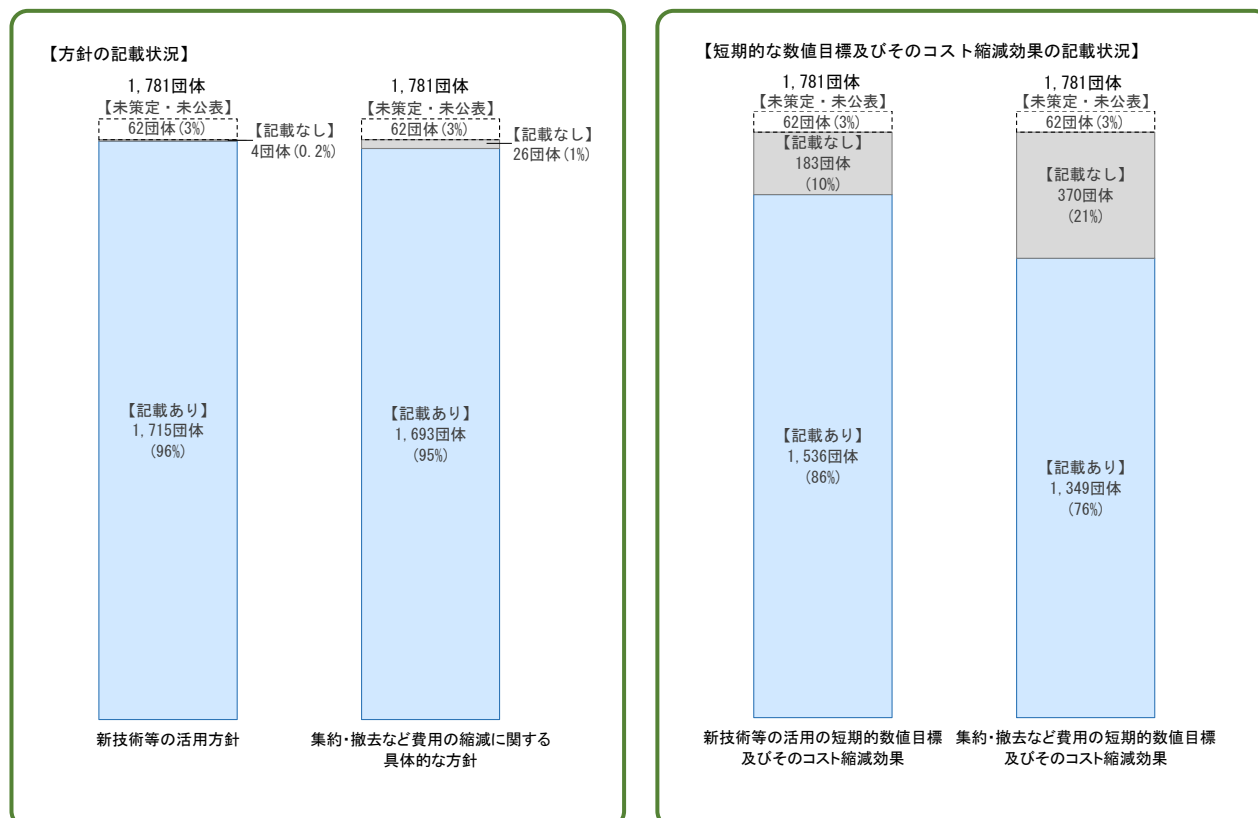
※2025 年 3 月 31 日時点(国土交通省道路局調べ)

※地方公共団体(1,781 団体)の内訳は、都道府県:47 団体、政令市:20 団体、市区町村:1,714 団体(特別区含む)

○個別施設計画の記載内容

- 2024 年度末時点で、橋梁の長寿命化修繕計画（個別施設計画）に「新技術等の活用方針」を記載している地方公共団体は 1,715 団体であり、「集約・撤去など費用の縮減に関する具体的な方針」を記載している地方公共団体は 1,693 団体です。
- 「短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果」を記載している地方公共団体は、「新技術等の活用」で 1,536 団体、「集約・撤去」で 1,349 団体です。

【橋梁(2m以上)の長寿命化修繕計画(個別施設計画)における記載状況(地方公共団体)】



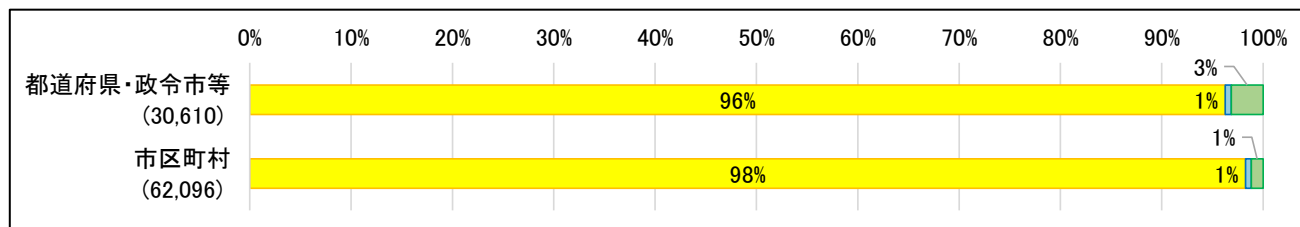
※2025 年 3 月 31 日時点(国土交通省道路局調べ)

※地方公共団体(1,781 団体)の内訳は、都道府県:47 団体、政令市:20 団体、市区町村:1,714 団体(特別区含む)

(7)道路メンテナンス事業補助の活用状況

- 地方公共団体が実施した橋梁の定期点検費用について、2020 年度に創設された道路メンテナンス事業補助制度を活用した割合は、都道府県・政令市等で 96%、市区町村では 98%です。
- 修繕費用に道路メンテナンス事業補助制度を活用した割合は、都道府県・政令市等及び市区町村で 88%です。

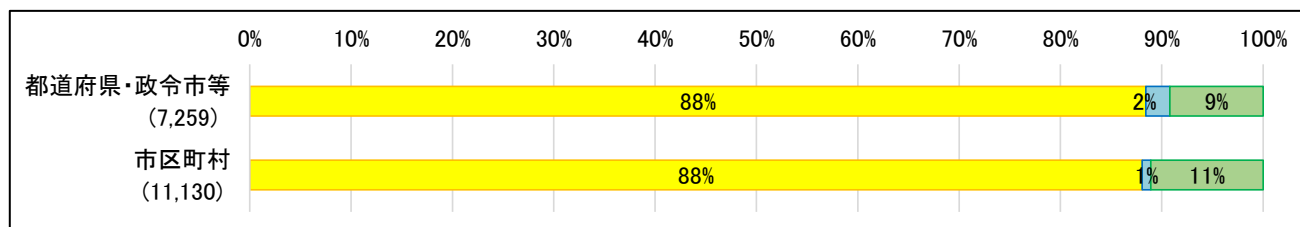
○ 地方公共団体が 2024 年度に実施した橋梁の定期点検における充当予算の状況



※2024 年度に委託点検を実施した橋梁のうち、報告があった 92,706 橋を対象に橋梁数ベースで算出。

: 個別補助事業を充当
 : 交付金を充当
 : 地方単独費で実施

○ 地方公共団体が 2024 年度に実施した橋梁の修繕における充当予算の状況



※2024 年度に修繕を実施した橋梁のうち、報告があった 18,389 橋を対象に橋梁数ベースで算出。

: 個別補助事業を充当
 : 交付金を充当
 : 地方単独費で実施

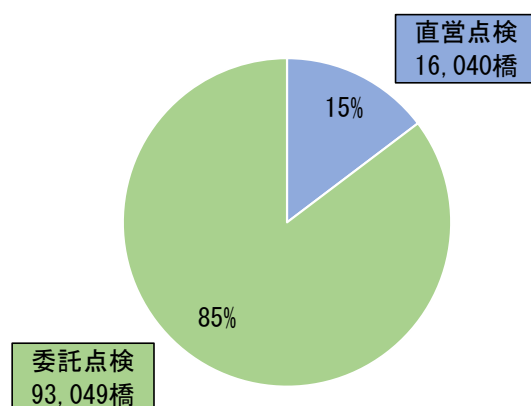
(8) 点検実施者の保有資格等

- 2024 年度に地方公共団体が実施した橋梁点検のうち、職員自らが点検（直営点検）を実施した割合は 15%となっています。
- 直営点検による点検実施者のうち、国土交通省の実施する研修※¹を受講又は資格※²を保有している割合は 49%、研修・資格ともになしは 51%となっています。
- 委託点検による点検実施者のうち、国土交通省の実施する研修を受講又は資格を保有している割合は 95%、研修・資格ともになしは 5%となっています。
- 点検の精度向上するためには研修受講、資格の活用など点検技術の向上を図る必要があります。

※1 研修：国土交通省が実施する道路管理実務者研修又は道路橋メンテナンス技術講習

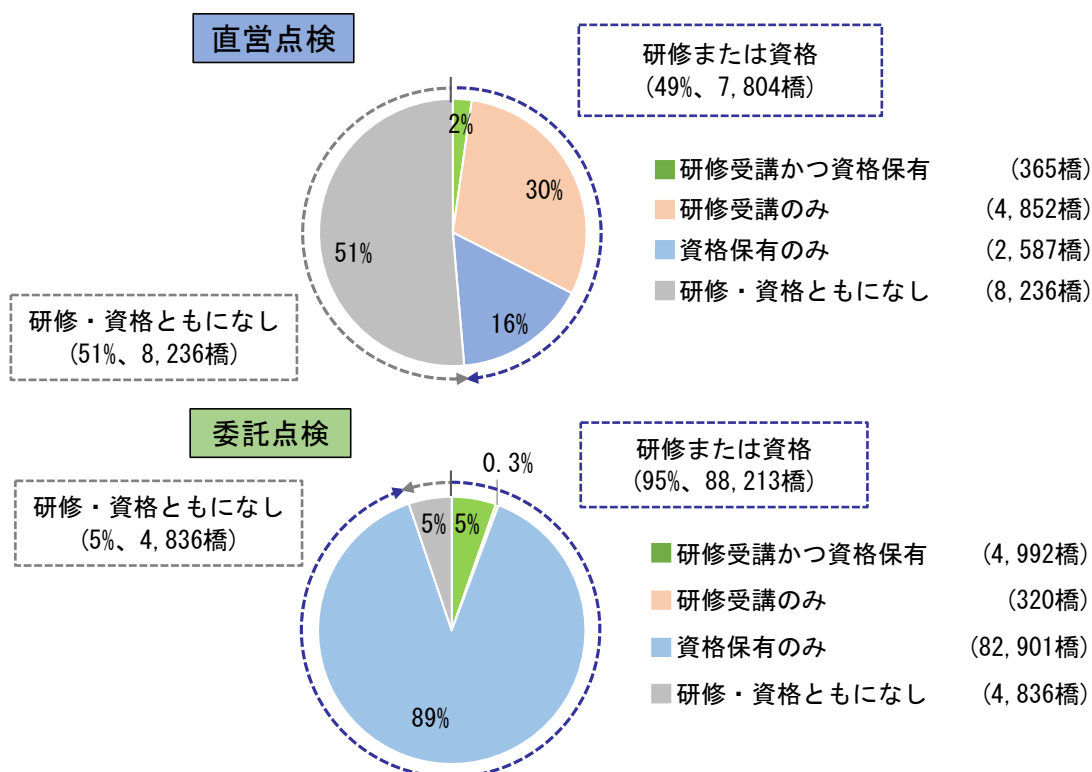
※2 資格：技術士または国土交通省登録技術資格（公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規定に基づく国土交通省登録資格）

○ 2024 点検実施橋梁の直営点検と委託点検の割合



※2024 年度に点検を実施した施設のうち、報告があった 109,089 橋を対象に橋梁数ベースで算出。（下図も同様）

○ 点検実施者の保有資格や研修受講歴

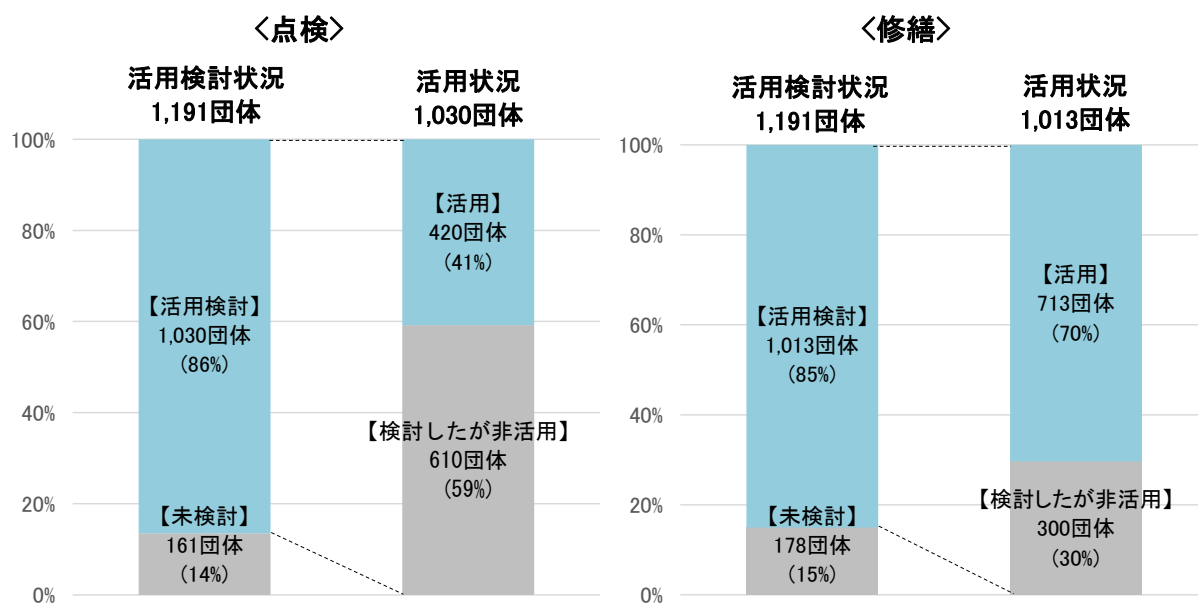


(9) 点検・修繕における新技術の活用検討・活用の状況

1) 橋梁

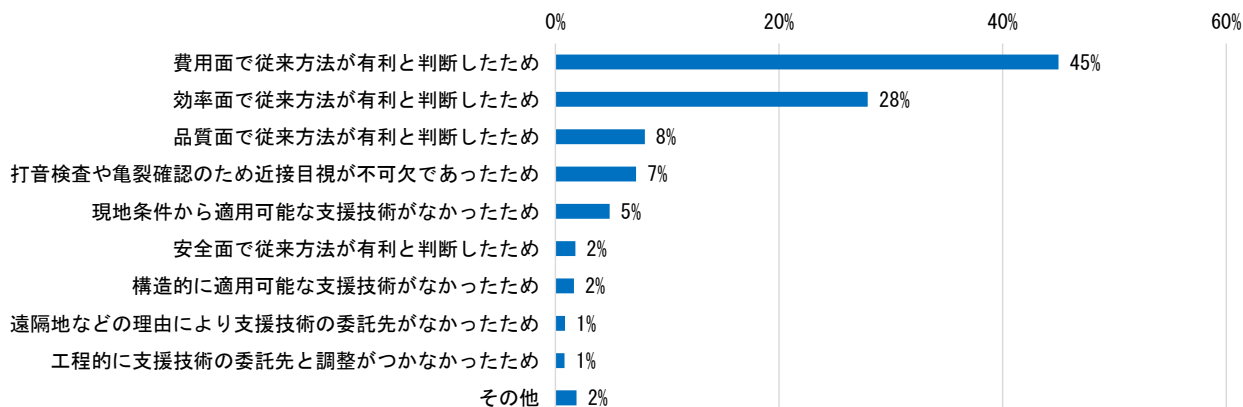
- 2024 年度の橋梁点検において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 86%、そのうち活用した団体は 41%です。
- 2024 年度の橋梁修繕において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 85%、そのうち活用した団体は 70%です。

○ 点検・修繕における新技術の活用状況（橋梁）

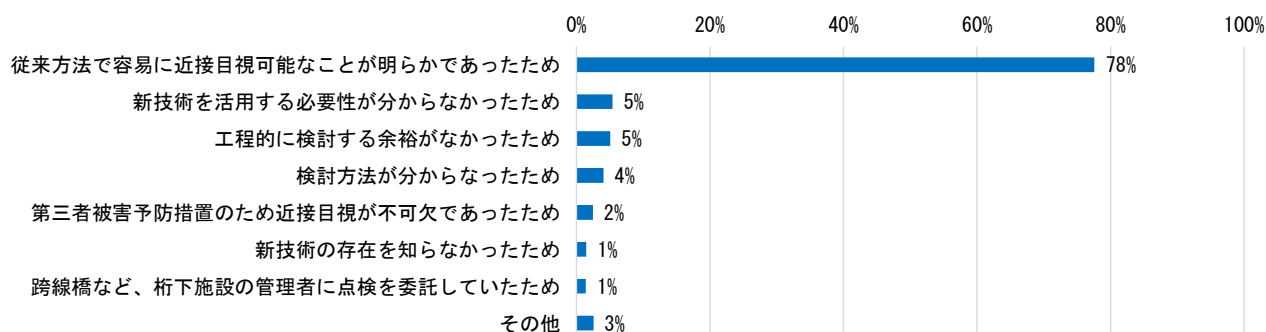


※2024 年度に点検を実施した地方公共団体のうち、報告があった 1,191 団体と、2024 年度に修繕を実施した地方公共団体のうち、報告があった 1,191 団体を対象に算出。

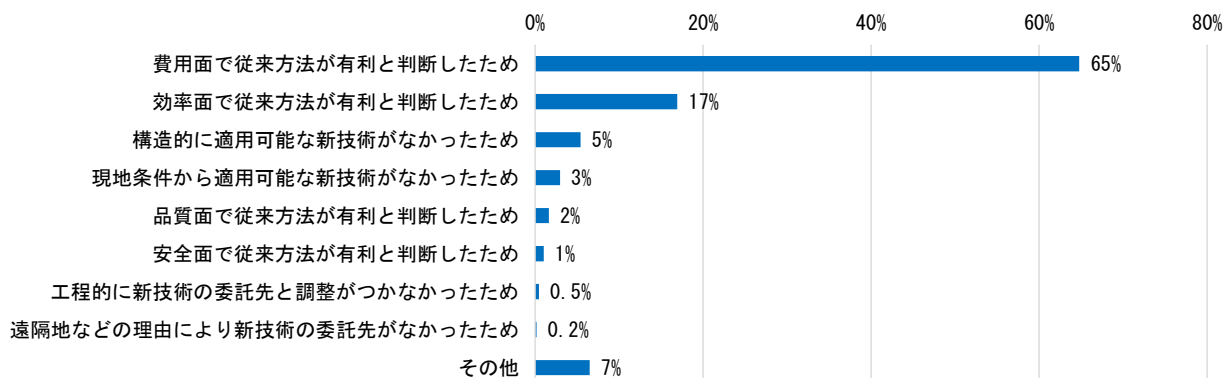
○ 新技術を活用しなかった理由（橋梁点検）



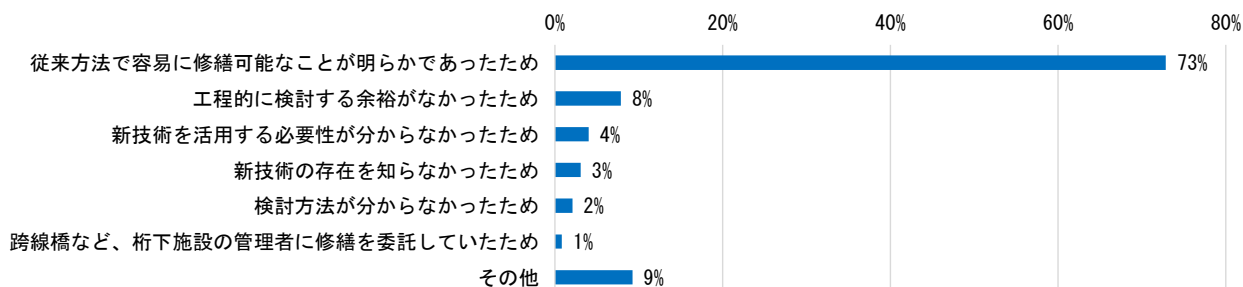
○ 新技術を検討しなかった理由（橋梁点検）



○ 新技術を活用しなかった理由（橋梁修繕）



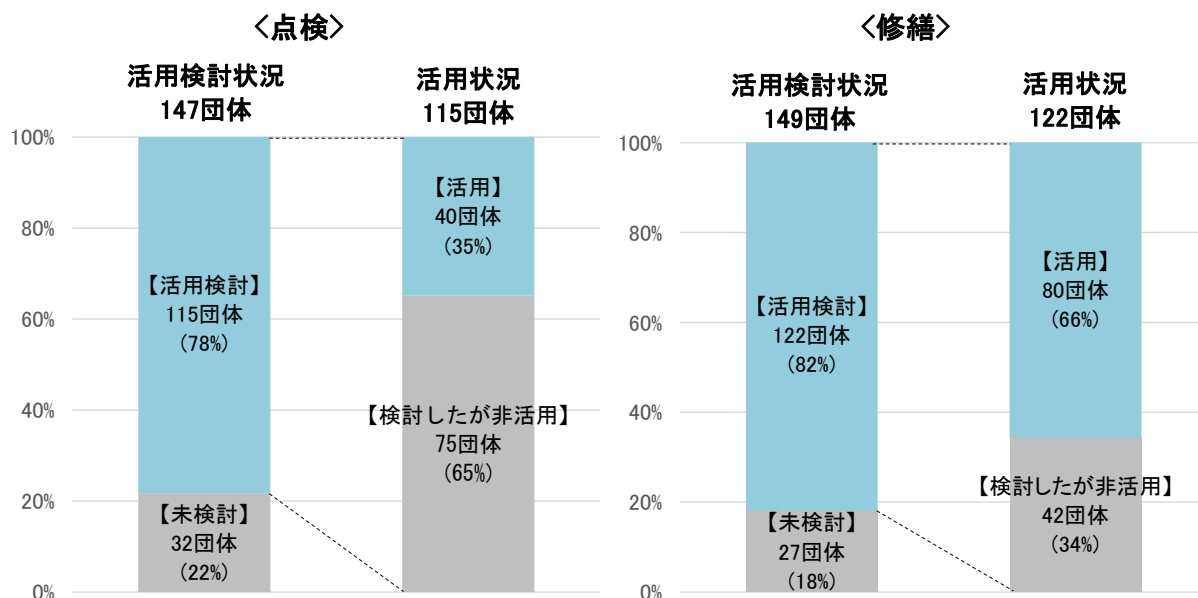
○ 新技術を検討しなかった理由（橋梁修繕）



2)トンネル

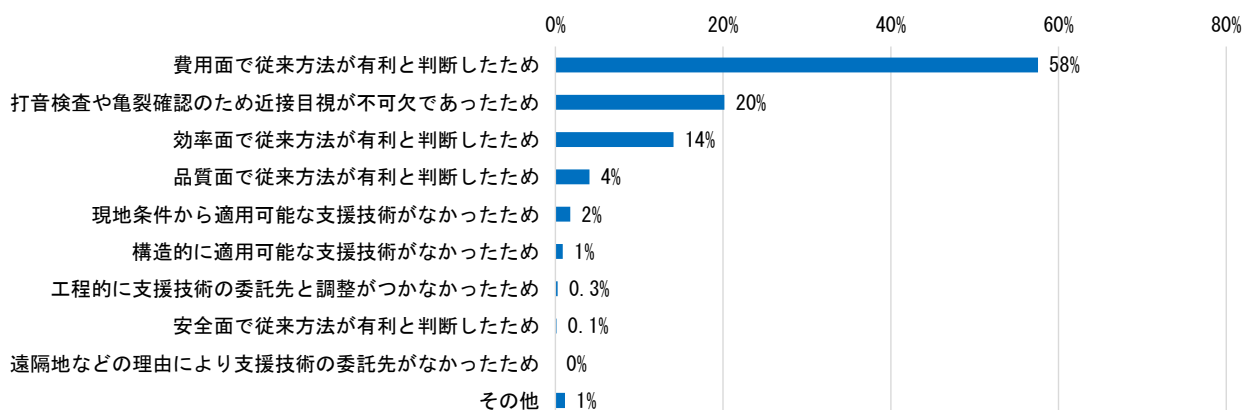
- 2024 年度のトンネル点検において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 78%、そのうち活用した団体は 35%です。
- 2024 年度のトンネル修繕において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 82%、そのうち活用した団体は 66%です。

○ 点検・修繕における新技術の活用状況(トンネル)

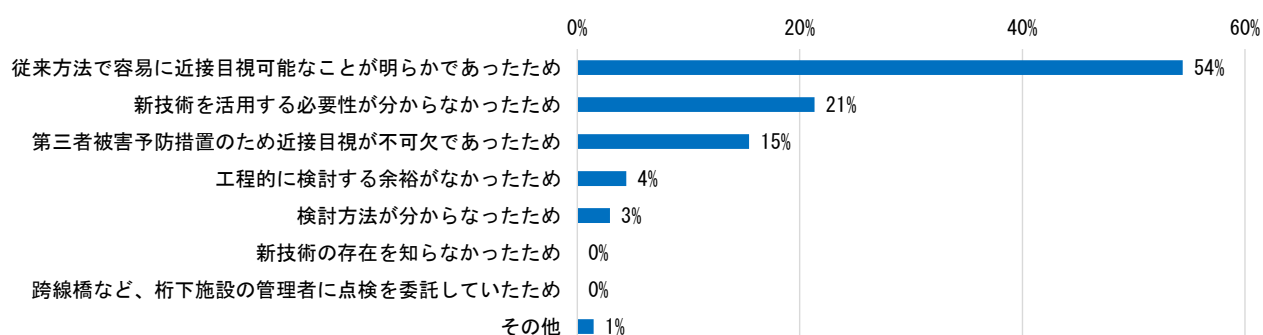


※2024 年度に点検を実施した地方公共団体のうち、報告があった 147 団体と、2024 年度に修繕を実施した地方公共団体のうち、報告があった 149 団体を対象に算出。

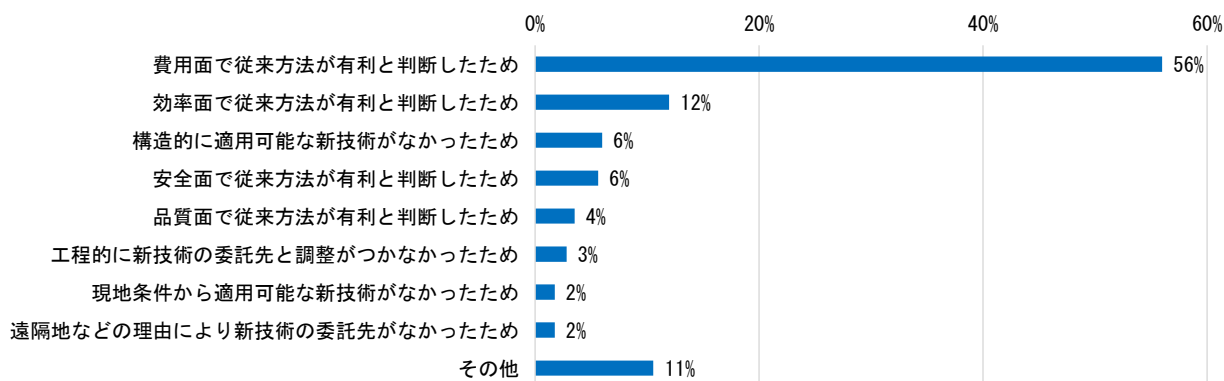
○ 新技術を活用しなかった理由(トンネル点検)



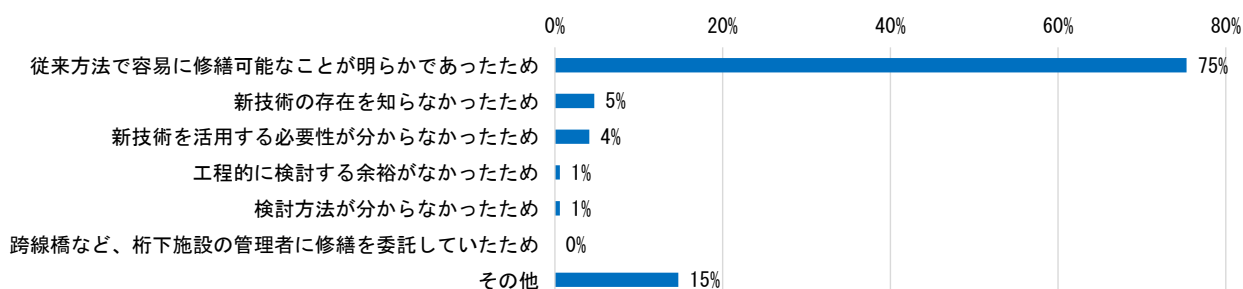
○ 新技術を検討しなかった理由(トンネル点検)



○ 新技術を活用しなかった理由(トンネル修繕)



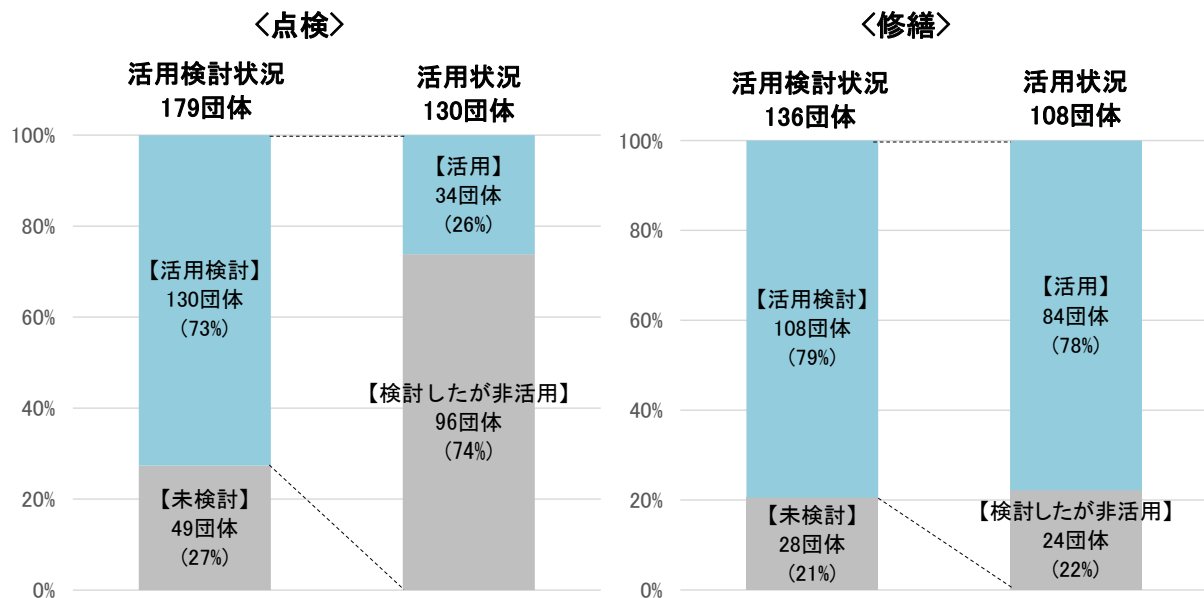
○ 新技術を検討しなかった理由(トンネル修繕)



3)道路附属物等

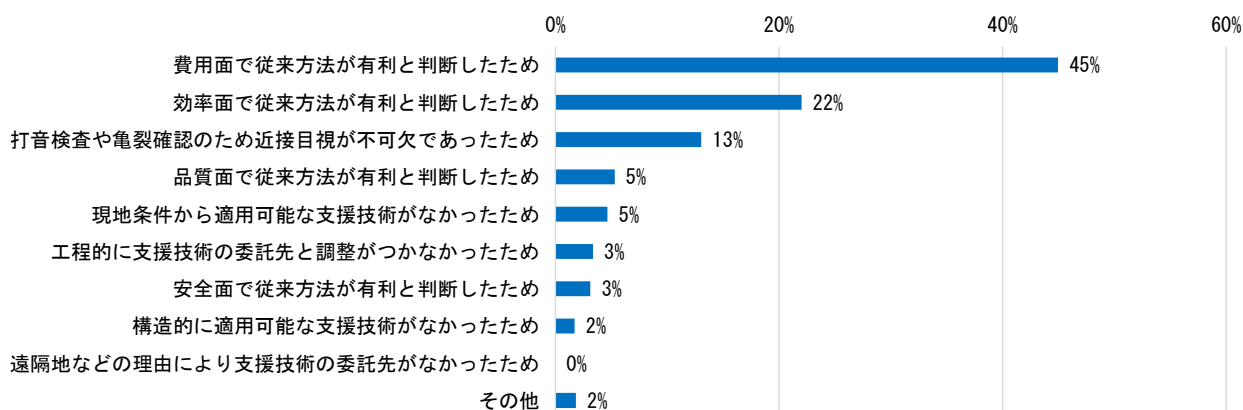
- 2024 年度の道路附属物等点検において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 73%、そのうち活用した団体は 26%です。
- 2024 年度の道路附属物等修繕において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 79%、そのうち活用した団体は 78%です。

○ 点検・修繕における新技術の活用状況(道路附属物等)

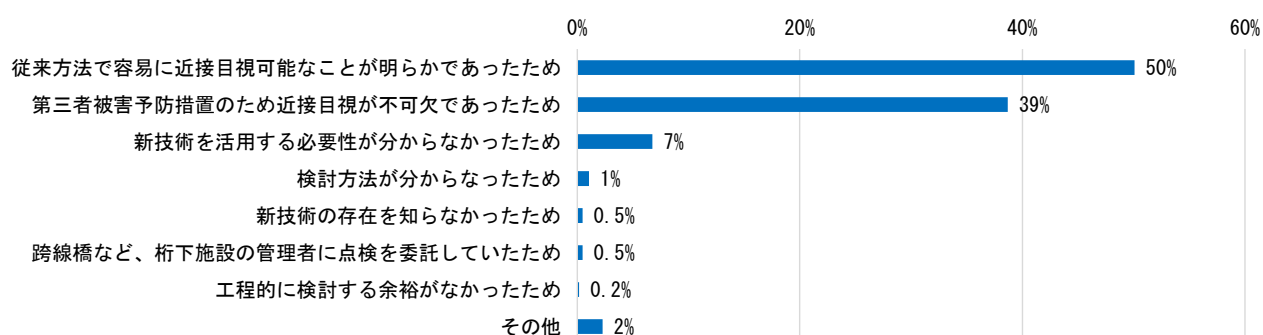


※2024 年度に点検を実施した地方公共団体のうち、報告があった 179 団体と、2024 年度に修繕を実施した地方公共団体のうち、報告があった 136 団体を対象に算出。

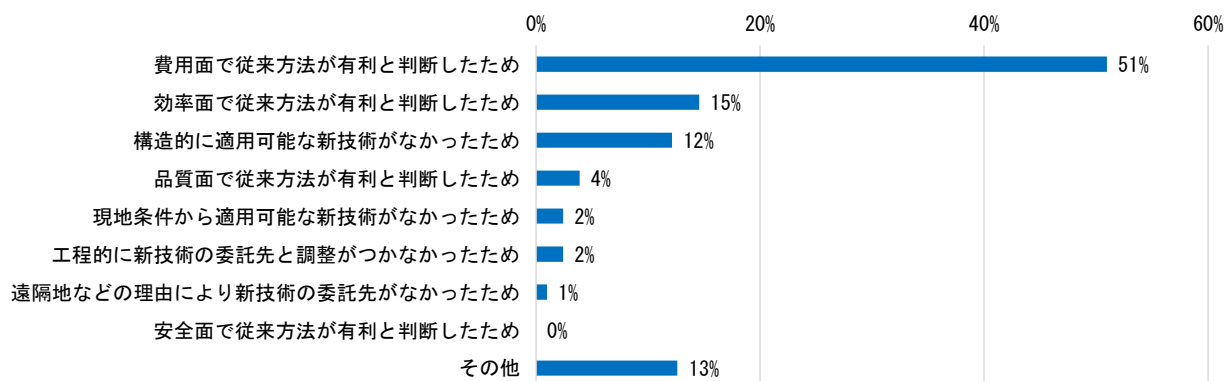
○ 新技術の活用をしなかった理由（道路附属物等点検）



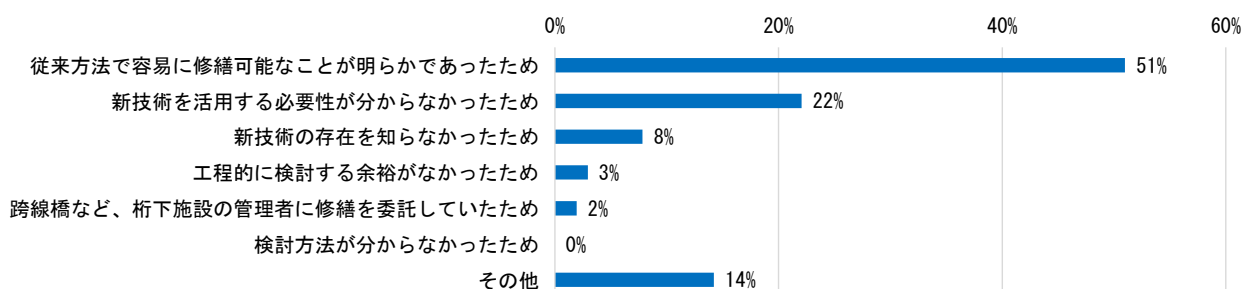
○ 新技術の検討をしなかった理由（道路附属物等点検）



○ 新技術の活用をしなかった理由（道路附属物等修繕）



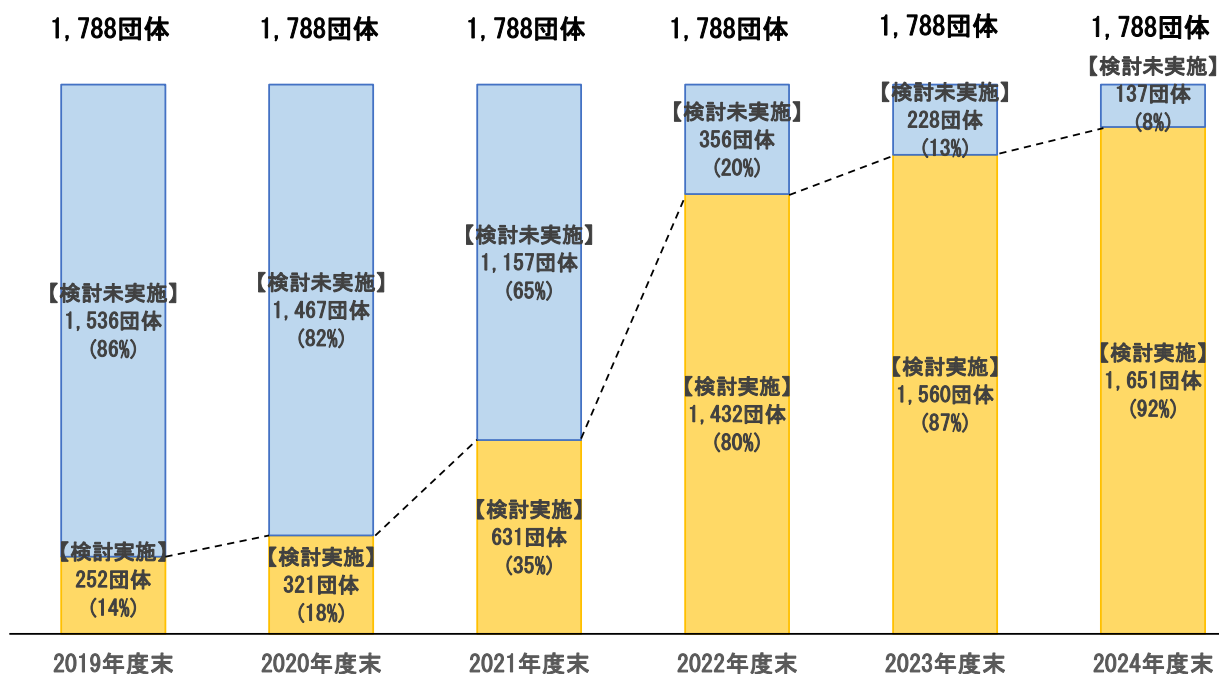
○ 新技術の検討をしなかった理由（道路附属物等修繕）



(10) 集約・撤去・機能縮小等の検討状況

- 施設の集約・撤去等を検討した地方公共団体の割合は、2019 年度末時点から増加し、2024 年度末時点で約 9 割となっています。

○ 地方公共団体における施設の集約・撤去等の検討状況



※国土交通省道路局調べ

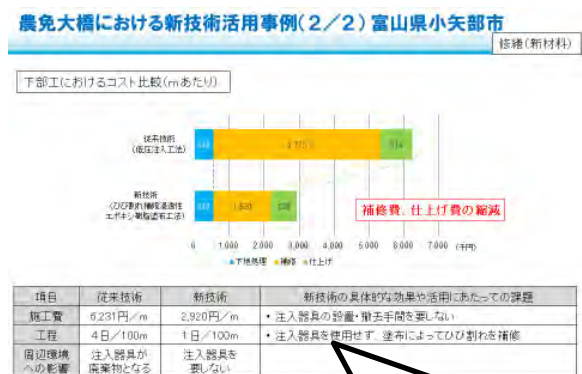
(11) 新技術活用事例及び集約・撤去事例集

- 地方公共団体における取組の一助となることを目的に、新技術活用事例や道路橋等の集約・撤去事例集について道路局 HP にて公開中。

○ 地方公共団体における新技術活用事例

(<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/pdf/chiho-katsuyo-jirei.pdf>)

(以下抜粋)



新技術を活用しなかった場合とのコスト比較を掲載

○ 道路橋等の集約・撤去事例集

(<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/pdf/tekkyo-jirei.pdf>)

(以下抜粋)

単純撤去事例



集約・撤去を進めるうえでの主な検討項目(検討事例)

目次構成	記載事項	活用例
2. 道路橋等における集約・撤去の意義	地方公共団体において、集約・撤去に取り組むきっかけを与えられるように、道路橋等における集約・撤去の必要性、集約・撤去に取り組むメリットを整理。	利用者・住民等に対して集約・撤去の必要性を説明する際の参考とする。
3. 道路橋における集約・撤去事例	取組事例として、対象橋梁の概要、位置図、事業内容、集約・撤去の経緯、担当課を紹介。	集約・撤去の対象候補を抽出・選定する際や事業内容を選択する際に参考とする。
4. 横断歩道橋における集約・撤去事例		
5. 集約・撤去を進めるうえでの検討項目	集約・撤去を進めるうえでの主な検討項目(検討事例)を一覧表として記載。	集約・撤去を進めるうえで、どのような検討が必要かを把握する際に参考とする。
5.1 主な検討項目		
5.2 計画・調整段階	長寿命化修繕計画策定時における検討事例、留意事項を記載(対象候補の抽出事例、コスト効果算出事例等)。	管理橋梁全体から集約・撤去対象候補を抽出する等、計画策定時の検討事項として参考とする。
5.3 利用者・住民との合意形成	利用者・住民との合意形成事例、留意事項を記載。	利用者・住民との合意形成時に参考とする。
5.4 関係機関との協議	関係機関との協議における留意事項を記載。	関係機関との協議時に参考とする。

集約・撤去を進めるうえでの検討項目や事例から得られた留意事項を掲載

※巻末資料

(1)道路附属物等の点検実施状況と点検結果の内訳

1)3巡目(2024 年度)の点検実施状況(全道路管理者)

		点検対象 施設数 ※	点検実施状況				
			上段:点検実施数、下段:点検実施率				
			2024	2025	2026	2027	2028
道路附属物等		41,660	7,551				
			18%				
	シェッド	3,552	614				
			17%				
	大型カルバート	9,526	1,757				
			18%				
	横断歩道橋_跨線橋以外	11,240	2,406				
			21%				
	横断歩道橋_跨線橋	527	66				
			13%				
	門型標識等	16,815	2,708				
			16%				

2025.3 末時点

※2025 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計

2)3巡目(2024 年度)の点検結果
(全道路管理者)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
道路附属物等		7, 551	3, 083	3, 756	711	1
			41%	50%	9%	0. 01%
	シェッド	614	74	409	130	1
			12%	67%	21%	0. 2%
	大型カルバート	1, 757	870	827	60	0
			50%	47%	3%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	2, 406	650	1, 374	382	0
			27%	57%	16%	—
	横断歩道橋_跨線橋	66	16	36	14	0
			24%	55%	21%	—
	門型標識等	2, 708	1, 473	1, 110	125	0
			54%	41%	5%	—

2025.3 末時点

(国)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
道路附属物等		2,108	571 28%	1,148 57%	299 15%	0 —
	シェッド	120	17 14%	71 59%	32 27%	0 —
			大型カルバート	562	188 33%	336 60%
	横断歩道橋_跨線橋以外	586			107 18%	300 51%
			横断歩道橋_跨線橋	6	3 50%	3 50%
	門型標識等	744			256 34%	438 59%

2025.3 末時点

(高速道路会社)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		2,341	1,560	714	67	0
			67%	30%	3%	—
	シェッド	7	2	5	0	0
			29%	71%	—	—
	大型カルバート	910	635	272	3	0
			70%	30%	0.3%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	15	1	12	2	0
			7%	80%	13%	—
	横断歩道橋_跨線橋	0	0	0	0	0
			—	—	—	—
	門型標識等	1,409	922	425	62	0
			65%	30%	4%	—

2025.3 末時点

(地方公共団体)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		3,192	952	1,894	345	1
			30%	59%	11%	0.03%
	シェッド	487	55	333	98	1
			11%	68%	20%	0.2%
	大型カルバート	285	47	219	19	0
			16%	77%	7%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	1,805	542	1,062	201	0
			30%	59%	11%	—
	横断歩道橋_跨線橋	60	13	33	14	0
			22%	55%	23%	—
	門型標識等	555	295	247	13	0
			53%	45%	2%	—

2025.3 末時点

(都道府県・政令市等)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		2,624	770 29%	1,565 60%	289 11%	0 —
	シェッド	452	55 12%	309 68%	88 19%	0 —
	大型カルバート	211	21 10%	174 82%	16 8%	0 —
	横断歩道橋_跨線橋以外	1,448	427 29%	858 59%	163 11%	0 —
	横断歩道橋_跨線橋	33	6 18%	17 52%	10 30%	0 —
	門型標識等	480	261 54%	207 43%	12 3%	0 —

2025.3 末時点

(市区町村)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		568	182 32%	329 58%	56 10%	1 0.2%
	シェッド	35	0 —	24 69%	10 29%	1 3%
	大型カルバート	74	26 35%	45 61%	3 4%	0 —
	横断歩道橋_跨線橋以外	357	115 32%	204 57%	38 11%	0 —
	横断歩道橋_跨線橋	27	7 26%	16 59%	4 15%	0 —
	門型標識等	75	34 45%	40 53%	1 1%	0 —

2025.3 末時点

3)過年度の点検(2014～2024 年度)の判定区分
(全道路管理者)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		41, 625	15, 025	21, 710	4, 872	18
			36%	52%	12%	0. 04%
	シェッド	3, 546	357	2, 142	1, 046	1
			10%	60%	29%	0. 03%
	大型カルバート	9, 518	4, 264	4, 896	358	0
			45%	51%	4%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	11, 235	2, 520	6, 383	2, 324	8
			22%	57%	21%	0. 1%
	横断歩道橋_跨線橋	522	126	268	126	2
			24%	51%	24%	0. 4%
	門型標識等	16, 804	7, 758	8, 021	1, 018	7
			46%	48%	6%	0. 04%

2025. 3 末時点

(国)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		12, 130	3, 028	7, 154	1, 946	2
			25%	59%	16%	0. 02%
	シェッド	738	90	412	236	0
			12%	56%	32%	—
	大型カルバート	2, 926	915	1, 880	131	0
			31%	64%	4%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	3, 454	630	1, 725	1, 098	1
			18%	50%	32%	0. 03%
	横断歩道橋_跨線橋	46	14	24	8	0
			30%	52%	17%	—
	門型標識等	4, 966	1, 379	3, 113	473	1
			28%	63%	10%	0. 02%

2025. 3 末時点

(高速道路会社)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		12,111	7,653	4,160	298	0
			63%	34%	2%	—
	シェッド	97	34	45	18	0
			35%	46%	19%	—
	大型カルバート	4,558	2,995	1,516	47	0
			66%	33%	1%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	49	5	42	2	0
			10%	86%	4%	—
	横断歩道橋_跨線橋	0	0	0	0	0
			—	—	—	—
	門型標識等	7,407	4,619	2,557	231	0
			62%	35%	3%	—

2025.3 末時点

(地方公共団体)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		17,384	4,344	10,396	2,628	16
			25%	60%	15%	0.1%
	シェッド	2,711	233	1,685	792	1
			9%	62%	29%	0.04%
	大型カルバート	2,034	354	1,500	180	0
			17%	74%	9%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	7,732	1,885	4,616	1,224	7
			24%	60%	16%	0.1%
	横断歩道橋_跨線橋	476	112	244	118	2
			24%	51%	25%	0.4%
	門型標識等	4,431	1,760	2,351	314	6
			40%	53%	7%	0.1%

2025.3 末時点

(都道府県・政令市等)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		14,177	3,522	8,501	2,142	12
			25%	60%	15%	0.1%
	シェッド	2,487	223	1,549	715	0
			9%	62%	29%	—
	大型カルバート	1,457	229	1,092	136	0
			16%	75%	9%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	5,984	1,383	3,632	964	5
			23%	61%	16%	0.1%
	横断歩道橋_跨線橋	164	39	79	45	1
			24%	48%	27%	1%
	門型標識等	4,085	1,648	2,149	282	6
			40%	53%	7%	0.1%

2025.3 末時点

(市区町村)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		3,207	822	1,895	486	4
			26%	59%	15%	0.1%
	シェッド	224	10	136	77	1
			4%	61%	34%	0.4%
	大型カルバート	577	125	408	44	0
			22%	71%	8%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	1,748	502	984	260	2
			29%	56%	15%	0.1%
	横断歩道橋_跨線橋	312	73	165	73	1
			23%	53%	23%	0.3%
	門型標識等	346	112	202	32	0
			32%	58%	9%	—

2025.3 末時点

(2) 緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果の内訳

1) 3巡目(2024 年度)の点検実施状況(全道路管理者)

	管理施設数	点検対象 施設数 ※	点検実施状況 上段: 点検実施数、下段: 点検実施率				
			2024	2025	2026	2027	2028
緊急輸送道路を 跨ぐ跨道橋	16,440	16,101	3,503				
			22%				
跨線橋	9,814	9,689	1,917				
			20%				
緊急輸送道路を 構成する橋梁	129,240	127,720	29,026				
			23%				
(参考)全橋梁	729,548	724,924	131,810				
			18%				

2025. 3 末時点

※2025 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計

2) 3巡目(2024 年度)の点検結果
(全道路管理者)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	3,503	1,044	2,098	361	0
		30%	60%	10%	—
跨線橋	1,917	427	1,075	415	0
		22%	56%	22%	—
緊急輸送道路を構成する橋梁	29,026	10,840	15,489	2,695	2
		37%	53%	9%	0.01%
(参考)全橋梁	131,810	59,347	63,341	9,044	78
		45%	48%	7%	0.1%

2025. 3 末時点

(国)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	588	267	252	69	0
		45%	43%	12%	—
跨線橋	503	148	216	139	0
		29%	43%	28%	—
緊急輸送道路を構成する橋梁	7,060	3,939	2,469	652	0
		56%	35%	9%	—
(参考)全橋梁	8,308	4,779	2,781	748	0
		58%	33%	9%	—

2025. 3 末時点

(高速道路会社)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	1,102	170	807	125	0
		15%	73%	11%	—
跨線橋	209	16	150	43	0
		8%	72%	21%	—
緊急輸送道路を構成する橋梁	5,001	1,234	3,250	517	0
		25%	65%	10%	—
(参考)全橋梁	5,043	1,250	3,271	522	0
		25%	65%	10%	—

2025. 3 末時点

(地方公共団体)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	1,813	607	1,039	167	0
		33%	57%	9%	—
跨線橋	1,205	263	709	233	0
		22%	59%	19%	—
緊急輸送道路を構成する橋梁	16,965	5,667	9,770	1,526	2
		33%	58%	9%	0.01%
(参考)全橋梁	118,459	53,318	57,289	7,774	78
		45%	48%	7%	0.1%

2025.3 末時点

(都道府県・政令市等)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	836	250	498	88	0
		30%	60%	11%	—
跨線橋	788	169	463	156	0
		21%	59%	20%	—
緊急輸送道路を構成する橋梁	15,870	5,184	9,232	1,453	1
		33%	58%	9%	0.01%
(参考)全橋梁	37,005	14,305	19,727	2,968	5
		39%	53%	8%	0.01%

2025.3 末時点

(市区町村)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	977	357	541	79	0
		37%	55%	8%	—
跨線橋	417	94	246	77	0
		23%	59%	18%	—
緊急輸送道路を構成する橋梁	1,095	483	538	73	1
		44%	49%	7%	0.1%
(参考)全橋梁	81,454	39,013	37,562	4,806	73
		48%	46%	6%	0.1%

2025.3 末時点

※2025 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計

3) 過年度の点検(2014～2024 年度)の判定区分
(全道路管理者)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	16,094	4,184	10,034	1,873	3
		26%	62%	12%	0.02%
跨線橋	9,662	1,809	5,644	2,196	13
		19%	58%	23%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	127,649	46,763	68,155	12,710	21
		37%	53%	10%	0.02%
(参考)全橋梁	724,259	311,231	359,541	52,864	623
		43%	50%	7%	0.1%

2025. 3 末時点

(国)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	2,370	1,021	1,075	272	2
		43%	45%	11%	0.1%
跨線橋	1,718	490	762	464	2
		29%	44%	27%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	32,728	18,574	11,045	3,093	16
		57%	34%	9%	0.05%
(参考)全橋梁	38,675	22,326	12,713	3,617	19
		58%	33%	9%	0.05%

2025. 3 末時点

(高速道路会社)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	5,490	768	3,991	731	0
		14%	73%	13%	—
跨線橋	1,102	71	807	224	0
		6%	73%	20%	—
緊急輸送道路を構成する橋梁	24,100	5,514	15,906	2,680	0
		23%	66%	11%	—
(参考)全橋梁	24,303	5,567	16,016	2,720	0
		23%	66%	11%	—

2025. 3 末時点

(地方公共団体)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	8,234	2,395	4,968	870	1
		29%	60%	11%	0.01%
跨線橋	6,842	1,248	4,075	1,508	11
		18%	60%	22%	0.2%
緊急輸送道路を構成する橋梁	70,821	22,675	41,204	6,937	5
		32%	58%	10%	0.01%
(参考)全橋梁	661,281	283,338	330,812	46,527	604
		43%	50%	7%	0.1%

2025.3 末時点

(都道府県・政令市等)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	3,517	854	2,266	397	0
		24%	64%	11%	—
跨線橋	3,619	633	2,160	824	2
		17%	60%	23%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	66,264	20,744	38,869	6,647	4
		31%	59%	10%	0.01%
(参考)全橋梁	187,231	69,484	101,139	16,572	36
		37%	54%	9%	0.02%

2025.3 末時点

(市区町村)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	4,717	1,541	2,702	473	1
		33%	57%	10%	0.02%
跨線橋	3,223	615	1,915	684	9
		19%	59%	21%	0.3%
緊急輸送道路を構成する橋梁	4,557	1,931	2,335	290	1
		42%	51%	6%	0.02%
(参考)全橋梁	474,050	213,854	229,673	29,955	568
		45%	48%	6%	0.1%

2025.3 末時点

※2025 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計

(3) 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分Ⅳの施設リスト(2014～2024 年度)
【橋梁】

○ 判定区分Ⅳの橋梁の措置内容（完了済・予定のものを含む）

管理者	管理中					撤去・ 廃止済 ※2	計	うち措置未完了 (下記リスト参照)
	計	修繕・ 架替	機能 転換 ※1	対応 未定	撤去・ 廃止			
国土交通省	41	37	0	0	4	3	44	7
都道府県・ 政令市等	59	46	0	3	10	12	71	21
市区町村	894	535	6	110	243	274	1,168	462
合計	994 (77%)	618 (48%)	6 (0.5%)	113 (9%)	257 (20%)	289 (23%)	1,283	490 (38%)

※1:機能転換とは、既存の施設を、他の施設として利用すること。

※2:判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※高速道路会社管理の橋梁は健全度Ⅳの施設なし。

○ 国土交通省(7 橋)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
関東地方 整備局	さきたまおおはし くだ 幸魂大橋(下り)	国道 298 号	1992	2021	支承本体のゆる み・脱落	仮受け材の設 置(通行可 能)	修繕中
関東地方 整備局	すなだばしそくほどうきょう 砂田橋側歩道橋 くだ 下り	国道 127 号	1970	2023	①主桁の腐食、 防食機能の劣 化、変形・欠損 ②支承本体、ア ンカーボルトの腐 食、支承部の機 能障害	歩行者通行 止(反対側車 線の歩道に迂 回)	撤去予定
関東地方 整備局	やつみぞばし やまがわ 谷津溝橋(1)山側	国道 357 号	1977	2023	①主桁の腐食、 防食機能の劣 化、変形・欠損 ②橋台その他の 腐食、防食機能 の劣化、変形・欠 損	歩道部通行 止(迂回路 有)	撤去予定 (歩道部)
関東地方 整備局	やつみぞばし やまがわ 谷津溝橋(2)山側	国道 357 号	1977	2023	①主桁、横桁の 腐食、防食機能 の劣化、変形・欠 損 ②橋台その他の 腐食、防食機能 の劣化、変形・欠 損	歩道部通行 止(迂回路 有)	撤去予定 (歩道部)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
関東地方 整備局	やつみぞばし やまがわ 谷津溝橋(3)山側	国道 357 号	1977	2023	①主桁の腐食、 防食機能の劣 化、変形・欠損 ②橋台その他の 腐食、防食機能 の劣化、変形・欠 損	歩道部通行 止（迂回路 有）	撤去予定 (歩道部)
関東地方 整備局	こむろばし くだ 小室橋(下り)	国道 16 号	1974	2021	主桁の下フランジ に亀裂	仮受け材の設 置（通行可 能）	修繕中
北陸地方 整備局	のうちかおうだん ほどう 能生地下横断歩道	国道 8 号	1972	2023	上部構造等のう き・ひびわれ・鉄 筋露出	仮設材を設置 して、全面通 行止	修繕中

○ 都道府県・政令市等(21 橋)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
仙台市	なかしばばし 仲芝橋	市道サイカ チ沼線	1988	2019 2024	橋台のひびわ れ、変形・欠損、 洗堀など	全面通行止	架替予定
山形県	ふくしまこせんきょう 福島跨線橋	県道比子八 幡線	1981	2020	主桁、横桁、支承 が全体的に腐食・ 欠損	仮受け材の設 置（通行規制 (車両)）	修繕中
栃木県	あさひばし 旭橋	県道 182 号 線	1923	2021	床版に鉄筋露出、 うき、主桁・支承 には腐食、断面 欠損(穴あき等)	桁端部補強設 置(通行可能)	架替中
相模原市	むめいはし つく い 無名橋(津久井18)	市道青野原 9 号	1960	2021	床板に断面欠損 を伴う腐食、鋼材 部全体に腐食	仮設を設置し 全面通行止	撤去予定
長野県	ならいしんはし 奈良井新橋	県道姥神奈 良井線	1977	2020	張出床版、横桁 の損傷	全面通行止	撤去中
長野県	しおばし 塩橋	県道戸隠篠 ノ井線	1974	2023	主桁の著しい腐 食	仮設を設置し 交通開放	架替中
静岡市	しまかわはし 島川橋	市道櫓尾崩 野線	1956	2022	橋台背面土砂流 失及び木製床板 の腐朽	全面通行止	廃止予定
浜松市	エンガク ざわばし 沢橋	市道水窪向 島第 2 号線	不明	2015	床板の腐食及び 断面欠損	全面通行止	撤去予定
浜松市	ひき た ごうきょう 引の田7号橋	市道水窪小 和田引の田 線	不明	2015	主桁・防護柵の 腐食及び断面欠 損	全面通行止	撤去予定
浜松市	ひき た ごうきょう 引の田11号橋	市道水窪小 和田引の田 線	不明	2015	横桁の変形	全面通行止	撤去予定
和歌山県	きゅう ひおきがわおおはし (旧)日置川大橋	日置川すさ み線	不明	2016	主桁鉄筋の露 出、ゲルバー部 の遊間の異常、 橋脚の変形	全面通行止	撤去中
岡山市	10046 橋 はし	市道大元駅 前・二日市 町線	不明	2021	主鉄筋の露出	仮設材設置 (通行可能)	架替中
岡山市	41135 橋 はし	市道泉田 25 号線	不明	2022	下部工に大きな ひび割れ	重点的な巡 視・点検	架替中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
岡山市	おぐらはし 小倉橋	市道建部町 小倉 3 号線	1964	2021	主桁のひびわれ	仮受材設置 (通行可能)	架替中
北九州市	ときわばし 常盤橋	市道室町 2 号線	1995	2024	主桁の損傷(腐 朽)及び沈下	全面通行止	未定
福岡市	むめいきょう 無名橋50200	県道飯場金 武線	1987	2023	橋台の洗掘、沈 下等の損傷	車両通行止	未定
熊本市	つばいがわしそくどうきょう 坪井川橋側道橋	国道 501 号	1986	2021	橋脚(鋼管杭)の 損傷	全面通行止、 仮受け台の設 置	架替中
大分県	ぜいりゅうはし 清流橋	県道臼杵津 久見線	1998	2024	伸縮装置の破損	伸縮装置取替	修繕中
宮崎県	とがんのはし 鋒野橋	県道 33 号 線	1998	2023	地すべりによる上 部工の変状あり	全面通行止	未定
鹿児島県	おとこがわし きゆうきょう 男川橋(旧橋)	上屋久屋久 線	1961	2022	塩害による激しい 劣化が進行して いる。	全面通行止	撤去中
鹿児島県	みなとはし 湊橋	伊関国上西 之表港線	1976	2019 2024	主桁 PC 鋼線及 び鉄筋の破断	通行規制(片 側規制)	架替中

○ 市区町村(462 橋)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
函館市 (北海道)	ひうらがわはどうきょう 日浦川歩道橋	市道日浦 3 号線	1985	2023	主桁、支承等の 腐食など	単管等の設置 (全面通行止)	未定
函館市 (北海道)	サイロ橋	市道尾札部 中央1号線	1938	2023	主桁ひびわれ、 洗掘など	侵入防止柵の 設置措置(全 面通行止)	未定
函館市 (北海道)	とどめき橋	市道尾札部 中央1号線	1970	2023	下部ひびわれ、 支承破断など	侵入防止柵の 設置措置(全 面通行止)	未定
釧路市 (北海道)	しじまはし 蜆橋	市道風連別 馬主来線	1980	2015 2020	主桁の断面欠損	全面通行止	廃止予定
釧路市 (北海道)	ポンチノミ橋	市道風連別 馬主来線	1980	2014 2019 2024	主桁の破断・腐 食、床版の抜け 落ち、橋台の変 形・腐食	全面通行止	廃止予定
釧路市 (北海道)	ちのみはし 乳呑橋	市道風連別 馬主来線	1958	2014 2019 2024	防護柵の破断、 橋台の鉄筋露出	全面通行止	廃止予定
夕張市 (北海道)	だいこくはし 大黒橋	市道登川住 宅線	1960	2014 2023	主桁・下部構造・ 地覆 鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
留萌市 (北海道)	おおわだ ごうどお 大和田6号通り 1号橋	市道大和田 6号通り	1968	2022	下部工の洗掘	通行止による 通行規制を実 施	未定
苫小牧市 (北海道)	みそのほどうきょう 美園歩道橋	市道美園 4 丁目自歩道	1980	2024	床版の腐食	全面通行止	撤去予定
稚内市 (北海道)	みなとほどうきょう 港歩道橋	市道港歩道 橋通	1978	2021	防護柵基部の腐 食(断面欠損)	防護柵へのあ て板(通行可 能)	修繕中
稚内市 (北海道)	みなとこせんきょう 港跨線橋	市道港 3 条 通	1964	2021	支承の沓座面の 損傷による落橋 の危険性	全面通行止	修繕中
紋別市 (北海道)	たからばし 宝橋	市道中立牛 上古丹線	1965	2018 2023	橋台の洗掘	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
紋別市 (北海道)	せんばし 4線橋	市道渚滑 4 線	1978	2023	主桁等の腐食	全面通行止	未定
士別市 (北海道)	めぐみばし 恵 橋	市道学田不 動公園線	1980	2017 2022	床板(木材)の抜 け落ち	全面通行止	撤去中
名寄市 (北海道)	せんばし 18線橋	市道18線	1960	2017 2021	床板ひび割れ、 橋脚のコンクリー ト剥落、鉄筋露出	全面通行止	修繕中
三笠市 (北海道)	きゅうかいつらばし 旧桂橋	市道桂沢 6 号線	1952	2017 2022	主 桁(鋼材)腐 食、床板の抜け 落ち、鉄筋露出、 支承腐食	全面通行止	撤去予定
砂川市 (北海道)	やまもとばし 山本橋	市道川沿通 り	1968	2022	主桁腐食、横桁 腐食、床板変形・ 欠損、支承腐食	通行止	撤去予定
富良野市 (北海道)	ひさかりばし 日盛橋	市道山部西 1号線	1983	2022	下部構造の洗堀	上部工仮受材 を設置し 2023 年 10 月から交 通解放	架替予定
当別町 (北海道)	たんこう さわばし 炭鉱の沢橋	町道炭鉱の 沢線	1976	2017 2022	杭基礎の折損	全面通行止	廃止予定
木古内町 (北海道)	きめ がわじんどうきょう 佐女川入道橋	町道木古内 2線	1975	2021	上部工及び支承 損傷	通行規制(車 両)	撤去予定
木古内町 (北海道)	きめ がわこせんじんどうきょう 佐女川跨線入道橋	町道木古内 2線	1987	2022	上部工及び支承 損傷	全面通行止	撤去予定
上川町 (北海道)	メノコばし メノコ橋	町道清川陸 万2号線	1981	2022	主桁が経年劣化 により脱落し、路 面の一部が抜け 落ち	ガードレール と看板を設置 し通行止	廃止予定
上川町 (北海道)	やまきばし 八巻橋	町道東雲朝 日線	1965	2022	下部工前面の護 岸部に洗堀によ る損傷が見られ、 護岸背面の土砂 の吸出しがある	仮設ロープと 看板を設置し 通行止	廃止予定
南富良野町 (北海道)	とうえいばし 東栄橋	町道下金山 東栄線	1981	2022	木部材の床板、 縦、横桁、横構は 老朽化が著しく、 一部床板の抜け 落ち、横構の断 面破断、主塔、柱 部のひび割れ、 門柱部のうき等の 損傷が著しい。吊 り材の主索ケー ブルが腐食	全面通行止	撤去中
中川町 (北海道)	はしもとばし 橋本橋	町道中川 5 号線	1979	2017 2022	橋台洗堀による 傾斜	チェーンゲー トによる通行止 措置	撤去予定
小平町 (北海道)	うんせいばし 運生橋	町道親和線	1972	2018 2023	床版の腐食	全面通行止	修繕中
小平町 (北海道)	かねじりばし 金尻橋	町道川上本 流線	1967	2018 2023	下部工基礎の洗 堀	全面通行止	修繕中
小平町 (北海道)	せんすいばし 潜水橋	町道川上本 流線	1962	2018 2023	下部工基礎の洗 堀	全面通行止	修繕中
初山別村 (北海道)	くれないはし 紅 橋	村道風連別 南線	1974	2017 2023	橋台基礎の洗堀	全面通行止	撤去予定
初山別村 (北海道)	うたこしべつばし 歌越別橋	村道共成線	1963	2017 2023	主桁(木材)の腐 食	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
浜頓別町 (北海道)	クッチャロ大橋 ^{おおはし}	町道浜頓別 自転車道1 号線	1917	2017 2022	主桁・横桁・支承 (鋼材)の腐食、 橋脚の洗堀	短管パイプに よる出入口 封鎖	未定
札文町 (北海道)	ハマナカ橋 ^{ばし}	町道ハマナ カ4号線	1986	2024	2020 年の出水に よる下部工の倒 壊・消失	全面通行止	撤去予定
幌延町 (北海道)	やまべなか 山女中の橋 ^{はし}	町道開進8 号線	1963	2021	下部工の傾斜、 支承のアンカー ボルトの脱落	応急補修(通 行可能)	修繕中
遠軽町 (北海道)	だいこくさわ 大黒沢6号橋 ^{ごうきよう}	町道大黒沢 線	1964	2021	主桁のひびわ れ、欠損	全面通行止	未定
西興部村 (北海道)	ちゆうこうはし 中興橋	村道中興部 六興線道路	1935	2019	橋脚底板下面の 露出、横桁のひ び割れ、橋台ウイ ングの断裂、防護 柵の著しい欠損・ 破断	全面通行止	撤去中
厚真町 (北海道)	かんこうはし 官光橋	町道軽舞豊 丘線	1971	2021	パイルベント橋台 の基礎杭のせん 断	仮設材による 落橋防止措置 (通行可能)	架替中
厚真町 (北海道)	おくたがはし 奥高橋	町道高丘本 線	1967	2021	桁端部の欠損 橋台下部の洗堀	全面通行止	架替予定
新冠町 (北海道)	こうようばし 紅葉橋	町道東川2 号線	1965	2017 2022	橋台の傾斜	仮設材を設置 して通行止	廃止予定
新ひだか町 (北海道)	くどう 久遠3号橋 ^{ごうきよう}	町道歌笛久 遠沢線	1978	2021	主桁の腐食、床 版に破断・変形・ 抜落ち、舗装の わだち掘れ	全面通行止	廃止予定
鹿追町 (北海道)	はちごうばし 八号橋	奥然別峡線	1965	2017 2022	橋座の剥離・鉄 筋露出	全面通行止	未定
鹿追町 (北海道)	ねむのきばし 合歓木橋	奥然別峡線	1973	2022	橋台背面の洗堀	全面通行止	未定
新得町 (北海道)	たけうちばし 竹内橋	町道北新得 東線	1990	2018 2021 2024	落橋	全面通行止	撤去予定
弟子屈町 (北海道)	みのりばし 美農里橋	町道美農里 橋線	1962	2022	床版の腐食、橋 面木材の腐朽	平成23年度よ り通行止	修繕予定
八戸市 (青森県)	かねはまこせんきよう 金浜跨線橋	大渡金浜線	1968	2020	主桁下面のはく 離鉄筋露出	仮設材を設置 し車線規制	架替中
十和田市 (青森県)	とりやづく 鳥谷附2号橋 ^{ごうばし}	鳥谷附有備 線	1950	2022	下部工の剥離、 鉄筋露出	全面通行止	修繕予定
十和田市 (青森県)	さるくらばし 猿倉橋	猿倉線	不明	2018 2023	主桁、床版の剥 離や鉄筋露出、 下部工のひび割 れ、断面欠損	通行止、仮橋 設置	架替中
三沢市 (青森県)	あまがもちり 天ヶ森1号橋 ^{ごうばし}	市道天ヶ森 1号線	1977	2021	コンクリート部材 にはく離・鉄筋露 出、支承に変形・ 欠損	車両通行止 (歩行者通行 可)	未定
つがる市 (青森県)	れんげだばし 蓮花田橋	丸山蓮花田 線	1978	2021	鋼管杭の腐食に よる落橋	バリケード及 びガードマン 配置	架替中
今別町 (青森県)	ほりかえばし 堀替橋	堀替線	1970	2022	主桁及び支柱の 腐食、橋脚のはく 離・ひび割れ	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
今別町 (青森県)	おおかわだいゆしらかわばし 大川平由四良橋	由四良川線	1970	2022	主桁及び支柱の 腐食、床版のはく 離・鉄筋露出	全面通行止	未定
大鰐町 (青森県)	くまぎわばし 熊沢橋	虹貝清川線	1963	2021	床板の鉄筋破 断、損傷	通行止	撤去予定
大鰐町 (青森県)	もりやまおほし 森山大橋	鯖石森山線	1974	2021	支承サイドブロッ クの損傷	サイドブロック 機能を補完す るため、仮設 材の設置	修繕中
東北町 (青森県)	こがわどおりこせんきょう 小川原通跨線橋	町道 535 号 線	1967	2020	主桁の腐食、板 厚減少、断面欠 損	バリケート等の 設置	架替中
風間浦村 (青森県)	かぎかけばし 鍵掛橋	薬研・易国 間線	1979	2024	支承の腐食、下 部工基部の洗堀	ガードパイプ による全面通 行止	修繕予定
田子町 (青森県)	ごうきょう 1号橋	新田黒森線	1986	2020	コンクリート部材 のはく離・鉄筋露 出、遊離石灰	通行規制(2t)	架替中
田子町 (青森県)	ごうきょう 2号橋	新田黒森線	1986	2020	コンクリート部材 のはく離・鉄筋露 出、遊離石灰	通行規制(2t)	架替中
大船渡市 (岩手県)	しろきさわばし 白木沢橋	市道白木沢 橋線	1960	2021	橋台背面が陥没	全面通行止	未定
久慈市 (岩手県)	とめたきばし 止瀧橋	市道沼袋線	1969	2020	床版に剥離・鉄 筋露出、格子状 ひびわれ、下部 工の断面欠損	全面通行止	撤去中
一関市 (岩手県)	しもなかやま ごうきょう 下中山1号橋	市道下曲田 16号線	不明	2022	主桁の欠損、床 板の流出、舗装 の抜け落ち	全面通行止	未定
一関市 (岩手県)	にほんまつばし 二本松橋	市道島越二 本松線	1943	2024	石積護岸の豪雨 出水の影響によ る洗堀・欠損	規制看板等設 置による全面 通行止	架替中
二戸市 (岩手県)	せいがんばし 青岩橋	市道青岩線	1935	2018	主桁支点部・鋼 製橋脚基部の断 面欠損	仮設材を設置 (通行止)	撤去予定
奥州市 (岩手県)	あまつちばし 天土橋	市道天土線	1954	2014 2019 2024	基礎の洗堀	全面通行止	撤去予定
奥州市 (岩手県)	しもがもがさきはし 下鴨ヶ崎橋	市道梨ノ木 線	1976	2014 2019 2024	床版のひびわ れ、剥離、鉄筋露 出	全面通行止	撤去予定
気仙沼市 (宮城県)	なつやきはし 夏焼橋	市道上東側 根上西側線	不明	2020	木橋上部の腐朽	全面通行止	撤去予定
名取市 (宮城県)	ごしやばし 五社橋	市道笠島川 内線	1971	2021	主桁の剥離・鉄 筋露出	仮設迂回路を 設け全面通行 止	廃止予定
湯沢市 (秋田県)	かわいばし 川井橋	市道中山・ 小沢ヶ沢線	1966	2014 2019 2023	主桁、横桁、支 承の腐食、床版下 面、橋台、橋脚の ひびわれ	全面通行止	撤去予定
湯沢市 (秋田県)	たきのほらばし 滝ノ原橋	市道小安沢 滝ノ原線	1963	2023	主桁の剥離、橋 脚の剥離・鉄筋 露出、支承の腐 食	全面通行止	修繕予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
湯沢市 (秋田県)	おやすばし 小安橋	市道寒沢線	1962	2014 2019 2023	主桁、横桁、支承 の腐食、床版、橋 台のひびわれ	全面通行止	撤去予定
湯沢市 (秋田県)	たかまえばし 高前橋	市道高屋敷 平館線	1963	2023	橋台、橋脚のひ びわれ	全面通行止	撤去予定
湯沢市 (秋田県)	おやすさわばし 小安沢橋	市道小安沢 線	不明	2024	主桁の剥離・鉄 筋露出、支承の 板厚減少を伴う 著しい腐食と傾 斜、アンカーボルトのゆるみ	全面通行止	撤去予定
鹿角市 (秋田県)	うしみちしたばし 丑道下夕橋	長野大湯線	不明	2022	橋脚基礎の洗堀	全面通行止	架替中
鹿角市 (秋田県)	ぬまたいばし 沼平橋	高崩2号線	1980	2023	橋脚の傾き	全面通行止及 び仮設橋設置	架替中
鹿角市 (秋田県)	きへいたいばし 喜兵平橋	喜兵平線	2004	2023	橋台の損傷	全面通行止	修繕中
鹿角市 (秋田県)	どうじばし 桃枝橋	桃枝線	1961	2024	河川の増水によ る橋台の変形	全面通行止	架替中
由利本荘市 (秋田県)	あらまち、ごうきよう 荒町2号橋	市道荒町 4 号線	1941	2020	橋台ひびわれ、 欠損、床版の剥 離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
由利本荘市 (秋田県)	ふじくらばし 藤倉橋	市道藤倉線	1994	2024	豪雨災害による 木床版の脱落、 防護柵の脱落、 横桁の欠損	豪雨により上 部工(木製)に 抜け落ち、破 損	未定
由利本荘市 (秋田県)	はんべえばし 半兵衛橋	市道雪川井 戸ノ沢線	1968	2024	路面の隙間、下 部工のひびわれ、 漏水、洗堀、PC パイルの倒壊	全面通行止	未定
由利本荘市 (秋田県)	くろもりばし 黒森橋	市道雪川井 戸ノ沢線	1968	2024	床版の変形(たわ み)、下部工の岩 盤崩壊(洗堀)、下 部工のひびわ れ、遊離石灰、漏 水	全面通行止	未定
由利本荘市 (秋田県)	ひやみずさわばし 冷水沢橋	市道南沢1 号線	1965	2024	豪雨災害による 落橋	令和6年7月 豪雨災害によ り落橋	修繕予定
由利本荘市 (秋田県)	おおだいばし 大台橋	市道焼山線	1985	2024	豪雨災害による 落橋	全面通行止	未定
大仙市 (秋田県)	たのさわはし 田ノ沢橋	芦沢通家ノ 前線	1972	2024	主桁上の床版の 支点部で鋼材が 消失し、床版落 下の危険性あり	全面通行止	未定
大仙市 (秋田県)	やまべざわ ごうばし 山辺沢1号橋	山辺沢線	1980	2024	下部工の基礎地 盤が消失しており、落橋の危険性 あり	全面通行止	未定
にかほ市 (秋田県)	ごうばし 903号橋	背中当・前 田表線	1987	2023	鋼橋全体の腐食	全面通行止	未定
小坂町 (秋田県)	かくらばし 鹿倉橋	鹿倉線	1968	2023	主桁鋼材の露 出、側面の剥離 損傷	代替路線完成 により廃止予 定	廃止予定
上小阿仁村 (秋田県)	なかやまはしほどうきよう 中山橋歩道橋	福館五反沢 線	1979	2021	道路橋の機能に 支障、橋台に広 範囲の洗堀	全面通行止	修繕予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
三種町 (秋田県)	たきのさわ ぎょう 滝ノ沢2号橋	猿田増浦線	不明	2023	背面土砂の崩落 により落橋	全面通行止	未定
八峰町 (秋田県)	みずさわばし 水沢橋	目名潟大沢 線	1961	2024	橋脚の洗掘	全面通行止	修繕予定
五城目町 (秋田県)	こいじおほし 恋地大橋	町道入通線	1987	2023	主桁の異常なた わみ	仮設材を設置 し片側通行	未定
五城目町 (秋田県)	こいじばし 恋地橋	町道恋地線	1958	2022	主桁・横桁の腐 食、防食機能の 劣化、橋台の剥 離・欠損	全面通行止	未定
五城目町 (秋田県)	おおだいばし 大台橋	町道大台線	1969	2018 2023	主桁の著しい鉄 筋露出	全面通行止	未定
尾花沢市 (山形県)	3-278-1 ぎょう 号橋	市道Ⅲ-278 号線	1976	2021	主桁のたわみ	全面通行止	撤去中
西川町 (山形県)	おおいりがわばし 大入間川橋	月岡入間線	1965	2019	橋脚の洗掘によ る沈下・傾斜	全面通行止	架替中
鮭川村 (山形県)	ふかいざわ ぎょう 深沢1号橋	木の根坂・ 深沢線	1964	2021	主桁の変形、床 版の変形移動	全面通行止	未定
川西町 (山形県)	さかみずばし 坂水橋	道祖神坂水 橋線	1968	2016 2021	支承本体の傾斜 橋脚の剥離・鉄 筋露出	全面通行止	撤去中
遊佐町 (山形県)	さかえばし 栄橋	(他) 白木宮 海線	1956	2016 2021	主桁の腐食、欠 損、パイルベント橋 脚の損傷	全面通行止	撤去中
いわき市 (福島県)	ずきんだいらはし 頭巾平橋	市 道 頭 巾 平・長沢	不明	2017 2022	橋脚柱部に根本 接合部の剥離に よる 10° 程度の 傾き	通行規制(車 両)	未定
相馬市 (福島県)	2593-1	市 道 中 部 593 号線	不明	2023	下部工のひびわ れ	全面通行止	修繕予定
川俣町 (福島県)	とんやまえはし 問屋前橋	町道問屋・ 津間線	1970	2016 2020 2024	主桁の腐食、変 形・欠損、板厚減 少	全面通行止	未定
金山町 (福島県)	おきたはし 沖田橋	町道湯ノ上 線	1935	2016 2021	床版の断面欠 損、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
双葉町 (福島県)	のだけうち ぎょう 野竹内3号橋	町道野竹内 2 号線	1965	2018	橋台の移動・傾 斜、背面の土砂 の沈下洗掘、ひ びわれ	仮設材を設置 し通行止	未定
浪江町 (福島県)	5084-1 ぎょう 号橋	持平小和田 線	不明	2020	床版の抜け落ち	全面通行止	未定
浪江町 (福島県)	6241-1 ぎょう 号橋	近江前大高 倉線	不明	2021	橋台の洗掘及び 沈下・移動・傾斜	全面通行止	未定
浪江町 (福島県)	7017-1 ぎょう 号橋	重作下亀下 線	不明	2021	主桁木材の落下	全面通行止	未定
浪江町 (福島県)	7173-1 ぎょう 号橋	西小萱線	不明	2022	変形崩落	全面通行止	未定
浪江町 (福島県)	7173-2 ぎょう 号橋	西小萱線	不明	2022	崩壊欠損	全面通行止	未定
石岡市 (茨城県)	18050	市道 A 6747 号線	不明	2020	主桁の腐食	車両通行止	未定
石岡市 (茨城県)	4323-1 ぎょう 号橋	市道 B 4323 号線	不明	2021	主桁端部にひび われ	仮設材を設置 し全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
結城市 (茨城県)	かみわだばし 上和田橋	市道 5075 号線	不明	2016 2023	主桁、横桁の剥離、腐食による断面欠損・鉄筋露出、下部構造のひびわれ	単管パイプによるバリケード及び通行止看板を設置して通行規制	架替予定
龍ヶ崎市 (茨城県)	ごうきよう 4-25号橋	市道第 4-96 号線	不明	2022	主桁の引張荷重を担う鉄筋の破断	全面通行止	架替予定
龍ヶ崎市 (茨城県)	ごうきよう 4-33号橋	市道第 4-106 号線	不明	2022	上部構造の孔食、板厚減少を伴う腐食	全面通行止	撤去予定
龍ヶ崎市 (茨城県)	ごうきよう 5-44号橋	市道第 5-292 号線	不明	2021	基礎の沈下、路面の傾斜	全面通行止	未定
常陸太田市 (茨城県)	しんかわとどばし 新川戸橋	市道 2213 号線	1974	2023	上部工、下部工の著しい腐朽	全面通行止	修繕予定
高萩市 (茨城県)	しょうぶばし 菖蒲橋	市道 105 号 線	不明	2017	主桁の断面欠損	全面通行止	撤去予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきよう 無名橋5	市道 1320 号線	不明	2018 2023	主桁及び支承の腐朽	仮設材を設置し全面通行止	廃止予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきよう 無名橋59	市道 2051 号線	不明	2018 2023	下部工のひび割れ、傾斜、洗堀	仮設材を設置し全面通行止	廃止予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきよう 無名橋142	市道 6039 号線	不明	2018 2023	主桁、床版及び地覆の木材部の腐朽による断面欠損	仮設材を設置し全面通行止	廃止予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきよう 無名橋147	市道 6054 号線	不明	2018 2023	床版の欠損	仮設材を設置し全面通行止	廃止予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきよう 無名橋149	市道 6082 号線	不明	2018 2023	主桁の腐食、床版の著しい腐朽	仮設材を設置し全面通行止	廃止予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきよう 無名橋155	市道 6093 号線	不明	2018 2023	主桁と床版の著しい腐朽	仮設材を設置し全面通行止	廃止予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきよう 無名橋172	市道 7001 号線	不明	2018 2023	主桁の腐朽	仮設材を設置し全面通行止	廃止予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきよう 無名橋173	市道 7002 号線	不明	2018 2023	主桁と床版の著しい腐朽	仮設材を設置し全面通行止	廃止予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきよう 無名橋60	市道 2052 号線	不明	2023	床版に腐朽	仮設材を設置し全面通行止	廃止予定
取手市 (茨城県)	ごうきよう 216号橋	市道 2-5273 号線	不明	2017	A2 橋台の下部工の傾斜、主桁の傾斜	全面通行止	撤去予定
つくば市 (茨城県)	32262-1 号橋	3-2262 号 線	1964	2018 2022	P1 橋脚の腐食・断面欠損	仮設材を設置し全面通行止	架替予定
つくば市 (茨城県)	あずまばし 吾妻橋	4-2231 号 線	1976	2015 2020	橋台の ASR と考えられる亀甲状のひびわれ	全面通行止	修繕予定
つくば市 (茨城県)	15620-1 号橋	1-5620 号 線	1968	2017 2019 2024	主桁、横桁、デッキプレート床版の腐食による欠損	敷鉄板の設置(通行可能)	修繕中
つくば市 (茨城県)	53032-1 号橋	5-3032 号 線	1962	2018 2023	橋台に杭の欠損及び沈下	全面通行止	架替予定
常陸大宮市 (茨城県)	10695-1 号橋	市道 10695 号線	不明	2021	主桁・床板の腐食により破損(木橋)	全面通行止	撤去予定
常陸大宮市 (茨城県)	たつめさわはし 辰目沢橋	市道 30011 号線	不明	2022	主桁・床板の腐食による破損(単純鋼 H 型橋・床板は木材)	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
常陸大宮市 (茨城県)	ごもくいたはし 五目板橋	市道 30363 号線	不明	2022	主桁・床板の腐 食による破損(木 橋)	全面通行止	撤去予定
常陸大宮市 (茨城県)	やまのかみはし 山ノ神橋	市道 30102 号線	不明	2022	主桁・床板の腐 食による破損(木 橋)	全面通行止	撤去予定
常陸大宮市 (茨城県)	やくまむこうはし 谷熊向橋	40061 号線	1985	2024	主桁・床板の腐 食による破損(木 橋)	全面通行止	撤去予定
稲敷市 (茨城県)	104号橋 ごうきょう	市道(新) 1223 号線	不明	2016	下部工、支承の 腐食	全面通行止	撤去予定
城里町 (茨城県)	1-6号橋 ごうきょう	町 道 1185 号線	不明	2022	下部工の移動	全面通行止看 板設置及び防 護ロープ設置	撤去中
城里町 (茨城県)	1-3号橋 ごうきょう	町 道 1222 号線	1985	2018 2023	床版の抜け落ち	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
城里町 (茨城県)	1-26	町道1462 号線	不明	2018 2023	橋全体の著しい 腐朽	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
城里町 (茨城県)	3-18	町道3239 号線	不明	2018 2023	橋全体の著しい 腐朽	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
城里町 (茨城県)	1068	町道8-09 99号線	不明	2018 2023	主桁、床版の著し い腐朽	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
城里町 (茨城県)	1066	町道8-11 00号線	不明	2018 2023	主 桁 全 体 の 腐 朽、一部崩落	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
大子町 (茨城県)	5021号橋 うしろさわばし (後沢橋) ごうきょう	町 道 5010 号線	不明	2019 2024	主桁・床版の腐 食	仮設材を設置 し全面通行止	未定
大子町 (茨城県)	5043号橋 ごうきょう	町 道 5177 号線	不明	2024	主桁・床版の腐 食	仮設材を設置 し全面通行止	未定
大子町 (茨城県)	5044号橋 ごうきょう	町 道 5177 号線	不明	2024	主桁・床版の腐 食	仮設材を設置 し全面通行止	未定
阿見町 (茨城県)	ふくだうえはし 福田上橋	町 道 6078 号線	1955	2023	橋台の著しい洗 掘による沈下 に伴う落橋	全面通行止	撤去予定
阿見町 (茨城県)	6006橋 はし	町 道 6056 号線	1970	2023	橋台の沈下によ る桁の遊間異常	全面通行止	撤去予定
茂木町 (栃木県)	とこ さわばし 床の沢橋	町道床の沢 放線	1969	2020	橋脚に洗堀、剥 離・鉄筋露出	通行止	撤去予定
茂木町 (栃木県)	おおはし 大橋	町道山崎元 古沢線	1963	2020	A1 橋台の胸壁と 堅壁の分離、胸 壁の移動	通行止	撤去予定
壬生町 (栃木県)	6-1号橋(通学橋) ごうばし つうがくばし	一級町道6 号線	1971	2024	上部工 3 径間と 下部工 2 基が流 失	全面通行止	撤去中
前橋市 (群馬県)	えだはし 江田橋	市道 16-017 号	不明	2019 2024	主桁の歪み、橋 脚の減肉	全面通行止	撤去予定
下仁田町 (群馬県)	なかがいりばし 中貝橋	町 道 3456 号線	1966	2023	劣化による伸縮 装置及び目地材 の脱落	一部通行不能	修繕中
中之条町 (群馬県)	あづまばし 吾嬬橋	町道小雨生 須線	1962	2020	縦桁の著しい腐 朽	バリケードによ る完全封鎖	未定
東吾妻町 (群馬県)	3-12号橋 ごうきょう (鳴瀬橋) なるせはし	町 道 3006 号線	1935	2020 2024	垂直材のひび割 れ	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設年度	点検実施年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
みなかみ町 (群馬県)	たからがわばし 宝川橋	町 道 藤 原 102 号線	1958	2018	橋脚、橋台の剥離・鉄筋露出による断面減少、支承の機能障害	全面通行止	撤去中
みなかみ町 (群馬県)	こまやまゆうほうどうきょう 駒利山遊歩道橋	町道永井 38 号線	不明	2024	水平材の座屈、亀裂	進入禁止柵設置	未定
川越市 (埼玉県)	だい ごうきょう 第25号橋	市 道 3035 号線	不明	2019	主桁、床版、路面の腐食、橋台下部工の傾斜	仮設材の設置 (全面通行止)	未定
川口市 (埼玉県)	おにざわばし 鬼澤橋	市道幹線第 28 号線	1958	2022 2023	橋台の傾斜	根固め工等を 施工	架替予定
行田市 (埼玉県)	9-27号橋	市道第 9.3- 89 号線	1933	2020	橋脚の沈下・移動・傾斜	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
行田市 (埼玉県)	3-9号橋	市道第 3.3- 193 号線	不明	2021	橋脚の鉄筋腐食及び破断	仮設材を設置 し全面通行止	修繕予定
行田市 (埼玉県)	5-21号橋	市道第 5.3- 330 号線	不明	2021	主桁・支承部の腐食、破断	仮設材を設置 し全面通行止	修繕予定
行田市 (埼玉県)	7-30号橋	市道第 7.3- 49 号線	不明	2021	床版の剥離・鉄筋露出・ひびわれ、鉄筋の腐食・破断認	仮設材を設置 し全面通行止	修繕予定
加須市 (埼玉県)	か ごうきょう 加_4018号橋	市 道 4009 号線	1940	2016 2020	橋脚の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
加須市 (埼玉県)	か ごうきょう 加_6048号橋	市 道 6313 号線	不明	2016 2022	橋台の欠損	全面通行止	撤去予定
加須市 (埼玉県)	おお ろっけんばし 大_六軒橋	市道大 2122 号線	不明	2017 2022	主桁の破断	全面通行止	撤去中
加須市 (埼玉県)	お おとね ごうきょう 大利根112号橋	市道大 2040 号線	不明	2018 2023	橋台の傾斜	全面通行止	撤去予定
加須市 (埼玉県)	だい ごうきょう 大_130号橋	市道大 2117 号線	不明	2016 2020	床版の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	ひ かげ ごうきょう 日影3号橋	市道 4-117 号線	不明	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	まえ こうち ごうきょう 前耕地1号橋	市道 4-177 号線	不明	2022	主桁の腐食	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	うねすぎ ごうきょう 畝杉1号橋	市道 4-335 号線	不明	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	さわむこうばし 沢向橋	市道 4-431 号線	1969	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	もり まえ ごうきょう 森の前2号橋	市道 4-434 号線	不明	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	まえ こうち ごうきょう 前耕地2号橋	市道 4-174 号線	不明	2022	主桁の腐食	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	かわむこう ごうきょう 川向1号橋	市道 4-202 号線	不明	2022	主桁の腐食	バリケードにて 通行止	撤去予定
鴻巣市 (埼玉県)	2249号線1号橋	市道川 2249 号線	不明	2022	ひびわれ、舗装の異常	仮設材を設置 して、通行止	撤去予定
鴻巣市 (埼玉県)	2272号線1号橋	市道川 2272 号線	不明	2022	ひびわれ、剥離・鉄筋露出	仮設材を設置 して、通行止	撤去予定
朝霞市 (埼玉県)	はまさきりつきょう 浜崎陸橋	市 道 2168 号線	1971	2022	防護柵の広範囲にうき	地覆の剥落が確認できたため、緊急的な叩落し及び防錆を実施	修繕中
坂戸市 (埼玉県)	はちまんばし 八幡橋	市 道 1449 号線	2007	2022	橋脚などの木材腐朽	全面通行止	撤去中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
東秩父村 (埼玉県)	しんばたざわだい ばし 新畑沢第3橋	村 道 1034 号線	不明	2024	主桁、床版の腐食	全面通行止	廃止予定
神川町 (埼玉県)	12154-1 号橋 ごうはし	町 道 12154 号線	不明	2017	主桁、横桁の腐朽	全面通行止	撤去中
市原市 (千葉県)	かんたくはし 干拓橋	市 道 イ-220 号線	1957	2020	橋脚の剥離・鉄筋露出、基礎の沈下・移動、傾斜など	全面通行止	撤去中
市原市 (千葉県)	かわばたはし 川端橋	市 道 6178 号線	1957	2023	下部工洗堀による橋台の滑動、変形欠損	通行止規制	架替予定
君津市 (千葉県)	おつばらばし 追原橋	市道黄和田 畑、追原線	1971	2018 2023	歩行者用の木橋の吊橋で塔柱の腐食による機能不全	バリケード設置(全面通行止)	廃止予定
君津市 (千葉県)	いずみばし 泉 橋	市道六手、 玄蕃松線	1970	2018 2023	鋼桁の著しい腐食による断面欠損・変形、上部工の沈降	バリケード設置(全面通行止)	撤去予定
君津市 (千葉県)	などのこせんきよう 名殿跨線橋	市道名殿、 音坊谷線	1936	2022	主桁の腐食、横桁の破断等	バリケード設置(全面通行止)	撤去予定
君津市 (千葉県)	ながうらばし 長浦橋	市道奥米、 大鹿倉線	1955	2018 2023	歩行者用の吊橋で鋼桁の腐食による機能不全	バリケード設置(全面通行止)	廃止予定
君津市 (千葉県)	まさき ぎうはし 正木1号橋	市道正木・ 奥米線	1932	2018 2023	RC床版や下部構造に損傷	バリケード設置(全面通行止)	廃止予定
南房総市 (千葉県)	おおはんつはし 大半津橋	市道深名 1 8号線	2001	2023	主桁、床板、橋脚、支承部の腐朽	通行止	廃止中
酒々井町 (千葉県)	いいつみばし 飯積橋	町 道 3B- 162 号線	不明	2016 2021	主桁の腐食支承の腐食、支承の機能障害	主桁仮受け材の設置(通行可能)	撤去中
あきる野市 (東京都)	あじろはし 網代橋	市 道 I -11 号線	1933	2021	P2 橋脚の洗掘、沈下・移動・傾斜、主桁の浮上	網代橋前後の交差点まで全面通行止	架替予定
檜原村 (東京都)	したなかさとばし 下中里橋	村道第 53-1 号中里線	不明	2022	橋台のひびわれ、遊離石灰、崩落	落橋のため通行不能	未定
大島町 (東京都)	ふくじゅうばし 福重橋	福重1号線	1939	2024	主桁の剥離・鉄筋露出およびうき、露出した主鉄筋の破断・断面減少	看板表示による通行禁止	廃止予定
大島町 (東京都)	まんたてばし ばし しょう 万立橋(場所打ち部)	長根野田浜 自転車歩行者線	不明	2024	頂版、側壁の剥離・鉄筋露出・うき	看板等による迂回誘導	架替予定
長岡市 (新潟県)	むめいきよう ぎうきよう 無名橋1号橋 (A70202)(A1914)	市 道 宮 内 202 号線	1952	2022	下部構造の変形、欠損	全面通行止	撤去中
長岡市 (新潟県)	すずばし 涼橋(C0015)	市 道 越 路 110 号線	1933	2023	床版のひび割れ	全面通行止	撤去中
柏崎市 (新潟県)	しまだばし 島田橋2	市区町村道 (その他) 柏崎門出島田線	1965	2019	橋台の剥離	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
小千谷市 (新潟県)	わかみやばし 若宮橋	市区町村道 (その他) 岩 間木1号線	1998	2022	主桁及び床版の 腐朽	バリケードを設 置し全面通行 規制	廃止予定
村上市 (新潟県)	かわしもこばし 川下小橋	市区町村道 (2級) 中小 屋線	不明	2019 2024	主桁の腐食	バリケード設 置による全面 通行止	未定
村上市 (新潟県)	かわいり ぎょう 川入1号橋	市区町村道 (その他) 河 内14号線	不明	2019 2024	床版の腐食	バリケード設 置による全面 通行止	撤去予定
村上市 (新潟県)	ミヤノコシ ^{ばし} 橋	市区町村道 (その他) 新 飯 田 2 0 号 線	不明	2024	主桁の腐食	バリケード設 置による全面 通行止	未定
村上市 (新潟県)	ど ^{ばし} 土橋	市区町村道 (2級) 府屋 勝木線	不明	2024	主桁の腐食	バリケード設 置による全面 通行止	修繕予定
村上市 (新潟県)	ちようせい ぎょう 調整2号橋	その他市町 村道牛屋 21 号線	不明	2024	主桁の腐食	バリケード設 置による全面 通行止	撤去予定
糸魚川市 (新潟県)	おおたにがわだい ^い ち ^{ばし} 大谷川第一橋	市道上角間 線	不明	2019 2023	床版の腐食	仮設材を設置 し通行止	撤去予定
糸魚川市 (新潟県)	あらさわ ^{ばし} 荒沢橋	市道荒沢線	1966	2019 2023	床版の腐食	仮設材を設置 し通行止	撤去予定
糸魚川市 (新潟県)	かざなみ ^{ばし} 風波橋	市道風波 2 号線	1941	2024	アーチリブの腐食	仮設材を設置 して通行止	撤去予定
妙高市 (新潟県)	すぶん ^{どう} ばし 寸分道橋	市区町村道 (その他) 大 濁寸分道線	不明	2021	機能支障	全面通行止	未定
阿賀町 (新潟県)	おおお ^{ばし} 大尾橋	町道(2級) 滝首線	1970	2020	支承の機能障害	バリケードを設 置し全面通行 止	未定
阿賀町 (新潟県)	こあら ^い ばし 小荒井橋	町道(その 他) 向小 荒 線	1968	2020	床版の抜け落 ち、支承部アン カーボルトの折 損	バリケードを設 置し全面通行 止	未定
関川村 (新潟県)	あらたにざ ^わ ばし 荒谷沢橋	市区町村道 (その他) 九 ヶ谷郷57号 線	1938	2020	主桁の腐食、防 食機能の劣化、 変形・欠損	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去予定
富山市 (富山県)	かめい ^わ ばし 瓶岩橋	松ノ木横江 線	1972	2018 2023	支承の破損、橋 台のひび割れ	バリケードを設 置し全面通行 止(H27 より)	撤去中
富山市 (富山県)	くりす ^{ばし} 栗須橋	栗須中山線	1958	2021	橋脚の洗堀、支 承部の剥落・鉄 筋露出	全面通行止	未定
富山市 (富山県)	すなくらだに ^{ばし} 砂蔵谷橋	蟹寺加賀沢 線	1972	2017 2021	主桁・対傾構の 変形	全面通行止	未定
魚津市 (富山県)	つきが ^た ばし 月形橋	有山2号線	1966	2017 2022	支承部の腐食、 沈下、移動、傾 斜	全面通行止	未定
滑川市 (富山県)	つきが ^た ばし 月形橋	旧県道栗山 月形橋線	1966	2017	支承部の腐食、 沈下、移動、傾 斜	全面通行止	未定
上市町 (富山県)	はつきん ^{ばし} 白金橋	折戸・下田 線	1950	2021	ケーブルの腐 食、変形、破損	全面通行止	撤去予定
七尾市 (石川県)	しょう ^わ ばし 昭和橋	市道河崎下 線	1993	2024	主桁の腐朽	通行止看板設 置	架替中
七尾市 (石川県)	でぐち ^{ばし} 出口橋	市道河崎川 淵線	1960	2024	主桁の腐朽	通行止看板設 置	廃止中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
小松市 (石川県)	さかい ^{ばし} 橋	市道江指町 勘定線	1926	2018	主桁の腐食・欠 損	バリケードを設 置し全面通行 止	架替中
白山市 (石川県)	おぞうおほし 尾添大橋	中宮尾添線	1973	2017 2023	橋台基礎部の地 盤崩落	バリケードを設 置し全面通行 止(H30年度よ り)	撤去予定
白山市 (石川県)	ごみじま ^{ばし} 五味島橋	ダム1号線	1979	2018 2021	主桁の座屈	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去予定
小浜市 (福井県)	せざかきょう 勢坂橋	市道勢坂線	1955	2018 2023	主桁の剥離・鉄 筋露出	全面通行止	修繕中
池田町 (福井県)	ごうきょう あらたにぐち ^{はし} 41号橋_荒谷口橋	月ヶ瀬芋ヶ 平線	1966	2022	橋台躯体中央部 石積みの消失、 路面沈下	2022.5 月より 通行止	架替中
山梨市 (山梨県)	ほそいりさわ ^{はし} 細入沢橋	円川線	1973	2021	木床版に腐朽、 横桁に孔食を伴 う腐食	全面通行止	撤去予定
山梨市 (山梨県)	えんがわ ^{ばし} 、ごう 円川橋3号	31044 号	1967	2021	縦桁の干割れや 腐朽、木床版の 腐朽や抜け落 ち、主ケーブルや ケーブルアンカ ーに腐食	全面通行止	撤去予定
山梨市 (山梨県)	あおざき ^{はし} 青笹橋	31052 号線	1969	2021	縦桁・木床版の 腐朽・抜け落ち、 主塔にひびわれ・ 鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
大月市 (山梨県)	あらくらは ^{はし} 新倉橋	市道新倉橋 線	1971	2019	主要部材の断面 欠損	全面通行止	撤去中
笛吹市 (山梨県)	おおくちやまし ^{もに はし} 大口山下二の橋	市 道 4478 号線	1961	2023	木橋の主桁、床 版が老朽化して 歩行者が通行で きない状況	通行止看板を 設置して通行 規制	撤去予定
笛吹市 (山梨県)	しもおおく ^{ぼばし} 下大窪橋	市 道 5149 号線	1967	2023	支承が腐食により 破断しており反力 の支持が不明瞭	巡回による監 視を実施して 段差変状が生 じた場合、通 行規制	修繕中
笛吹市 (山梨県)	ごう ^{はし} 3号橋	市 道 6331 号線	1961	2023	上部・下部が老 朽化して歩行者 が通行できない 状況	通行止看板を 設置して通行 規制	撤去予定
甲州市 (山梨県)	ゆのき ^{ばし} 柚木橋	下柚木1号 線	1982	2022	木製の床版と床 組の一部が腐 朽、主塔や主ケ ーブルの吊り材 に点錆	全面通行止	撤去予定
長野市 (長野県)	50085 ^{ごうきょう} 号橋	市道若穂東 458号線	1970	2017 2022	床板の抜け落ち	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	おかだ ^{がわし} も ^{はし} 岡田川下橋	市道東田沢 通明小線	1930	2021	木床版の抜け落 ち	全面通行止	修繕予定
長野市 (長野県)	しの ^{のいきた} 、ごうきょう 篠ノ井北47号橋	市道篠ノ井 北215号線	不明	2020	橋脚の腐朽	全面通行止	修繕中
長野市 (長野県)	まごめ ^{ばし} 孫女橋	市道信州新 町127号線	1975	2020	橋台転倒および 床版崩落の恐れ あり	全面通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
長野市 (長野県)	おおかわばし 大川橋1	市道戸隠北 67号線	2000	2020	木床版に腐朽・ 抜け落ち	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	さわじりばし 沢尻橋	市道中条3 6号線	1978	2017 2022	床板の抜け落ち	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	たのいりばし 田ノ入橋	市道中条7 0号線	1980	2017 2022	木橋全体が腐食	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	うめきあらい ごうきよう 梅木新井1号橋	市道中条2 96号線	1975	2017 2022	木橋全体の腐食	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	かみくすがわ ごうきよう 上楠川4号橋	市道戸隠北 95号線	1981	2023	下部工洗堀による 倒壊	車両通行止	廃止予定
松本市 (長野県)	むめいばし 無名橋 (14134)	市道5533 号線	不明	2022	上部工の広範囲 に鉄筋露出膨張 を伴う剥離・鉄筋 露出	全面通行止	機能変更中
松本市 (長野県)	まぶねかみばし 馬船上橋 (20014)	市道馬船線	1971	2021	空石積み橋台、 支承部が一部崩 壊、床版、舗装に たわみ	車両通行止	未定
松本市 (長野県)	やくばし 矢久橋 (20052)	市道召田旧 道1号線	1950	2014 2019 2024	主桁・横桁の剥 離、鉄筋露出、床 版の変色、劣化	車両通行止	未定
松本市 (長野県)	はないげばし 花池橋 (20061)	市道花池取 出線	1966	2022	下部構造の洗 堀、主桁、床版の 傾斜	全面通行止	未定
松本市 (長野県)	よどがさわばし 淀ヶ沢橋 (20113)	市道淀ヶ沢 支線	1973	2022	主桁の断面欠損 を伴う著しい腐食	車両通行止	架替中
松本市 (長野県)	しまじまだに ごうきよう 島々谷5号橋 (30005)	市道島々5 号線	1965	2014 2019 2024	上部構造の腐 食、下部構造の 変形、欠損、支承 の機能障害	車両通行止	未定
松本市 (長野県)	ゆかわ ごうばし 湯川1号橋 (30023)	市道沢渡2 号線	1935	2014 2019 2024	上部構造の腐 食、支承の機能 障害	通行規制(4t)	架替中
松本市 (長野県)	ひのきとげばし 桧峠橋 (30028)	市道大野川 1号線	不明	2018 2023	木部材の腐朽、 一部崩落	全面通行止	未定
松本市 (長野県)	さわむらばし 沢村橋 (20001)	市道尾ノ入 線	1977	2023	主桁、床版に断 面欠損を伴う著し い腐食、橋台の 洗堀	車両通行止	未定
大町市 (長野県)	いちうだ ごうばし 一字田1号橋	市道一字田 1号線	1995	2022	主桁の腐食、断 面欠損	応急修繕工事 実施、徐行、 関係者のみ通 行可、定期的 な外観変状監 視	廃止中
飯山市 (長野県)	2-30号橋 2-30号橋	市道2-39 2号線	1962	2021	橋脚支柱基礎(コ ンクリート)の洗堀	バリケードによ る通行止	未定
佐久市 (長野県)	911号橋 911号橋	市道67-053 号線	不明	2020	下部構造の洗 堀、舗装の異常	全面通行止	修繕予定
千曲市 (長野県)	みち ごうせん ごうきよう 道1号線1号橋	市道7-C -041号線	1998	2022	主桁、床版の腐 朽による欠損、橋 梁のたわみ	全面通行止	未定
安曇野市 (長野県)	きしたせん ごうきよう 木下線1号橋	市道明科5 085号線	1970	2016 2021	主桁の腐食、破 断	全面通行止	撤去予定
安曇野市 (長野県)	やししたさわ ごうばし 矢下沢5号橋	市道明科5 143号線	1975	2016 2021	木製床版の抜け 落ち	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
川上村 (長野県)	つくりおがわはし 作小川橋	村道5005 号線	1982	2020	橋台の背面土砂 流出・洗掘、取付 道路の流出	架け替え工事 中	架替中
立科町 (長野県)	かにはらにごうばし 蟹原二号橋	町道梨ノ木 旧道線	1961	2020	主桁のひびわれ、支間中央部 のたわみ	全面通行止	未定
長和町 (長野県)	いなりばし 稲荷橋	町道稲荷線	1989	2023	大雨による橋脚 の流出	全面通行止	撤去予定
下諏訪町 (長野県)	うちやましぶ ゆばし 内山洪の湯橋	町道内山洪 の湯線	2002	2022	橋台(蛇籠)の傾 斜	ロープ等で通 行止、山奥に 存在する橋梁 のため2か月 に1度パトロー ル	廃止予定
辰野町 (長野県)	ごうばし 0135号橋	町道1413 号線	1999	2021	落橋	全面通行止	架替予定
松川町 (長野県)	はし 3-9橋(120)	町道91号 線	不明	2017 2022	橋台の崩落	バリケードによ る通行止	廃止予定
根羽村 (長野県)	みとうじんばし 明神橋	村道(1級) 幹1-5号 線	1954	2016 2022	主桁・下部工の ひびわれ、鉄筋 露出、うき、漏水 遊離石灰	全面通行止	撤去予定
上松町 (長野県)	おのがやばし 小野ヶ谷橋	町道肥沢線	1954	2022	床版に腐朽、抜 け落ちが発生	全面通行止	未定
木曽町 (長野県)	こんどうざわばし 近道沢橋	町道黒川線	不明	2021	下部構造が欠損 し、洗掘拡大	車輛通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	なかげざいりばし 中平橋	町道中平線	不明	2022	落橋	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	あかしおばし 赤塩橋	町道赤シ尾 線	不明	2022	床版の腐朽 下 部工の沈下	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	おおさわばし ふくしま 大沢橋(福島)	町道大沢線	1972	2017	木橋全体が腐食	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	やくばみなみばし 役場南橋	町道旧役場 横線	不明	2017	床板の抜け落ち	全面通行止	撤去予定
木曽町 (長野県)	ながとりばし はらの 永鳥橋(原野2)	町道永鳥線	1989	2022	主桁・床版の変 形・欠損	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	おざわ ごうきう 小沢3号橋	町道小沢線 (三岳)	不明	2022	主桁・下部工の 腐食、床版の腐 朽	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	おぼばやし ごうきう 尾羽林3号橋	町道尾羽林 2号線	不明	2022	主桁の腐食、床 版・下部工の腐 朽	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	おざわ ごうきう 小沢2号橋	町道小沢線 (三岳)	不明	2022	主桁の腐食、床 版の腐朽	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	きるはし 猿橋	町道(1級) 西野川線	1958	2022	主桁の鉄筋露 出、床版の土砂 化	全面通行止	未定
小谷村 (長野県)	こつがいばし 国境橋	村道湯原北 線	1937	2017 2023	主桁破断、床板、 地覆、防護柵の 一部変形・欠損	全面通行止	未定
小川村 (長野県)	ぞうべつとうばし 蔵別当橋	村道10-1 0号線	不明	2021	橋面の土砂堆 積、木主桁に腐 朽、上流側の主 桁に異常なたわ み	バリケード及 び通行止看板 を設置し進入 規制	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
小川村 (長野県)	うえのたいらばし 上之平橋	村道12-9 号線	不明	2021	木床版の欠損や 踏み抜き	バリケード及 び通行止看板 を設置し進入 規制	廃止予定
小川村 (長野県)	ももせおくばし 百瀬奥橋	村道32-1 号線	不明	2021	木床版の断面欠 損	バリケード及 び通行止看板 を設置し進入 規制	廃止予定
飯綱町 (長野県)	いはらはし 石原橋	町道M3- 218号線	1975	2022	主桁の腐食によ る断面欠損及び 破断	全面通行止	修繕中
飯綱町 (長野県)	かまぶちはし 釜淵橋	町道釜淵線	1953	2018 2022	床版の腐食	全面通行止	未定
岐阜市 (岐阜県)	(5304)むめいきょう 無名橋	市道 桐谷 線	不明	2023	木橋上部部材の 腐朽	全面通行止、 腐朽した部材 の撤去	未定
高山市 (岐阜県)	とくごうはし 徳河橋	市道徳河線	不明	2015 2020	主桁の腐食、橋 台の変状	全面通行止	撤去予定
高山市 (岐阜県)	むかひはし 向橋	市道中之宿 向線	1952	2017 2022	吊桁の腐朽、床 版の崩落	全面通行止	未定
高山市 (岐阜県)	ふなとはし 船渡橋	市道中洞 2 号線	1952	2015 2020	伸縮装置の脱 落、橋台の変状	全面通行止	撤去予定
高山市 (岐阜県)	てんぐはし 天狗橋	市道平湯天 狗橋線	1956	2015 2020	床板、橋脚の鉄 筋露出	全面通行止	撤去予定
関市 (岐阜県)	ほとじまばし 保戸島橋	6-282号 線	1937	2018	ゲルバー桁ヒンジ 部における吊桁 の破断及び受桁 の破断	全面通行止	未定
関市 (岐阜県)	さかしたばし 坂下橋	市道 12-101 号線	1966	2024	橋台のひび割 れ、護岸の石積 みの崩落	全面通行止	修繕予定
関市 (岐阜県)	きとばし 木戸橋	市道 12-210 号線	1967	2024	橋台の下面の露 出、護岸の石積 みの崩落	全面通行止	撤去予定
中津川市 (岐阜県)	ふどうばし 不動橋	市道宮の上 下浦線	1958	2022	下部工の洗堀	全面通行止	未定
中津川市 (岐阜県)	ほんさわはし 本沢橋	市道山口 5 号線	不明	2021	丸太の腐食、床 版及び舗装の抜 け落ち	単管バリケードにて通行止 迂回道路の補 修	廃止予定
中津川市 (岐阜県)	ほそがやはし 細ヶ谷橋	市道 福岡 377 号線	1956	2023	下部工の洗堀	全面通行止	未定
山口市 (岐阜県)	あなほらばし 穴洞橋	市道 51010 号線	1965	2021	下弦材の塗装塗 替え、橋脚の詳細 調査が必要	通行止	修繕予定
山口市 (岐阜県)	むめいはし 無名橋	市道 53018 号線	不明	2021	鋼床版の部分取 替え、橋台の石積 みの補修、鋼部材 の塗装塗替え、防 護柵の部分取替 えが必要	通行止	撤去予定
海津市 (岐阜県)	しずはし 志津橋	海津33169 号線	1968	2022	床版のひび割 れ、桁かかり長の 不足、橋台(石積 み)のゆるみ	全面通行止	修繕予定
安八町 (岐阜県)	しんさいがわ ごうきょう 新犀川2号橋	新犀川2号 線	不明	2021	橋脚のパイルベ ント破断	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
安八町 (岐阜県)	しんさいがわ ごうきょう 新犀川3号橋	新犀川3号 線	不明	2021	主桁の沈下・傾 斜、基礎の洗堀	全面通行止	撤去予定
揖斐川町 (岐阜県)	おりもとばし 折本橋	町道春日折 本線	1961	2014 2019 2024	主桁・床版の断 面欠損、支承の 腐食・傾斜	全面通行止 (バリケード)	修繕中
揖斐川町 (岐阜県)	うじたに ばし 宇治谷橋	町道久瀬宇 治谷線	不明	2021	橋台背面の土砂 流出、主桁及び 床版の剝離・鉄 筋露出	バリケードを設 置し通行止	撤去予定
揖斐川町 (岐阜県)	コウバヒラ ^{ばし} 橋	町道坂内八 草峠線	不明	2021	橋台背面の崩落	バリケードを設 置し通行止	撤去予定
富加町 (岐阜県)	かたまち ^{ばし} 片町橋	町道加治田 17 号線	1969	2022	下部構造の洗堀	全面通行止	修繕中
白川町 (岐阜県)	おぐら ^{ばし} 小倉橋	町道小倉線	1983	2020	床版、主桁、横桁 の腐食、橋台の ひびわれ、橋脚 基礎の洗堀	全面通行止	架替中
島田市 (静岡県)	むめいきょう 無名橋583	市道青木田 2 号線	1992	2022	主 桁 の 破 損 脱 落、床版の腐朽、 橋脚のひびわれ	仮設材を使用 して通行止	廃止予定
島田市 (静岡県)	おもとぎわし ^も 御源沢下橋	市道御源沢 線	1959	2022	主桁の異常なた わみ	仮設材を使用 して通行止	架替予定
焼津市 (静岡県)	しんかわ ^{ばし} 新川橋(00533)	市道水産試 験場新川橋 線	1954	2018 2023	経年劣化による 損傷	ネットフェンス 設置(全面通 行止)	廃止予定
袋井市 (静岡県)	きたあけ ^{ばし} 北明橋	市道彦島 2 号線	1955	2016	主桁、床版、支承 の腐食	全面通行止	架替予定
菊川市 (静岡県)	やだのやせん ^{ごうきょう} 矢田ノ谷線2号橋	市道矢田ノ 谷線	不明	2024	橋台の損傷(沈 下・傾斜)	バリケードを設 置し全面通行 止	修繕予定
東伊豆町 (静岡県)	しらだがわ ^{ばし} 白田川橋	町道稲取片 瀬線	1950	2021	機能支障	全面通行止	架替中
松崎町 (静岡県)	おおひらはし 大平橋	町道大平線	不明	2023	主桁・横桁・床版 の腐食、床版の ひびわれ	全面通行止	未定
西伊豆町 (静岡県)	うぐす ^{ばし} 宇久須橋	町道柴松ヶ 坂線	1932	2016	主 桁 の 鉄 筋 露 出、うき	全面通行止	未定
小山町 (静岡県)	むかい ^だ 向田橋	町 道 2181 号線	1973	2023	橋 脚 の ひ び 割 れ、橋脚の洗堀	応急修繕	修繕中
吉田町 (静岡県)	ねんぶつ ^{ばし} 念佛橋	町道塩谷上 川原線	1960	2016 2023	主桁の欠損	全面通行止	撤去中
豊橋市 (愛知県)	あらこはし 新起橋	市道花田町 106号線	1927	2024	主桁の腐食	全面通行止	撤去予定
瀬戸市 (愛知県)	あさひ ^{ばし} 旭 橋	市道北戸越 線	不明	2024	剝離・鉄筋露出 による断面減少	仮設材を設置 して、通行止	廃止予定
瀬戸市 (愛知県)	とごえ ^{ばし} 戸越橋	市道北戸越 線	不明	2024	剝離・鉄筋露出 による断面減少	仮設材を設置 して通行止	廃止予定
豊田市 (愛知県)	ウルシゼ ^{はし} 橋	市道稲武ウ ルシゼ橋線	1918	2016 2021	床版の鉄筋露出	全面通行止	未定
豊田市 (愛知県)	ぐんかい ^{はし} 郡界橋2	市道稲武郡 界線	1917	2016 2021	主桁、床版の鉄 筋露出	全面通行止	未定
新城市 (愛知県)	ながし ^の 長篠橋	市道長篠大 海線	1934	2023	主桁の変形	全面通行止	未定
田原市 (愛知県)	かわきたひと ^{ごうはし} 川北一号橋	市道川向尾 崎線	1979	2022	腐朽により主桁、 床版の抜け落ち	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
弥富市 (愛知県)	なべた ぐうきょう 鍋田9号橋	鍋田17号 線	不明	2016 2020	主桁、下部工の 鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
弥富市 (愛知県)	すえひろばし 末広橋	東末広107 号線	1972	2016 2021	主桁の腐食、変 形欠損、下部工 の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
美浜町 (愛知県)	ふぐさき はし 富具崎(5)橋	町道 5328 号線	不明	2023	主桁の腐食、紡 織機能の劣化、 変形・欠損	バリケードで通 行止	撤去予定
東栄町 (愛知県)	ときわばし 常盤橋	町道(154)ア セモ立渡瀬 線	1932	2019 2024	主桁の格点一腐 食、欠損	全面通行止	撤去中
東栄町 (愛知県)	むめいばし 無名橋13	町道(162)吐 原線	1981	2019 2023	主桁の腐食、欠 損、床版の腐食、 防食機能の劣化	全面通行止	修繕中
津市 (三重県)	3068-1号橋	市道西藏王 馬藪線	1963	2021	主桁に腐食、床 版(路面)に腐 食・抜け落ち	全面通行止	未定
津市 (三重県)	204-3号橋	市道大野矢 持線	1965	2022	主桁の腐食	全面通行止	未定
津市 (三重県)	くちまえばし 口前田橋	市道小杉城 立溪流線	1979	2022	床版部の腐食・ 抜け落ち	全面通行止	未定
津市 (三重県)	おおたにはし 大谷橋	市道野登瀬 井出添線	1958	2024	橋梁床版部の腐 食	仮設材を設置 して通行止	未定
津市 (三重県)	ふくだやままえばし 福田山前田橋	市道前田東 山線	1965	2024	下部工背後の洗 掘、下部工の傾 き	仮設材を設置 して通行止	未定
熊野市 (三重県)	ほそおはし 細尾橋	市道大馬細 尾線	不明	2022	床版、横桁に著 しい損傷	看板を設置し て全面通行止	架替中
伊賀市 (三重県)	やがみはし 山神橋	市道印代山 神線	1953	2019	橋脚の沈下	全面通行止	架替中
度会町 (三重県)	ごろがせ はし 五郎ヶ瀬橋	町道和井野 権田線	1925	2017 2021	地覆、高欄の欠 損、主桁の鉄筋 露出、基礎の洗 掘	全面通行止	未定
御浜町 (三重県)	こまつはし 小松橋	町道引作線	1970	2020	橋脚の沈下	全面通行止	架替中
長浜市 (滋賀県)	にごうはし 二号橋	早崎干拓線	1970	2023	橋脚の鋼管柱に 顕著な板厚減少、 孔食および破断	全面通行止	未定
長浜市 (滋賀県)	いぬいはし 乾橋	留目3号線	1935	2023	鋼I桁の腐食の進 展による明らかな 板厚減少、孔食、 欠損	全面通行止	架替中
草津市 (滋賀県)	ながた ぐうきょう 永田1号橋2	上笠川原駒 井沢線	1967	2023	主桁、横桁、床版 の腐食、板厚減少、 破断	全面通行止	架替予定
舞鶴市 (京都府)	なにわばし ほどう 浪速橋(歩道)	市道八島通 線	1972	2024	主桁、床版、支 承、橋脚の腐食 による板厚減少・ 孔食	全面通行止	修繕予定
綾部市 (京都府)	ものべおおはし 物部大橋	市道宮川線	1999	2023	橋脚及び床版の 沈下	全面通行止	撤去中
南丹市 (京都府)	まけじんじやまえばし 摩気神社前橋	市道摩気神 社線	1993	2023	主桁支点部の腐 朽による破断	車両通行止	修繕中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
奈良市 (奈良県)	むめいきょう 無名橋351	東 部 第 7 9 号線	不明	2018 2023	主桁・横桁腐食、 断面欠損。下部 工洗堀	バリケード設 置及び通行止 掲示(全面通 行止)	修繕中
五條市 (奈良県)	しもだばし 下田橋	霊安寺8号 線	1945	2016 2019 2024	橋台の沈下・移 動・傾斜	全面通行止	廃止予定
宇陀市 (奈良県)	おくのたに ごうきょう 奥ノ谷3号橋	市道宮奥針 道線	1955	2018	桁に用いている 丸太材が腐朽	バリケードの設 置(全面通行 止)	未定
宇陀市 (奈良県)	ばし イタ橋	市道菟田野 124号線	不明	2018	床版の木材が朽 ちて一部抜け落 ち	バリケードの設 置(全面通行 止)	未定
宇陀市 (奈良県)	ふじたばし 藤田橋	市道菟田野 317号線	不明	2018	床版の腐朽によ って橋面の一部 に穴が開ける	バリケードの設 置(全面通行 止)	未定
宇陀市 (奈良県)	カマクラ橋 ^{ばし}	市道下笠間 茶臼山線	不明	2018	主桁の破損、及 び下部工の洗堀	バリケードの設 置(全面通行 止)	未定
平群町 (奈良県)	いちばら ごうきょう 櫛原1号橋	北 栴 原・西 向196号線	不明	2016 2020	主桁の破断、腐 食	バリケードの設 置(全面通行 止)	未定
十津川村 (奈良県)	きゅうかわつのおおし 旧川津大橋	村道川津線	1960	2015 2020	床版の腐食	全面通行止	撤去予定
十津川村 (奈良県)	いけあなはし 池穴橋	村道池穴中 原橋	1931	2015 2020	主桁、床版の腐 食	全面通行止	修繕中
十津川村 (奈良県)	なかはらばし 中原橋	村道池穴中 原橋	1945	2015 2020	主桁、床版の腐 食	全面通行止	撤去予定
十津川村 (奈良県)	おおのであいばし 大野出合橋	村道高滝小 川線	不明	2015 2020	主桁の腐食	全面通行止	修繕予定
十津川村 (奈良県)	ゆのはらばし 湯之原橋	村道湯之原 舟谷線	1934	2015 2020	主桁の腐食	全面通行止	修繕中
十津川村 (奈良県)	おおびそばし 大檜曾橋	村道大檜曾 線	不明	2015 2020	主桁、横桁の腐 食	全面通行止	修繕予定
新宮市 (和歌山県)	ひのうばし 日能橋	市道日足山 本線	1964	2024	橋脚の腐食	通行止看板の 設置にて通行 規制	未定
米子市 (鳥取県)	あんようじはしほどうきょう 安養寺橋歩道橋	日原兼久線	1975	2023	主桁の孔食や減 肉を伴う腐食、ボ ルトの脱落、支承 アンカーボルト破 断など	全面通行止	撤去中
日南町 (鳥取県)	つうてんばし 通天橋	石霞溪線	1929	2015	主桁の腐食	全面通行止	未定
松江市 (島根県)	りゅうげんじばし 龍源寺橋	龍源寺線	1988	2022	橋脚横鋼に孔食	全面通行止 (橋の前後に 通行止看板を 設置)	修繕中
松江市 (島根県)	おにがたきはし 鬼ヶ滝橋	堂谷線	1954	2023	主桁、横桁、床版 覆工板の腐食と 版厚減少、橋面 鋼板の孔食、左 岸側石積護岸の 流出	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
松江市 (島根県)	しんきょうえいはし 新共栄橋	下佐陀古志 線	1968	2023	6 本すべてのパイ ルベントの板厚減 少を伴う腐食、P3 橋脚の中央鋼管 杭の孔食	全面通行止	修繕中
出雲市 (島根県)	しょうろだに ごうばし 松露谷1号橋	鰐淵寺松露 谷線	1985	2023	木 橋 橋 台 の 洗 堀、支持杭の傾 斜・露出、橋面の たわみ	全面通行止	架替予定
益田市 (島根県)	ひらかわばし 平川橋	平川線	1938	2018 2023	橋脚洗堀により橋 梁全体が変状	バリケードにて 通行止	撤去中
大田市 (島根県)	の だ ば し 野田橋(木橋)	中組野田線	1996	2023	主桁木材の腐食 進行・高欄防護 柵の損失	一部全面通行 止	未定
雲南市 (島根県)	た くの ば し 多久戸橋	多久戸線	不明	2022	流出	全面通行止	架替予定
雲南市 (島根県)	こ ば ら ごうきよう 小原1号橋	里熊小原線	1959	2024	R3 年豪雨による 橋梁の流出	全面通行止	架替中
隠岐の島町 (島根県)	あい はし 愛の橋	西郷145号 線	1956	2017 2022	主桁剥離・鉄筋 露出、橋脚剥離・ 鉄筋露出	前面通行止	架替中
笠岡市 (岡山県)	しろいしじま ごうきよう 白石島1号橋	市道白石島 80 号先西尼 木線	不明	2023	床版に異常な欠 損あり	全面通行止	廃止中
笠岡市 (岡山県)	よしだがわ ごうきよう 吉田川6号橋 (笹賀屋橋)	市道吉浜 21 号樋鏡壺号 線	不明	2023	主 桁 に ひ び わ れ、床版に鉄筋 露出、うき、A1 橋 台にはらみだし、 P4 橋脚梁部に亀 裂	全面通行止	架替中
赤磐市 (岡山県)	かわせばし 川瀬橋	市道柿坂線	不明	2022	主桁のひびわれ	全面通行止	撤去予定
赤磐市 (岡山県)	じょうれんかんばら ごうきよう 上連神原1号橋	市道上連神 原線	不明	2022	主桁のひびわれ	通行規制(車 両)	修繕予定
真庭市 (岡山県)	むねすえかみばし 宗末上橋	市道後谷・ 尾中線	不明	2020	床版(木部材)に 著しい腐朽、破 断・抜け落ち 横桁に鋼材断面 減少を伴う腐食	全面通行止	修繕中
矢掛町 (岡山県)	に い や は し 仁井屋橋	町道辻堂線	1964	2021	主桁の腐食、路 面の陥没	通行止	架替中
美咲町 (岡山県)	か み あ い ば し 上阿井橋	町道谷川線	不明	2023	床版の腐朽	全面通行止	廃止予定
美咲町 (岡山県)	こ え だ ば し 小枝橋	町道小枝線	不明	2023	主桁・床版端部 の腐朽	全面通行止	廃止予定
呉市 (広島県)	か も め ほうきよう かもめ歩道橋	市道幸町海 岸線	1953	2022	横桁の腐食、床 版の剥離・鉄筋 露出	バリケードによ る通行止	撤去中
府中市 (広島県)	しぎたにはし 嶋谷橋1	市道嶋谷広 谷線	1955	2019 2024	上部構造床版の 損傷(流失)	仮設材の設置 (全面通行止)	撤去中
東広島市 (広島県)	ぞうかひがし ごうせん 造賀東12号線 ごうきよう 1号橋	市道造賀東 12 号線	1950	2024	橋 台 基 礎 の 沈 下、傾斜、洗堀	全面通行止	撤去予定
下関市 (山口県)	う つ い か み ごうきよう 内日上18号橋	市道内日上 53 号線	1976	2023	下部工損傷	通行止	修繕中
下関市 (山口県)	きのしたはし 木下橋	市道坂ノ上 ～保木線	1974	2023	下部工損傷	全面通行止	撤去中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
下関市 (山口県)	ムメイキョウ 25	市道上畔線	1957	2023	橋台背面陥没	全面通行止	修繕中
山口市 (山口県)	ひがしおおきだばし 東扇田橋	小森和西線	不明	2023	主桁・床版の腐食	圃場整備工事のため仮設橋梁を別途架橋し全面通行止	未定
萩市 (山口県)	よこやはし 横屋橋	横屋線	1958	2024	主桁支点上の腐食による孔食、横桁のボルトのゆるみ	通行止	修繕予定
岩国市 (山口県)	みしょうばし 御庄橋	御庄1号線	1953	2016 2021	主桁ゲルバー部のひびわれ	全面通行止	撤去中
長門市 (山口県)	かみいでばし 神出橋	市道神出線	1963	2016 2021	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
柳井市 (山口県)	かまとぎ ごうきょう 鎌磨1号橋	河原鎌磨線	1976	2015 2020	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	廃止予定
山陽小野田市 (山口県)	いしまるはし 石丸橋	市道桜川石丸線	1964	2022	下部構造の沈下	路肩規制（張出部の通行制限）	修繕中
山陽小野田市 (山口県)	まつがせはし 松ヶ瀬橋	市道松ヶ瀬線	1954	2015 2020	主桁の剥離、鉄筋露出	全面通行止	未定
周防大島町 (山口県)	よこたにしはし 横田西橋	横田西・鹿田線	1963	2024	橋台の損傷	バリケードを設置し通行止	未定
田布施町 (山口県)	かみ ばし 上シガラ橋	法寺坊線	1958	2021	橋台の一部損傷	全面通行止	未定
田布施町 (山口県)	せんぼうばし 千坊橋	竹尾奥線	1959	2021	橋台ひびわれ・亀裂、基礎部の洗掘による欠損	全面通行止	撤去中
徳島市 (徳島県)	しょうひがしはし 庄東橋	市道庄・中島田東線	1965	2019 2022	主桁の腐食、鉄筋露出および鉄筋の破断	車両通行止	架替予定
三好市 (徳島県)	のろうちばし 野呂内橋	坪尻野呂内線	1959	2017 2021	下部構造物の剥離、洗掘、腐食	全面通行止	廃止予定
三好市 (徳島県)	どうとこばし 堂床橋	境谷大谷線	1959	2015	主桁の腐食	全面通行止	撤去予定
三好市 (徳島県)	ゆみきばし 弓木橋	旧松舟線	1963	2014	主桁、支承部の腐食、鉄筋露出	全面通行止	修繕中
三好市 (徳島県)	たにおちあいせん ツフ谷落合線 3号橋	ツフ谷落合線	1972	2021	主桁に鉄筋露出・欠損、舗装の異常(土砂化)	全面通行止	廃止予定
三好市 (徳島県)	きかせばし 坂瀬橋	窓小祖谷線	1970	2017 2021	床版部分の腐食	全面通行止	廃止予定
上勝町 (徳島県)	なかすはし 中須橋	町道神明葛又線	不明	2016	木床版の腐朽、橋台の崩壊	全面通行止	撤去予定
上勝町 (徳島県)	しもうめきはし 下梅木橋	町道下梅木線	不明	2016	木床版の腐朽	全面通行止	撤去予定
つるぎ町 (徳島県)	きたにばし 吉良谷橋	町道吉良谷線	1957	2017 2022	鉄筋露出・橋台下部洗掘	全面通行止	撤去予定
高松市 (香川県)	よせじばし 寄地橋	市道東谷1号線	1965	2019	下部構造の洗堀	全面通行止	撤去中
観音寺市 (香川県)	かんおんじごくらくばし 観音寺極楽橋	市道上若南線	1933	2015 2021	上下部工の剥離、鉄筋露出	通行規制(二輪・歩行者以外)	架替予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
まんのう町 (香川県)	つねかねばし 常包橋	町道常包橋 線	1933	2016 2020	主桁ゲルバー部 のひびわれ、床 版の鉄筋露出、 支承部の腐食	通行規制(車 両)	撤去予定
松山市 (愛媛県)	かしまばし ござきょう 鹿島橋3号橋	市道鹿島公 園線	不明	2018 2023	主桁全面に著し い鉄筋露出	全面通行止	未定
松山市 (愛媛県)	かしまばし ござきょう 鹿島橋5号橋	市道鹿島公 園線	不明	2018 2023	主桁全面に著し い剥離、遊離石 灰等	全面通行止	未定
松山市 (愛媛県)	かしまばし ござきょう 鹿島橋6号橋	市道鹿島公 園線	不明	2018 2023	主桁全面に著し い鉄筋露出、遊 離石灰等	全面通行止	未定
松山市 (愛媛県)	かしまばし ござきょう 鹿島橋7号橋	市道鹿島公 園線	不明	2018 2023	主桁全面に著し い鉄筋露出、遊 離石灰等	全面通行止	未定
松山市 (愛媛県)	いわげきばし 岩堰橋	市 道 桑 原 129 号線	1924	2024	主ケーブルの腐 食の進行による 破断	全面通行止	修繕中
室戸市 (高知県)	さきはまばし 佐喜浜橋	市道佐喜浜 本線	1929	2017	主桁、下部工に 腐食、剥離・鉄筋 露出、床版に剥 離・鉄筋露出、支 承の機能障害	車両通行止	架替中
室戸市 (高知県)	みなとれし 港橋	市道湊橋線	1971	2015	主桁、横桁、支承 の腐食	全面通行止	撤去予定
室戸市 (高知県)	きらがわおおはし 吉良川大橋	市道本町西 ノ宮線	1936	2017	主桁に腐食、う き、剥離・鉄筋露 出、下部工に腐 食、剥離・鉄筋露 出、沈下	車両通行止	撤去予定
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 奈比賀古井線 13号橋	市道奈比賀 古井線	不明	2018 2022	落橋および橋台 の崩落	全面通行止	修繕中
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 奈比賀古井線 7号橋	市道奈比賀 古井線	不明	2018 2022	床版の木材に著 しい腐朽、脱落	全面通行止	修繕中
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 奈比賀古井線 8号橋	市道奈比賀 古井線	不明	2018 2022	床版の木材に著 しい腐朽、脱落	全面通行止	修繕中
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 奈比賀古井線 12号橋	市道奈比賀 古井線	不明	2018 2022	床版の木材に著 しい腐朽、脱落	全面通行止	修繕中
安芸市 (高知県)	いわとせん ござばし 岩戸線4号橋	市道岩戸線	不明	2018 2022	床版に板厚減少 を伴う著しい腐食	全面通行止	機能変更中
須崎市 (高知県)	おおたに ござせん ござきょう 大谷6号線2号橋	市道大谷6 号線	1951	2016 2021	主桁の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
須崎市 (高知県)	みやのこうち ござせん 宮ノ川内15号線 1号橋	市道宮ノ川 内 15 号線	不明	2014 2019 2024	木橋の上部構造 の腐朽	全面通行止	撤去予定
須崎市 (高知県)	おおうち ござせん ござきょう 大浦6号線2号橋	市道大浦 6 号線	不明	2014 2019 2024	木橋の上部構造 の腐朽、床版の 抜け落ち、下部 工の石積の崩壊	全面通行止	撤去予定
宿毛市 (高知県)	かいそ ござばし 貝礎1号橋	市道山田貝 礎線	1979	2018 2023	主桁、床版の腐 食、洗堀	全面通行止	撤去中
土佐清水市 (高知県)	かなえぎき ござはし 叶崎2号橋	市道大津南 線	1969	2018	主桁の剥離・鉄 筋露出、横桁の 剥離・鉄筋露出	全面通行止	撤去中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
土佐清水市 (高知県)	かなえざき ごうはし 叶崎1号橋	市道大津南 線	1969	2018	主桁の剥離・鉄 筋露出、横桁の 剥離・鉄筋露出	全面通行止	撤去中
四万十市 (高知県)	みさとほし 三里橋	市道具同三 里線	1963	2017	パイルベント橋脚 (鋼管)の腐食	応急処置を行 い、通行開放	修繕中
馬路村 (高知県)	のぐちばし 野口橋	村道野口橋 線	1953	2017	全耐風索の破断 によるハンガーロ ープのゆるみ	全面通行止	廃止予定
大豊町 (高知県)	きゆうよしのがわばし 旧吉野川橋	町道穴内尾 生線	1911	2017 2021	変形・欠損・異状 なたわみ	全面通行止	撤去予定
津野町 (高知県)	むめいきょう 無名橋12	町道茶屋ヶ 駄場線	1951	2021	主桁及び横桁に 腐食	通行規制(損 傷の著しい個 所を封鎖)	撤去予定
四万十町 (高知県)	しもどうしもついで ごうきょう 下道下津井1号橋	町道下道下 津井線	1940	2016 2021	橋台のひびわれ	全面通行止	修繕中
四万十町 (高知県)	たいしょうばし 大正橋	町道吾川線	1928	2016 2023	主桁・縦桁・横 桁・ボルトの腐食	全面通行止	未定
四万十町 (高知県)	せりばし 瀬里橋	町道田野々 瀬里線	不明	2018 2023	主桁に開口幅の 大きなひびわれ	全面通行止	廃止予定
四万十町 (高知県)	しもつさいばし 下津才橋2	町道大井川 西土佐線	1963	2018 2023	主桁剥離・鉄筋 露出、両橋台の 洗掘	全面通行止	撤去予定
四万十町 (高知県)	つが かわはし 津賀の川橋	町道津賀の 鼻線	1961	2018 2023	主桁、床版の腐 食、橋台の洗堀	全面通行止	廃止予定
黒潮町 (高知県)	こぶしのかわばし 拳ノ川橋	町道拳ノ川 北線	1935	2015 2020 2023	主桁の鉄筋露 出、断面欠損	全面通行止	修繕予定
宮若市 (福岡県)	いとだばし 糸田橋	市道 糸田・ 相手無線	1963	2020	橋脚傾き	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去中
みやき町 (佐賀県)	いししいばし 石井橋	町道石井区 内線	1969	2023	橋脚の沈下によ る主桁の浮き	全面通行止	架替予定
対馬市 (長崎県)	しんばし 新橋1	市道尾崎郷 崎線	不明	2015 2020	主桁の腐食、床 版の剥離、鉄筋 露出	通行規制(2t)	架替中
対馬市 (長崎県)	いななかやません ごうきょう 伊奈中山線13号橋	市道伊奈中 山線	不明	2022	下部工の沈下、 傾斜	通行規制(2t)	架替中
水俣市 (熊本県)	さいわいはし 幸 橋	市道 幸町・ 牧ノ内線	1965	2020	ラーメン橋脚(無 筋構造)の梁下面 及び柱に大きな 損傷(ひび割れ、 断面欠損)	重量規制(5t)	架替中
宇土市 (熊本県)	くろはし 黒橋	市道(9-182) 川越・宮の 後線	不明	2015 2019 2024	主桁、床版の腐 食、下部工のひ びわれ	全面通行止	撤去予定
天草市 (熊本県)	よこはまばし 横浜橋1	市道横浜 2 号線	1988	2021	主桁と横桁に腐 食、支承も腐食・ 機能障害、下部 工胸壁に剥離・ 沈下	全面通行止	撤去中
天草市 (熊本県)	はじょうとばし 枡宇土橋	市道西・田 代線	1921	2024	床版、主構両径 間のうき、剥離・ 鉄筋露出、局部 的なコンクリート の剥離	全面通行止	廃止予定
南関町 (熊本県)	おちあいはし 落合橋	町 道 上 長 田・落合線	1926	2022	橋脚の欠損、高 欄の脱落	全面通行止	架替中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
大津町 (熊本県)	いけづるばし 池鶴橋	町道八迫線	1970	2021 2022	橋台の欠損	全面通行止	未定
小国町 (熊本県)	やまつのばし 山角橋	町道山角古 屋線	1965	2022	橋台の洗掘、舗 装の陥没	全面通行止	架替中
水上村 (熊本県)	せん ひらばし 千が平橋	村道片地横 才線	1971	2019	主桁の欠損、鉄 筋露出、変形	全面通行止	修繕中
水上村 (熊本県)	ゆやまばし 湯山橋	村道汗の原 下馬場線	1958	2021 2024	P1 橋脚の剥離・ 鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
球磨村 (熊本県)	まるいおばし 丸岩橋	村道神瀬大 岩線	1971	2022	下部構造の洗堀	4t 車以上通行 止	修繕中
球磨村 (熊本県)	71-1むめいきよう 無名橋	村道浦野線	1965	2024	下部構造の洗堀	2t車以上通行 止	修繕予定
球磨村 (熊本県)	もちはらばし 桃原橋	村道神瀬大 岩線	1968	2021	RC床版の鉄筋露 出・うき、橋台の 洗堀	全 面 通 行 止 (仮設道路設 置)	架替中
球磨村 (熊本県)	しらばし 白濱橋	村道田野線	1954	2022	支承の機能障害	4t 車以上通行 止	未定
佐伯市 (大分県)	きよたきはし 清滝橋	市道河内清 滝橋線	1958	2017 2023	防食機能の劣 化、各桁の板厚 減少	全面通行止	廃止中
津久見市 (大分県)	ふくやまばし 福山橋	市道岩屋線	1936	2014 2019 2024	床版の剥離、鉄 筋露出、うき	全面通行止	未定
津久見市 (大分県)	ひじろばし 日代橋	市道福良網 代1号線	1962	2014 2019 2024	床版の鉄筋露 出、主桁の腐食	全面通行止	廃止予定
津久見市 (大分県)	ひじろはどうきよう 日代歩道橋	市道福良網 代1号線	1962	2014 2019 2024	床版、主桁の腐 食	全面通行止	廃止予定
豊後大野市 (大分県)	なかつむれはし 中津無礼橋	市道中津無 礼合川線	1965	2019	橋脚が無筋の為	通行制限(4t 車以上)	架替中
由布市 (大分県)	さかいざし 堺橋	市道仁瀬小 袋線	不明	2015 2020	主桁、支承の腐 食、橋台の洗堀	全面通行止	撤去予定
由布市 (大分県)	しばはらばし 芝原橋	市道中恵宮 田線	不明	2015 2020	主桁の剥離、鉄 筋露出	全面通行止	未定
由布市 (大分県)	かんぶちばし 上渕橋	市道下柿木 線	不明	2015 2020	主桁、橋脚の剥 離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
由布市 (大分県)	はねつばし 埴坪橋	市道東行埴 坪岡線	1929	2015 2021	主桁の剥離、鉄 筋露出	全面通行止	未定
由布市 (大分県)	かすかけばし 粕掛橋	市道梶屋挾 間線	1951	2019 2024	主桁、横桁、床版 の剥離、鉄筋露 出	全面通行止	撤去予定
国東市 (大分県)	もとみやばし 元宮橋	市道元宮線	1950	2021	支承の防食機能 の劣化・腐食	全面通行止	架替中
国東市 (大分県)	もろたばし 諸田橋	市道諸田旧 道線	1995	2024	橋脚の洗堀の進 行による沈下、傾 斜、主桁の剥離・ 鉄筋露出、うき	全面通行止	架替予定
九重町 (大分県)	へいはだにばし 平家谷橋	町道平家山 線	不明	2020	袖擁壁の変形・ 欠損	全面通行止	廃止予定
九重町 (大分県)	みょうけんばし 妙見橋	町道三ツ群 尾本線	1898	2020	袖擁壁の欠損	全面通行止	廃止予定
延岡市 (宮崎県)	ふかたにかわはし 深谷川橋	市道城打扇 線	1971	2019 2023	床版の腐食	通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
日置市 (鹿児島県)	あいら橋 ばし	市道向湯田 湯田原線	1924	2016 2021	石桁のひびわれ、鋼部材の腐食	車両通行止	未定
姶良市 (鹿児島県)	いわせとばし 岩瀬戸橋	市道酒屋段 線	1961	2017 2022	アーチ石の崩落	全面通行止	撤去予定
屋久島町 (鹿児島県)	みやのうらかわはし 宮之浦川橋	町道宮之浦 中通線	1930	2023	主桁の欠損、橋脚の傾きの異常	フェンスにより歩行者及び車両の立入禁止措置	撤去予定
伊仙町 (鹿児島県)	かねくはし 兼久橋	町道カネク 線	1977	2019 2023	主材部の激しい損傷	全面通行止 (看板設置)	架替中
沖縄市 (沖縄県)	うちきなばし 内喜納橋	市道東南植 物楽園線	1976	2017 2020	床板の剥離・鉄筋露出	仮受け材の設置(通行規制(車両))	架替予定
宜野座村 (沖縄県)	ごう 1号ボックスカルバート3	村道潟原旧 国道線	1967	2017 2022	頂版全体の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
与那国町 (沖縄県)	しまなかりはし 島仲橋	町道ティン ダバナ線	1963	2018	主桁・床板のたわみ、剥離、うき、鉄筋露出	ガードレールを設置し全面通行止	未定

※判定区分Ⅳの施設リストは、2025.7 に各道路管理者に確認した内容を記載。

※緊急措置後の恒久的な措置が完了済の施設は除く。

【トンネル】

○ 判定区分Ⅳのトンネルの措置内容(完了済・予定のものを含む)

管理者	管理中				撤去・ 廃止済 ※1	計	うち措置未完了 (下記リスト参照)
	計	修繕	廃止	対応 未定			
国土交通省	3	3	0	0	0	3	0
都道府県・ 政令市等	14	13	0	1	0	14	3
市区町村	38	21	10	7	25	63	23
合計	55 (69%)	37 (46%)	10 (13%)	8 (10%)	25 (31%)	80	26 (33%)

※1: 判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※高速道路会社管理のトンネルは健全度Ⅳの施設なし。

○ 国土交通省(0 箇所)

○ 都道府県・政令市等(3 箇所)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
東京都	ふきあげ 吹上トンネル	青梅秩父線	1953	2023	うき・剥離	剥落防止ネットの設置(変状部直下の通行規制)	修繕中
長野県	ねざめトンネル	県道上松南木曾線	2002	2021	覆工の巻厚不足	剥落防止措置	修繕中
滋賀県	よこやまずいどう 横山隧道	一般県道大野木志賀谷長浜線	1923	2022	覆工の漏水、うき・はく離	侵入できないよう門扉設置済み	未定

○ 市区町村(23 箇所)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
上士幌町 (北海道)	ふじかわ 不二川トンネル	町道糠平線	1955	2018 2021	剥落・漏水・ひびわれ	全面通行止	廃止予定
みなかみ町 (群馬県)	たからがわすいどう 宝川隧道	町道藤原119号線	1960	2018 2023	坑門、覆工アーチ・側壁の剥離	全面通行止	修繕中
君津市 (千葉県)	おくごめ とうすいどう 奥米3号隧道	市道奥米、廻田線	不明	2014	激しい崩落、崩落した岩の堆積	全面通行止	廃止予定
君津市 (千葉県)	いわ うえすいどう 岩の上隧道	市道坂畑・草川原線	不明	2014	激しい崩落、崩落した岩の堆積	全面通行止	廃止予定
見附市 (新潟県)	とちくぼすいどう 栃窪隧道	椿沢・栃窪線	1956	2019	坑口の崩壊	全面通行止	未定
村上市 (新潟県)	おおさきやま 大崎山トンネル	市道府屋碁石線	1955	2019 2024	本体工の材質劣化	全面通行止	廃止予定
村上市 (新潟県)	まの うち 間ノ内トンネル	市道府屋碁石線	1955	2019 2024	本体工の材質劣化	全面通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
阿賀町 (新潟県)	いがしまずいどう 五十島隧道	町道五十島 向山戸線	1958	2024	側壁部に著しい 巻厚減少及び覆 工背面の空洞	ゲートを設置 して全面通行 止	未定
白山市 (石川県)	すすくりずいどう 鈴栗隧道	市道ダム1号 線	1979	2018 2023	アーチ部のうき	全面通行止 (2018 より)	修繕中
白山市 (石川県)	しらおさかいずいどう 白尾境隧道	市道ダム1号 線	1979	2018 2023	アーチ部の漏 水、空洞	全面通行止 (2014 より)	修繕予定
伊那市 (長野県)	みわダム1号 ^{ごう} トンネル	市道勝間赤 の入線	1958	2018 2023	材料劣化	全面通行止	修繕予定
小谷村 (長野県)	あおぬき 青抜トンネル	村道下寺湯 原線	1962	2022	豆板・漏水	全面通行止	未定
小谷村 (長野県)	ゆばら ^{ごう} 湯原2号トンネル	村道下寺湯 原線	1958	2022	豆板・ひび割れ	全面通行止	未定
高山市 (岐阜県)	ひわだ ^{ごう} 日和田1号トンネル	市道近城線	不明	2018	坑門工左肩部に ブロック化した浮 き	全面通行止	廃止予定
沼津市 (静岡県)	しげでら 重寺トンネル	市道 5054 号 線	不明	2017	左側壁に一部剥 離、うき	全面通行止	廃止中
長浜市 (滋賀県)	こほくずいどう 湖北隧道	市道八田部 岩熊線	1934	2020	覆工・坑門の材 質劣化(浮き、剥 離、ひび割れ)、 漏水多数	全面通行止	未定
五條市 (奈良県)	コダイシタ1ゴウ	小代下線	1956	2024	覆工アーチ部の コンクリートの剥 離、ひび割れ	全面通行止	未定
北広島町 (広島県)	しもやま 下山トンネル	町道下山橋 山線	1935	2019	覆工コンクリート、 岩盤の剥落、漏 水	仮設材の設置 (全面通行止)	修繕予定
下関市 (山口県)	みずたれ 水垂トンネル	市道附野水 垂線	1930	2018 2023	本体の一部が崩 落	全面通行止	廃止予定
萩市 (山口県)	えふねずいどう 江舟隋道	市道江舟尻 線	不明	2018 2023	覆工に、うき・剥 離・剥落	全面通行止	廃止予定
萩市 (山口県)	ごんにゅうどう ^{ずいどう} 隧道	市道田代渦 ヶ原線	1973	2023	覆工に、うき・剥 離・背面空洞	全面通行止	未定
宿毛市 (高知県)	すくも 宿毛トンネル	市道与市明 野地線	1929	2017 2022	うき、ひび割れか らの漏水	全面通行止	廃止予定
奄美市 (鹿児島県)	おせ 和瀬トンネル	市道朝戸・和 瀬線	1959	2024	せん断ひび割 れ・段差	全面通行止	修繕予定

※判定区分Ⅳの施設リストは、2025.7 に各道路管理者に確認した内容を記載。

※緊急措置後の恒久的な措置が完了済の施設は除く。

【道路附属物等】

○ 判定区分Ⅳの道路附属物等の措置内容(完了済・予定のものを含む)

管理者	管理中				撤去・ 廃止済 ※1	計	うち措置未完了 (下記リスト参照)
	計	修繕	廃止	対応 未定			
国土交通省	6	6	0	0	3	9	2
都道府県・ 政令市等	25	23	0	2	8	33	3
市区町村	8	6	0	2	7	15	3
合計	39 (68%)	35 (61%)	0 (0%)	4 (7%)	18 (32%)	57	8 (14%)

※1: 判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※高速道路会社管理の道路附属物等は健全度Ⅳの施設なし。

○ 国土交通省(2 施設)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
関東地方 整備局	かめいどえきまえほどうきょう 亀戸駅前歩道橋	国道 14 号	1970	2018 2022	主桁ゲルバー一部 の腐食による欠 損(閉塞済み)	排水機能の改 善・追加、水 分供給経路の 遮断、桁受け 材の設置(通 行可能)	修繕中
沖縄総合 事務局	案内標識	一般国道 58 号	1978	2023	支柱の蓋と横梁 の腐食・断面貫 通	横梁の撤去	修繕中

○ 都道府県・政令市等(3 施設)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
兵庫県	うおしほどうきょう 魚橋歩道橋	(国)2 号	1971	2023	階段部の腐食	仮受け材を設 置後、通行規 制を解除	修繕中
福岡市	ひがしわしろほどうきょう 東和白歩道橋	JR 鹿児島本 線	1947	2022	F11T 高力ボルト の使用	ボルト落下防 止キャップの 設置	修繕中
沖縄県	さきやまおうだんほどうきょう 崎山横断歩道橋	県道那覇糸 満線	1980	2023	橋台のひび割れ 及びスロープの 傾き	全面通行止	修繕中

○ 市区町村(3 施設)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
四街道市 (千葉県)	みそらほどうきょう みそら歩道橋	みそら 78 号 線	不明	2022	主桁と横桁の取 付部の損傷	歩道橋の通行 止め、車線は 通行可	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2025.3 月末時点)
阿賀町 (新潟県)	いがしま 五十島スノーシェッ ド	町道五十島 向山戸線	不明	2019 2024	山側受台の背面 にポケット状の窪 地がある	ゲートを設置 し全面通行止	未定
上田市 (長野県)	あおくぼほどうきょう 蒼久保歩道橋	市道(1級) 久保林大屋 線	1977	2022	鋼材の腐食によ る縦桁、床版の 劣化	頻繁な監視及 び一部通行 制限	修繕中

※判定区分Ⅳの施設リストは、2025.7 に各道路管理者に確認した内容を記載。

※緊急措置後の恒久的な措置が完了済の施設は除く。

(4) 橋梁・トンネルの建設年度別施設数

① 橋梁

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1920 以前	16	0	172	660	848
1921	1	0	49	85	135
1922	3	0	63	52	118
1923	6	0	89	95	190
1924	7	0	101	78	186
1925	9	0	134	107	250
1926	47	0	247	210	504
1927	26	0	320	227	573
1928	16	0	359	261	636
1929	21	0	345	250	616
1930	15	0	416	404	835
1931	24	0	463	341	828
1932	56	0	514	327	897
1933	86	0	650	474	1,210
1934	52	0	605	381	1,038
1935	51	0	659	737	1,447
1936	51	0	457	388	896
1937	53	0	565	332	950
1938	52	0	403	284	739
1939	51	0	260	190	501
1940	32	0	215	480	727
1941	64	0	144	245	453
1942	35	0	104	94	233
1943	22	0	106	167	295
1944	8	0	68	84	160
1945	17	0	137	339	493
1946	11	0	82	211	304
1947	34	0	216	279	529
1948	16	0	158	262	436
1949	66	0	209	242	517
1950	59	0	443	1,168	1,670
1951	116	0	579	898	1,593
1952	140	0	629	810	1,579
1953	130	0	925	1,063	2,118
1954	128	0	1,036	1,496	2,660
1955	192	0	1,434	2,578	4,204
1956	203	0	1,345	1,258	2,806
1957	256	0	1,421	1,547	3,224
1958	391	3	1,897	1,965	4,256
1959	524	20	2,054	2,221	4,819
1960	527	12	2,801	5,472	8,812
1961	604	10	2,838	4,234	7,686
1962	782	15	2,718	4,020	7,535
1963	850	366	2,855	4,140	8,211
1964	877	370	2,855	4,167	8,269
1965	905	142	3,519	8,311	12,877
1966	683	7	3,026	4,719	8,435
1967	699	220	3,407	5,516	9,842
1968	661	1,016	3,513	5,492	10,682
1969	826	224	3,298	5,287	9,635
1970	857	208	3,902	11,383	16,350
1971	909	361	3,866	7,706	12,842
1972	976	664	4,578	8,919	15,137
1973	974	855	3,945	9,160	14,934

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1974	714	1,087	3,031	7,197	12,029
1975	665	793	3,025	11,303	15,786
1976	493	529	2,607	7,779	11,408
1977	528	582	2,700	7,566	11,376
1978	714	628	3,650	8,167	13,159
1979	738	566	3,194	7,857	12,355
1980	703	620	3,688	10,976	15,987
1981	628	337	3,206	8,871	13,042
1982	575	738	2,721	8,314	12,348
1983	595	603	3,002	7,487	11,687
1984	593	411	2,331	6,334	9,669
1985	526	578	2,838	8,193	12,135
1986	627	418	2,920	6,303	10,268
1987	708	863	2,684	5,991	10,246
1988	654	616	3,031	6,071	10,372
1989	612	457	2,703	5,739	9,511
1990	464	567	2,534	6,659	10,224
1991	437	607	2,588	5,101	8,733
1992	436	651	2,390	4,547	8,024
1993	479	431	2,742	4,868	8,520
1994	488	480	2,413	4,141	7,522
1995	361	421	2,201	4,098	7,081
1996	535	567	2,162	3,999	7,263
1997	393	592	2,076	3,556	6,617
1998	450	399	2,120	3,821	6,790
1999	519	419	2,089	3,324	6,351
2000	534	459	1,976	3,983	6,952
2001	600	361	1,727	3,225	5,913
2002	561	498	1,715	2,890	5,664
2003	490	503	1,629	2,555	5,177
2004	491	260	1,449	2,166	4,366
2005	462	153	1,193	1,838	3,646
2006	444	164	1,186	1,633	3,427
2007	492	183	1,415	1,703	3,793
2008	445	221	1,229	1,376	3,271
2009	483	249	907	1,180	2,819
2010	480	194	1,004	1,354	3,032
2011	456	164	882	1,153	2,655
2012	427	133	778	981	2,319
2013	445	161	654	906	2,166
2014	406	218	654	949	2,227
2015	321	246	533	902	2,002
2016	224	66	410	801	1,501
2017	259	230	419	797	1,705
2018	218	226	392	727	1,563
2019	216	167	369	600	1,352
2020	200	57	375	639	1,271
2021	103	103	328	555	1,089
2022	96	14	315	440	865
2023	33	1	166	216	416
2024	3	16	80	104	203
不明	1,609	10	29,283	163,029	193,931
総計	39,350	24,510	188,908	476,780	729,548

②トンネル

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1920 以前	0	0	55	104	159
1921	0	0	3	6	9
1922	0	0	0	6	6
1923	1	0	6	5	12
1924	0	0	1	8	9
1925	3	0	0	7	10
1926	1	0	7	10	18
1927	1	0	6	10	17
1928	3	0	9	8	20
1929	0	0	1	12	13
1930	0	0	14	22	36
1931	0	0	6	9	15
1932	0	0	11	11	22
1933	0	0	7	13	20
1934	1	0	12	10	23
1935	4	0	13	17	34
1936	0	0	10	9	19
1937	0	0	6	7	13
1938	1	0	9	6	16
1939	2	0	8	5	15
1940	0	0	3	8	11
1941	1	0	3	10	14
1942	2	0	8	6	16
1943	3	0	6	17	26
1944	2	0	3	5	10
1945	1	0	4	10	15
1946	0	0	1	4	5
1947	0	0	4	5	9
1948	2	0	5	3	10
1949	7	0	3	3	13
1950	5	0	11	13	29
1951	1	0	11	12	24
1952	2	0	12	12	26
1953	2	0	24	24	50
1954	3	0	27	17	47
1955	2	0	49	34	85
1956	5	0	38	21	64
1957	6	1	29	19	55
1958	10	0	56	20	86
1959	9	1	42	16	68
1960	10	0	46	25	81
1961	11	0	42	16	69
1962	25	6	41	13	85
1963	43	8	67	11	129
1964	36	21	38	25	120
1965	45	0	55	19	119
1966	24	0	55	17	96
1967	30	5	70	16	121
1968	31	27	79	22	159
1969	28	16	44	22	110
1970	51	1	56	24	132
1971	34	3	84	28	149
1972	27	6	90	31	154
1973	20	22	95	32	169

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1974	23	24	113	25	185
1975	20	12	73	23	128
1976	10	5	74	19	108
1977	19	33	104	22	178
1978	13	13	98	34	158
1979	18	12	85	36	151
1980	18	37	87	28	170
1981	12	37	87	30	166
1982	17	67	96	19	199
1983	17	24	91	37	169
1984	15	20	79	27	141
1985	17	57	82	32	188
1986	11	60	90	25	186
1987	14	74	97	23	208
1988	19	64	123	23	229
1989	17	60	93	29	199
1990	13	91	118	24	246
1991	20	68	109	13	210
1992	29	67	116	32	244
1993	11	98	127	34	270
1994	28	48	115	22	213
1995	14	36	111	35	196
1996	17	47	126	41	231
1997	22	81	132	59	294
1998	15	60	130	51	256
1999	17	58	117	35	227
2000	15	32	127	36	210
2001	23	48	117	36	224
2002	22	56	120	29	227
2003	24	35	103	35	197
2004	24	49	102	27	202
2005	35	50	81	14	180
2006	39	17	78	11	145
2007	65	26	71	12	174
2008	42	55	65	11	173
2009	56	36	60	11	163
2010	41	25	67	6	139
2011	52	30	59	10	151
2012	56	6	54	4	120
2013	31	37	34	3	105
2014	47	34	46	7	134
2015	52	63	47	10	172
2016	50	9	50	8	117
2017	44	21	40	2	107
2018	29	56	38	8	131
2019	23	18	42	3	86
2020	27	3	19	3	52
2021	25	3	39	2	69
2022	15	0	20	1	36
2023	6	0	13	1	20
2024	1	0	7	0	8
不明	7	6	11	239	263
総計	1,792	2,085	5,568	2,152	11,597

道路メンテナンス年報データ集目録（HP）

- ・ 全国道路施設点検データベース（損傷マップ）
<https://road-structures-map.mlit.go.jp/>
- ・ 全国道路施設点検データベース
<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>
- ・ 管理施設数（全道路管理者、国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 点検実施数（全道路管理者、国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 点検結果（全道路管理者、国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 施設名（国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）